

- 9 { 雄藥ハ合シテ管状ヲナス ----- Fam. (X) ^{ミシガン} 楝科 *Meliaceae*
- 雄藥ハ分離ス ----- 10
- 10 { 胚ハ褶曲セス ----- Fam. (VII) ^{ニキ} 苦木科 *Simarubaceae*
- 胚ハ褶曲ス ----- Fam. (IX) ^{マンラン} 楸樹科 *Burseraceae*

Fam. (1) ふろろさう (げんのしようこ, 風露草 牻牛兒苗) 科
Geraniaceae (192~193 図参照).

形質——H (概④ 稀①) 又 5 (外国). 葉ハ有柄又 1/2, 托葉有又無, 概單葉掌状淺〜深裂歯 1~2 回掌状〜羽状複葉, 齒牙縁〜缺刻状齒牙縁. 花器ハ傘, 小〜中形具被屢美麗. 花序ハ散狀〜渦旋状聚繖花序, 又聚繖花序稀腋生單立. 花ハ ⊙, ⊙, ⊕, 稀 稍 ⊕ 花下有距, 特殊花盤無, 5 數性, F.f. = $K_5 C_5 A_{(5+5)} G_{(5)}$ 萼片 K ハ互列又輪狀; C ハ互列又回旋列, 内面有蜜腺; A ハ稀無約者有, 基部土合—ス; 5 子室各室 1~2 稀 3~α) 半圍生卵子ヲ藏ス, 花柱 5 下部結合ス. 聚果ハ蒴果又離果 = 5 嚢状ノ分果 = 裂開ス; 種子ハ胚乳鏡多, 胚ハ真直又褶曲屢呈綠色.

成分及效用——化學成分ハ揮發油・鞣酸・苦味質・色素・樹脂等知ラレ, 塩基及配糖体ハ未檢出也. 藥用ノ外香料・觀賞用 = 供スルモノアリ.



193 図



(193 図) ふろろさう 科の花式圖
 (Eicher B) $K_5 C_5 A_{(5+5)} G_{(5)}$

- (192 図) ふろろさう (げんのしようこ) ノ花・蕾ト其解剖 (原圖入)
1. 花序ノ一部 (花軸・花梗, 托葉ト苞・花蕾・ $K_5 C_5 A_{(5+5)} G_{(5)}$)
 2. 花瓣.
 3. K, C. ヲ除去シ A, G. 及蜜腺ヲ示ス.
 4. 長 A. 5 短 A.

分布及屬數——世界 = 11 属

650 種ヲ産シ, 亞熱帯〜温帯ニ分布ス.

日本 = 自生又栽培スルモノ又ソノ種 3 種ヲ下ラス. 本科ノ藥用植物:——

△ (1) ふろろさう (げんのしようこ, みよしぐさ, 風露草 牻牛兒苗) *Geranium nepalense* Sweet. [寄生] 北・西・北朝鮮・琉球ノ原野・路傍ニ散生〜群生, 花夏. [生藥] 牻牛兒苗 *Herba Geranii nepalensis* ハ 夏期土用中心 = 全草或葉ヲ刈取リ陰干セルモノニテ味收斂性也. 長野・廣島縣多産. [或ハ] 全草中 *Tannin* 含量多ク 17.7% (生ハ 4.5%) = 産シ *Gallussäure* 没食子酸ト共ニ收斂止瀉作用ヲ現ハスバク, 其他 *Bernstein-*

säure 琥珀酸; *Quercetin* 及其配糖体ヲ含ミ無機塩中石灰亦稍多量也。〔藥效〕津局・龍牛兒苗 *Herba Geranii* ハ收斂止瀉藥トシテ腸加答兒ニ用テ、1日5~7g. 煎取。本生薬ノ藥效ハ蒼鉛劑ノ如ク止瀉ニ若效ヲ奏スルモ時ニ依リ無効ノコトアリ、而テ大量ヲ用フルモ副作用ナク且胃腸ヲ不害又食慾ヲ不減。止瀉ノ外整腸ノ效アリ。痲痺婦人冷感感冒等ニモ卓效アリ。又健胃強心利尿劑トシテ使用セラル。煎汁ニテ腫物・切創ヲ洗滌セバ痕跡無ク治癒スト云。はぶさうト等量ニ混煎セバ健胃藥トナル。煎汁ニテ出血痔ヲ治ス(5g. ヲ3合) 水ニテ2合ニ煎詰メ1日4~5回分服。止瀉劑ニ使用スル時下痢ノ原因ガ冷腹等ニ非ズシテ食傷又暴飲暴食ナリバ先ニ蓖麻子油ヲ頓服シ腸内内容物ヲ一掃後使用スルヲ可トス。前記目的ニテ赤痢・虎列拉等ニモ勿論有效也古来本生薬ヲ赤痢ノ妙藥ト称セリ。〔新藥〕次記市販ノ新藥ハ本生薬ヲ原料トシ尚他藥物ヲ配伍セル收斂止瀉藥也。Atomimide (大阪・塩野), ^{アトミ}*Eutolmin* (東京三共), ^{アトミ}*Pionoul* (大阪日本薬品), *Gennopon* (東京島尾), *Atamin* (東京三幸), タンナート(目黒藥局)。〔藥理〕本生薬製劑ハ腸ニ對シテハ緊張ヲ促進シ且横紋筋ノ運動ヲ著ク制止スル作用アリ。此緊張ノ増加ハ大部小腸ノ平滑筋自己ノ作用ニ屬シ横紋筋運動ノ制止作用ハ交感神経ノ興奮ニ依ルモノノ如ク。又心臓ニ對シテハ搏動數減少及調整強大ヲ來スト云。〔處方例〕①龍牛兒苗湯(收斂止瀉藥) 龍牛兒苗 2.0 水 100.0... 以上1日量煎劑分服。②止

瀉藥---龍牛兒苗 2.0 大黃末 1.0 苦味丁 0.5 單合別別適宜... 以上龍牛兒苗ノ煎劑(1)ニ大黃以下ヲ混和シ1日量分服。

③膀胱炎藥---龍牛兒苗 5.0 夏枯草 3.0 水 100.0... 以上煎劑1日量分服又茶代用ニ飲用。

(2)ふしだかふろう(御高風露草) *G. Jinumai Nakai* 本(中南部)ノ原野高原ノ半陰地又半湿地ニ散生ニ群生。〔生薬〕御高風露ハ夏全草又莖葉ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕未詳。〔藥效〕恩同藤ナルモ弱シト云。

(3)みつばふろう(三葉風露草) *G. Krameri Fr. et Sav.* (分生) 北本(北中部)・朝ノ原野・海濱等ニ散生ニ群生。〔生薬〕三葉風露ハ八月九月ニ全草ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕未詳。〔藥效〕恩同前々種稍弱。

(4)あざふろう(紫背風露草) *G. yessoense Fr. et Sav.* (分生) 南千・北ノ海濱地ニ散生。はくさんふろう(あかぬまふろう) *var. nipponicum Nakai* (分生) 本(北中部)ノ山地(亞寒地帯ニ寒地帯差)。〔成分〕未詳。〔藥效〕山民ハけんのしよろこニ代用ス。

(5)あさまふろう(淡間風露草) *G. soboliferum Kom.* (分生) 本(中部)・朝(北部ノ湿原)ノ山地ニ自生。〔藥效〕朝鮮江原道淮陽郡ノ農民ハ咳嗽ニ用ヒ祛痰ノ效アリト云。

(6)にはひてんじくあふひ(香天竺葵) *Pelargonium Capitatum Ait.* (分生) 南亞弗・原産各地栽培。〔生薬〕全草ヨリ精油ヲ採取ス。〔成分〕精油 (*Geraniol*・*Citronellal*・*Linal*

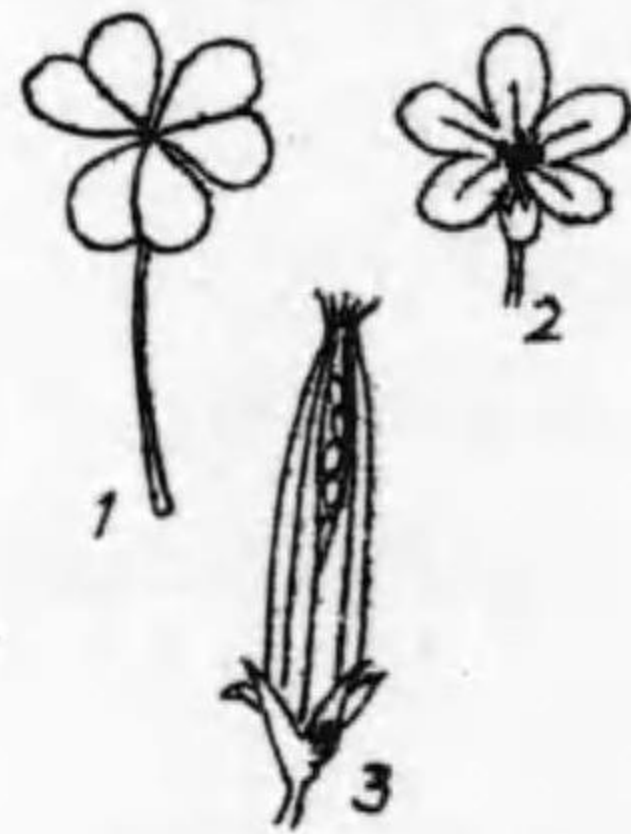
ool)を合ふ。〔藥效〕精油を粉粧香料トス。

Fam. (II) かたばみ (酢漿草科 Oxalidaceae (194 圖版))

形質——② 雜草。葉ハト概シ有長柄花葉有又無、観ニハト出掌狀複葉、輪狀複葉(外國)全縁無裂概圓頭。花器ハ傘、概小、黄、白、又帶紫色。花序ハ繖狀又叉狀聚繖花序類ニ單生。花ハ

194 圖。

②, ③, ④, 5 数性、無花盤、F. f. = $K_5 C_5 A_{(5+5)} G_{(52)}$, K. C 共ニ瓦



(194 圖) かたばみノ葉・花器ヲ示ス(原圖) 1. 葉
2. 花器, 3 果實(滿腹ハ半裂開ス)。

列, Aノ外列又内外列 Aハ各基部ニ有蜜腺附屬物アリ, 5 子室, 各室 00~10

ノ側生卵子ヲ包ム; 花柱 5, 基部ニ合生。概滿腹強裂開, 漸漿果; 種子ハ有胚乳, 胚ハ真直出。

成分及效用——化學成分トシテ尿酸アルカリ Alkalioxalate 著明ナルガ他ニ糖酸・澱粉類知ラレルノミ。藥用ノ外觀賞用ニ供スルモノ, 稀食用果實ヲ供スルモノ(外國)アリ。

分布及屬數——世界ニ凡ソ屬 900 種ヲ産シ主ニ温〜熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡ソ屬 12 種アリ。

本科ノ藥用植物——

(1) かたばみ(かたばみさう, すいものぐさ, 酢漿草)及其変遷形 *Oxalis corniculata* L. (分生) 北・本・四・九・朝・琉・台ノ原野路傍園圃ニ散生ハ群生。〔生藥〕全草ヲ取藥草ト取シ生ノ温又乾品

ヲ藥用トス。〔成分〕莖葉ハ酸味ヲ有ス、之ヲ尿酸 *Oxalsäure* 類ヲ合ム故也。他ニ糖酸ヲ合ム。〔藥效〕生莖葉ヲ搗碎搾汁ヲ皮膚病藥トシテ疥癬田虫・頑癬・白癬・毒虫刺傷・火傷・悪性腫物共他諸毒ニ浸シ塗擦シテ有效。又煎汁ニテ懸液ス。全草ヲ煎服シテ淋病ヲ治シ又煎汁ニテ痔ヲ懸液ス、又内服ニニ有效、内服ハ乾草 3~5g 煎服。莖葉ヲ搗碎シ眞鍮器具ノ研磨料トス。〔備考〕中古鏡ヲ磨クニ此草ヲ用ヒタリ、故別名ヲかたばみやミト云。小児好テ葉ヲ食ス、多食ハ有毒也、又梅干漬ニ紫蘇ト共ニ入レ食用ニ供スル藥アリ。

(2) こみやまかたばみ(小深山酢漿草) *O. Acetosella* L. (分生) 北・本・四・九・朝ノ山地亞寒地帯林下ニ散生又群生。みやまかたばみ(深山酢漿草) *O. japonica* Mak. (分生) 本・四・九ノ山地生。〔生藥〕〔成分〕〔藥效〕學前同種。

(3) おほやまかたばみ(大山酢漿草) *O. obtriangulata* Max. (成分) 本(中南部)・四・朝ノ山地生。〔生藥〕〔成分〕〔藥效〕學前同種。

Fam. (III) のろせんはれん(金蓮花科 Tropaeolaceae)

形質——多漿性 ① 又 ②, 莖ハ多分枝、葉柄ニテ地着ニ卷絡ス。葉ハト有長柄(概總柄性)、概無托葉、單葉、無裂又掌狀複葉、全縁、花器ハ腋生單頂、中形、萼黄、莢紅赤色、傘。花ハ ②, ③, ④, F. f. = $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$, K.Cハ瓦列, Kノ1後片ハ有距, 3子室各室1側生卵子ヲ合ム, 1花柱 3 柱頭。離果ハ1種子ヲ容ルル 3 果; 種子ハ無胚乳, 内胚乳ハ枝狀, 胚乳ハ吸吸狀。

成分及效用——配糖体 *Glykotropeolin* ノ外知ラズ、觀

實用=供スルモノ多ク、藥用植物ハ稀也。

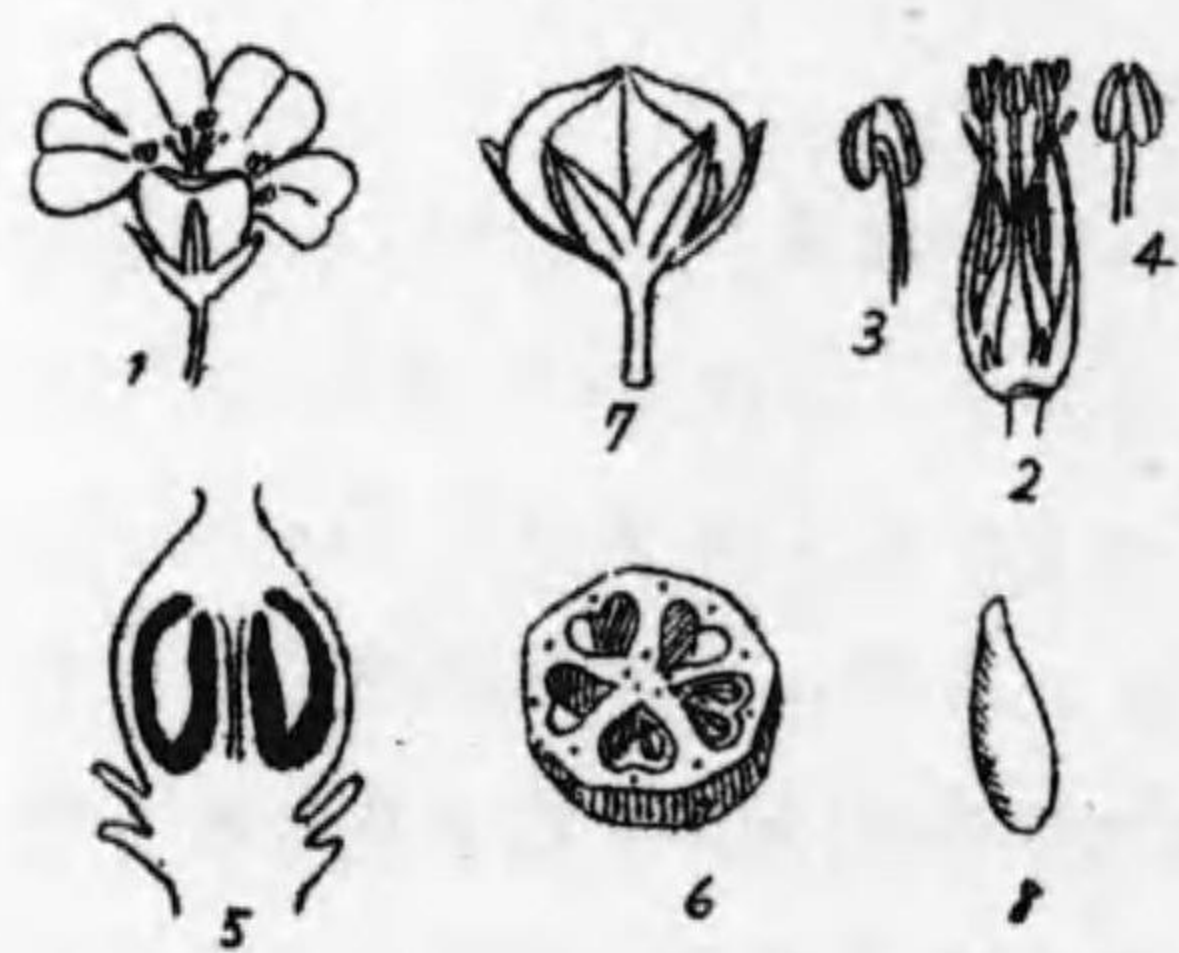
分布及屬種數——世界=1屬凡80種ヲ産シ亞米利加(其のハAndes山脈=自生)産也。日本栽培1屬3種アリ。

(1)のうぜんばれん(きんれんくわ、金蓮花) *Tropaeolum majus* L. (分布)南米ペルー原産、日本栽培。(生藥)金蓮花ハ其花葉也。(成分)種子及全草=Glycotropaeolin (→Benzylsenföl) ナル配糖体ヲ含ム。(效用)葉及幼果ヲ香味料又嗜好料トシ、葉ヲ食用トシ果ハ炒リテ可食。葉根シ觀賞料トス。

Fam. (IV) あま(亞麻)科 *Linaceae* (195 図参照)。

形質——H ⊕ 又 ⊙ 或 ⊕ (外圓) 莖皮纖維發達。葉ハ下、無柄、單葉、無裂、全緣、葉有又無。花雄ハ全、異被小形聚繖、總狀、又再雄花

195 圖。



(195 圖) あまノ花、果、種子及解剖圖 (2, 5, 6 Engler 氏, 1, 3, 4, 5, 7, 8 原圖)
1. 花 2. 雄蕊器官 (A, B)
3. A 片 腹面 4. 全背面
5. 子房及花柱ノ縱断面
6. 子房ノ横断面
7. 莢果 8. 種子
即亞麻仁

序= 雄列。花ハ ⊙, ⊕, ⊙, 無花盤; F. f. = K_{5r.4} C_{5r.4} A_{(5r.5r+5v.5r+5r.5+5r.5+5r.5+5r.5+5r.5) G_(5r) r. (2~3), 概 K₅ C₅ A₅₊₅ G₍₅₎ 也, Kハ瓦列 Cハ瓦列又四旋列, Aハ總有葯又1部無葯爲備 A, 花雄ハ}

土基部癒合シ環狀其外側=有腺又無腺; 子室5稀2~3室、各室1~2ヶノ側生卵子ヲ含ム。或腺鞘膜起リ倍數室、花柱ハ5~2ヶ離生。果ハ莢又核果、種子ハ有肉質胚乳、且當油分、胚ハ概直也。

成分及效用——成分トシテ脂肪油ヲ含ム外 *Linamarin* ナル *Cyanogensglycosid* ヲ含ムモノアリ。藥用、油料、纖維用或觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及屬種數——世界=凡10屬300種ヲ産シ主=温〜熱帯=分布ス。日本=自生又栽培スルノ2屬5種アリ。

○(1) あま (1) ねんあま、ぬめごま(亞麻) *Linum usitatissimum* L. (分布) 歐洲原産トスルモ五千年前迄ニ小亞、印度埃及=栽培セリ。日本栽培、北海道多産。(生藥) 亞麻仁 *Semen Linii* ハ 莢 種子ヲ採拾セルモノ也。莢長卵形長6mm、滑沢、有無數小筒、黃褐色、副産物也。(成分) 種子=蛋白質、*Lipase*、*Protease* (酵素)、*Licithin* (98%)、結晶(6%)、脂肪油(30~40%)、分解=依リ青酸ヲ生スル配糖体 *Linamarin* C₆H₁₁O₅-OC(CH₂)₂-CN 含有ス。結晶ハ ^{ハント-ジ} *Pentosan* 及 ^{ヘキサ} *Hexosan* ヲリ成リ加水分解=ヨリ葡萄糖、*Galactose*、*Arabinose*、*Xylose* 等ヲ生ズ。脂肪油ハ *Linolsäure*-, *Linolensäure*-, *Isolinolensäure*-, *Oel-säure*-, *Palmitinsäure*-, *Myristinsäure*、^{グリセリド} *Glycerid* ヲリ成ル。(藥效) 種子ハ西方亞麻仁油原料トス。即種子ヲ壓搾シ得タル亞麻仁油(西方 *Oléum Linii*) ハ軟膏、基礎劑トシテ種々ノ軟膏ヲ製シ又カリ石鹼、クレゾール石鹼、亞麻仁油鹼等製造

原料トス。亞麻仁油ハ粘性香基ナル故各種漆劑トシ工業上
 極メテ重要也即ハシキ染料印刷インキ、油漆、漆具、復漆、装
 造等ニ宜ク、又リノリウモ製造ニ不可缺也。又食用油トス。焉カ
 亞麻仁(種子)ハ粘液性ナル故之ヲ割用シ膠加板垢塗ニ粘滑藥
 又寫字藥トシ又10:100水浸液或5~10%煎劑トシテ内用シ
 又合嗽料、瀉腸料、注入口料等ニ供ス。外用ニハ醫巾類トス。又蒸
 布ニ有效トシ1匹3~4g.蒸服ス。脫油麻(種子)洋又油洋ハ
 亞麻仁粉Farina Liniiト称シ醫用料トシ又家畜飼料トス。
 亞麻仁油ハ30~50g.ヲ取下劑トシテ内用スルコトアリ。第
 外ノ石灰水ト混和シ火傷ノ塗布藥トシテ有效又獸醫用下劑
 トス。又皮下性瀉腸劑トシテ2~4食息ヲ用ヒ、其他蒸法、塗布
 料トシテ軟膏及火傷用擦劑ニ外用ス。〔藥理〕亞麻仁油ヲ動物
 ニ與ハタル中番症狀ハ産卵ヲ主徵トシ痲痺符讀ヲ遂ニ死ノ
 轉點ヲ取ルニ至ル。〔備考〕亞麻、靱皮纖維ヲ織トシ亞麻布ヲ
 織リ草上掛・ナフキン・手巾、寒冷紗・眼地等トシ又紙ヲ製ス。古
 來蚊帳ヲ織ルニ麻織ノ代用トセリ。聖書ニ「古人(埃及人)ハ伊
 方ノ包衣ニ亞麻布ヲ用フトアリ。去、今ニ百年前初メテハ王
 子附位ニ珍貴シ、爾來北海道主産地トナレリ。

Fam. (V) ニハ(古柯)ニカノキ(古柯樹)科 Erythroxylaceae (196 圖參照)

形質一五。~五。葉ハ有短柄、少、葉無裂、全緣、3 行脈、花葉1 枚
 葉柄内部ニ葉脊或2 枚有外側、葉脫落。花ハ傘形、小葉被腺生2~
 組腺生、聚繖花。花ハ ⊙、⊕、⊙、無花盤、F. f. = $K_2 C_7 A_{(5+5)} G_{(2-4)}$;

Kハ銀合剂、Cハ瓦列又回施列、内面ニ溝溝舌狀片或隆起物(聯
 脈)等ノ附屬ヲ有シA.G. = 2~3 條アリ。花被結合或短筒、子房
 ハ1室ノミ發育シ1~2 枚ノ側生胚珠ヲ積ス。花柱ハ3~4、
 亦雖又中部迄結合、花盤不發育。聚果ハ核果、種子ハ有胚乳。

成分及效用:—ニカノキノミ知シ \vee Coca-Alkaloids
 (Cocain. Tropacocain. ^{ナニール} Cinnamylco-^{コカイン} cain 等)。配糖体
 糖酸・Gerbsäure・揮發油・Isogimmsäure 等ヲ含ム。著明
 ノ藥水也。

分布及属種數—世界ニ2 属200 餘種ヲ産シ、南米(特ハル)
 ニ分布ス。日本不産、台、或南洋地方ニ栽培ス。

○(1)ニカノキ(古柯樹、ニカ、古柯) Erythroxylon Coca
 Lamarck (分布)南米ハル—原産ノ五、全、カリビヤ、西印度、セ
 イロン、瓜哇、澳洲、日本(台、台湾、廣東、廣東、琉(武田)小豆原、硫黃島
 (硫黃島拓理學ニテ計200 町、自今ニ傳)ニ栽培ス。古柯葉ノ
 多産地ハハル—ト、ニカ、バ、也、3 交種アリ。ニカノキ \vee Bolivia-
 num Burck, ニカ、ニカノキ \vee spruceanum Burck, ニ
 カ、ニカノキ \vee novogrammatense Burck, 是也。〔生藥〕古
 コ葉 Folium Coca ハ葉ヲ乾燥セルモノニテ3 形(196 圖)アリ、
 3 行脈ヲ特徴トス。〔成分〕葉中 Cocaalkaloide 1.5~2.5%ヲ含
 ム。其半量ハ Cocain $C_{17}H_{21}NO_4$ 也。他ハ Tropacocain $C_{15}H_{19}NO_2$
 ・ ^{ニナミル(ニナニール)} Cinnamylcocain $C_{19}H_{25}NO_4$ ・ Cinnamylcocain ・ Benzoyl-
 lecgonin ・ Hygrin (液状糖基) ・ α -Troxillin (Isa-
 tropylcocain) ・ β -Troxillin ・ Cuskygrin 等也、此他

196 四



(196四) 三種ノ古加葉

(下山・明比本・藤田氏)

- 1. こかのきノ葉
- 2. とやわ-こかのきの葉
- 3. なかはこかのきの葉

(197四) 古加ノ葉及花式圖

(Peyritsch氏)

- 1. 花輪(朝大)
- 2. 花式圖

$K_2C_2O_4 \cdot 15H_2O$

ココカトリン コカカミン
Cocacitrim Cocaplarin

(ツロポン 薬師林) 及サリチル

酸メチールルエステル等ヲ

含有ス。樹皮モココカインヲ

含有ス。

197 四



【標本】古加葉ハ塩酸ココカイン・塩酸トロパココカイン製造原料ト
ス、長等ハ局所麻酔藥トシテ小・中手術ニ使用スル貴重藥品ニ
シテ人類ヲ益スルコト大也。(1)局方・塩酸ココカイン *Cocai-*
num hydrochloricum ハ局所麻酔藥トシテ皮下注射又
内服ス、極量 1回 0.05g. 1日 0.15g. 注射ニハ 1~5%液使
用。眼ニハ 0.5~2%、口腔咽喉頭ニハ 5~20%液ヲ塗
布ス。尿道ニハ 3~5%液 0.5~1cc.ヲ使用ス。肛門坐藥ニ
ハ 0.02~0.05使用。其他嘔吐劑トシテ妊娠性嘔吐、船暈等ニ用
フ。(2)局方・塩酸トロパココカイン *Tropacocain hyd.* ノ局

所麻酔作用ハ(1)ヨリ稍強キニ不拘、中程作用ハ 1/2~1/3、毒性亦
1/2~1/3、血管收縮作用ナク、概テ浸潤麻痺ニハ不、追來ヲ腰髓
麻酔藥トシテ 0.03~0.06g.ヲ應用ス。1回ノ極量 0.1g. 1日 0.3g.
也。又齒科手術・眼科用藥ニハ 5%溶液 1~2cc.注射ス。(3)
塩酸ココカイン 錠...ノ錠中主藥 0.005ヲ含有ス。1回 1~5 個
内用。胃痛、嘔吐、百日咳等ヲ治ス。【藥理】(1)「ココカイン」ハ選擇
的ニ知覚神經末梢ヲ麻痺シテ知覚喪失及痛覺喪失ヲ起ス。
サレド *Cocain* ノ局所作用ハ恐液ハ神經末梢ニ接触シツツ
アル間ノミニテ僅々 10 数分間ヲ不出。殊ニ痛覺ニ依リ遂ニ
撤去セザルル箇所ニテハ其作用時間モ短ク知覚速ニ恢復ス。
故其作用ヲ持久セシメントセバ血流ヲ斷絶セシムル爲メ其
局所ヨリ上部ニ於テ諸葉ヲ擡スカヌハ「アドレナリン」ヲ用テ
血管ヲ收縮セシムバシ、此理ニ依テ眼用・肥厚性鼻炎用等ニ双
方混合溶液ヲ使用ス。(2) *Cocalkaloid* 中 *Cocain* 及 *Tro-*
pacocain ハ強固所麻酔作用ヲ有シ、*Cinnamylcocain* ハ該
液用藥キモ毒性ハ *Cocain* ト同程度ニテ肝臟毒性ヲ來シ、*Tro-*
xillin ハ局所麻酔作用無ク循環系ヲ障害ス。*Ergonin*・*Ben-*
zoyl-ergonin 及 *Cinnamyl-ergonin* ハ局所麻酔作用無
ク、*Hygrin* 及 *Cusshygrin* モ亦此作用無シ。(3) *Cocain* ノ内
服セバ胃粘膜ノ知覚ヲ鈍感シ、嘔吐・苦瀉固性嘔吐ヲ抑制スルコト
アリ、故ニ船暈又妊娠嘔吐ノ止吐ニ奏效スルコトアリ。尚胃
加答塊・消化不良等ノ不快感惡心等ニ用ヒ有效而共場合内服
ノミナラズ皮下注射ニテモ有效也。是ココカイン「ガ胃粘膜ヨ

リ多少分泌トシ、胃粘膜ノ知覚麻痺ヲ起ス故也。〔地方例〕
 (1) 痛風(手術用)…塩酸コカイン0.2 塩化アドレナリン(1:100)
 2.0 1%食塩水8.0…以上混合 (2) 坐薬(痔疾等)…塩酸コ
 カイン0.02 タンニン酸0.2 カカオ脂2.0…以上爲坐薬1
 個。(3) 手術用注射液…塩酸コカイン0.1 溜水(又1%食塩水)
 10.0…以上混合 (4) 妊娠性嘔吐(悪阻)…塩酸コカイン0.3 白糖
 2.5…以上分10包1日2~3回1包完。(5) 急性胃カタル性嘔
 吐…塩酸コカイン0.06 乳糖1.5…以上分3包1日3回1包完。
 (6) 急性胃カタル性劇甚嘔吐…塩酸コカイン、塩酸モルヒネ各
 0.1 溜水10.0…以上混和毎時8滴完。〔備考〕古加葉ハ元来ハ
 ルー土人ノ嗜好品(葉ニ石灰又木灰ヲ混シテ嚼ミ地勞カ、凌飢
 餓)ナルヲ19世紀末、英人コルレル氏始テCocainヲ抽出、麻酔力
 ヲ説明セリ。以テ貴重生薬トナリ醫藥上不可缺ノ要薬トナ
 レリ、然ルニ毎日先モルヒネ同様、過時斷ヲ享樂的悪用者輩出
 シ、衛生上弊害不少、結果栽培コカイン製造輸出入共各國嚴重
 取締ヲナス。

Fam. (4) はまびし(黄葉)科 Zygophyllaceae

形質—互生又對生①。葉ハ7、有托葉、扇狀羽狀複葉、小葉
 ハ全縁。花器ハ傘、小〜中形、黄又青色、單生、双生或簇生(聚繖花
 序)。花ハ⊙、⊕、⊖、5〜4数性、花盤ハ環状又子房柄又不发育;
 F.f. = K₅₋₄; C₅₋₄ r. 0 A₅₊₅ v. 4+4 v. 5+5+5 v. 4+4+4 G₍₅₋₄₎ r.
 (2~12), Cハ互列稀全列、花絲ハ捲1〜完、小鱗片ヲ有ス、
 各心皮ハ1〜∞倒生卵子ヲ生ズ、4〜5稀2〜12子室、花柱ハ

單又無。總蒴果或介(離)果稀漿果又核果、種子ハ胚乳有又無。

成分及效用—Harmala-Alkaloide・樹脂・Saponin等
 ヲ含シ、藥用又材料用等ニ供スルモノアリ。

分布及經濟數—世界ニ21属、250種ヲ産シ生ニ熱ハ暖帶
 ニ分布ス、日本ニ自生スルモノ1属2種アリ。

本科ノ藥用植物：—

(1) はまびし(黄葉) *Tribulus terrestris* L. (介生)本(中南部)・
 現台湾ノ海辺砂地生①、花及總蒴果并多産。(生薬)黄葉子
 Fructus *Tribuli* ハ秋果ヲ採集セ、ルモノ也、3〜4角形有4
 稜、味苦シ。〔成分〕葉ニ Phlobaphen (配糖体) 及脂肪油(主成
 分ハ 54.7% / Linolemsäure, 25.9% / Oelsäure, Elaidim-
 säure 等)ヲ含有ス。〔藥效〕葉：果ヲ煎取トシ、痰血ヲ去リ腎ヲ
 補フ效アリ。又諸病ヲ治シ、腹痛ヲ緩和シ、月經ヲ通シ、
 乳汁分泌ヲ促ス外、瀉肚藥又瀉血藥トス。精製ニテハ養目
 亦確ニ内用ス。1回2〜5g、1日8〜10g、煎取ス。

(2) はまびし(桑寄生) *Guajacum officinale* L. (介生)中
 米及西印度諸島産。(生薬)桑寄生木 *Lignum Guajaci* ハ皮部
 ヲ除去セシ木部ニテ質緻密、重硬難割斷、心材ハ帯紫褐色、密樹
 脂(グアヤクシ)ヲ含シ、沸水中、心材ハ淡色浮木、互質。〔成分〕心材ハGua-
 jac 脂20%以上、心材ハ3%ニ不調。桑寄生木脂ノ主成分ハ無
 晶形、^{グアヤクシ}Guajacinsäure 50〜70%、^{グアヤクシ}Guajacinsäure 10〜15%
 結晶性ノ桑寄生木脂酸 *Guajakarzäure* 11〜11.5%ニテ他ニ
 Saponin・蘆蘆質・黄色素等ヲ含有ス。〔藥效〕木部ハグアヤクシ

丁癸ヲ製スル原料トス。木部ヲ煎取シテ交質藥(梅毒、リウマチ)又利尿藥トシ、又木部トシテ發汗藥、祛痰藥トス。局方愈癩水(かあやく水)ハ嫩香葉又淨血藥ニ服用ス。局方愈癩水腫(かあやく脂) *Resina Guajaci* ハ利尿作用ヲ有シ大變ハ下劑トナル、現今ハ主ニ胃酸、酸漿等ノ透明ニ試藥トス。又発汗劑トシテ解毒藥(痛風、リウマチ、梅毒)トシ、1日0.3~1.0g、内服ス。局方愈癩水丁癸(かあやく丁癸) *Tinctura Guajaci* ハ藥效同前、現今試藥トス、同前、1日數回20~30滴内用。(補考)材ハ堅甲緻密良好器具材トス、歐洲汎用ス。

△(3) ペガマムハルマテ *Peganum Harmala* L. [分科] 歐洲原産。(生藥) 種子ヲ藥用トス。(補考) 種子 = *Harmala-Alkaloide* (*Harmalin* $C_{13}H_{14}N_2O$ · *Harmine* $C_{13}H_{12}N_2O$ · *Harmalol* $C_{12}H_{12}NO$ 、3種)ヲ含有ス。(藥效) 濃厚・塩酸はるみん *Harminum hydrochloricum* (*Harmine* "Merck") ハ臨床上腦炎後ノ障害ニ藥效ス、1回0.02~0.04g、ヲ1日2~3回内服。皮下注射又直腸内ニ坐藥トシテ用ス。(藥理) *Harmala-Alkaloide* ハ主ニ對シ中樞神經系ニ作用シ之ヲ興奮スルコトナクシテ麻痺シ、甘日鼠反家忠ニ對シテハ中樞神經系ニ對シ興奮反麻痺ノ同作用ヲ呈シ其強度ハ *Harmalin* ハ強ク、*Harmine* ハ弱シ。

Fam (VII) ハルマテ (芸香) 科 *Rutaceae*
(198~199 圖参照)

形質——互ニ互ニ葉各部(果葉莖皮)ニ離生又融生多細胞油

腺アリ。葉ハ有柄トシ、葉單葉又複葉無裂全緣、葉葉ハ單身複葉ニ出葉狀又奇數羽狀又2~3回掌羽狀複葉、小葉ハ楕圓狀或卵圓狀又純圓狀、葉脈ニ淺明脈即油腺ヲ有ス、無花葉。花冠ハ筒細小筒中形、全葉退化ノ滿子合、異被、總狀、繖房、繖狀、円錐花序等ニ單生也。花ハ⊕帶⊕、⊙、5~4數性、花盤ハ環狀、台狀、或点狀、此形ニテAノ内柱ニアリ、 $Ff = K_{4-5} \cdot C_{4-5} \cdot A_{4+4} \cdot V_{5+5}$ 、 $2.5K \cdot 4V \cdot 3V \cdot 2 \cdot V \cdot \infty$ 、 $G_{4-5} \cdot T_{3-1} \cdot V \cdot \infty$ 、又ニクニハ異子合ニ $K_4 \cdot C_4 \cdot A_4 \cdot G_4$ 、 $\infty = K_4 \cdot C_4 \cdot A_{4+4} \cdot G_4$ 也; Kハ要留存性、Cハ互列複被合列、Aハ重又單輪列稀退化シ3~2ヶニ至ル(分葉ノ結果?)、心皮ハ合離又離々ニ結合(下部合離シ上部合離等)ス、側生卵子ハ各心皮ニ一ニ結合又 $\infty \sim 1$ ヶ宛生ス、花柱ハ各心皮ニ一ヶ宛、離又結合ス。果實ハ多漿、漿果、核果、蓇葖果等也; 種子ハ胚乳有又無、内胚乳ハ環狀。

成分及效用——木料ノ成分トシテ塩基 = *jaborandi-alkaloid* - *Evodiaalkaloide* 等ヲ有スルモ特徴トシテ種々ノ

198 圖



199 圖



(198圖) みかんノ單身複葉 (原西)
芳香性揮發油ヲ有スルモノ多シ、而テ *Glycosid* ハ割合ニ多ク *Rutin glycosid*、*Cumarin gl.* 等アリ、其他 *Skinin* - *Skinianin*、*Sanshol* 及苦味質等ヨリ有

糖酸類亦不鮮。又 *Fagaramid*、

(199圖) ニクニハ單性花及果實(原西)
1. 合 = $K_4 \cdot C_4 \cdot A_{4+4} \cdot G_4$ 、2. 異 = $K_2 \cdot C_4 \cdot G_4$
3. 漿果。

如キ辛味ヲ有スル Säureamid ヲ有ス。詳細如次。塩基 (Eri-
berin, Palmatin, Dictamnin, Evodianin, Rutaecarpin,
Arixin, Kokusagin, Pilocarpin, Isopilocarpin, Pilo-
carpidin, Skimmianin 等)。配糖体 (Rutin, Cumaringly-
kosid, Diosmin, Hesperidin, Naringin, Skimmianin, Mu-
rrayin, Limonin, Aurantiamarin, Chinorin 等)。
酸類 (均成酸, 莽草酸, カリチール酸, Aconitsäure, Chinovasäure
等)。其他ノ物質 (Xanthoxylin, Saponin, Indol, Sam-
skhol, Issakuramin, Obakulacton, Obakunon,
Dictamnolacton, Galaktan, Xylan, Mannan, Arginin,
Asparagin, Glutamin, Phytosterin 等) 等アリ。

本科植物ハ藥用ノ外香料・木材用・觀賞用ニ供スルモノアリ、又柑橘類ノ如ク菓實ヲ生ジ人生ヲ益スルモノ多シ。藥用植
物亦不尠。

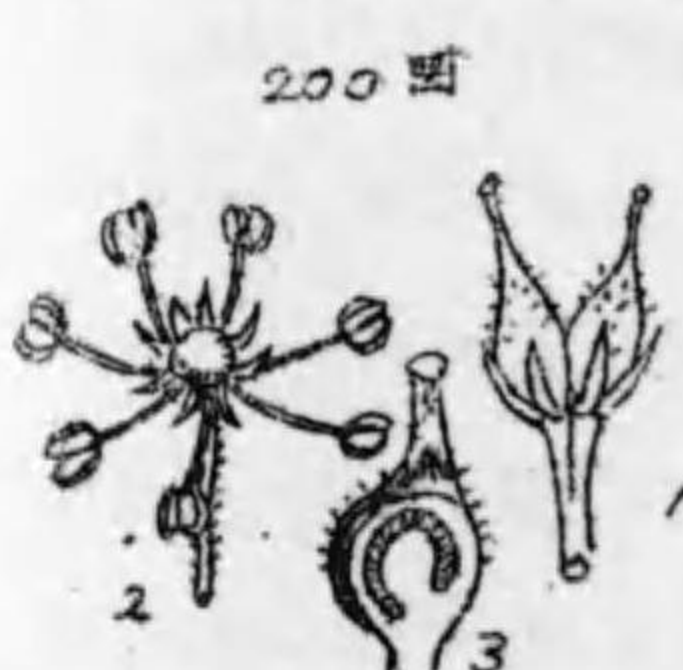
分布及属数——世界ニ凡 112 属 1600 種ヲ産シ暖温帯
〜熱帯ニ分布ス。暖地性者多ク、其數ハ南亞弗利加及濠洲ニ
自生ス、而テ栽培地ハ地中海沿岸・カリホルニヤ州、南支、諸地方
多産ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡 22 属 120 種内外アリ。
就中柑橘類ノカラたち (青森北部)ヲ除キ他ハ茨城・千葉縣以西
南ノ西南日本ノ暖帯〜熱帯 (台湾南部) 間ニ自生又栽培ス。

本科ノ藥用植物：— 如次ノ亞科数族ニ分ル。

Subfam. (1) ハルニシ (芸香) 亞科 Rutoideae 互ニ互種互
又 ②。葉ハ單葉又羽狀又掌狀複葉。G(4~5) n. (1~3, 4, 5), 萼

子房ハ離シ花柱ノニ合一、成熟時ニ分離シ内部房裂開、概然離
性内果皮ヲ有ス、種箱=4~1ノ肉質核果也。

Tribus (1) サンセウ族 Xanthoxyloideae 互ニ互種互、萼有縁
羽狀複葉又單葉花ハ雄ノ合新雜性、細小縁又縁白色、筒大形
白色、單葉ハ約 2 卵子以上、胚ハ直落平子葉ヲ有ス。花式ハ觀
♀♂=K₂ C₄ A₂ G₄ (2~3), サンセウ♀♂=



200 属 K₂ C₄ A₂ G₄ (2~3), サンセウ♀♂=
K₂ C₄ A₂ G₄ (2~3). 蒴果又管莢
(200 属) サンセウノ果性花及解部 (図 1 既)
1. ♀=K₂ C₄ A₂ G₄ 2. ♂=K₂ C₄ A₂ G₄
3. ♀ノ縦断 (見直生卵子 1 個)

A (1) サンセウ (はじかみ、山椒、蒸椒)

Xanthoxylum piperitum DC.

(分生) 北・本・四・元・福・琉ノ山等ニ散生又栽培スル互。葉蒸餾シあ
るくハサンセウハ inermis Mak. 種類、無縁。(此類) 山椒 Fruc-
tus xanthoxyli ハ中夏果實ヲ採乾セルモノ也。球形、暗赤色、
厚被膜、鼠眼子、氣味芳香性辛辣也。山椒皮又辛皮 Cortex xan-
thoxyli ハ樹皮ノ剝取乾燥品也、味辛辣也。關西、奈良、和歌山、
熊本、鹿耳、兵庫縣朝倉ハ昔ノ産地。(高分) 果實ハ芳香性精油 (主成
分 Citronellal, Dipenten, l-β-Phellandren (主成分)、
Geraniol 等) 2~4% ヲ含ム、Geraniol 及 Citronellal ハ
主ニシトニなる酸及醣酸とスルモノヲ含シ約 24% 也。山
椒ノ辛味ハ 1 種ノ Säureamid ナル Samskol C₁₁H₁₉CO-NH-CH₂-
CH(CH₃)₂ (主成分 Citral) ニ因リ、是ハ接觸還元ニヨリ水素ヲ附
加セバ結晶性ノ Hydroxamskol ヲ生ス。管ニ Stenhouse

氏ハ本油中 = Xanthoxylin $C_{10}H_{12}O_4$ ヲ記スルニ Holmes 氏ハ
 支那産 X. *alatum* Roxb. 宛カ也ト。 瀟口氏ハ無N 結晶性
 Xanthoxin 及無晶形 Xanthoxinsäureヲ記スニ性状不
 明。 [薬效] 漢; 津局・山椒ハ駆虫薬(蛔虫等)健胃消化薬トシ1回
 5~8g. 煎服又粉末又浸劑トシテ内服ス、又解毒薬トシ冷腹
 痛 = 内服(朝鮮)ス、又魚毒ヲ消ス故魚料理ニ加フ。 嫩葉、果花莖
 皮ハ芳香性辛味ヲ有スル故調味料及香料トシテ食用 = 供
 ス。 又蕎麥等 = 樹内皮粉末ヲ辛皮ト称シ香料トス 風濕ナ
 ル外消化劑(胃液分泌促進劑)トス。 胃痛・中暑・霍乱等 = ハ乾末
 煎果ヲ1日2~5g. 文火ニテ煎服ス。 果実煎汁 = テ巻法ト
 バハビ、あかぎれ刺傷、漆毒等ヲ治ス、又酢 = テ煎シ合口中ハ歯
 痛ヲ除ク。 [薬理] Xanthoxinハ家畜ノ靜脈内注射ニヨル最
 少致死量ハ体重1kg = 付10mg也。 其若キ 中毒症状ハ激キ
 瀕瀕様態ニシテ遂ニ呼吸中樞ノ麻痺ニ依テ死ス。 經口的
 ニ與ハシ場合ハ最少致死量ノ百倍 = 達スルモ固有ノ中毒症
 状ヲ認ズシテ單ニ嘔吐ヲ感スルノミ。 魚類ハ本物質 = 對シ
 最鋭敏 = シテ鰯・金魚及小魚ハ 0.001% 溶液中 = 放ツニ一時
 運動活潑トナリ次ニ激裂性痙攣ヲ發シテ死ス。 Xanthoxin-
 säureハ Xanthoxin = 比シ依用微難也。 [備考] 嫩葉ヲこのめ又ま
 のめト稱シ調味料トス、きのめ田樂等有名ナリ。 嫩葉果花
 ヲ香料辛味料又佃煮トシテ食ス。 樹皮ハ從老實多ク材
 ハ酸味トシ筆筒、酒粉木(橋木)・洋杖 = 依リ順佳也。 辛皮(樹皮)ヲ
 煮食ス、日光名産也。 樹皮ヲ粉砕シ又是 = 石灰ヲ混シ水中 =

投入シ魚類ノ捕獲 = 使用ス。 [處方例] (1) 蛔虫驅除藥 --- 山椒 5.0
 水 100.0 --- 以上浸劑トシテ頓服。(2) 健胃消化劑 --- 山椒末 5.0
 黃連末 1.0 --- 以上1日量分服。(3) 全 --- 山椒 5.0 生姜 2.0 水 100.0
 --- 以上浸劑トシ頓服。

(2) とげざんせう(ひめざんせう) X. *setosum* Hemsl. [分布]
 支那原産日本栽培、台 = 自生スル互、枝 = 剛毛及有刺、2~3對。
 [生薬] 果及根ヲ藥用トス。 [成分] 葉ハ少量ノ精油及 Aesculetin.
 dimethylather $C_{11}H_{10}O_4$ ヲ含有ス。 [薬效] 根ノ煎汁ヲ胃腸痛 =
 内服シ、又瀉法ニテ痔疾 = 有效又台湾ニテハ毒蛇咬傷 = 煎服
 ス。 果実粉末ヲ酢 = テ練リ塗布シ乳房痛(乳腫)ノ鎮痛藥トシ、
 又打身 = 有效。

(3) 山椒(山椒) *Fagara manchurica* Honda (F. *schinifolia* Engl.) [分布] 本・四・九・朝・滿・蒙ノ山地 = 散生スル互、葉基
 刻ハ1ヶ、消澤臭アリ。 芳香無。 [生薬] 果及葉ヲ藥用トス。 [成
 分] 果実 = 精油(Esdragol 90%・Bergapten)ヲ含有ス。 [薬
 效] 果実ヲ鎮咳藥 = 煎服シ、又健胃藥トス又乳房腫痛 = 塗布
 シテ有效。 乾葉粉末ハ消炎劑トナル故打撲症 = 外用ス。 乾
 葉粉末ヲ酢 = 練リ乳房ノ凝固時貼付セバ暫時 = シテ痒痒味、
 其時腫 = 減メバ(按毒)治癒ス、又「リウマチス」^{イロシロ} 筋炎患部、坐骨
 神經痛・打撲傷等 = 貼布セバ解毒・解熱・鎮痛ノ效アリ。 果実煎
 汁ハ鼠腹腹痛等 = 有效。 果皮ハ眼疾 = 1粒ヨリ毎日塗布一
 週間蓋服セバ奏效スト云。 朝鮮 = テハ川椒ト称シ蛔虫ヲ驅
 除シ冷腹痛 = 内用ス。

(4) からすざんせう (食茱萸) *Fagara ailanthoides* Engl. (生) 中(中南部)四九朝小笠原台ノ山地ニ原生。とげなしからすざんせう *v. inermis* Nakai (分布) 朝産。〔生薬〕食茱萸 *Fragula Fagariae* ハ秋期ニ果実ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕葉ニ精油〔主成分 Methyl-n-nonylketon $\text{CH}_3\text{-CO-(CH}_2)_8\text{-CH}_3$ Terpen-Phenol 性物質等〕0.5%ヲ含有ス。〔薬效〕葉: 果實ヲ中暑・腹痛ニ煎取ス。葉ヲ台湾ニテ感冒・マラリヤ熱ヲ治スルニ煎取ス。又果ト共ニ中暑急性腸炎等ニ煎取シテ有効又健胃(消化不良・便秘)及驅風劑トス。〔処方例〕健胃劑(消化不良及便秘ニ用フ)---食茱萸 9.0, 甘草 2.0 水 100.0---以上 1日量煎劑分服。

(5) てりはざんせう (くめざんせう) *F. nitida* Roxb. (分布) 琉球台。〔生薬〕根及莖葉ヲ藥用トス。〔成分〕葉ニ揮発油ヲ含ムニ成ホ未詳。〔薬效〕莖葉ヲ水酒等量ニテ煎取セバ腹痛・痰咳ヲ治シ根ヲ水酒ニテ煎取セバ呼吸ヲ通シ打傷・咽喉・齒痛ヲ治ス。

△(6) ニシヤサ (吳茱萸) *Evodia rutaecarpa* Hook. f. et Thoms. (分布) 支那原産・日本栽培。〔生薬〕吳茱萸 *Fragula Evodiae* ハ初秋熟果ヲ採乾セルモノ也。蒴果球形約五稜、徑3~4mm。暗褐色・油腺の、気味芳香性味頗辛辣也。三重・奈良・福岡・熊本産(産)。〔成分〕果實、香氣ハ鎖状 Terpen 一種 *Evodien* $\text{C}_{10}\text{H}_{16}$ ニ基因ス、其他結晶性成分ニ *Evodim* $\text{C}_{17}\text{H}_{22}\text{O}_6$ 2種、極基 (Evodia alkaloids) *Evodiamin* $\text{C}_{19}\text{H}_{21}\text{N}_3\text{O}$ ・*Rutaecarpin* $\text{C}_{18}\text{H}_{23}\text{N}_3\text{O}$ ヲ含有ス。〔薬效〕葉: 果ヲ香辛性健胃藥トシ消化不良・便秘・腹痛・吐瀉等ニ用ヒ、又驅風藥・收斂藥・又殺虫藥トス、粉末又煎劑又丁

藥劑トス、1日用量 8g. 粉末ハ 1日 0.5~1.0g. 内服ス。車馬・吳茱萸ハ腹痛・吐瀉・ノ、身体ヲ温メ冷氣ニ胃サレ寒目ニ煎取ル疼痛ヲ治ス 1日 1~2g. 煎取ス又湯入レ温ム。又痔瘡・癩癧・水腫等ニ煎取シテ有効。又果實ニ 同量乾姜ヲ加入煎取シテ便結ヲ治シ嘔吐ヲ止メ、霍亂ヲ治ス。煎取豆久ハ頭發脱・眩暈・元氣消弱等ヲ來スト云フ人アリ。〔藥理〕吳茱萸ヲ強用セバ結腸抵抗力ノ弱毛髮脱落等ヲ來スコトアリ。又 *Evodiamin*ノ分解ニヨリ生ズル β -リルどリル・及チラミンハ中枢神經系興奮又麻痺促進ノ作用アリト云フ。〔藥理〕*Rutaecarpin* (或チ第一)ハ 醋酸インドールエチルアミン水溶液ニテ子宮緊縮劑トス(元本植物極蒸ノあるかり燃融ニヨリ製トシメ其ハ合成ニ成ル)。〔処方例〕(1) 健胃劑→吳茱萸 末 1.0---以上 1日量分服。(2) 便秘・嘔吐・腹痛ヲ治ス---吳茱萸 5.0 乾姜 2.0 水 100.0---以上 1日量煎劑分服。(3) 吳茱萸湯(急慢性腸炎・カ・腹痛ヲ治ス、腸筋衝心ニ用フ)---吳茱萸 4.0 人参 大柴 各 2.5 甘草 5.0---以上 煎劑 100 トニ煎取ス。

(7) ニシヤサ (はませんたん、しまくろき) *E. glauca* Miq. (分布) 本(四南部)四九朝小笠原ノ山地又海濱地生小豆花七八片、成葉中一階致。〔薬效〕莖葉ヲ湯ニテ煎シ 腹痛・痰咳ニ内服ス。根ニ水酒煎シ 時疫・腹痛・打傷・咽喉・齒痛ヲ治ス、用量 6~8g. 内外。

(8) ニクササ (さほろるし) *Onix japonica* Thunb. (生) 本(四九朝)ノ山地ニ 散生ニ群生スル也。〔生薬〕根ヲ採乾シテ和

常山素ヲ和蜀漆ト樹シ藥用トス。さほうるしノ名は葉ヲ揉
 ア皮屑ニ塗付セバ漆毒ヲ養スルニ因ル。〔成分〕葉ハ精油(主成
 分 *Camphen-Linalool* 及一種ノくわんぱんあるニールノ系す
 くる葉) 0.01%ヲ含ム。木部ハ2種ノ塩基 *Oxixim* $C_{19}H_{23}NO_6$ 及
Kokusagin $C_{19}H_{23}NO_4$ ヲ含有ス。Eijkman氏が木部ヨリ *Ber-*
bercin 抽出ヲ報告セシハ中致ノ常山(ゆき類)ヲ研究材料トシ
 ルニ依ル葉ニ基ク如シ。〔藥效〕葉素ノ煎汁ヲ殺虫劑又驅虫劑
 (牛馬ノ虱ヲ除ク)トシ、解毒藥(毒虫、毒蛇毒)トシテ皮膚塗ヲ服用
 ス、又瘰癧瘰癧ノ效アリト云。一説ニ本生藥ニ解毒藥效アリ
 トシ又回帰熱藥學ト樹スルハ本種ヲ支那産常山ト誤リシ結
 果ナルカ如シ。瘰癧瘰癧ノ效アリヤ否ヤモ再檢ノ要アルカ
 如シ。〔備考〕常山及蜀漆ニ就テハゆきのした科ノ(14)ゆきの
 人(常山)---1142頁ヲ見ヨ。

Tribus (2) ハんるうだ族 *Rutese* ⑤又互ニ互羽狀又掌
 羽狀(2~3回)複葉、花ハ小~中形、傘、母、果體①、F.f.= K_{1-5}
 $C_{1-5}A_{1-4}U_{1-5}G_{1-5}$ 、心皮ハ概2卵子以上、4~5心皮子

201 圖



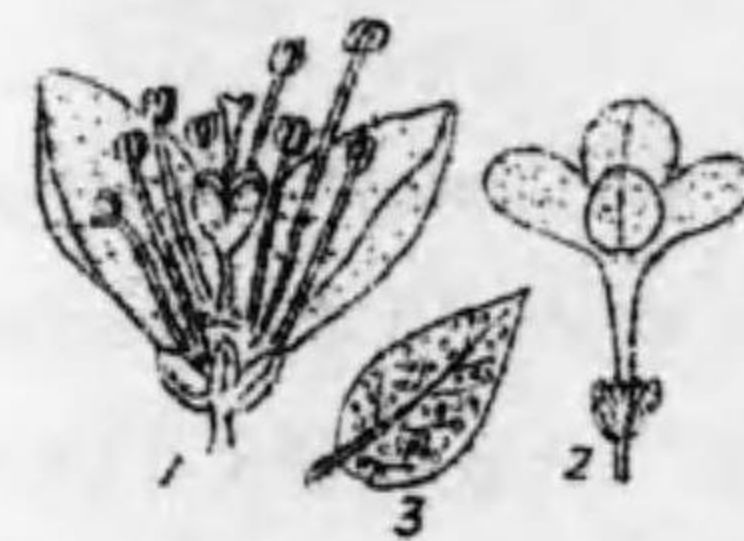
房ハ殆全、担介離シ唯中心ニ立ッ

(201圖) ハんるうだノ花及解剖(原四)
 1. 花... $K_{1-5}C_{1-5}A_{1-4}U_{1-5}G_{1-5}$
 2. G及花盤ノ縦断面(伴1A)

花柱基部ニテ結合、若葉後熟ニ果皮油立シ膏葉トナル、但ハく
 せん種ハ蒴果也。

(9) ハんるうだ(俗名いしやなかせ、芸香) *Ruta graveolens* L.

202 圖



(202圖) まのかぜまのノ花・果・葉(歐陽氏)
 1. 花... $K_1C_1A_{1-4}G_{1-5}$ 2. 有胎管葉
 (伴花盤及胎管K) 3. 小葉1枚

〔分布〕歐洲原産、日本栽培。〔生藥〕芸
 香 *Herba Rutae* (独・瑞西方)ハ全草
 ヲ花枝ニ葉乾セルモノ也。〔成分〕
 全草中ニ約0.06%ノ精油ヲ含有

203 圖



(203圖) はくせんノ花・果・及解剖
 1. 花及Φ、 $K_1C_1A_{1-5}G_{1-5}$ 2. G_{1-5}
 3. A. 4. Aノ上部 5. 蒴果

ス、其主成分ハ *Methyl-n-nonyl-*
 $keton$ $CH_3CO-(CH_2)_8-CH_3$ (80~90%)

ニテ其他 *Methyl-n-heptylketon* $CH_3CO-(CH_2)_6-CH_3$ 此兩類
 ノ *Keton* = 對應スル *Alkohol* (約10%)、其外ノ酸類エスチル *Me-*
thyl-n-heptylcarbinol $CH_3-CH-OH-C_7H_{15}$ 、*Methylnonylcarbinol*
 $CH_3-CH-OH-C_9H_{19}$ 、*Aethylacetat*、*Pinen*、*Cineol* 等ヲ含有ス。
 又全草中ニ *Rutin* (アフラボノール 糖體) $C_{27}H_{34}O_{16}+2H_2O$ ヲ含有
 ス、*Rutin*ハ加水分解ニヨリ *Quercetin* 葡萄糖及 *Rhamnose*ヲ生
 成ス。〔藥效〕全草(芸香)ヲ茶樹トシ取服(煎服)通經劑ニ常用シ又
 比ステリ一症ヲ治スルニ多用ハ有害要注意、1回1~4g. 煎服。
 煎汁ヲ神經痛ニ外用ス。葉ヲ香管内ニ挿入セバ瘰癧防虫香。
 葉藥ノ一也。往時ハ瘰癧瘰癧重症症亂驅虫藥トセリ。又
 全草ヲ搗碎シテリウマチス¹、打撲傷及番虫毒ヲ消滅(解毒劑)ス
 ル膏薬部ニ貼布ス。

(10) まのかぜまの *Boemninghausenia japonica* Nakai

[分生]本(中南部)四九ノ山地ニ散生群生スルニ②、(藥效)葉ハ止血切傷ヲ治スルニ用フ、但シ有毒也。

(11) はくせん (さんしよくさ、白鮮、白羊鮮) *Dictamnus albus* L. [分布]歐洲原産ノ②、野、自生。日本内地ハ栽培 [生薬]白鮮 *Radix Dictami* ハ花後根ヲ採乾セルニシテ、氣味微苦ニ [成分]根ニ *Dictamnol* $C_{12}H_{16}NO_2$ (揮発) *Oldannolaktol* $C_{10}H_{16}O_2$ *Saponin* 精油等ヲ含有ス、精油ニハ *Fraxinellon* $C_{14}H_{16}O_2$ ナル結晶物質ヲ含有ス。葉ニ精油0.15%ヲ含有ス。[藥效]葉; 白鮮ハ黃疸及諸瘡(朝鮮ニテハ白癩瘡風毒ニ内用ス)、要藥ニテハ又換毒利尿(黃疸黃疸)藥トス。歐洲ニテハ古來腫胎藥ニ供セリ。[備考]觀賞用トス。

Tribus (3) スノ 族 *Diosmeae* 互葉ハ單葉無翼披針狀線形又卵形倒卵形、鈍頭又銳齒凹頭、柄ニ深脚細鋸齒ニ細齒ヲ藏子房各室中ニ唯1ヶノ卵子ヲ藏ス。

(12) スノ 族 (卵形佛古、廣形佛古) *Barosma betulina* Bartl. *B. crenata* Kunze, *B. crenulata* Hooker, [分布]南亞東喜望峯地方特産、互葉ハ卵形ニ長卵形又倒卵形。[生薬]廣形グツニ葉又円形グツニ葉 *Folium Barosma lata seu rotunda* ハ以上諸種ノ葉ヲ採乾セルニシテ、黃綠色、質硬厚、油室細明点有、芳香性氣味有。[成分]葉ニ精油約1%ヲ含ミ、奇臭腺精油ニ類ス、精油1.20%ハ *Diosphenol* $C_{10}H_{16}O_2$ ト類スル結晶ニテ其他花葉メト一ノ *Menthon* $C_{10}H_{18}O$ *Hesperidin* 等ノ *Glycosid* ヲ含ム、其他結晶糖類及 *Oesterle* 及 *Wander* 氏ニ

スレバ *Diosmin* ヲ含ム。其他 *Bucco-Kampher* ヲ含ムト云。[藥效]英國ニテ利尿藥及興奮藥ニ用ヒ主ニ浸劑トス。(寧ニ奇方収載品)。

(13) ちようけい (長形佛古) *Barosma serratifolia* Willdenow, *Empleurum serrulatum* Aiton [分布]同前諸種。[生薬]長形グツニ葉 *Fo. Barosma longae* ハ披針形ニ線狀披針形也。他同前諸種。[成分]同前諸種。[藥效]同前諸種。

Tribus (4) やほらん 族 *Cuspariaceae* 互花ハ傘、中又中、*Pilocarpus* 属ハ正5数性花 $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ 、卵狀複葉。

(14) あん (ちちゆう) *Cusparia trifoliata* Engler [分布] *New-Granada* 原産。[生薬]樹皮ヲあんニテ石中ニ以 *Cortex Angosturae* トテニ藥用トス。[成分]樹皮ニ *Cusparin* $C_{11}H_{17}NO_3$ *Galipin* $C_{20}H_{21}NO_3$ *Galipoidin* $C_{19}H_{15}NO_4$ 等ヲ含有ス(凡テ塩基) [藥效]樹皮ヲ解熱藥ニ應用ス。

(15) やほらん 族 *Pilocarpus pinnatifolius* Lem. [分布]南米グツニ原産、互、羽狀複葉、長穗狀花序。[生薬]やほらんニ葉 *Folium Jaborandi* ハ葉ヲ採乾セルニシテ、革質、廣倒披針形ニ長倒卵形、微凹頭、柄ニ深脚、全縁有透明点、下面微毛。[成分]葉ニ *Jaborandi alkaloids* ヲ含有ス。其主塩基(有效成分)ハ *Pilocarpin* $C_{11}H_{16}N_2O_2$ 也。其他少量、*Isopilocarpin* $C_{11}H_{16}N_2O$ *Pilocarpidin* $C_{10}H_{14}N_2O_2$ *Pilosin* (*Carpilin*) $C_{16}H_{18}N_2O_2$ *Jaborin* $C_{22}H_{32}N_2O_3$ *Jaboridin* $C_{10}H_{12}N_2O_2$ 等ヲ含有ス、他ニ約0.5%ノ揮發油ヲ含有ス。[藥效]單葉やほらんニ葉ハ

主 = 塩酸ピロカリンの製造原料トス。本薬ハ眼病薬ナルカ主
 = 縮瞳薬トス。注射ハ散浸劑トシ蒸汗薬トスルモ房生塩基
 及精油ノ汚 = 不快ナル副作用アル故現今多ク不用。〔處方例〕
 ①局方塩酸ピロカリン *Pilocarpinum hydrochloricum*
 ハ皮下注射 = 0.01 ~ 0.02 g. 外用ハ 1 ~ 2 % 溶液点眼ス、極量 1 回
 0.02 1 日 0.04。②眼内障 = 塩・ピロカリン 0.1 ~ 0.4 溜水 10.0... 以上
 点眼 1 日数回。③眼内障 = 塩酸ピロカリン 0.2 サリチル酸エセリン
 0.02 溜水 10.0... 以上点眼 1 日数回、④蒸汗薬... 塩酸ピロカリン 0.1
 溜水 10.0... 以上注射用才 1 筒。〔藥理〕①塩酸ピロカリンハ
 選択的 = 副交感神経末梢ヲ興奮ス、故瞳孔縮小ヲ來ス外、胃腸、
 子宮ヲ收縮トシメ、又諸種ノ腺分泌ヲ旺ナラシム、殊 = 強烈ナル
 ハ蒸汗作用也。故蒸汗薬トシテ水腫、リウマチス、脂肪過多
 症、尿毒症、渗出性瘡病 = 1 回 0.0005 ~ 0.001 g. ヲ内服又皮下注
 射ス。縮瞳薬トシテハ 0.5 % 溶液ヲ点眼スルコトアルモ、其作
 用比較的弱キノミナラズ一定時間後 = ハ却テ散瞳ヲ來ス故
 縮瞳目的 = 不適當也。又秃頭症 = 0.5 % 溶液又髮膏トシテ貼
 スルコトアリ、1 回極量 0.02 g. 1 日極量 0.04 g. 也。② *Pilocar-*
pin ハ稍大量ヲ蛙皮下 = 注射セバ中枢性麻痺ヲ來シ、蛙露出
 心臟 = 對シテハ 0.5 % 溶液ヲ直接滴下スルニ、他 = *Nicotin* ノ作
 用ノ如ク、初出夫神経刺激ノ時、心搏緩速 = 擴張性靜止ヲ來
 ス。別出蛙眼 = 對シ塩酸ピロカリン 1 % 溶液ハ縮瞳作用
 ヲ呈シ、猫眼 = 對シ全液ヲ滴テ点眼セバ初瞳孔縮小シ、次テ散
 瞳ス。 *Pilocarpin* ヲ皮下 = 與レバ凡テノ瞳腺ハ數分後直 =

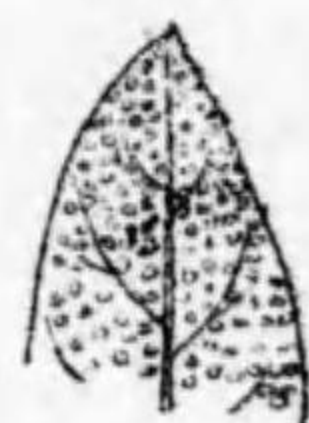
流涎ノ其作用 2 ~ 3 時間持續シ、唾液分泌量 $\frac{3}{4}$ 立 = 僅ス。眼
 = 於テハ副交感神経ヲ刺激スル事 = 依リ瞳孔狹小並調節差等
 ヲ起シ其作用數時間持續ス、而テ眼内圧ハ初上昇シ次テ下降
 ス。③馬ノ体重 1 匹 = 對シ *Pilocarpin* 2 ~ 3 mg. ヲ注射セ
 バ蒸汗作用亢進スルヲ認ム。今塩酸ピロカリン 0.01 g. ヲ
 皮下注射セバ 10 分後頸部 = 温度ヲ覺エ、皮膚紅腫シ、次テ烈ク
 發汗シ初流汗全身ヲ覆ヒ持續 2 時間餘、汗分泌量半立或時 =
 2 立 = 及ブ。汗腺ノ分泌ト同時 = 或ハソレ = 先ヅテ冠狀ヲ
 起シ、作用ハ 2 ~ 3 時間持續シ、其量半立 = 僅スル事不蓋 ④
Pilocarpin ヲ皮下注射セバ先其部 = 作用シ、且少量 = テハ注
 射部ノミ發汗シ、或ハ神経ヲ切断シ中樞ト連絡セラルルニ =
 尚有效ナル事實ヨリ推シテ、其蒸汗ノ末梢性ナル事ヲ知ル =
 足ルベシ。

Subfam. (ii) さるかけ-みかん亞科 *Toddalioideae* 5 ~ 5.
 單葉又奇數羽狀複葉聚繖又円錐花序、早合、F. f. = $K_{4+5}C_{4+5}$
A_{5+5}(G_{5+5}) 上、各心皮ハ 2 ~ 1 胚子ヲ藏ス、核果・翼果(乾性)
 或漿果、胚乳有又無。

(16) さるかけ-みかん *Toddalia asiatica* Lam. (*T. aculrata*
 Pers.) [A. 布] 琉台産ノ蔓狀互。〔生藥〕根及材ヲ藥用トス。〔成
 分〕Berberin. 及精油 (*Citronellol*) ヲ含有ス。〔藥效〕材ヲ煎
 服シテ強壯藥トシ又苦味健胃藥トス。

△(17) きばだ(ろせん-きはだ、黃藥・黃柏) *Phellodendron*
amurense
 Rupr. [A. 生] 津・兩千・北・本・四・朔ノ山地 = 点生スル互、栓(抱)

204 圖



(204圖) *みまじき* の葉の一部 (原圖) 植物圖のヲ
模ス。

皮 森 産 着 基。 (生薬) 黄蘗 (黄柏) *Cortex Ebello-*
dendrini 樹内皮ヲ剝取乾燥セルモノ也、灰黄

褐色ノ板状皮ニテ纖維性味極テ苦シ (剥皮ハ夏土用前後又秋ノ彼岸位ヲ獲長トス、先樹皮ヲ剝キ次テ尺ニテ踏ミ上反ヲ剝去ル)。果実ニ藥用ニ使ス。 [成分] 樹皮ニ Berberin 0.6% *Pal-*
matin 等ノ塩基並 *Obakunon* $C_{23}H_{35}O_4$ (結晶性 Keton 体)。
Obakulacton $C_{17}H_{16}O_6$ 及リノ一ニ酸、*Phytosterolester* γ -
8%ヲ含有ス、此 Ester ハ皮ヲ水ニテ浸出スル時ハ粘束状ヲ
ナス。果実ハ *Mannit* ヲ含有ス。 [藥效] 黄蘗ハ主ニ苦味健胃
藥 (粉末又煎劑) トシ效果大也。腹痛消化不良ニ奏效シ且皮質
藥・強壯藥・解熱劑トシ又眼病藥 (洗眼料) トシ有效、又消炎藥トシ
テ外用ス、1日 5~6g 服用。朝鮮ニテハ小便不調ニ内用ス。
樹皮ハ鎮痛ノ目的ニテ胃腸疾患 (腹痛・胃痛等) 子宮出血ニ用ヒ
又皮膚強壯・解熱・止瀉ノ目的ニテ古來熱性下痢・黃疸等ニ用ヒ
又皮下出血ノ吸收ヲ促スニ内服ス。1回 1~2g ヲ沸湯中ニ
1分間蒸出シ1日數回 (計 4~6g) 服用ス。外用藥トシテハ湯
火傷ニ皮粉末 30 匁・蕎麥粉 20 匁ヲ混合シ加水ヲ練リ局所ニ厚
ク貼付ス、数時間後乾燥セバ再患部龜裂中ニ擦リ込ミ反覆ノ
間ニテ瘡蓋ヲ生ズ、其時米露汁 (白水) 5 合ニ酒 5 合又酒精一
杯 (盃) 位ヲ加ハ、更ニ酸化鉛 1 匁ヲ加ハシ煎汁ニテ濕濕布スル
コト 1 日 3 回 3 日行ハハ瘡跡ナク快癒ス (此際瘡蓋ハ無理

ニ剥カスコト)。此他凍瘡ハ打撲症、リウマチス、疥癬 (皮膚疥癬)
ニ塗擦シ、小兒股癬ニ撒布藥トシ、或口唇ノ瘡爛、切創・胎毒・膿球
充血・下疳・瘰癧等ヲ其粉末煎汁ニテ洗滌シ或合飲シテ顕效果
アリ、其效力ハ防癩藥ニ与ヘテ一ニ不異。塗擦用ニハ特ニ
酢ト練リ、麻布料ニハ内皮ノ黄色部ノミヲ精選粉末トセルモ
ノヲ用フ。煎劑又軟膏劑トセルモノハ子宮出血ニ有效トシ
テ内服ス。北海道土人ハ本生藥ヲシコカト稱シ腹痛・足趾腫
等ヲ治シ死方爲藥ニ賞用ス。實藥・木曾名産「御岳百草」又「百
草」トハ主ニ黄蘗ノ水製軟膏劑ニテ解熱・止瀉・腹痛ノ妙藥ト
シ又水ニ溶レテ洗眼料トス。吉野河川産「陀羅尼助」ニ百草ト
同調劑也、是ヲ山陰地方ニテハ凍瘡ト稱シ腹痛ノ妙藥トシ又
眼血或結膜炎ノ洗眼料トス。果実ノ煎汁ハ殺虫劑トシ果内
油ハ黄柏油ト稱シ火傷ニ塗布ス。黄蘗ハ古來黄色染料トス。
(新藥) 本生藥ノ *Berberin* ヲ主成分トセル健胃・整腸・腸内殺菌藥
如次。ワカ末 (東京・南信堂) *Tanvonin* (タノボン)。 [藥理] (1)
Obakulacton ハ經口的投與又注射ニ依リ家兎ノ血糖料ヲ
著シク低下セシム、然モ *Adrenalin* 過血糖ニ對シテハ影響
無シ。(2) 本生藥ヨリ製出セル塩酸ハルバリンハ大腸菌・チブ
ス菌・コレラ菌等ニ對シ殺菌力ヲ有ス (若林氏)。(3) 同上、大量ヲ
動物ニ與フレバ呼吸障礙・下痢・痙攣等ヲ發ス。*Obakulacton*
ハ *ピクロトキシニン* ニ近似ノモノナラン。而テ蚯蚓ニ於テ
ハ毒力 *Santonin* ニ優リ蛔虫ニ就テハ *Santonin* ニ劣リ。
(處方例) (1) 梔子葉湯 (蒸汗後微熱不去、胸中鬱塞感有テ煩悶

シ頭部ノミ出汗 尿呈黃色者。黃疸等ニテ發熱者。蒸々發熱・飯血スル者)--- (1) 施子 14.0 黃蘗 12.0 甘草 6.0... 以上煎劑 200.0 1日3回分服。b) 施子 5.0 黃蘗 2.0 甘草 2.0... 以上3味水 200 ヲ 100 = 煎シ 1回 = 溫服, 1日2回。(2) 苦味健胃藥... 黃蘗 2.0 水 100.0 以上 1日量煎劑分服。(3) 全... 黃蘗末 1.5... 以上 1日量分服。(4) 全... 黃蘗末 1.0 重曹 2.0 桂皮末 0.5... 以上 1日量分服。(5) 鎮痛藥(打撲疼痛・リウマチ・神經痛等)... 黃柏末 桂皮末 山抱^{フチナシ}子末 各等分... 以上ヲ卵白ニテ練リ貼布外用ス。

(18) きはだ屬諸種 1) からふと-きはだ, ひろは-きはだ, (シニラ, 樺木黃蘗) *Phellodendron sachalinense* Sarg. [分布] 樺南千北本(北部)。2) みやま-きはだ *P. Lavalli* Dode [分布] 北本(北中部)。3) にっかろ-きはだ *P. nikkomontanum* Mak. [分布] 本(中部)。4) ふじ-きはだ (おぼは-きはだ) *P. japonicum* Mak. [分布] 本(中部)。5) ちゅうごく-きはだ *P. Kadamanum* Mak. [分布] 本(中國)。6) たけしま-きはだ *P. insulare* Nakai [分布] 朝・ワ。7) ひろろと-きはだ *P. molle* Nakai [分布] 朝。8) たいわん-きはだ *P. Wilsonii* Hay. et Kaneh. [分布] 台ノ山地。以上ノ生藥成分發效等ハ(1)きはだト大同小異ト見テ可也。同様ニ用フベシ。[備考] きはだハ内皮ヲ黃色染料ニ供シ材ハ器具用又鍍銀器具(金鍍等)トス。其他ノきはだ諸種モ同效アルベシ。

(19) みやましきみ (茜草) 及其諸變種 *Skimmia japoni-*

ca Thunb. [分布] 樺北・本・四・九・琉・台ノ山地生互, 点生〜叢生。(生藥) 莖葉ヲ茜草ト稱シ揉乾シ又生藥(外肌ヲ藥用トス, 但有毒也。[成分] 葉 = *Skimmianin* (Miyama-Skimin) $C_{14}H_{13}NO_4$ ナル塩基, 及 *Skimmin* $C_{15}H_{16}O_3$ (配糖体) 及精油ヲ含有ス。[藥效] 葉ヲ煎服シテ驅風(治風)藥又鎮痛藥トシ又煎汁ヲ以テ農用及家庭用殺虫劑トス, 香性強シ。(藥理) *Skimmianin* ハ蛙ニテハ筋ノ強直ヲ來シ, 家兎ニテハ痙攣ヲ來シ心臓麻痺ヲ起テ死ス。

(20) るしきみ及其變種 *S. repens* Nakai [分布] 本・四・九ノ山地生, 樺夫地下莖有リ。からふと-みやましきみ *S. intermedia* Nakai [分布] 樺北本(中部)。(生藥) 莖葉ヲ藥用トス。[成分] *Skimmianin* ヲ不含, 別ニ *Dictamnin* $C_{12}H_9NO_4$ (塩基) ヲ含有ス。[藥效] 莖葉ヲ煎服シテ驅風藥トシ, 煎汁ヲ寄虫驅除藥トスルコト同前種。

Subfam. (iii) みかん (密柑又だいだい亞科) 亞科 *Aurantioideae* 常緑互〜互葉有抹, 葉ハ $\frac{1}{2}$, 概單身複葉無翼全縁〜鋸牙縁, 稀ニ出葉, 屢回頭, 又羽狀複葉 (*Citrus* 屬以外ノ諸屬) 花序ハ腋生又頂生單立, 又腋生聚繖又叢生, 或繖房, 可能總狀花序。花ハ稍小形黄又白色, 萼, 萼, $F, f. = K: 5r, 4; C: 5r, 4 A: 4+4 v. 5+5 v. ; 15 \sim 25 \sim 40; G: (12 \sim 5) v. (6 \sim 10 \sim 15), 概 K: 5; C: 5 A: 15 \sim 25; G: (2 \sim 5) v. (8 \sim 11)$, 屢又稀 A 基部ハ癒合ス。漿果ヲ結テ, 屢外被ト果葉ノ多汁ナル發生物ヨリ成ル, *Citrus* (みかん) 屬ノ果ハ子室内ニ心皮内壁組織ヨリ突出セル ∞ ノ毛茸狀細胞ガ各

自急成長シ漿液ヲ充シ果胞内腔ヲ充塞セルモノ也。(多細胞毛)

205圖



Tribus (1) けつまつ (月橘族)

(205圖) からたちノ花(原四) 1. 花...
K₅C₅A_∞G(5-8) 2. 花ノ前側ヲ
切除シ内部ヲ示ス

Limoniinae 互; 羽狀複葉, 腋生

總狀圓錐花序 F. f. = K: 4~5; C_{4~5}A₄₊₄U: 5+5 G(2~4~5), 各
心皮ハ2~1 卵子ヲ着生, 漿果。

(21) けつまつ (月橘) *Chalcas paniculata* L. (*Murraya
exotica* L.) (分布) 琉球ノ山野生常緑互. 5 数花, G(2), 花夏秋,
成果冬。〔生薬〕根及花ヲ藥用トス。〔成分〕根及花 = *Murrayin*
ヲ含ム。〔藥效〕生薬ヲ煎服シテ收斂藥(下痢治療)トシ, 又合
嗽料トス。

(22) ひめわんび *Clausena limulata* Hayata (分布) 白ノ
山野生常緑互, 花夏。〔生薬〕根及葉ヲ藥用トス。〔成分〕精油及
Methylchavicol ヲ含有ス。〔藥效〕根ヲ細切シ酒水等量 =
テ煎服セハ解毒劑トナル。葉ヲ搗碎シテ毒蛇咬傷 = 貼付ス。

Tribus (2) みかん (密柑) 族 *Citrinae* 常緑互, 屢有球。
葉ハ橢圓身複葉 3 出複葉有明脈点, 屢凹頭。花ハ傘, 中, 腋
生又梢頭單立, 或腋生聚繖又叢生, F. f. = K: 5~7.4; C₅U: 4 U. 6~8
A: 15~25~40; G(6~10~15), 心皮 K₅; C₅A: 15~25; G(6~11), 心皮
ハ∞ 卵子ヲ着生, 漿果。 *Citrus* (みかん) 属 = テハ K(5)C₅A: ∞; G(∞)
トナリ, Aハ∞ 合着シ若干ノ把束ヲ成ス, 是 C₅ = 對立スル C₅A₅

+...ノ多分岐 = 由テ生ゼシモノ也, 心皮數ハC數ヨリ多シ
本属植物ハ花器將果皮外壁 = ∞ 油腺(室)ヲ包藏スル故果皮ハ
概種々ノ精油ヲ含有シ藥學上 = 利用セラル。

(23) からたち (もこく, 枳殼, 枸橘, 吳橘, 枳實) *Poncirus trifolia-
ta* Rafin (*Pseudaegle trifoliata* Mak.) (分布) 北
支原産, 日本(朝鮮)栽培。〔生薬〕枳實 *Fructus Citri trifoliatae*
ハ未熟果ヲ採集シ2片 = 横切乾燥セルモノ也, 外面青黑色
内部汚白色 5~12 房, 気味芳香性稍苦シ支那ヨリ輸入ス。支
那産枳實ハ *C. fusca* Lour. = 當ツルモ不詳。枳殼ハ成熟
果 = 4 裂片 = 開(軟ク圧搾)テ乾燥ス, 自家用ハ細切
スルヲ便トス。〔成分〕花及果皮 = ハ芳香強キ精油ヲ含ム, 主成
分ハ *Limonen*, *Linalool*, 酢酸リナロール *Linalylace-
tat*-アントラニル酸メチル *Anthraniisäuremethyles-
ter* 等ナリ, 他 = *Iso-sakuranetin* C₁₆H₁₄O₅ ヲ含ム。〔藥效〕
藥: 漢種 = 代用シテ單苦味健胃藥及驅風藥トス, 又止瀉藥ト
ス, 1回 2~5g, 1日 8~10g 煎服ス。枳殼ト共 = 肋骨弓下及
直腹筋ノ結実毒ヲ治シ, 胸膈(胃部膨満), 圧重ヲ除キ, 嘔吐ヲ鎮
メ, 食欲ヲ促進シ消化ヲ助ケ, 腹痛・胸膈膨満 = 用ヒ, 又祛痰利
尿・尿不消化ノ效アリ。又疝氣・脚氣・霍乱ヲ治シ呼吸器病者ノ
咳嗽腹水・水腫・便秘ヲ治ス, 1回 2~8g 煎服ス。黒燒ハ蜂蜜 =
テ煉リ壳頭 = 塗布シ有效。以上ハ熟果ヨリ未熟果ハ效力大
也ト云。〔備考〕生垣用トシ栽培シ苗ヲ密柑ノ白水トス。〔漢方
例〕(1) 小承気湯(腹痛・腹滿 = 便通無キ者) --- 大棗 4~5 厚。

朴3.5 枳實3.5, 水100.0...以上煎劑頓服。(2)枳朮湯(産後ノ
浮腫ニ利尿ノ效アリ)...枳實25.0 ^{白朮} 70.0...水200.0...以
上煎劑 1日3回分服。

(24) みかん (密柑) *Citrus Aurantium* L. subsp. *nobilis* Mak. [分布] 東南亞(南支?) 原産, 日本栽培。らんしう-み
かん var. *unshiu* Mak. [分布] 南支原産, 日本栽培。〔生薬〕
陳皮(和陳皮又柑皮) *Pericarpium Auranti nobilis* ハ果
皮ヲ剝離乾燥セルモノ也。暗黄又橙黄色内面類白色ノ殼皮
ニテ氣味芳香性甚シ。青皮ハ未熟果皮也。花及果肉モ藥用
トス, 鹿兒島・三重・和歌山・靜岡・愛媛多産。〔成藥〕果汁ニ多量ノ
Vitamin C 及枸橼酸 1~3% 糖分ヲ, 果皮ニ精油 (90% 以上
ノ右旋リモネン *d-Limonen* ヲ含ム) 及 *Hesperidin*
(配糖体) ヲ含有ス, 是ハ酸又酵素ニ依テ如次加水分解ス...
$$\text{Hesperidin} \quad \text{Hesperetin} \quad \text{Glucose} \quad \text{Phosphatase}$$

$$\text{H}_3\text{C}_4\text{O}_8 + 2\text{H}_2\text{O} = \text{C}_{16}\text{H}_{14}\text{O}_6 + \text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + \text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_5$$
。〔藥效〕陳皮ハ專
ニ芳香性健胃藥トシ, 又吐逆ヲ治シ感冒(鎮咳) 祛痰藥トシ
テ煎服ス。果肉果汁ヲ止瀉藥トス。青皮ハ發汗鎮咳藥トシ
テ感冒及咳止ニ煎服ス。1回3~5g。朝夕煎用。生果皮ヨリ
局方密柑油 *Oleum Auranti* (橙皮油)・橙皮丁・橙皮合利
別・橙ヲ製ス。花ヨリ橙花油・橙花水ヲ製シ香料及藥用トス。
果皮(陳皮)ヲ香味料ノ七味唐辛(香辛料)ノ原料トス。〔備考〕果ヲ
食用トシ植物ヲ觀賞用トス。変種甚多シバニみかん・けんも
せうかん・ほんき・ほんかん・たちばな等是也。〔處方例〕(1)健胃消
化藥...陳皮末(青皮)末ヲ用レバ感冒藥トナルル 1.0 黃蓮末 0.5

甘草末 0.5...以上3味 1日量3分服。(2)健胃強壯劑...陳皮末・
黃蘗末・黃蓮末・人參末・甘草末 各 0.5...以上5味混和 1日3回2
日分。(3)消化不良且吐氣アル者...陳皮 3.0 ^{S. Lappa} 木香・人參・半夏・丁
香 各 0.5 水 200.0...以上5味煎劑 1日量3分服。

(25) ほんかん (四柑・椪柑) *C. Aurantium* L. subsp. *nobilis* Mak. var. *poonensis* (Hay.) Mak. et Nem. [分布]
南支原産? 日本(台)栽培。〔生薬〕果皮・果肉ヲ藥用トス。〔成
分〕果汁ニハ枸橼酸・果肉色素ハ β -Carotin・Carisaxanthin・
Violaxanthin 等ヲ, 果皮精油ハ *d-Limonen* 1
外 *Decylaldehyd*・*Octylaldehyd* 等ヲ含有ス。〔藥效〕
果皮ヲ煎服シテ滋養強壯・腎臟疾患・感冒・祛痰藥トシ, 又芳香性
健胃藥トス。

(26) なつみかん (夏密柑・夏橙) *C. Aurantium* L. subsp. *Natsudaidai* (Hay.) Mak. et Nem. (*C. Natsudai-*
dai Hay. 可ナラシム?) [分布] 南支原産? 日本栽培。〔生薬〕夏
皮 *Pericarpium Natsudaidai* ハ熟果皮ヲ剝離乾燥セ
ルモノ也。橘黄色有孔窩, 氣味芳香性甚シ。山口・愛媛・和
歌山高知縣・台多産。〔成分〕果實ハ糖類及有機酸(主ニ枸橼酸)
2~5%・精油 0.3~0.5% ヲ含ム。果皮ハ *Naringin* $\text{C}_{27}\text{H}_{32}\text{O}_{14}$
及精油ヲ含ム。即果皮ノ水蒸氣蒸留ニ得タル密柑油ハ *d-*
Limonen (約 95%)・*n-Decylaldehyd* $\text{C}_{10}\text{H}_{20}\text{O}$ ・カプリ
ル酸エステル *Caprylsäurenonylester* $\text{C}_7\text{H}_{15}\text{-COO-C}_{10}\text{H}_{17}$
等ヲ含有ス。果皮ヲ压榨ニテ得タルおれんじ油ハ上記成分

1) 揮発物 / Umbelliferon $C_9H_6O_3$ - Aurapteren (4-Heptylätherumbelliferon) $C_{16}H_{23}O_3$ 等ヲ含有ス、後者ハ夏密柑特有ノ芳香ヲ有ス。〔藥效〕果実ハ食用ニ供シ清凉制止渴劑トナル。果皮ハ芳香料トシテ浴湯劑トス。成熟前ニ自然落下ノ未熟果(俗稱夏密柑)ハ枸橼酸^{オレンジ}・橙油・密柑油等ノ製造原料トス。果皮压榨油ヲ^{オレンジ}橙油・蒸溜油ヲ密柑油ト稱シ前者ヲ良品トス、和歌山縣湯淺町山口縣萩町ニ製造工場アリ。橙油・密柑油ハ矯味矯臭藥、枸橼酸ハ白色結晶ニテ清凉劑トス。

(27) だいだい (唐密柑) *C. Aurantium* L. subsp. *simensis* Engl. [分布] 支那原産、日本栽培、果ハ稍球形也。〔生藥〕果皮ヲ紅皮・黃橘皮・陳皮等ト稱シ藥用トス、廣東柑皮又唐柑皮トシテ輸入ス上岳也。〔藥效〕果皮ヲ苦味健胃藥トス。苦時疫、氣逆、食慾助、消化制止、嘔吐トセリ、1回1~2g. 煎服ス(但シ脱汗又盜汗ニハ禁ス)。

○(28) だいだい (橙酸橙・回春橙・臭橙) *C. Aurantium* L. subsp. *amara* Engl. [分布] 東印度原産、日本栽培。〔生藥〕橙皮 *Pericarpium Aurantii* ハ総數果皮ヲ剝離縦切乾燥セルモノ也。黄赤又赤褐色有^の窩點、味ハ芳香性苦シ。未熟果皮、果皮、葉花等ヲ藥用トス。山口、愛媛縣多産ス。〔成分〕果皮ハ精油約0.15%ヲ含シ主ニ右旋リモネン *d-Limonen* 也、其他 *Aurantiamarin* - *Aurantiamarinsäure* - 苦味性配糖体 *Hesperidin* $C_{23}H_{34}O_{15}$ ハ特ニ未熟果皮中ニ多^ク含ス、他ニ苦味質ヲ含ム。芽ニハ *Stachydrin* (糖基)ヲ含

ム。葉ハ0.23%ノ精油ヲ含シ、主成分ハ^{シトロネロール}縮酸-Linaloolニテ其他 *Citronellol* - *Geraniol* 等、^{カプロン酸}*Capronsäure* 又 *Citronellsäureester* (Ester 計60%)・^{シトロ}苦草酸・*Terpen* 等ヲ含ム。花ハ精油(橙花油)約0.5%ヲ含シ、主成分ハ^{シトロ}左旋ピネン *l-pinen* - *l-Camphen* - *Dipenten* - *Anthranilsäure-methylester* - *Indol* - *l-Linalool* - ^{シトロ}縮酸・リナロール *Linalylacetat* - *Nerol* $C_{10}H_{18}O$ - *Nerolidol* (Sesquiterpen) 等也。果実ニハ *Hesperidin* 及 *Stachydrin*ヲ含ム。〔藥效〕局方橙皮ハ芳香性苦味健胃藥又發汗・祛痰藥トシテ1回1~2gヲ煎服ス。又苦味丁幾(局方)ニ配合シテ用フ。未熟果ヲ未熟橙實ト稱シ苦味健胃藥トス。独局方ハ苦味丁幾ノ原料トス、芳香アリ、1回1~2g. 煎用ス。果皮ハ局方橙皮シロツボ *Sirupus Aurantii*; 局方橙皮丁幾 *Tinctura Aurantii*, 局方苦味丁幾 *Tinctura amara*, 局方複方 ^{シナチン} *Tinctura Chinæ Composita* 等ノ製造原料トス。橙皮シロツボハシロツボニ15%ノ橙皮丁幾ヲ加ハタルモノ也、7日5.0~10.0ヲ水劑ニ配伍シテ内用ス、健胃藥・強壯藥トス。局方橙花油 *Oleum Aurantii Floris* ハ花ヲ蒸溜シテ得ル精油ニテ矯味矯臭藥・化粧料トス、1回1~3滴ヲ内用ス。局方橙花水 *Aqua Floris Aurantii* ハ橙花油1.0蒸溜水1000.0ヲ混和製ス、合劑ノ賦形藥又矯味矯臭藥トシ又鎮靜藥トシテ喘息等ニ有效也、外用ニハ洗滌劑ニ配伍ス。橙皮油ハ生橙皮ヲ压榨又蒸溜ニテ得タル類黃色精油ニテ芳

香アリ味苦シ、沃度=燥喉ヲ發シ、酒精=不潔性胃腸味矯臭藥トス、民間試息=有效トシ、橙又菴宜蕉茸2個、冰糖適宜...以上
 3味ノ煎汁=大根御シヲ加ハ毎日服用治ス。橙皮丁幾ハ橙
 皮1分=稀酒精5分ヲ混製ス、類褐色液也、芳香性健胃藥=テ
 他藥=配伍シ1日2~6g.ヲ數回=服用ス。橙皮合利別ハ
 橙皮丁幾15分=單合利別85分ヲ混入セシモノ、有芳香類褐
 黃色液也、芳香性健胃藥トシ又矯味矯臭藥トシ他藥=配シテ
 用フ。乾橙葉ハ鎮痙藥トシ1回2~4g.浸劑トシ服用ス。
 橙皮橙汁液ヲ熱湯=入レ飲バ發汗劑トナリ、又火=燒キ布片
 =包ミ橙汁ヲ袋^フ袋^ケ=用ヒテ效アリ。〔備考〕果実橙汁ヲ酢ノ代
 用トス。橙皮油ハ水=加ハ清涼飲用トス。果実ヲ年始ノ飾
 =用フ。又觀賞用トス。〔處方例〕(1)慢性胃加答兒藥--橙皮し
 ろっぶ 8.0 龍膽越幾斯 2.0 溜水 180.0...以上調和毎3時1
 食匙宛。(2)急性胃加答兒...橙皮しろっぶ 10.0ホミカ丁幾 2
 滴、重曹 2.0 溜水 160.0...以上調和毎1食匙宛。(3)便秘藥...
 橙花水 30.0 しろっぶ 20.0 ヤラツバ脂 0.5 卵黃 1箇...以上
 調和毎時1食匙宛。

(29) くねんぼ (九年母・香橙密橙) *C. Aurantium* L. subsp. *amara* Engl. Kunempo Mak. (分布) 印度原産? 日本栽培。
 [藥效] 果実ヲ食用トス。果皮ヨリ橙皮油ヲ採取シ、落果ノ汁液
 ヨリ枸橼酸ヲ製ス。

(30) ゆず (柚) *C. Aurantium* L. subsp. *junos* Mak. [生藥] 果皮及花蕾ヲ藥用・香味料トス。〔成分〕果皮=精油 0.1~

1.3% (主成分ハ Citral) 及苦味質ヲ含ム。〔藥效〕果汁=砂
 瀉ヲ加ハ熱湯ヲ注ギ飲バ解熱劑トナリ感冒ヲ治ス。果皮ヲ
 刻ミ煎食セバ健胃・祛痰藥トナル。果皮ヲ煎服シテ健胃・驅風
 矯味矯臭藥及産後腹痛藥トシ又果実ヲ浴湯料トス。派熟果皮
 ハ芳香強ク主ニ香味料トシ調味料トス。果実ハ酸味頗強ク
 果汁ハ酢ノ代用トシ料理=加用ス。

(31) とこゆず (くとら・苦橙) *C. Aurantium* L. subsp. *junos* Mak. f. *verrucosa* Mak. (*C. Bigaradia* Duhamel) (分布) 南欧(南佛及南伊原産)、日本栽培。ゆず
 ニ比シ果ハ小形多産也。〔生藥〕橙皮又苦橙皮 *Cortex Fructus Aurantii* ハ熟果皮ヲ剝離乾燥セルモノ也、気味芳香
 性味甚苦シ。〔成分〕果皮=精油(橙皮油)ヲ含ム、主成分ハ d-
 Limonen・L-Linalool・Linalylacetat 等也。〔藥效〕果皮ヲ單味應用スル外丁幾・越幾・耶合別別トシテ苦味健胃
 藥又矯味矯臭性ノ他使藥トスル外橙皮油製造原料トス。佛
 國=於テ橙花油 *Oleum Aurantium* ハ專ヨ本類ノ花ヨリ
 果シ Pinen・Camphen Linalool 等ヲ含有シ化粧料=賞
 用セラル。

(32) れもん (まる-ぶしゆかん、檸檬・檸檬樹) *C. medica* L. Subsp. *limonum* Hook. f. (*C. limon* Burm. f.) (分
 布) 熱亞(前印度トモ云)原産、日本栽培。〔生藥〕枸橼皮 *Pericarpium Citri* ハ熟果皮ヲ螺旋帶狀=剝取乾燥セルモノ也、黃褐色、気味
 芳香性稍苦シ。又果肉ヲ快用ス。大産地ハ伊・シシリ一島及北

水ガカリナ州也。廣島縣御手洗島多産ス。〔成分〕果汁=枸橼酸 6~7%, 糖分 1~2%, 粘液コム質・Vitamin (特 C 多) 等ヲ含有ス。果皮ハ精油約 0.3% (d-Limonen $C_{10}H_{16}$ 90%, Citral, Phellandren, 醋酸ケラニオール Geranylacetat, 醋酸リナロール Linalylacetat), Pectin, Citronin 等ヲ含有ス。其他配糖体 (Hesperidin) 及苦味質ヲ含ム。〔藥效〕果皮 (準高枸橼皮) ヨリれもん (枸橼) 油ヲ推取シ枸橼皮 (果皮) ト共ニ芳香薬又芳香性健胃薬トス, 又清凉劑トシ飲食物・香水等ニ芳香ヲ附ス。果肉ハ酸味強ク生食不適ニ果汁ヨリれもん汁ヲ搾リテ調味薬料トシ又枸橼酸 (サイダー) ニ酸味ヲ付ス) 製造ノ原料トス, 又香味矯臭薬トス。局方れもん油 *Oleum Limonis* ハ矯味薬トシテ 1 日 0.05~0.15 g. ヲ用フ。局方れもん精 *Spiritus Citri* ハ矯味及矯臭薬トシ他ノ水劑ニ配位シテ用ス。他ニ局方アンモニア精及芳香精アリ, 準高・酸性れもんしるつニアリ。枸橼油ハ矯臭薬ニテ清凉飲料リもハ一ニハ是ヨリ製シ, 諸肉類及菓子ノ香味料トス, 是ヲ洗面器水中ニ滴下シ常時使用セバ日焼ケヲ豫防ス。〔備考〕果実ヲ砂糖漬又砂糖煮トシ食用トス。

(33) ぶしゆかん (てぶしゆかん・佛手柑) *C. medica* L. subsp. *Limonum* Hook. f. v. *Chirocarpus* Lour. [分布] 歐亞原産, 日本暖地栽培。〔成分〕果皮 = Hesperidin ヲ含ム。〔藥效〕果皮ヲ煎服セバ水気浮腫ヲ治シ振ハ瘰癧血四張ヲ治ス。1 回 2~3 g. 煎用ス。〔備考〕觀賞用トス。

(34) きんかん (まるみきんかん, 金橘, 金柑) *Fortunella japonica* Swingle [分布] 支那原産, 日本栽培。〔成分〕果 = 18.9% Galactan, 27.7% Pentosan ヲ含ム。〔藥效〕果実ヲ蒸焼トシ湯ニテ飲メバ解熱・咽喉痛・麻疹・咳嗽・梅毒・百日咳等ニ有效。葉 7~8 枚ヲ炙リ車前葉 3 枚ヲ加ヘ煎服セバ燥咳藥トナリ將ニ百日咳ヲ治ス。〔備考〕別ニまめきんかん *F. Hindsii* Swing. (印度原産), ながみきんかん *F. margarita* Swing. (支那原産) 等アリ, 何レモきんかんト同效アリ。香果ヲ食用及觀賞用トス。

Fam. (Ⅷ) にかき(苦木)科 *Simarubaceae* (206~207 四
参照).

形質—— 2~5 樹皮及材富苦味質甚苦シ, 髓中多数生樹脂道アリ。葉ハト希シ有病斑無托葉又細微早落性, 概羽状複葉縮單葉全縁又歯牙又鋸齒縁。花序ハ概早合, 稀早細小葉美, 蕈状, 同維花序ニ排列。花ハ ⊕ ⊙, 5~4 数性; 花盤ハ A-G 間ニ突出シ杯状又環状, 有鋸齒又缺刻, 稀有子房柄, F. f. = K: 5 v. 3~7; G: v. 3~7 A: v. 5+5 r. ∞ G_(5~7); 雄 K₅ C₅ A₅ v. 5+5 r. ∞ G₍₅₎; K-C ハ 3~7 雄性, C ハ 5 列雄雄合列; 各心皮ハ柱頭花柱ニ房ノ筒レカニテ結合シ概其何レカニテ結合ス, 各心皮ハ概 1ヶ房 2箇ノ側生卵子ヲ生ス。果実ハ蒴果又翅果又核果也, 種子ハ無胚乳精有。

成分及效用—— 化學成分ハ何レモ苦味質ヲ含ム, 特異ナル

206 圖



(206圖)にかきノ花・果
及解剖(白沢氏)
1. 子 = $K_5 C_5 A_5 + 5G(5)$
2. 果 = $K_5 C_5 A_5 G(5)$
3. 子ノ縦断面
4. 種子

ハ Quassin 及 Picras-
min 也。其他 Quer-
celin, Phytosterin,
Beheninsäure, 糖酸・
糖酸・酪酸・鹼酸・Alkaloid, Glyko-
sid, 揮發油, 脂肪等ヲ含ム。兼用
驅虫用・木材用・染料又觀賞用ニ供
スルモノアリ。

(207圖) クワシヤノ葉及花(解剖)
1. 奇数羽狀複葉(柄有翼) 2. 花
207 圖 (前方ニ除去) $K_5 C_5 A_5 + 5G(5)$



糖酸・酪酸・鹼酸・Alkaloid, Glyko-
sid, 揮發油, 脂肪等ヲ含ム。兼用
驅虫用・木材用・染料又觀賞用ニ供
スルモノアリ。

分指及根莖數——世界ニ亙リ
高 200 餘種ヲ産シ、主ニ熱帯ニ
帯ニ生シ。日本ニ自生ス栽培ス
ルモノ 4 種 6 種ヲ下ラス。

本科ノ藥用植物:-

○(1) にかき (苦木, 黃棘樹) (206 圖) *Picrasma quassi-*
oides Benn. (*P. ailanthoides* planch.) [分生]
北・本・四・九・朝・琉・台ノ山野ニ点生又散生スルモノ。[生藥] 苦木
Lignum Picrasmae ハ木部ヲ採乾セルモノニテ切片
又削片トス、樹皮ト共ニ頭若シ、質緻密黄白色也、神奈川・長野
縣多産ス。[成分] 苦味成分ハ結晶性苦味質 Quassin C_{31}

$H_{42}O_9$ 凡 0.012% 也、他ニ單寧質, Gerbsäure 0.2% ヲ含ム。
果実(將種子)ノ脂肪油ハ Petroselinssäure $\Delta 6,7$ -Octa-
decensäure $C_{18}H_{34}O_2$, Palmitinsäure 等ノ Glycerid ヲ
リ成ル。[藥效] 樹皮及材ハ苦味激烈故苦味健胃劑(1日1~2g
散又煎用)トシクワツシヤ⁷木ト同用ス。又 10% 煎液ハ驅虫
瀉腸劑(蟻虫等)トシ、又人畜無害ノ殺蠅藥トス、又家畜及農作
物ノ殺虫劑トシ菜虫・油虫・虱等(人類ノ頭虱モ)總テノ害虫
ヲ死滅セシム。枝葉亦同様目的ニ煎用シ得。煎汁ハほろろ
代用トシテ麥酒ニ苦味ヲ附ス。局方苦木(或クワツシヤ⁷木)
ハ健胃苦味藥トシテ1日數回 1.0~2.0 ヲ煎散・浸劑トシ又酒
劑トシテ内用ス。局方苦木越發斯(カツシヤ越發斯) *Ext-*
ractum picrasmae ハ健胃苦味藥トシテ 0.3~0.6~1.0g
ヲ水散・丸劑トシテ内用ス。局方苦木丁癸(カツシヤ丁癸)
Tinctura picrasmae ハ同上トシテ1日3~4回 1.0~
1.5g ヲ内用ス、又濃煎液ハ農用・家庭用殺虫又殺蠅劑トス。漢:
健胃・頭痛等ニ内皮ヲ刻ミ熱湯浸服用ス、1日4g。民: 枝葉
煎汁ヲ浴湯ニ注入シ痔疾ヲ治ス(懸法亦可?)。[備考] 木材ヲ
製兵用トシ、樹皮ヲ染料トス。[藥理] Quassin 適用ヲ用レバ
唾液・膽汁・尿ノ分泌ヲ促進スルモノ、過量ハ咽喉及胃部疼痛・眩暈・嘔
吐・前庭下痢等ヲ惹起ス(Compardent 氏)。小兒ハ浸劑瀉
腸後; 嘔吐・大神直筋ナル虚脱状態ニ陥ルコトアリ(Lewin
氏)。

(2) にはうるし (しんじゆ橋, 臭椿) *Ailanthus altissima*

Swingle (*A. glandulosa* Desf.) (分布) 支那原産, 日本歸化 (又栽培). (生薬) 樹皮ヲ薬用トス. (成分) 樹皮 = Palmitin, Stearin 及 Olein ヨリ成ル脂肪 Cerylalkohol, Phytosterin, 糖化糖苦味質, Gerbstoff, Phlobaphene 等ヲ含ム. 葉ハ Ellagitannin 及 Gallotannin ノ混合セル Gerbstoff ヲ含ム 外生葉 = Quassin ヲ含ムト云. (藥效) 樹皮ハ煎用シテ下血ヲ止メ (止血劑) 又殺虫劑トス. 朝鮮 = テハ根ノ白皮ヲ標根白皮ト欲シ婦人帶下 = 内用ス. (備考) 吹水各地 = 移植シ行道樹トス, 葉ハ橋登ヲ可飼, 材ハ輕虛 = メ繩屬 = 不中最新用ノ材也.

(3) くわっしや (くわっしや木, スリナム・くわっしや木, 括夾至 (207 回) *Quassia amara* L. (分布) 西印度アンチルレン諸島時スリナム産ノ互, 高 5m, 花赤色筒状. (生薬) くわっしや木 *Lignum Quassiae* 又スリナム・くわっしや木 *Lig. Quas. surinamensis* ハ材 (幹枝) = 皮部ハ黄灰ハ黄褐色, 堅脆 = 刺難シ易シ木部ハ輕ク淡色, 容易ク破折ス. (成分) 幹枝・皮 = 苦味質 (Quassin 混合物) ヲ含有ス. (藥效) 生薬ヲ苦味健胃藥 (煎劑又丁癩) トス. 又入水 = 無害ノ驅蛔藥ヲ製シ或ほつ 水代用品トシテ麥酒 = 苦味ヲ附ス.

(4) シヤマイカ・くわっしや (シヤマイカ・くわっしや木) *Picrasma excelsa* Blanch. (分布) 西印度シヤマイカ島及他ノ諸島産ノ互, 高 19m, 帯緑色細小花ヲ開ク. (生薬) シヤマイカ・くわっしや木 *Lignum Quassiae jamaicensis*

ハ共材也. (成分) 材・皮・枝等 = Picrasmin ナル苦味質 (混合物) ヲ含ム. (藥效) 同前種, 但シ前種より上等トス.

Fam. (x) かんらん (檳榔) 科 *Burseraceae*

形質 —— 互又互, 樹皮其他 = 離生樹脂道ヲ有ス. 葉ハト, 概被葉 (3 出 ~ 奇数羽状) 稀單葉. 花器ハ傘又早傘, 細小, 集傘腋生又頂生ノ總状 ~ 再錐花序 = 排列. 花ハ ⊕, ⊙, 5 ~ 3 数性. F. f. = K (3 ~ 5), C (3 ~ 5); A₃ + 3 ~ 5 + 5 G (3 ~ 5) r. (2); C ハ瓦列又繖合列, A ハ K 又 C ノ 2 倍數, 2 ~ 5 子室各室概 2 稀 1 ケノ側生卵子ヲ含ム, 花柱ハ單絲, 花盤ハ杯状又環状ノ着生又不着生. 概核果 (2 ~ 5 ケノ石核ヲ有ス) 又開裂果, 果壁裂性, 種子ハ無胚乳.

成分及效用 —— 脂肪油・揮發油・ゴム樹脂 = 留ム, 而テ糖基及配糖体ヲ有スルモノナシ. 藥用ノ外食用果實又油料種子ヲ生ズル外藥有用樹脂ヲ含有ス.

分布及屬種數 —— 世界 = 約 18 屬 600 種ヲ産シ, 主 = 熱 ~ 亞熱帶 = 分布ス. 日本産無ク栽培ハ 1 屬 (或 2) 種也.

本科ノ藥用植物: —

(1) かんらん (はくらん・りよくらん・檳榔) *Camarium album* Raeusch. (分布) 熱亞 (支那支) ノ原産, 日本台栽培ノ互. (生薬) 檳榔 *Fructus Camarii* ハ果實ヲ燥乾セルモノ也, 核果ハ鈍 6 稜長楕円形長 3.5 cm, 徑 1 cm, 暗紫色, 質極堅硬, G (2), 各 1 ケノ長卵形仁ヲ包有, 仁ハ味酸和油様也. (成分) 種子 = 精油 7 ~ 8 %

ヲ含ム。其中ニテ酒精不溶成分ハ樹脂ニテ其成分ハ Brein, Bryoidin, Breidin, Amyrin 等也。並ニ種 C. luzonicum A. Gray, 樹脂ハ Manila-Elemi ト稱シ Elemolsäure $C_{27}H_{42}O_3$ 5~10%、 α, β -Amyrin $C_{30}H_{50}O_2$ 20~25%、樹脂 20~25%、精油 20~25% 等也。[藥效] 果実ヲ緩和滋養藥トス。一切ノ魚毒ヲ消(解毒藥)ス、河豚魚ニ本果ヲ加バ中毒少シ、又魚骨ノ咽喉ニ刺リタルハ本果ヲ嚼ミ汁液ヲ嚥下セバ除骨ス、其他酒毒及諸毒ヲ消ス效アリ。一回 4~8g 煎服ス。果実ハ肺結核ヲ治シ、血行ヲ長クシ、胃ヲ開キ、死ヲ下シ、痔ヲ止メ、咽喉病ヲ治ス。種子体汁ヲ口唇ニ塗布シ燥癢口舌炎ヲ治ス、核ハ骨硬小兒ノ痘瘡、瘡下血ヲ治ス。種子ヨリ橄欖油ヲ搾リ藥用(オリーブ油ト異ル)又食用(?)トス。樹幹ニ橋ケ樹脂ヲ採集シ藥用トス。[備考] 橄欖ニ 2 種アリ、甲ヲ白橄 *C. album* 乙ヲ烏橄 *C. pimela* ト云フ、共ニ南支那産ニテ子実ヲ食用トス、洋人ハ Chinese olive ト云、之ヲ異ノ olive (木犀科)ノオリーブノ実ヲ橄欖ト記スルハ誤モ亦甚シ、從テオリーブ油ト橄欖油トハ全別物也、世人勿誤。

○(2) みるら (密兒拉) *Commiphora Myrrha* Engl. (*Balsamodendron Myrrha* Nees.) [分布] 南アラビヤ及北アビシニヤ原産(又東弗ソマリー地方山地産ト云)、及 *C. abyssinica* Engl. (みるら一種) [生] 紅海沿岸アラビヤ及東北亞弗ソマリー沿岸産ノ互ニ異、共ニ円形核果尖又突端、花ハ $K_{(4)}C_4A_{4+4}G_{(2-3)}$ 。[生藥] みるら (沒藥) *Myrrha*

ハ樹皮中ヨリ自然ニ滲出スル黃色液ノ自ラ乾燥固結セルヲ採集セルニハ樹脂ニテ不整塊片也、黃褐又淡赤色粗澀面ニテ主ニ萜類及脂肪ヨリ成ル、本品ハ脂肪性みるらト異リ硝酸及水ニ反應ヲ缺ク。[成分] *Myrrha* ハ 28~30%、樹脂 (*Myrrhol*) 及精油ヲ含ム、樹脂ハ種々ノ樹脂酸 (*Commiphorsäure*, *Commiphorinsäure*, *Heerabomyrrhololsäure*, *Heerabommyrrhol* 等) ヨリ成ル。其他「ゴム」質 *Gummi* ヲ含ム。[藥效] 樹脂ハ気管枝・子宮・膀胱等ノ諸器官ノ粘痰分泌過多症ニ其抑制劑トシテ内用シ、又通經藥健胃藥トシ、齒科ニテ齒齦感爛部ニ嗽料トシテ外用ス。局方 *Myrrha* ハ強壯・健胃・利尿藥トシ、又慢性気管枝加答兒ニハ抑制劑藥トシテ用ヒ、*Aloe* ト配伍シテ通經藥トス、用量 0.3~1.5g ヲ散又丸劑トシテ与フ、外用ニハ收斂藥トシテ化膿性潰瘍・瘡口・唇・扁桃腺炎・齒齦炎等ニ齒齦粉・含嗽塗布料ニ供シ、又気管枝加答兒ノ嗽入料トス、又局方みるら丁裁 *Tinctura Myrrhae* ヲ造ルニ用フ、丁裁ハ流口・含嗽米塗布料トシテ齒齦ニ塗布ス。

③ にらから (乳香、乳香樹) *Boswellia Carteri* Birdwood, *B. Bhaudajiana* Birdwood, *B. sp.* 諸種 [分布] 亞弗ソマリー海岸地方及其對岸アラビヤ沿岸地方産ノ草、白又淡紅花。[生藥] 乳香 *Olibanum* ハ乳香屬植物幹ヨリ滲出スル樹脂ノ凝固物ヲ採集スルガ又樹幹ニ截口ヲ附シ滲出樹脂ノ固結ヲ待テ採集ス、佳岳ハ帶黃・類赤・灰色等ノ塊狀ニテ破面蠟燭光澤アリ、水中ニ崩潰シ中性潤滑液ト

ナリ。咀嚼セバ軟化ス、味芳香性微苦粘痰性也。〔成分〕主=無晶形ノ樹脂=チ榜ヲ30%、ニモ及7%ノ揮發油(主=Terpen)ヲ含ム。樹脂=33%、Boswellinsäure及其Ester 1.5%、Alibanol 33%、苦味質0.5%、Gummi 20%ヲ含ム。其他精油weikrauschölヲ含ミ其主成分ハ5~9%、l-d-Pinen・Dipenten・Phellandren・Cadinen等也。〔藥效〕昔ハ硬骨ノ基礎劑トセシモ現今ハ專ヲ薰香料トシテ薰物トス。乳香ハ最古藥品ノ一ニシテ昔時ハ内用トシテ慢性気管枝加苔塊ニ用ヒ外用ニハ膏藥ノ混和料トセリ。漢方ニテハ骨節打撲症等ノ疼痛緩和劑トシテ1回1~4g。内服ス又癰疽瘡瘍心腹痛(鎮痛)劑トス。〔備考〕乳香ハ埃及ハニキア等ニテ上古以來拜神ノ薰烟料トシリ。

Fam. (X) せんだん(棟)科 Meliaceae

形質一五~五,又五~H(外圍), 概介必細胞ヲ有ス。葉ハ少稀ナ, 有柄無托葉觀奇數羽狀稀偶數羽狀又2~3回羽狀複葉, 極稀單葉(外國), 概全緣厚齒牙緣。花器ハ概全細小又小, 聚繖又再錐花序ニ排列。花ハ母, 花托ハ平凸狀又多形ノ外生物ニ変ス, 花盤無又土發育, 花ハ5數生稀4~7數性, F. f. = K_{4~5}; C: 4~5 r. 3; A: 8~10 r. 4~5; G (2~5) r. 1; Cハ極稀10, 互列・鑷合又回旋列, Aハ概花絲ハ土單体ニ結合稀分離; 2~5稀1子室, 各子室ハ概1~2ヶ稀3~∞ノ側生半側生又稍寄生卵子ヲ含ム, 花柱ハ單体又缺如ス。果實ハ核果漿果又蒴果

也、種子ハ胚乳有又無。

成分及效用——苦味質ヲ含ムモノ多ク、脂肪油及特有ノ有毒性酸類例バDesoxylonsäure・Lansiumsäure・Heynessäure等ノ如シ、Alkaloidハ極稀ニシテ僅ニNaregamminアルノミ。本科ハ藥用油用木材用觀賞用等ニ供スルモノアリ。

分布及屬種數——世界ニ凡42屬750種ヲ産シ、主ニ熱〜亞熱帶ニ分布シ温帶ニ少シ。日本ニ自生又栽培スルモノ8屬16種ヲ算ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) たいわん-せんだん (ときは-せんだん・しんらん, 台湾棟) *Melia Azedarach* L. (寄生) 琉台ノ落葉木、核果ハ稍球形。〔生藥〕樹皮及果實ヲ藥用トス。〔成分〕樹=Holzgummi (2.6%)ヲ、樹皮=Margosin及Gerbstoff (4~7%)ヲ、種子=脂肪油即zedrachöl (50~60%)ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ヲ驅虫劑ニ煎用ス、果ハ次種ト同效。〔備考〕暹國ハ本種ノ根皮Cortex radicis *Meliae*ヲ驅虫藥(蛔虫・蟯虫)トシテ高方ニ收載ス。

△(2) せんだん (あふち・あふちのき、棟、苦棟) *M. Azedarach* L. *V. japonica* Mak. (*M. japonica* Don.) (寄生) 本(伊豆・紀伊) 四・九・朝・琉・支ノ山地生、花四・五月、核果ハ楕圓形、或果九月。〔生藥〕苦棟皮Cortex *Meliae*ハ樹皮ヲ採集セルモノ也、灰褐色嬰地衣着生、皺紋・隙着の、内面淡黃色、味苦シ。苦棟子Fructus *Meliae*ハ果實ヲ採集セルモノ也、果球形、徑1~1.5cm。

淡黄又淡褐色。味苦シ、臭氣アリ。南日本各地特島系長香川縣多産ス。樹皮(苦楝皮)葉果実(苦楝子)ヲ藥用トス。〔成分〕樹皮 = Tannin 質 7%, 果実 = Mangosin (苦味質)・蘋果酸・Hepfelsäure (林檢酸)・Fettsäure (脂肪酸)等ヲ含ム。〔藥效〕苦楝皮(根毛)ヲ驅虫(蛔虫及蟯虫)藥トシ、又利尿・解熱劑トス、1回 1~2g/回 8~10g。煎服ス、外用藥トシテ疥癬・癩病等ヲ煎液ニテ洗滌ス。苦楝子ハ解熱・驅虫(全上)劑トシ、又月經不順ヲ治ス、1日 6~8g。煎服。其 10~20% 煎汁ハ皮膚癬・ひびあかみ等ヲ洗滌シ又過蒸法ニシテ有效。又患部ヲ搗碎シハカニ塗布シテ有效。葉ヲ煎取ルハ殺虫藥トナリ、花及葉ノ煎汁ハ腫物ヲ治ス、又葉ノ乾粉末又其煎汁ヲ以テ農作物害虫驅除藥(殺虫劑ハ苦楝莖葉 375 乾水 10 玄ノ煎汁ヲ使用ス)トス。〔處方例〕驅虫藥又利尿解熱劑... 苦楝皮 10.0 水 200.0 --- 以上 1 日量煎服。〔新藥〕Sauerian (長命研究所)ハ苦楝皮及海人草ヲ主劑トスル蛔虫驅除藥也。〔備考〕樹ヲ觀賞・行路樹・庭木トシ、材ヲ建築器具用ノ良材トスルモ、古來罪人急首水ニ用シ故他用ヲ忌ム、並畿地方ハ下駄材トス、九州地方ハ舉行馬橋トス。葉ヲ肥料トス。

(3) だう-せんたん (川楝子、唐楝) *M. Azedarach* L. V. *Toosendan* Mak. (分布) 支那(四川省特産?) 川楝子(名起尾) 原産、日本栽培、小葉披針形、葉縁ハ球形大徑 2~2.5cm。〔生藥〕樹皮及果実(川楝子 *Fructus Toosendan*)ヲ藥用トス。生藥ハ汚黄又帶褐色、柔韌有臭、味苦シ、日本ニ輸入ス、而テ苦楝

皮ハ和差ヲ多用ス。〔藥效〕苦楝皮、藥效同前者。川楝子ハ鎮痛(腹痛・痲痛、委實也)藥トシ、又急性熱病・膀胱炎・痲氣等ニ實用ス、果皮ヲ去リ果肉ヲ丸トシ内用ス、1日 8~10g。煎服。又 10~20% 煎液ヲ凍傷ノ濕浴用トス。

(4) ちやんちん (ウヤンチン、さいせんぼく、香椿) *Cedrela sinensis* Juss. (分布) 支那原産、日本栽培。〔生藥〕樹根皮及樹皮ヲ藥用トス。〔藥效〕根皮及樹皮ヲ煎服シテ收斂藥トシ止血(婦人ノ崩血・痔産後出血、又腸出血等)劑トシ、又止痢劑トシ、又神昏・肝臟及脾臟等ノ疾患ニ煎服シ、又淋病又月經不順ヲ治ス、1回 2~5g。煎服。〔備考〕材ヲ建築器具下駄・橋脚・梁用トシ、又庭木・行道樹トス。

(5) マホガニ (マホガニ、マホガニ) *Swietenia Mahogoni Jacq.* (分布) 中米原産、熱帯性、扇形羽状複葉、長 2m。ノ大樹。〔效用〕建築及器具ノ優良材ニテ植類・器具・筒板等ニ實用ス。

Fam. (x1). ひめはき (遠志) 科 *Polygalaceae*

(208~210 図参照)。

形質—— 根① 葉② 又 ③ (外國)。葉ハ子葉中又少、無柄又

208 圖



(208 圖) ひめはきノ花及解剖
(原形) 1. 花 2. $K_5 C_3 A(8) G_2$
2. 花ノ縱斷面 3. 莖葉上端

有柄、概無托葉、單葉全縁無裂。花序ハ傘、小形優美、單

生又穗状又繖状又再雄花序=排列。花ハ中, 5数性, F.f=K₅
C₃r.5 A(4+4 r. 5 v. 4) G(2~62); K₅ノ中尤右2片ハ翼穿ト指
シ大形C状, Gハ側側者消失シ前方1C葉ハ着大舟状剛子状



209 図 (209 図) ひめはぎ属ノ花式圖(原圖) F.f=K₅
C₃ A(4+4) G(22)

附屬物ヲ有ス。A筒ハ後方開裂シ舟状
C=内接ス, 各心皮ハ概1ヶ稱2~4
ヶ剛生剛子ヲ生ス, 2~5子室極稀1
室, 花柱ハ單体, 柱頭ハ概分裂ス。果実

ハ蒴又核果, 種子ハ胚乳有又無。

成分及效用—成分ハ Polygala ひめはぎ属ノミ知ラレ Sapo-
nin. Caultherin 等ノ配糖体, 酵素 Gaultherase, 苦味質,
脂肪油, 揮發油等ニテ極基及有機酸ヲ不含。藥用ノ外觀賞用
トス。

分布及属種數—世界ニ凡10属ヲ80種ヲ産シ, 主ニ温帯~
熱帯地方ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ2属11種ヲ
美ス。

本科ノ藥用植物:—

○(1) いとひめはぎ (遠志) *polygala tenuifolia* willd.
〔分布〕滿蒙朝。=自生, 日本栽培ノ[◎]。〔生藥〕遠志 *Radix*
Polygalae ハ根ヲ秋~春掘採水洗細切陰干セルモノ也。淡
灰褐色, 再鱗形長10cm, 内外香氣高ク味苛烈也。〔成分〕根=
Saponin. Polygalit (1,5-Anhydromannit) C₆H₁₂O₅ 樹脂

及結晶性物質 ^{オンナチン} *Onisicin* C₂₄H₄₇O₅ヲ含有ス。〔藥效〕漢: 根ヲ
祛痰藥・利尿藥及強壯藥トス, 1日2~5g. 浸劑(生藥ヲ熱
湯中ニ10分間内外浸漬ス)トシ内用ス。局方靈志ハ *Senega*
根代用トシ祛痰藥トシ喘患氣管枝加答兒ニ煎服ス, 效油臭
少キ特長ヲ有ス, 強壯劑トシ又健忘症, 遺精, 遺精等ヲ治シ又惡
寒ニ用テ1日1~2g. 1日3~6g. 此目的ニ本心ヲ去リ根皮
ノミヲ甘草水ニ一度浸漬シ, 日光乾燥シ後焙テ煎用ス。局方
靈志しろつ不(靈志合利別) *Sirupus polygalae* ハ祛痰藥
トシ小兒ニ1茶匙以下ヲ與ハ又浸劑・煎劑ニ配伍シテ用テ, 又
1日5~10g. ヲ他ノ祛痰藥ニ配伍シ内用ス。〔藥方例〕急性喉
頭炎藥... 遠志浸(8.0)2000 杏仁水6.0 蠟菓0.02... 以上1日
4回2日分。

(2) ひめはぎ (和遠志) *P. japonica* Houtt. (分生) 北・本
四九朝・琉台ノ山地ニ原生又散生。こ-ひめはぎ *f. minor*
Mak. (分布) 本。〔生藥〕和遠志ハ根ヲ秋~春ニ採乾セルモノ也。
前種ヨリ瘦小 不長。〔成分〕根=*Senegin. Polygalasäure*
及 *Onisicin* C₂₄H₄₇O₅ 等ヲ含有ス。〔藥效〕靈志ニ代用スベク
其效思同様也, 朝鮮ニテハ靈神草ト稱シ草ヲ補精藥トス。

(3) おほひめはぎ (大遠志) *P. sibirica* L. (分布) シベリヤ・滿
洲。〔生藥〕大遠志ハ根ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕根=*Saponin*
其他ヲ含ム。〔藥效〕祛痰藥其他ニ供スルコト同前々種。

(4) せいやう-ひめはぎ (ホリからさう) *P. amara* L. (分布) 歐
洲。〔生藥〕全草ヲ採乾シ藥用トス。〔成分〕*Senegin. Polygala-*

marin. Polygalit 等ノ配糖体ヲ含ム。〔藥效〕生薬ヲ煎服シテ祛痰薬及健胃薬トス。

(5)かきのほぐき *P. Reinii* F. et S. [分布]本(中南部)・九ノ山地ニ点生ハ群生。〔生薬〕根ハ白色産珠状也之ヲ〔甲〕括巴戟天ト稱シ、木心ヲ去ルヲ〔乙〕肉巴戟天ト稱ス、夏土用ニ致シ擦乾シテ藥用トス。〔藥效〕根ニ煎服シテ祛痰薬トシ又強壯(健忘症・疲勞・陰萎・遺精等)藥及強精薬トシ1回中ハ2~3g.乙ハ1~2g.煎服ス。

(6)セネガ (*セネガ* 播磨瓦) *P. senega* L. [分布]北米・南米・國北部及 Canada 原産ノ②、日本栽培。〔生薬〕セネガ根 *Radix Senegae* ハ花後根ヲ採乾セルモノ也、円錐形要办岐根頭ノ鱗



灰黄又褐色、敗油性臭氣アリ峻烈奇辣味ヲ有ス。〔成分〕根ニ *Senegin* C₁₈H₂₈O₁₀ (中性配糖体)・*Polygalasäure* 等、*Saponin* ヲ含有ス。此二種ノ化合物ハ物ハ *Sapotoxin* 及 *Guillaja-säure* (キヤヲ皮核酸)ト同物ニテ同一ノ生理作用ヲ有スルモ *Senegin* ハ *Sapotoxin*ニ比シ其效力ノ弱キコト10倍也ト。又通半ハ遊離脂肪酸ヨリ成ル褐色脂油8.6% 及精油 (*Salicylsäure-Methylester*) ヲ含ム。〔藥效〕根ヲ祛痰

(氣管枝加炎等)藥トシ5~10gヲ水200.0煎制トシ2日分トス、又強壯薬トス。局方セネガ根ハ *Saponin* ヲ多含スル故利便性祛痰薬ニテ氣管枝炎ヲ利便シ合必ク充進シ祛痰ノ效ヲ奏ス、慢性氣管枝炎・急性氣管枝炎等ニ慢性氣管枝炎・肺炎ノ融解期及肺炎(痰ニ老人ノ場合)等ニ1日量自0.5~1.0g.1日2.5~5.0g.煎制トシテ内服奏效ス、但連用ハ胃消化大量嘔吐止下痢。局方セネガシロツツ(セネガ合劑) *Siccus Senegae* ハ下劑3.0~5.0^{cc} 完他ノ祛痰薬ニ配伍シ祛痰薬トス、別ニ澤島カセネガ丁輪・セネガ浸テリ、藥效同上。〔藥理〕一般ニ *Saponin* ハ祛痰性薬ノ故ニ咳嗽ヲ發シ祛痰ニ對スル場所利便ノ喘氣蓋ノ合必ク充進シ、故ニ *Senega* ハ吐根ニ以タル作用アリテ惡心ヲ起シ氣管枝合必ク増大稀薄ナラシムル高、祛痰薬ニ適ス。

〔處方例〕(1) 急性氣管枝炎藥...セネガ煎(10.0)180.0アルテアシロツツ20.0...以上調和、毎1時1食匙宛。(2) 加糖性肺炎藥...セネガ根浸(2.0)100.0杏仁水2.0吐根シロツツ10.0...以上調和、毎3時1匙宛。(3) 慢性氣管枝炎藥...セネガ浸(2.0)100.0 うちゴシロツツ10.0...以上調和、毎1時1茶匙宛。(4) 全上藥...セネガ根煎(5.0)90.0 アムモニア茴香精2.0シロツツ80...以上1日量4回分服。

Fam. (XII) たかとうせい(大戟)科 *Euphorbiaceae*
(211~212圖参照)。

形質一①~④又互~見; 葉分岐又無分岐乳管アリテ乳液ヲ貯テ、柱ハ腫部=篩管組織アリ。葉ハ概シ葉ノ背^下(^上生), 托葉有又無、或變形シ成、腺; 單葉無葉柄掌狀2~數裂、概全緣、葉齒牙~鋸齒緣; 葉掌狀複葉。花冠ハ皆♀♂, 萼極端=退化(♀♂)又♀♂, 概小形不美、稀有美苞。小花序ハ緊緻狀單花狀ヲ成シ、概複性稀單性; 花序又全花序ハ單生、或聚繖、繖形、總狀、再錐穗狀花序=排列ス。花ハ中稀中、たかとうだい屬(*Euphorbia*)ノ小花序(局部花序又苞花トモ云)M. j = B₅ Gl₄ {♂₁~5~12, ♀ = K₀C₀A₁; ♀₁, ♀ = K₀C₀G₍₃₂₎}; 極前G₂(外圍)。



211 圖

(211圖)たかとうだい屬ノ小花序ト
♂(原圖) 1. とうだいノ小花序
2. たかとうだいノ小花序 1, 2. 共
= M. j. = B₅ Gl₄ {♂₂, ♀ = K₀C₀A₁;
♀₁, ♀ = K₀C₀G₍₃₂₎} 3. 1ヶ♂

Euphorbia 屬以外ノ諸屬ノ花式



212 圖

♂ = K_(2~6)C₅U₀T₆A₁; 4+4V₅+5
(212圖)たかとうだい科ノ種子(*Croton*
tiglium Lノ種子、即巴豆)(下山、
朝比奈、藤田氏) 上部ヨリ小阜即
シカルンケヲ、腺、種、電点

v. 3~10~∞; G₀n. ÷, ♀ = K_(2~6)C₅U₀A₀T₆ ÷ G₍₃₂₎r. (2~1);
概K₅~5, Cハ瓦列又回旋列, Aハ屢10~30 稀30~100, 花
絲ハ屢結合、若2胞ハ屢分離、概3子室屢2~4 稀退化シテ1
子室, 各心皮 = 1ヶ又2ヶ宛ノ倒生胚子ヲ生ジ卵孔上 = 具小
阜。花柱ハ分離又合一, 花盤ハ各ハ花托ハA間 = 稀連又ハ1ヶ

ノ腺ト成ル或無♀, 花盤ハ環狀又杯狀又1ヶノ腺ト成ル或
無。概蒴果稀漿果或核果也, 種子ハ胚乳豐富、腺点附近 = 小阜
ヲ有ス。

成分及效用— 本科ハ概有毒乳汁ヲ含ム導管ヲ有シ、乳管中
= Kautschuk, Fette, Gummilacke等ヲ含ム, 種子 = 脂肪
油ヲ含ムモノアリ, 殊ニ蓖麻子、巴豆等ニ含ム油ハ下劑トナル。
其他毒性ノ苦味質、蛋白質等ヲ含ムモノ、極基ヲ含ムモノアレ
ドモ、揮發油、配糖体ヲ含ムモノ少シ、其他蛋白質性毒素(*Phytoto-*
xin)ナル*Ricin*・*Crotin*ヲ含ム。詳細ハ加次。

極基 (*Acalyphin*・*Drummin*・*joannebin*・*Daphni-*
macrin・*Ricin*・*Stillingin*等), 配糖体(青酸ハ解配
糖体), 有毒蛋白質(*Ricin*・*Crotin*・*Oreplitin*・*Curcin*),
有機酸(琥珀酸・林檎酸・酒石酸・乳酸・醋酸等), 酵素(*Amylase*・
Maltase・*Lipase*・*Emulsin*・*Protease*・*Oxydase*・*Pero-*
xydase・*Katalase*等), 其他ノ物質(*Rottlerin*・*Aescu-*
letin・*Euphorbon*・*Saponin*・*Asparagin*・*Glutamin*・
lecithin・*Phytosterin*・*Mannit*等)也。兼用植物多
ク又彈力護膜料、油料、漆料、殺菌料、木材用・器具用又觀賞用等ニ
供スルモノ不鮮。又有毒植物亦多キ故要注意。

分布及 屬種數— 世界凡210 屬7200種ヲ産シ主ニ熱
帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡31屬150種ヲ
産シ北ハ樺南干ヨリ南ハ琉・台・閩ニ廣布シ從南進退増ス。

本科ノ藥用植物:— 次ノ2亞科ニ分類ス。

Subfam. (1) ニミカンさる亜科 *Phyllanthoidese* 花序ハ苞花(小花序)ヲ成サズ、各心皮ハ2卵子ヲ生ズ、乳管及髓部ニ篩管組織ナシ。

Tribus (1) ニミカンさる族 *Phyllanthaceae* 胚ハ大形、胚乳ヨリ稍短キノミ、合ノKnハ瓦列也。

(1) ニミカンさる(珍珠菜) *Phyllanthus urinaria* L. [分生]本(中南部)・四・九・朝・琉・台ノ原野ニ点生又散生、花夏秋。[生薬]莖葉ヲ薬用トス。[薬效]莖葉ヲ煎取シテ眼病ヲ治ス。

(2) きだち-こみかんさる *P. Niruri* L. [分生]本(中南部)・九・台ノ山野・路傍生ノ小五、花夏秋。[成分]樹皮ニ無毒苦味質 *Phyllanthin* $C_{30}H_{37}O_8$ 、葉ニ *Kaliumsalz* ヲ含有ス。[薬效]未詳。

(3) ひらみかんこ(たかさご-かんこのき) *Glochidion Fortunei* Hance [分生]台ノ山野生ノ常緑小五。[薬效]葉ヲ煎取セバリウマチス、神経痛ニ有效。[備考]材ハ墾硯器具用トス。

(4) たかさご-こはんのき *B. reynia officinalis* Hensl. [分生]台ノ平地五。[薬效]葉ヲ搗碎シ織毒腫物打撲傷ノ患部ニ貼付シ、或根ヲ酒ト共ニ煎取シ疲勞ノ餘リ吐血スルヲ治ス。

(5) ひとつば-はき(こま-はき) *Securinega ramiflora* Muell. Arg. [分生]本(中南部)・四・九・朝・琉・台ノ山野ニ点生ニ散生ノ五。♀♂ニ $K_5 A_5 G_{(3)}$ 。[薬效]根ヲ煎シテ打撲傷ヲ治ス、煎汁ニテ洗滌温湿布ス。

(6) あかぎ(かたんのき) *Bischofia javanica* Blume [分生]琉・台ノ山野生ノ五、花春。[生薬]葉嫩葉・根・果実ヲ薬用トス。[薬效]根ヲ煎取シテ遺精ヲ治シ、尿ヲ通ズ。嫩芽ヲ搗碎シ腫物ニ貼付ス。葉ヲ茶代用トシ飲用ス。果ヲ煎取シ嬰児ノ滋養強壯劑トス。

Tribus (2) ゆつりは族 *Daphniphyllaceae* 胚ハ圓小形、胚乳、 $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{6}$ 大也。

(1) ゆつりは(交讓木) *Daphniphyllum macropodum* Miq. [分生]本・四・九・朝・琉・台ノ山地生五~五、花四・五月、成果十一月。[生薬]樹皮及葉ヲ薬用ニ供ス。[成分]樹皮及葉ニ *Daphnimacrin* $C_{27}H_{41}NO_4$ (有毒無晶性塩基)ヲ含ミ、含量ハ樹皮ニ多シ、又有毒性ノ *Daphniphyllin*ヲ含ムト云(Plugge氏)。[薬效]樹皮又葉ノ煎汁ヲ駆虫劑トシ1回3~5g煎服ス。[薬理](1) *Daphnimacrin*ヲ家兔ノ皮下ニ注射セバ、麻痺・随意運動ノ減退・呼吸運動ノ衰弱・心臓麻痺等ノ症状ヲ呈ス、最少致死量ハ体重1gニ付0.014瓦也。

Subfam. (ii) はご(巴豆)亜科 *Crotonoideae* 各心皮ハ1卵子、乳管有又無、髓部ノ篩管組織有又無。

Tribus (1) *Crotoneae* ♀ = ハ花被アリ、頂生穗状又總状花序、花被ハ蕾中内方ニ曲ル、 $\frac{1}{4}$ ニ分ナシ。

(8) はご(巴豆) *Croton Tiglium* L. [分生]印度及馬來半島・熱帯各地(台湾其他)ニ栽培スル常緑小五、♀ = $K_{(5)} C_0 G_{(12)}$ 、♂ = $K_{(5)} C_5 A_{15}$ 。[生薬]巴豆 *Semen Tiglii* ハ種子ヲ採乾セル

モノニテ巴豆油製造ノ原料也、楕圓形長、1.2mm、灰褐色、稍粗粒、有小阜、味ハ初微和油様後苛辣如灼。〔成分〕種子=脂肪油(巴豆油 *Croton oil* = *Palmitinsäure* · *Stearinsäure* · *Laurinsäure* · 油酸 · クロトン酸 · *Crotonol* · *Liglinsäure* $C_7H_{10}O_2$ 等) ヲ含セリト、其他峻下水用アル巴豆樹脂 *Crotonharz* $C_{36}H_{54}O_9$? ヲ含ム) 30~45%, 蛋白質 18% · *Arginin* · *Lysin* · *Lipase* · *Crotonosid* (2-Oxy-6 am-inopurinvibosid) · *Ricinin* = 類スル *Alkaloid* · 有毒蛋白質等ヲ含有ス。

〔藥效〕巴豆ヨリ採取セル高カバ豆油 *Oleum Crotonis* ハ猛烈ナル峻下劑ニテ $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ 滴 (希1滴) ヲ乳劑トシテ又 $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ 滴ヲおれ不油又ひまし油ニ混シ内用ス、服用後1~2時間ニテ痲痛ヲ伴テ水瀉ヲ起ス、其峻下ハ猛烈也。又水腫=利尿劑トスルコトアルモ危險故使用稀也、多用セバ嘔吐、急性出血性胃腸炎ヲ起テ死ス、1回ノ極量 0.05g、1日ノ極量 0.15g 也。外用=ハ誘導藥トシテリウマチス、神經痛等= 5~20滴ヲ單味又揮發油、脂肪油等ヲ和シテ塗布ス、又軟膏= 和シ皮膚引赤藥トス。巴豆油ハ水用峻烈故臨床上殆不用、稀鉛毒痲痛= 用ス、毒藥故要注意。〔藥理〕(1)巴豆油ノ峻下水用ヲ有スルハ其中ニ含マルル *Crotonharz* 巴豆樹脂= 原因スル外ニ種ノ毒性蛋白質即 *Crotonglobulin* ト *Crotonalbumin* ヲ含有ス。此兩者ノ混合物ヲ *Crotin* ト云フ。 *Crotin* ハ猛毒性ヲ有スルモ少量宛反覆注射スル時ハ動物体内ニ一經ノ抗毒素 *Anticrotin* ヲ生ジ免疫性トナル。(2)巴豆油ハ之ヲ外用セバ強度ノ皮膚

炎ヲ起シ、内服セバ重症ノ胃腸炎ヲ來ス、其致死量ハ人間ハ約20滴、馬ハ20滴、牛40滴也、而テ人間ハ腸炎症・コレラ様下痢ヲ起シ遂ニ虚脱ヲ起シテ死ス。種子トシテ與ハテノ致死量ハ犬ハ8~16粒ニテ數時間以内ニ、馬ハ20粒ニテ2~3日後ニ覺死ス。(3)巴豆油ハ最烈毒ナル下劑ニシテ其殆ハ1滴ヲ内服セバ口腔及咽喉ニ灼熱感ヲ起シ呼吸ヲ催シ30分~3時間ニシテ初普通便ヲ後水瀉便ヲ瀉下ス。本品ハ刺激性強ク皮膚ニ塗擦セバ發赤、浮腫ヲ發シ水泡次テ膿疱ヲ生ス、皮下注射ハ蜂窩織炎性炎性ヲ發シ化膿ス。

△(9) かすかりら *C. Eluteria Bennett* (分布) 西印度ハハマ諸島産ノ草。〔生藥〕かすかりら皮(加新加利刺皮) *Cortex Cassipillaen* 幹・枝ノ樹皮ヲ採集セルニシテ、外面灰白色、皮目部黄褐色、内面褐色、横折面ハ放油光澤(成分)樹皮ハ精油(成分)ハ *Terpen* · *Sesquiterpen* · *Cymol* · *Eugenol* 其他 *Kaskarillsäure* · *Stearinsäure* · *Palmitinsäure* (等) 0.3~3.0ヲ含、有シ、他ニ *Kaskarillin* · 脂肪 · 樹脂 · 浸食子酸等ヲ含有ス。〔藥效〕準局かすかりら皮ハ健胃・消化不良・興奮利尿・胃腸加疼患下痢等ニ煎服シ、糖= 食血藥、食血ノ興奮及健胃劑トス。又煙草ニ混シ香氣ヲ附スルニ用テ、10gヲ浸劑トシテ内用ス、又かすかりら越幾斯かすかりら丁糖ヲ製ス。準局かすかりら丁糖ハ健胃性ノ水劑ニ配伍シ、或ハ單味= 1日數回1~3gヲ與テ。〔處方例〕(1)慢性腸加疼患藥...かすかりら浸(10.0) 100.0シロフオ 10.0...以上調和毎2時1小兒食匙宛。(2)全藥...かすかり

ら丁幾1.0 阿片丁幾2滴、あるてあしろつ水20.0 温水100.0...
以上調和毎2時1小児食匙宛。

(10) ぐみもと (ちやかんに) *C. Cumingii* Muell. Arg. [分布] 琉球ノ山野生小丘、花夏。[生薬] 根及葉ヲ藥用トス。[薬用] 根ヲ煎取シリウマチスヲ治ス。青葉ヲ搗碎シ汁液ヲ腹痛ニ用ル 外月經不順リウマチスニ用フ。

Tribus (2) あぶらきり (油桐) 族 *Chrozophoreae* 花緑ハ 蕾中直生、合ノKハ銀合列有花冠。

(11) あぶらきり (油桐・罌子油) *Aleurites cordata* Steud. [分布] 支那原産ノ落葉木、日本栽培。♂- $K_{(2)}C_5A_{5+5}$, ♀- $K_{(2)}C_5A_{5+5}G_{(2)}$ 。[生薬] 種子ヨリ桐油ヲ搾取ス、毒性強シ。[成分] *Eleostearinsäure* 及其異性 *Eleomargarinsäure* ヲ含有ス。[薬效] 桐油ハ支那ニテ殺鼠劑トス鼠食セバ立口ニ死ス、又吐劑トシ時ニ阿片自殺者ニ用ス。[備考] 毒性強キ故不可食、金合羽提灯桐油紙ニ塗布シバムキワにす輝ヲ製ス、又乾燥迅速ナル故印刷用インキ製造ニ實用セラル。古昔草蓆子油ニ交ハ燈油トシテ用ヒタリ。海辺ノ民ハ此樹皮ヨリ採用ヲトリ魚網ヲ求ム。材ハ山桐・犬桐ト称シ木履ヲ造リ下駄材トシ又器具材トス。

(12) モルツカ-あぶらきり *A. Muluccana* [分布] *Mulucca* 群島産ノ木。[薬用] 種子ヨリ油ヲ搾リ燈油ニ用ス。果實(Candle nut)ニ生ニテ能ク燃ス、故ニCandle nut treeノ名あり。[備考] 一種 *A. laccifera* ハ東印度産、樹皮ヨリ木蠹ノ刺蝮ニ由

リ一種ノニ虫蠟ヲ分泌ス *Shelack* 是也、所要多シ。

Tribus (3) はらごむ のき族 *joannesiae* 合ノKハ銀合列、無花冠、花緑ハ蕾中直生。

(13) ハラゴム のき (はらごむ樹) *Hevea brasiliensis* Muller, Arg. 及 *H. guayanaensis* Aubl. [分布] 南米ブラジル産ノ大木。(♀♂)= $K_{(5-6)}C_0A_{(5)}G_{(2)}$ 。[生薬] 理性ゴム *Kautschuk* ハ樹皮ニ切傷ヲ附シ出ル白乳液ヲ凝固セシメテ製ス、目下熱帯各地(錫蘭・馬來・爪哇・スマトラ等)ニ栽培セラレ世界需要ノ大半ヲ供給ス。[成分] 樹乳液= *Kautschuk* 43%ヲ含シ、糖= *Nitrilglycosid* ヲ含シ、材及樹皮ニ多産ノ澱粉ヲ含有ス。[薬效] 理性ゴム製造原料トス。又局方精製ハラゴム、ニ虫絆刺膏並鉛筆絆刺膏・杉脂膏等ヲ製ス。又種々ノ醫療器具及部外品ヲ製ス。土人(南米)ハ樹皮ヲ刻シ津液ヲ集メ硫黄ト共ニ煎煮シ消ニ虫ヲ造ル、硬軟ノ度ハS含量ニテ加減ス。

Tribus (4) 元のき のき族 *Acalyphaeae* 花ハ總狀穗・四維花序、花ハ無C、花ハ蕾中直生。

(14) 元のき のき *Acalypha australis* L. v. *genuina* Nakai [分布] 本(中南部)・四・九・朝鮮・琉球・台ノ平地・園圃ニ散生。(♀♂)= $K_4C_0A_{(4+4)}G_{(2)}$ 。[薬效] 全草ヲ搗碎シ局部ニ貼付シテ足部腫物ヲ治ス。

(15) ほそは元のき のき *A. australis* L. v. *lanceolata* Hay. [分布] 台ニ自生ス。[薬效] 莖葉ヲ小児ノ尿ト共ニ搗碎シ労働過激ニテ吐血セシ時及肺結核ノ吐血ノ止血劑トス。

(16) やまある (山藍・山藍) *Mercurialis leiocarpa* S. et Z. [分生]本(中南部)・四・九・琉・台・ノ山地ノ陰地生②。〔效用〕全草ノ液汁ヲ搾取シ青色ノ染料トシ藍泥ヲ製セリ、又綿布ニ摺置スルニ用ヒタルモ藍分少ク靛トスルニ不足。〔備考〕全草ヲ食セバ吐瀉腹痛ヲ發シ、或麻痺・昏睡ニ陥リ往々招、死コトアリト云フ。

(17) せいやうやまある (西洋山藍) *M. annua* L. [分生]歐洲原産、日本栽培。〔生薬〕全草ヲ藥用トス。〔成分〕莖葉及種子ニ *Methylamin*・*Trimethylamin*・揮發油等ヲ含ムモ *Indigo*ヲ不含 *Cyanohermidin*・*Chrysohermidin* 等ヲ含ム、又莖葉ニ *Saponin*ヲ含有ス。〔藥效〕全草ヲ煎服シテ下劑・利尿劑・瀉劑トス、又全草ヲ煎辛味性ノ消失セルヲ緩和劑トス。

(18) あかめがしは (かはらがしはあかがしは、あづき、將軍木、野桐、秋桐) *Mallotus japonicus* Muell. Arg. [分生]本(中南部)・四・九・朝・琉・台・ノ山野生ノ草、花五・六月、或果十月、 $G = K(3-4)5$ CoA_{50-60} , $F = K(5)CoG(3-4)$ 。〔生薬〕葉・果実・種子ヲ藥用トス。〔藥效〕葉ヲ搗碎シ或果実ヲ陰干シ之ヲ煎シテ腫物ニ貼布シ又洗滌シテ有效。葉ノ煎汁ニテ皂色ヲ染ム、種子ヲ赤色染料トス。諸腫物疼痛ニ葉ヲ搗碎煉リ貼布スルニ一夜ニテ腫出テ癒效アリ。〔備考〕葉ヲ菜蓴葉ト称シ山民食物ヲ盛ク血毒ニ代ス、古書ニ所謂「三つなかしは」是也。〔備考〕材ヲ器具用トシ又觀賞用トス。莖葉枝ノ煎汁ハ腰痛、^用湯浴用、樹皮煎汁ハ胃痛ニ内用。

○(19) くすのはがしは (カマラ) *Mallotus philippinensis*

Muell. Arg. [分生]琉球・印度・ヒリッピン地方産ノ小草。山地、花紫、 $G = K(3)CoA_{50}G(32)$ 。〔カマラ〕*Kamala*ハ蒴果上ニ生ズル多細胞性・黄赤色腺毛及毛茸ヲ採集シ *Kamala*ト稱シ藥用ニ使ス。本品ハ赤褐色粉末ニ無臭、腺体ハ波線状基根毛茸ハ星狀配列ス。〔成分〕*Kamala*ハ赤黄色樹脂 47~80%ヲ含シ、樹脂中ニ結晶成分 *Roslerin* $C_{33}H_{30}O_9$ ヲ10%含有ス、其他樹脂・黄色葉蠟分等ヲ含ム。種子ニ *Camulöl* (脂肪油) 20%及有毒性 *Glykosid*ヲ含シ、澱粉ニ Ca^{++} 質、糖質 65%ヲ含有ス。台湾産ハロケットノリニ含量 5%・琉球産 2.5%也。〔藥效〕カマラヲ織虫駆除藥(大・中・小・錠劑トシ 3~5g)トス。印度地方ニハ赤色染料トス。局方カマラハ織虫駆除ノ效アリテ兼下劑・瀉劑ノ如キ危險ナキ故小兒及虚弱兒ノ駆虫ニ選ビド廉久品ハ無效ヲ缺點トス、現在專ラ印度産ヲ用ス。〔療方例〕(1)織虫駆除藥…大人ハ 10~20g、小兒ハ 1.5~3.0gヲ減劑、錠劑又おびらート入トシ毎朝 15~30分間隔ニテ2回ニ服用セシム。(2)全量 10.0g以上含シ 20分毎ニ服用。○(20) しろごま (から元、蓖麻) *Ricinus communis* L. [分生]亞非及印度原産ノ②、温帯各地①トナルニ栽培ス。(♀♂) = $K(5)CoA_{50}G(32)$ [生薬]蓖麻子 *Semen Ricini*ハ蓖麻子ヲ採集セルモノ也、扁楕圓形長 1.5cm、巾 1cm、白褐色被膜被覆アリ、味ハ緩和油酸發奇辣也。(蓖麻子ハ年々滿洲ヨリ輸入シテ葉藥多産ス、以テ油ハ米國ヨリ多ク輸入(百數十万円トス)。〔成分〕種子ニ脂肪油(蓖麻子油) 30~50%、他 *Globulin*・*Nucleoalbumin*・*Glykoprotein*・*Ricin* (毒性)・*Lipase* (脂肪

分解酵素)等ノ蛋白質類約2.5%及毒性塩基 Ricinin $C_{20}H_{33}N_2O_2$ (葉=含有ス)等ヲ含有ス。而テ蓖麻子油ハ主ニ Ricinot-säure- $CH_2-(CH_2)_5-CHOH-CH_2-CH=CH-(CH_2)_7-COOH$, Stearinsäureglycerid ヲリ成ル。^{リシ}〔藥效〕種子ヨリ得方蓖麻子油 (Oleum Ricini)ヲ採取(漚反、^{リシ}必キ冷圧シテ)シ、最普通ナル便秘ノ緩下劑(1回 \sim 15 \sim 20 \sim 30g、頓服ス、多量ハ緩下劑、浮水而飲)トシ、又減磨油(如ハハ飛行機用等)トシ、印刷ニ加フ。印刷用インキ劑、化粧品原料(如ハハホマール原料等)トス。又ありざりん染料ニ係藥劑(染料ノ下劑)トシテ重要ナル染料油ノ製造原料也。用途頗廣ク、温圧油冷圧油ノ2種アリ、藥用ニハ冷圧油ヲ用ス。本油圧搾指ハ Lipase ヲ含有スル故ハリセリ人製造工業ニ利用シ得。本油ヲ支那ニテ蜀芥又胡芥ト称シ昔ハ瀉腸劑セリ。本油ヲ飲ミ易クスルニハ20 \sim 30g。ヲ薄荷油1 \sim 2滴ヲ加ルカホ又茶或燒酎珈琲・麥酒等ニ和シ、或乳劑トシ1回ニ頓服ス、本油ヲ連服セハ消化ヲ害シ嘔吐ヲ催ス故濫用スベカラズ。又局方彈カ、コロチオン^トヲ製スルニ用フ。是ハ被蓋ノ膏藥部ニ塗布ス。其他準局芳香蓖麻子油・板方サリチル酸コチオン・刺戟瀉腸劑等ヲ製造ス。朝鮮ニテハ蓖麻葉ヲ中風ニ内用ス。

〔新藥〕本油ノ惡臭ヲ去リ、或芳香ヲ附シ服用シ易キ製劑品如次。(1)富士リチノール Fuji Ricinale (東京・日本藥油) (2) Ricinol (粉末品・東京・友田) (3) Ricina (芳香・大阪共立合^{リチ}密) (4) Castalol (全・大正・田組) (5) Donan (半圆形品・油合^{トナシ})

70%, 大阪・武田) (6) Ricica (以魚膠或固形、大阪、大日本藥業) (7) Ricin (芳香乳劑・東京・友田) (8) Lacris (全・東京・三共) (9) Anocas (東京・帝國製藥)

〔蓖麻子油製造法〕先種子ヲスーローニ掛ケ輕ク覆皮ヲ破碎シ、筒風扇ニテ種皮ヲ飛散シ、後水圧器ニ掛ケ圧搾セハ冷圧油約30%ヲ得。是ヲ水ト共ニ煮沸スルカ或水蒸氣ヲ吹込テ毒性蛋白質或 lipase 等ヲ凝固セシメ濾過シ藥用油ヲ得。冷圧或渣ヨリ更ニ温圧油10%許ヲ得、此油ハ不供藥用。

〔藥理〕(1)ひまし油ヲ動物ニ與ルニ種ハ10 \sim 20 $^{\circ}C$ 犬ハ20 \sim 50 $^{\circ}C$ ヲ内服セハ下痢ヲ起ス。(2)哺乳動物ノ分泌腸腺本ニ依用セシメハ腸運動治癒トナルヲ認ム、此時あるかり性腸液ニ胆汁ヲ追加セバリチノールニ依リシテ其局所作用ヲ呈ス。(3)本油ハ小腸ニ依用シテ下痢ヲ起シ、即腸中ニ於テ胆汁反滯汁ノ爲ニ一部酸化セラレケリセリトひまし油酸ヲ遊離ス、該酸ハ蠕動ヲ亢進シテ緩下セシム、尚酸化セラレザル油ハ硬糞便及腸壁ヲ平滑トナシ機械的ニ其作用ヲ補助ス。本油ハ刺激性少ク殆充血ヲ不起、而モ依用確實也。本油ヲ20 \sim 30g。與ハレバ2 \sim 3時間ニテ腹脹痛ヲ不伴シテ泥狀便ヲ排出ス。(4)榨油殘滓中ニハ有毒成分リチンアリ、故ニ種子ヲ其滓又粉末内用ハ腹危險也。(5)種子中リチン含量ハ2.8 \sim 3%ニテ之ヲ内用セハ先局所作用トシテ胃腸炎ヲ起シ、吸收中ニ血管運動神經中起ノ麻痺ヲ惹起ス、即惡心・嘔吐・猛烈ナル胃痛及腸痛ヲ起シ、出血性下痢ヲ起シ、並ニ尿閉・遺尿

媒ノ中毒症状ヲ呈シ、其死亡率ハ6%ニ至リ、恢復スルモ、消化不良、胃痛、蛋白尿等ノ症状ハ長期続クコトアリ。(6)リらんノ血液凝集作用ヲ換スルニモるものと血液ハ76万倍稀釈液ニヨリ、赤血球食塩水混和液ハ4万倍稀釈液ニ依リ完全ナル血液凝集反應ヲ呈スルヲ認ム。

〔處方例〕(1)急性便秘・急性下痢(異常分解等ニ依ル)・消化不良・食傷等ノ際、根本的ニ腸内容物ヲ排出得ルニ用テ…ひまし油15.0 まんなしろうぶ 10.0 あらびあご巻茶 10.0、錫水75.0…以上調和毎時1食匙宛。(2)ひまし油20~30g、薄荷油1~2滴…以上水又茶ト共ニ頓服。(3)灌腸料…ひまし油30.0 あらびあご巻茶適宜…以上乳劑トシ灌腸ス。

Tribus (5) なんやうあぶらまきり族 Cluytiaceae 含ハ無C、雄花序。

(21) なんやうあぶらまきり (南洋油桐) *Jatropha Curcas* L. [分布] 旧熱帯各地産ノ木。〔生薬〕種子ヲ薬用トシ巴豆ニ代用ス。〔成分〕種子ニ脂肪(或ハ Palmitin・Myristin・Curcanolsäure-Glyceriden)ヲ含有ス。〔藥效〕種子ヲ泻下(巴豆油代用)藥・催吐藥トス。

Tribus (6) まにほつと族 Manihoteae (Adrianeae) 互ニ木、葉ハ楕状掌状3~7深裂、(♀♂)= $K_5C_0A_{5+5}G_{(3)}$ 。

(22) いものまき (マニホットのまき、タピオカのまき) *Manihot utilisima* Pohl. [分布] 南米ブラジル原産ノ木、熱帯各地

栽培。〔生薬〕タピオカ *Tapioca* 一名まにほつと澱粉ハ根ヨリ採集セル澱粉也、根ハ円柱形大根状白色肉質3×目内外。〔成分〕根ハManihot澱粉ヲ多含ス。此植物ノ新鮮ナル乳液ハ甚有毒也、又生根ニ有毒也。〔藥效〕まにほつと澱粉(タピオカ又 *Brazilian Arrowroot*) 營養料トシ又酒精原料トス。〔備考〕同地産ノ *M. palmata* 亦全效アリ、全澱粉ヲ製ス。

(23) ツエアラゴムのまき (ツエアラゴム樹) *M. Glaziovii* Muell. Arg. [分布] 南米ブラジル原産ノ木、樹皮灰白色、甚乾燥、セイロン・ジャバ島、東亞等ニ栽培ス。〔生薬〕樹皮ヨリ出ル乳液ノ凝固セシマツエラゴム(セアラゴム)又まにほつとゴム(*Cara-oder Manicoba Kautschuk*)ト称ス。兼葉ニハ樹皮ヲ一部介裂シ、抽出乳液ヲ幹上ニ乾着セシメ、之ヲ介取シ、蒸籠ニ或ハ水中ニ生テ〔成分〕乳液ニ彈性纖維ヲ含ム。〔效用〕弾力ゴム製造原料トス。其效用ハ前記(13)ニ同ジ。

Tribus (7) しらまき族 Hippomaneae 含ハCo, Kニ互列、乳管ハ無節、(♀♂)= $K_{(3)}CoA_{2+3}G_{(3)}$ 。

(24) しらまき (こくごのかわし) *Sapium japonicum* Pax, et K. Hoffm. (*Excocaria japonica* Muell. Arg.) [分布] 本(中南部)・四・九・琉ノ山地生木、花六月、実果十月末。〔效用〕種子ヲ食用トシ、又之ヨリ油ヲ搾取シ、燻用トス。材ハ薪炭材トス、含淡白汁。

(25) なんきんはせ (たうはせ烏白、烏白木) *S. sebiferum* Roxb. [分布] 支那原産、日本栽培。〔生薬〕樹皮・嫩莖根種子等ヲ

薬用トス、又種子ヨリ油ヲ搾取ス。〔成分〕種子=含有スル脂肪
 即 *Stillingatalg* / 成分ハ *Dipalmitinölsäuregly-*
cerid 及 *Oleodistearinsäureglycerid* 也、又 *Sti-*
lingiaöl = ハ遊離酸 6%, *Glycerid* 0.5~1.45% ヲ含ム。
 〔薬效〕種子ノ皮部ハ脂肪含多量故之ヨリ脂油ヲ採集シ石鹼及
 蠟燭製造原料トス(支那多出)、此ヲ烏白油ト称シ腫物・皮膚病等
 = 外用ス。種子ヲ利尿瀉下劑トシ1回2~7g. 煎用ス。嫩
 葉ノ汁ヲ腫物ニ貼付ス。樹皮ヲ搗碎シ搾汁ヲ嚥下シ阿片中
 毒ノ條ニ吐劑トス、又根ト共ニ炒リ煎湯ヲ注ギテ飲メバ起死
 回生ノ效アリ。根ハ毒疾ニ於ケル血尿ニ有效也ト云フ。葉
 ヲ以テ皂色ヲ染ム。烏白油ハ有毒也不可食、燈油トシ又傘ニ
 塗布ス。蠟及油ヲ煉ル法ハ「天工開物」ニ詳也。〔備考〕庭木トシ
 觀賞用トス。

(26) スチリンギア *Stillingia sylvatica* L. 〔分布〕
 北米南部自生ノ②。〔薬效〕根ヲ薬用トシ吐劑又下劑ニ用フ。

Sidaus (8) たかとうだい(大戟)族 *Euphorbiae* ①~④,
 葉5~5, 葉ハ Ψ , Ψ 又乱生。小花序ハ壺状總苞 $B_{(5)}$ 中 σ ヲ
 容レ4 蜜腺ヲ沿着スル苞花也。 $M. i. = E_{(5)} Gl_4 \{ \sigma_1 \sim 5 \sim \infty,$
 $\sigma = KoCoA_i; \sigma_1, \sigma = KoCoG_{(3)} \}$. 無節乳管有。

(27) たかとうだい (たいわんたかとうだい) 大甲草 滿天星ハ
 臥草) *Euphorbia formosana* Hayata 〔分布〕台自生ノ⑤。
 〔生薬〕根及葉ヲ薬用トス。〔成分〕根ハ *Ellagsäure-dimethylä-*
ther $C_{14}H_{14}O_6 (OCH_3)_2$ ヲ含有ス。〔薬效〕根及葉ヲ搗碎シ患部ニ

貼布シ又煎服シ毒蛇咬傷ニ有效(台湾)。

(28) ほつとうだい (甘藷) *E. Sieboldiana* Moer. et De-
 sne. 〔分布〕南千北・本・四・九・朝・) 散生~群生スル⑥。〔生薬〕和
 甘藷 *Rhizoma Euphorbiae* ハ根莖ヲ採乾セルモノ也。暗褐
 色・細太副根有。〔成分〕苛烈ナル有毒成分ヲ含有ス、本体不明。
 〔薬效〕大戟・沢漆・續隨子ノ3種ト共ニ利尿ノ要藥トシ、水腫ニ用
 ヒ又瀉下藥トシ、傍ヲ 胃痛・咳嗽・小便澀滞ヲ治ス。用量1回1丸
 煎服ス、有毒ナレバ多量煎服ヲ禁ム。

(29) ほろとさう (そくがい) しはんしれん、こはす、續隨、續隨
 子) *E. Lathyris* L. 〔分布〕南原産ノ⑥、日本栽培、天文年間和蘭
 ヲリ渡來。〔生薬〕續隨子 *Semen Lathyridis* ハ秋期、種子ヲ採
 乾セルモノ也、楕円形・長6mm 尺橘紋理アリ、味初微和油採後
 苛辣也。〔成分〕種子ハ脂肪油約40~46%, *Euphorbon*, *Gu-*
mmi (ゴム質) 等ヲ含有ス、其他 *Aesculetin* $C_9H_6O_4$ 0.6%
 及性情不明ノ結晶性物質0.024% ヲ含有ス、後者ハ治療上無
 效成分ナラン(猪子氏)。〔薬效〕瀉: 種子ヲ利尿ノ要藥トシ又通
 經劑トシ、瀉下劑(便通ヲ良クスル)又分泌催起ニ煎用ス。用量0.5
 ~1g. 根及ヲ除キ種子ヲ压榨シ油分ヲ去リ用フベシ。多用
 ハ劇毒ナル故要注意。佛国醫方藥トス。漢方ニ「石水破血下痰
 解毒」トアリ。莖葉ヲ朝鮮柳ト称シ切創或搗碎シ出ル液汁ハ
 疣及黒子ヲ除キ面癩ヲ治スルニ塗布ス。用法ハ種子ヲ箱底
 ニ押シ標メバ種皮ハ脱離スル故仁ヲ取り火ニ炒リ搗碎シ紙
 ニ包ミ上ヨリ圧シ油分ヲ紙ニ吸收シ油分ヲ除去シ他藥ニ配

合使用ス。種子油ヲ印肉ニ合セ又自嚼鐘・刀剣等ニ塗布ス。

(30) たいわんにしきさう (しまにしきさう) *E. kirta* L. (*E. piluvifera* L.) [分布] 台産ノ①。[成分] 全草中 Alkaloid, 瘧疾・Tannin・樹脂ヲ含有ス。[薬效] 全草(水洋局方)ヲ煎劑トシ鎮逆・祛痰藥トス。1日用 2g, 煎服トス。

(31) のうるし (さばうるし, 草薔苳) *E. adenochloa* Morr. et Decne. [分布] 北・本・四ノ山野生, 散生又群生, [成分] 苛烈ナル有毒成分ヲ含有ス。[薬效] 民: 利尿藥トシ全草ヲ服用ス。(過量不可)。

(32) たかとうだい (いぶき・だいげき, 大戟) *E. pekinensis* Rupr. v. *Onoei* Mak. [分布] 本・四・九・朝・嶺ノ山野生, 点生ハ散生。[生薬] 根ヲ秋期採乾シテ藥用トス。[成分] 全草ニ黃褐色ノ液汁ヲ含有ス, 其主成分ハ Euphorbin $C_{27}H_{58}O_2$ 也, 之ヲ加水分解セバ Euphornetin $C_{26}H_{58}O$ $\left\langle \begin{smallmatrix} OH \\ OH \end{smallmatrix} \right\rangle$ トナル。[薬效] 根ヲ煎服セバ大小便ヲ快通シ, 悪血(瘀血)ヲ下シ, 且利尿(水腫等)劑トナル, 又利尿海下ノ目的ニ水腫・月經不順(通経藥)・便秘・慢性盲腸炎等ニ於ケル胃腸内容物ヲ排泄セシメ, 腸内留滯ヲ治ス, 1回 1.5g ~ 2~5g, 煎服ス, 但シ妊婦ニ用ハズ, 胎ノ恐アリ, 不可用。有毒植物也。

(33) あざさんご (みどりさんご, れだまきりん, 青珊瑚) *E. Tirucalli* L. [分布] 台湾産, 海岸砂地植物高 6m. ノ小豆。[薬效] 樹液ヲ解毒ヲ治スニ用ヒ, 莖葉ヲ搗碎シ水中ニ投シ魚類ヲ捕獲スルニ用フ。

(34) とうだい-ぐさ (すすぶりはな, 澤漆, 燈台草) *E. Helioscopia* L. [分布] 本(中南部)・四・九・朝・嶺ノ平地路傍ニ散生ハ群生スル①又②。[生薬] 莖葉ヲ春期採乾シテ藥用トス。[成分] 種子ニ脂肪油 32% ノ外ニヤマアガ属植物同様ノ海下作用物質ヲ含有ス。莖葉ニハ溶血作用ナキ Saponin ナル Phasin 及溶血作用強キ Sauer Saponin ヲ含有ス。[薬效] 莖葉ヲ煎服シテ解熱藥及利尿藥トシテ間歇熱及顔面及四肢浮腫ヲ治スル水腫治療藥トス。1回 1~3g 煎用ス。又莖葉ノ生汁ヲ疣黒子ヲ除去スル效アリト云。

(35) にしきさう (ちぢかき, 地錦) *E. humifusa* Willd. [分布] 本(中南部)・四・九・朝・嶺・台ノ原野路傍團圓等ニ散生ハ群生スル①。[薬效] 莖葉ノ生汁(乳液)ヲ疣ニ塗布シ除去ス(民)。

(36) にしきさう (小錦草) *E. maculata* L. [分布] 北米原産, 日本福北, 原野, 路傍ニ散生ハ群生, 葉ハ有毛, ①。[成分] 全草ニ鞣酸 Gerbsäure ヲ乳汁ニ没食子酸 Gallussäure, Gerbstoff・樹脂等ヲ含有ス。[薬效] 全草ヲ採乾シ蜜ヲ加ハ煎服セバ赤痢ヲ治シ又阿片嗜着等ノ便秘劑トス。又收斂藥トシ外用シテ疥癬ヲ治ス(塗布)。

(37) みやこじまにしきさう (あはゆきにしきさう) *E. serrulata* Reinw. [分布] 九(種子島・大島)・琉・台ノ山野自生ノ①。[薬效] 莖葉ヲ煎服シテ解熱劑トス。

(38) 3.くろき *E. antiquorum* L. [分布] 琉産ノ肉質小豆。[薬效] 莖ヲ搗碎シ局部ニ外用セバ腫毒ヲ解シ水腫ヲ治ス。

第十七目 無患子目 Sapindales

特徴——概 D(5~5~5), 稀 H(ほろせんくわ科)。葉ハψ又ψ, 單葉又複葉(掌狀或羽狀), 齒齒牙縁稀全縁。花ハ傘又♀♂又φ, F-f=K;n; Cx no An v. n+n Gn マ正式トシ 2=5 v. 4也。而テ一般的格式—K2~7 r. ∞ C2~7 r. ∞ A2~7 v. 3+3~7+7 r. ∞ G(1~7) r. (8~9) 也。子房中ノ卵子ノ位置ハ前目ト反對ニテ脊側ニ離合線アリテ上向卵孔アル極無卵子カ、又腹側ニ離合線アリテ下向卵孔アル上昇性卵子トアリ。花絲ハ2枚性也。所屬 13科中藥學關係ハ次ノ 10科也。

- 多葉H, 花ハφ, 1 Kハ有距 --- Fam. (X) ^{ホウセンアツ}鳳仙花科 Balsaminaceae
- D(5~5), 花ハφ又φ, Kハ無距 ----- 1
- 1 { 樹小5高30cm. 以下, 線形常綠葉 --- Fam. (II) ^{カシカラン}岩高木科 Empetraceae
- 30cm. 以上, 5又5葉④, 葉ハ非線形常綠又落葉性 --- 2
- 2 { 葉ハψ又ψ, 5~5 ----- 3
- 葉ハψ, 5~5葉④ ----- 8
- 3 { 5, 披針ハ士四角柱, 葉ハψ又ψ, 單葉(無柄)1~5行脈 --- Fam. (III) ^{クワツキ}藜科 Coriariaceae
- 5~5; 葉ハψ, 單葉又複葉, 有柄, 羽狀又掌狀脈 ----- 4
- 4 { 5, 稀5, 5~7出掌狀複葉葉果也 --- Fam. (VIII) ^{ヒツノキ}七葉樹科 Hippocastanaceae
- 5~5, 單葉又複葉(羽狀又3出掌狀)也 ----- 5
- 5 { 葉ハ單葉披針狀淺~全裂)又複葉・双翅果也 --- Fam. (IV) ^{カハチ}槭樹科 Aceraceae
- 葉ハ單葉無裂, 滿・披・葉果也 ----- 6
- 7 { 葉ハ小形四頭, 莖實; 花ハ無C. --- Fam. (I) ^{クワ}黃楊科 Buxaceae
- 葉ハ中~大形, 非四頭, 花有C. --- Fam. (VI) ^{シキキ}衛矛科 Celastraceae

- 8 { 花=C無シ, H又D ----- 9
- 花=C有リ, D ----- 10
- 9 { 常綠H, 單葉, 葉又核果也 ----- 黃楊科 Buxaceae
- D, 單葉又複葉, 核果也 --- Fam. (IX) ^{ムクロシ}無患子科 Sapindaceae
- D, 複葉, 核果也 --- Fam. (IV) ^{ウルシ}漆樹科 Anacardiaceae
- 10 { 葉ハ單葉也 ----- 11
- 葉ハ複葉也 ----- 13
- 11 { 子房ハ1又數個アリテ各1室ヲ有ス --- 漆樹科 Anacardiaceae
- 子房ハ2室或ヨリ多數室ヲ有ス. ----- 12
- 12 { 花ハ花盤ヲ有ス --- Fam. (VII) ^{シレキヤ}衛矛科 Celastraceae
- 花ハ花盤ヲ有セズ --- Fam. (V) ^{ソヨコ}冬青科 Aquifoliaceae
- 1 { 果實ハ核果, 樹脂ハ酸化黒変ス --- 漆樹科 Anacardiaceae
- 2 { 果實ハ非核果, 酸化黒変樹脂無シ --- Fam. (IX) ^{ムクロシ}無患子科 Sapindaceae

Fam. (I) クワ(黃楊)科 Buxaceae

形態——常綠5~5, 稀5又2, 極稀常綠④。葉ハψ稀少, 有短柄, 無托葉, 單葉或全縁凹縁・齒齒牙縁。花唇ハ(♀♂), 稀♀♂小形, 卵狀或圓狀花序 = 非烈。花ハφ, 又φ, ④, 概4枚性, δ = K4 C0 A4 r. ∞ G0 v. 4, ♀ = K0 C0 A0 G(3) v. (2~4), 子室2~4室 = 2~1, 側生卵子ヲ含ム, 花柱ハ心皮ト同數・離合線稀基部合一, 無花盤。果實兩果又核果, 種子ハ概有胚乳, 内胚乳細胞狀。

成分及效用——木科ノ成分ハ Buxin, Parabuxin 等, 塩基, 揮発油, 脂肪, 蠟等ニテ配糖体ヲ不含。藥用ノ外木材科, 器

兵用, 觀賞用 = 烘スルモノ有リ.

分布及属種數——世界 = 6属又40種ヲ産シ温〜亞熱帯 = 分布ス。日本 = 3属ヲ種ヲ産ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) つげ (あさまつけ, ほんのげ, 黄楊) *Buxus japonica* Muell. Arg. [寄生] 本(中南部), 四九ノ山地・山麓 = 散生〜群生, 互〜互. [生藥] 樹皮及葉ヲ藥用トス。[成分] 樹皮及葉 = *Buxin*, $C_{19}H_{21}NO_3$, *Parabuxin*, *Buxinidin*, *Parabuxinidin*, *Buxinamin* 等ノ塩基ヲ含有ス。[藥效] 樹皮及葉ヲ煎服セハ痛風・リウマチス・梅毒等 = 有效。又腸駆虫劑 = 供シ得ハシ。[藥理] *Buxin* ハ眩暈・麻痺等ヲ主トシ, 嘔吐・下痢ヲ能サシム。[備考] 伊豆諸島特ニ多シ, 又九州 = 良材ヲ産ス, 大者徑 8寸高 2丈。材ヲ印版・版木・櫛算珠・將棋駒・器械部介岳材等其用廣シ, 密函版ハ此材ヲ用ヒシモノナリ。庭木トシ觀賞用トス。

(2) せりやうのつげ *B. sempervirens* L. [分布] 歐洲原産。[生藥] 樹皮ヲ藥用トス。[成分] 樹皮 = *Buxin*・*Parabuxin* 等ノ塩基ヲ含有ス。[藥效] 樹皮ヲ煎服シテ駆虫劑 (石榴皮ノ用) トス。

Fam. (II) がんかうらん (岩高蘭) 科 *Empetraceae*

形質——常緑互, 寒地生。葉ハ線形, ψ 又 ψ , 無托葉, 葉縁外反生, 滑。花器ハ♀♂, 小形, 單性又頭狀花序 = 排列。花ハ中, \odot 又 \odot , ♀♂ = $K_5 \sim 2 C_3 \sim 2 r. o G (2 \sim 3 \sim 9)$; Gハ 2 ~ 9 子室, 各室 =

1ヶノ副生又胎旁生卵子ヲ含ム, 花柱ハ短・上部 = 心皮ト同數, 分枝ヲ有ス。果實ハ核果, 有胚乳種子ヲ容ル。

成分及效用——成分ハ *Benzoesäure*・*Uron* $C_{16}H_{16}O$ ・*Fructose*, *Cerotinsäure-Cerylester* ヲ含ム鹽, *Andromedotoxin* 等ヲ含ムモ *Glycosid* 及 *Alkaloid* ヲ含ムモノナシ。

(1) がんかうらん (こけのみ, 岩高蘭) *Empetrum nigrum* L. [寄生] 群・干北本(中北部)・朝ノ寒地帯 = 散生〜群生, 花初夏, 成果翌夏。[成分] 葉 = *Benzoesäure*, *Uron*, *Fructose*, 悉ク *Rutin* ト思ハルハモ, *Cerotinsäurecerylester* ヲリ成ル糖, *Andromedotoxin* 等ヲ含有ス。[藥效] 果實ヲ食用トシ, じやもヲ造リ且一種ノ酒ヲ醸スハシ。營養又滋養強壯劑也。[備考] 鹿島山頂ニ生ズル場地性小互, あいぬ人ハ「エツキマイマイ」ト称シ好食之, 幽室ハ之ヲ以テ燻ノ鉄口ヲ出ス = 用ルコトウツギ葉ノ如シ。

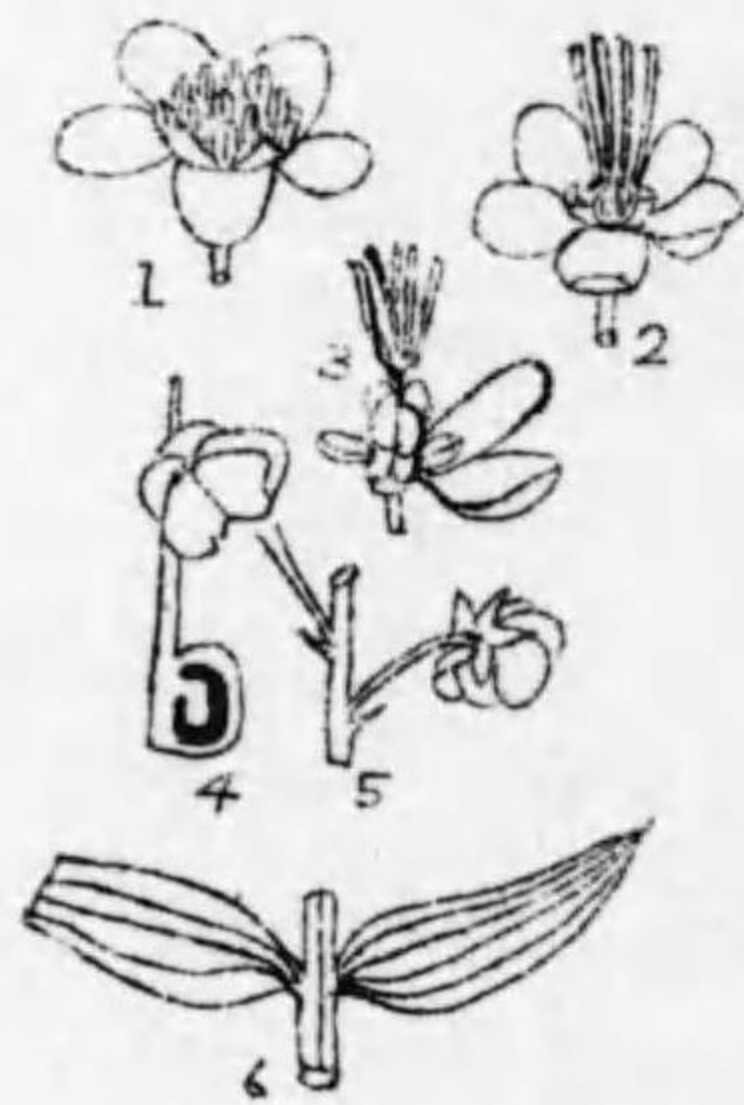
Fam. (III) どくろつこ (毒空木) 科 *Coriariaceae*

(2/3 四本照)

形質——互稀片(外圍)平滑無毛。葉ハ十指 ψ , 單葉無裂, 全縁, 無柄, 1~3~5行脈無托葉, 葉細小。花器ハ傘又♀♂, 小色, 帶綠色, 單腋生又總狀花序 = 排列。花ハ中, 5數性傘 ψ (♀♂) = $K_5 C_5 + 5 G_5 \sim 10$, 雌♀ = $K_5 C_5 A_5 + 5 G_5$, ♂ = $K_5 C_5 A_0 G_{10}$; Cハ花時Kヨリ小多肉, 花後肥大成長, 被果呈美色; 各子房ハ1

室1ヶノ刺生卵子ヲ含ミ、花柱ハ1箇宛。果実ハ5ハ8ヶノ
分裂果(全面果)ニテ肉質Cニテ被ル。種子ハ1ヶ宛、莖キ胚乳ヲ
有ス。

213 四



(213四) どぐらつぎノ花・果・葉・及
其解剖(1, 2, 3...白沢氏,
4, 5, 6, 原田) 1, 合 2, 子, 3 子
(C₃ヲ除去ス) 4, G1ヶノ縦断
面 5, 果実ノ一部, 6, 葉ノ
一部

成分及效用——猛毒成分ナル
Coriamyrtin・*Tutin* 等ノ配糖
体ヲ含有ス。植物体ハ殺菌ニ富
ム故殺皮用トス、花・果ハ大毒也。

分布及属種数——世界ニ1

属8種ヲ産シ、南北両半球ノ温帯ニ分布ス。日本産1属3種
中2種ハ台湾産。

本科ノ有毒植物:—

(1) どぐらつぎ(いちろべーころし、みそやかす、毒空木、木本
黄精葉植物)(213四) *Coriaria japonica* A. Gray [寄生]
北本(北中部)ノ山野ニ散生〜群生。[毒物]葉・花・果凡テ有
毒、就中果実及葉ヲ最トス。[成分]果実及種子ニ配糖体 *Coria-*
myrtin C₁₅H₁₈O₅ 及 *Tutin* C₁₅H₁₈O₆、ヲ、葉ニ前者ヲ含有ス、何
レモ有毒成分ニテ前者ノ毒性ハ後者ニ4倍ス。其他葉ニ
Coriariasäure C₁₀H₈O₇; 莖ニ *Corlose* (ケトハキソーゼ)

C₆H₁₂O₆ヲ含ム。有毒成分トシテ山田氏ハ *Coriamyrtin* C₃₀
H₃₆O₁₀ヲ挙ゲ、木下氏、刈水及佐藤両氏等ハ *Coriarin* C₁₁H₁₅O₂
(OH)(COO)ナル毒物ヲ得、宮地氏ハ *Coriariatoxin*・*Coria-*
*toxin*ノ2種ノ結晶性毒成分ノ外、宮地及坂西氏ハ其2結晶
ヲ分離セル残渣ヨリ更ニ3種ノ *Rikrotoxin* 様毒質ヲ得
タリ。宮地氏ニ依レバ *Coriariatoxin*ハ *Coriatoxin*ノ
約7倍毒性強シト云フ。[中毒]果葉共ニ猛毒ヲ有スルガ、特ニ
果実ハ美麗葡萄状故ニ小兒誤テ食之、年々数人ノ中毒又死亡
者有リ。[薬理](1)本毒藥中 *Coriamyrtin*ハ生理作用 *Rikroto-*
*xin*ニ類似シ、延髄ノ痙攣中樞ヲ刺激シ劇烈ナル痙攣ヲ發シ、
呼吸停止ニ依テ死ス。又血管運動神経ノ侵襲ニ依リ脈膊
運送トナリ、大量ノ場合ハ遂ニ持動停止ス。人ノ主ナル中毒
症状ハ嘔吐・全身激直・口唇紫変・瞳孔縮小・四肢筋力減退等
也。其致死ニ對スル最少致死量ハ体重1kgニ付静脈内注射
0.5mg、皮下注射3mg、*Tutin*ハ静脈内注射2mg也。(2)毒空木
毒ノ中毒症状ハ延髄ノ諸中樞ニ依リ痙攣中樞ヲ刺激シタル後
ニ之ヲ麻痺ス、中毒動物ハ全身痙攣ヲ發シ、呼吸停止ニ依リ幾
ルル者多キモ、一時ニ毒成分ノ大量ヲ取ルトキハ心臓抑制装置
興奮ノ結果 *搏動*ヲ停止ス。

(2)せいようどぐらつぎ(西洋毒空木) *C. myrtifolia* L.
[分布]南欧及北亞弗利加産ノ5, 莖ニ K₅C₅A₅+5G₅2。[成分]全株
ニ *Coriamyrtin* (大毒)ナル配糖体及 *Quercetin* 等ヲ含ム。
效用葉ヲ黄色染料トス。

Fam. (17) 362 (漆樹)科 Anacardiaceae

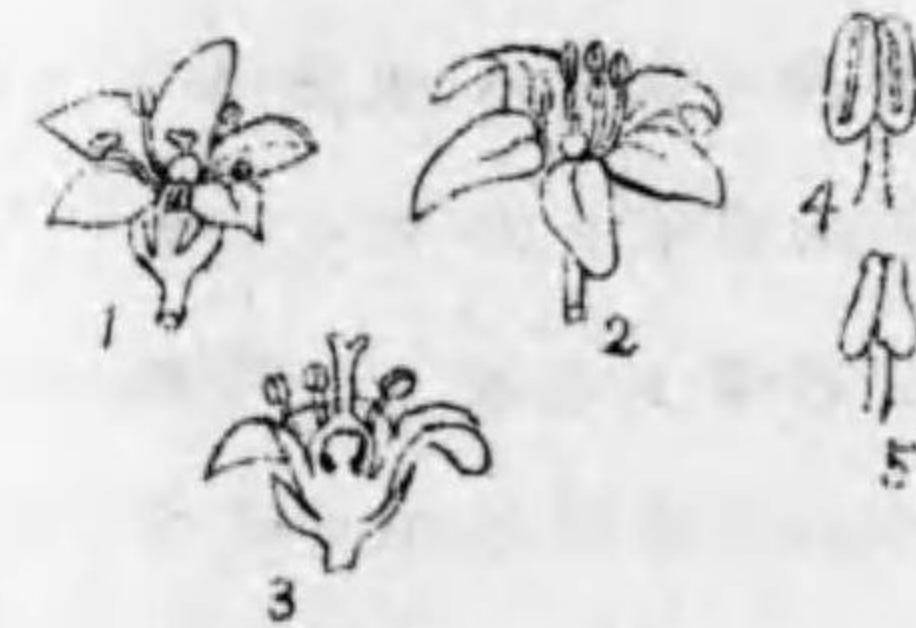
(214 圖参照).

形質——^{マンニ} 葉質 = 蜜ミ必維融性樹脂道ヲ具フ。葉ハ
 V 形ノ (外國, *Bona* 屬), 無托葉, 概複葉 (奇數羽狀又3出
 掌狀) 新葉 (まんごう族 *Mangiferae* 屬), 全縁細裂
 葉 (又幼時又新嫩) 齒牙 ~ 波線。花苞ハ全又♀♂ (退化)。小形
 密集, 腋生又頂生ノ複總狀 (四維) 花序ヲ成ス。花ハ中, 概5數
 雄3又4數性花托ハ ~ 花盤ハ多様 (扁平 ~ 隆起 ~ 凹没 ~ 子房柄等)
 故花ハ上位 ~ 下位 (外國), ♀♂ = K: 3 ~ 5 ~ 7 r. 2 r. 8; C₃₋₅
 ~ 7 r. 0 A₃₋₅ ~ 7 v. 4 + 4 v. 5 + 5 v. ∞ G: $\overline{3 \sim 1}$; r. $\overline{5 \sim 4}$; 概♀♂
 = K: 5; C₅ A₅ G: 2; Cハ互列, Aハ概花盤着生; 1 ~ 5 子室, 各
 室1ヶ, 側生又懸垂性卵子ヲ含ム, 卵子ハ2卵膜, 花柱ハ小
 離又結合。果實ハ概核果 = 樹脂 = 蜜ル中果皮ヲ有ス, 種
 子ハ無胚乳。(子房3中葉ノ室ノミ成熟有種子, 他2心皮ハ不
 登 = 唯藥柱又柱頭トシテ殘存ス, ... 測ラる 2屬)。

成分及效用——本科 = ハ 鞣酸・蠟類・脂肪油・精油 等ヲ含有
 スルモノ多ク, 又 *Urshiol*・*Campospermanol* 等ノ如
 キ *Phenol* 性物質ヲ含ムモノ, 極基反配糖体ノ分布ハ甚稀也。
 詳細如次。配糖体 (*Carakin*・*Carynocarpin*・*Fustin*)
 色素類 (*Fisetin*・*Myrisetin*・*Quercetin*)、酸類 (酒石酸・
 林酸・枸橼酸・没食子酸・没食子酸・鞣酸・*Ellagsäure*・*Anacar-*
dsäure 等), 其他ノ物質 (*Urshiol*・*Luccol*・*Laccase*,
 (酸化酵素), *Mannose*・*Rhamnose*, *Galaktan*・*Pento-*

san・*Mannit* 等) 等也。本科 = ハ 塗料成分即酸化黒炭ス
 ル漆酸ヲ含ムモノ蠟ヲ採ルベキ果實ヲ生ズルモノ, 美味ノ果
 實ヲ生ズルモノ, 木材用, 器具用材ヲ供スルモノ等アル外,
 藥用植物亦不尠。

214 圖.



(214 圖) 362 屬ノ花及解剖,
 (1, 2 白沢氏, 3 ~ 5 原田),
 1. 362 屬ノ♀ = K(5) C(5) A₅ G(2)
 2. 全♂ = K(5) C₅ A₅ G_L
 3. はせのみノ子
 4. A₁ノ裏面 5. 全背面

分布及屬數——世界 = 58 屬約 500 種ヲ産シ, 主 = 熱 ~ 温
 帯ニ分布ス。日本 = 自出又栽培スルモノ凡 6 屬 17 種アリ。

本科ノ藥用植物:—

(1) マンゴウのき (樹果様長樹, 漆果) *Mangifera indica* L.

[分布] 印度原産ノ常緑長葉, 卵狀長楕圓形核果, 日本(台)栽培。
 [生薬] 果實ヲ *Mango* ト称シ藥用及食用ニ供ス。[成分] 果實 + Y
 庭ヨリ得タル果内部 28 粒ヨリ *Carotin* 0.058 瓦ヲ得, 又
Vitamin A ハ牛酪 *Butter* ト同量ニ採シ, 此ハ乳モノ汁
 ト同量ニ含有ス。[藥效] 果皮ヲ煎取シテ峻下劑及利尿劑トシ
 内服子ヲ粉末トシテ驅虫藥トス。[備考] 熟果實否果實中最
 佳美ノ食用果實トシテ著名ナルガ品種多キ故一概ニ賞シ難
 シ。試飲者ハ生食シ, 亦患者ハビクモ又砂瀉瀉トシテ食ス, 又
 種子モ食用トス。

(2) ニツカウのき (ふるかうし, 乳香樹, 楓香脂) *Pistacia Lentiscus* L. (分布) 南欧原産 (土耳其領・ヒオス島) / 常緑。偶数羽複葉 (生薬) 莖幹ヨリ出ル樹脂ノ凝固セルヲ乳香又 Mastix (Mastic) ト云ス。幹枝 = 疵傷ヲ付シテ流出セル樹脂 = 同類ス, 小〜大豆大。円〜棍棒状淡黄赤色, 破面有光沢, 咀嚼 = ヨリ軟化ス, 酒精 = 過半熱酒精 = 全溶シ, [E-フェル] [クロロホルム] 硫化炭素揮発油 = 可溶リ, [成分] 乳香脂ノ成分ハ揮発油 1~2%, Mastixsäure・Masticin・樹脂苦味質等ヲ含有ス。〔薬效〕
マキツキス
Mastix \rightarrow Alkohol 又 Terpen = 溶解シ, 浸漬トシ塗料トス, 又其酒精濃溶液ヲ填歯料トス。其他咀嚼薬・合散料・齒齋丁・殺菌香料トス, 又流出セル樹脂ヲ気管枝粘液漏 = 用ス。乳香ヲ咀嚼バ歯ヲ凝固 = スル效アリ。

(3) トクノウカウのき (篤藨香樹, 篤藨香) *P. Teredintus* L. (分布) 南欧原産ノ豆, 奇数羽複葉。〔生薬〕^{トクノウカウ} 篤藨香ハ篤藨香樹ノ樹幹ヲ傷ケテ流出セル樹脂ノ凝固セルモノ = テ, 芳香ヲ有ス。〔成分〕本樹脂ハ大部分 α -Pinen ヨリ成リ揮発油約 14% ト樹脂 83~89% ヲ含有ス。果實 = ハ液体脂肪酸 76%・脂肪油 36.9~37.6% ヲ含ミ, 樹皮 = Gerbstoff 25% ヲ含有ス。〔薬效〕藥学的效用ハ前種ノ樹脂ト同一也。

(4) タンニシうるし (*Rhus Coriaria* L.) (分布) 南欧・地中海沿岸地方産。〔生薬〕樹皮ヲ ^{スマック} Sumach ト云ス。〔成分〕單寧及 Myricetin $C_{15}H_{10}O_8$ ヲ含有ス。〔薬效〕樹皮ヲ染料及鞣皮用 = 供ス。

0(5) ふしのき (ぬるび, かつのき, かつ, 五倍子樹, 塩膚樹, 鹽肤子) *R. javanica* L. (*R. semialata* Murray) (分布) 北本・四・九・朝・琉ノ山野 = 自生, 五。〔生薬〕五倍子 *Galla* 一名木附子虫 *Schlechtendalia mimifuschi* Matsumura (日本) 又 *S. Chinensis* J. Bell (支那) ナル呀虫類カ雄芽又總葉柄ヲ刺衝産卵スルヨリ生ズル蟲癭 (囊状質生物) ヲ秋季 = 採乾セルモノナリ。山口・岡山・高取・長野・新潟・埼玉・縣多産ス, 秋季生ジニ型アリ, 甲ハ耳ぶし (耳五倍子) ト称シ形耳盤状 = テ呈ス, 褐色灰白絨毛密生シ, 内空洞ニ包藏呀虫, 角質様破砕シ易ク強收斂性淡味アリ, 藥用 (局方) 及染料 = 佳也。乙 \rightarrow 花ぶし (花五倍子) ト称シ形葉芽ノ如ク又細分裂状似, 花性産 = シテ不可用。樹皮及葉ハ藥用 = 供ス。〔成分〕五倍子ハ多量 (50~58%) / Tannin-säure 單寧酸及小量ノ Gallussäure 没食子酸ヲ含有ス。支那産五倍子ハ邦産 = 比シ濃色且收斂性强シ。〔薬效〕局方五倍子 *Galla* ハ單寧酸 Gerbsäure 製造原料トシ, ス收斂藥トス。又局方五倍子丁糖 *Tinctura Gallae* / 製造原料トシ, 外用 = ハ洗口水 = 加入無力性潰瘍ノ塗布藥トシ, 又沃度丁糖或鞣醣精ト等分 = 和シ凍傷・火傷・潰瘍等 = 塗布ス, 灌腸 = ハ稀液シテ用ス。五倍子ノ粉末ハふしの粉 (ふし粉) ト称シ古來婦人 (既婚) / ^{フハグロ} 淫瀉 = 用ヒタリ。葉 = 多量ノ單寧ヲ含ム = ヨリ黑色染料 = 供スベシ (他ノ *Rhus* 属種類モ同様也)。局方五倍子ヲ 7日 数回 0.5~2.0 ヲ散・丸・煎・浸劑トシ收斂藥トシ内用 (制瀉劑等) ス。全 5~10% ヲ單味又沃丁 (神々) ト称

シ用法又合嗽(齒痛又齒齦炎・口内炎・扁桃腺炎) = 用ヒ、又撒布劑(皮膚潰瘍等)トス。局方五倍子丁幾ハ五倍子粗末 7.0 稀酒精 5.0ヲ加ハテ製ス、0.5~2.0ヲ收斂劑トシテ 1日3回内服シ、諸器官ノ止血劑トナリ又止血劑即腸收斂藥(下痢等)又下血子宮出血止血劑トス、又潰瘍凍瘡等 = 塗布ス。又解毒劑トス、1日數回 10~30滴ヲ用フ。又なまぎ(皮膚病) = ハ五倍子丁幾 = 湯メ布等ヲ浸シタルヲ生薑汁ト硫黃トヲ文セタルモノ = 患部ヲ清潔 = セシ後塗布シテ治ス。皮膚出血 = ハ五倍子粉末ヲ塗布シテ治ス。其他靴ずれ疣疾等 = 粉末ヲ飯粒 = 練リ合セ貼付ス。瘰癧ヲ乾燥シ煎服セハ慢性癆加瘰癧ノ下痢止トナル、1回 1g. 煎用。朝鮮 = 五倍子煎汁 = 疔瘡及口瘡ヲ洗ヒ治ス。

五倍子ハ單藥ヲ多含スル故前記醫藥用ノ外 = 漆器用藥及工業用・又、^{カチノキ}んき製造原料トシテ多量 = 消費セラル、又浸食子酸及びろろがるろーる等ノ高真純像液ノ製造原料タリ。往時既酒桶人ノ漆齒劑おはふろハ本品 = シテ鉄 = 化合シ單寧酸鉄トナル黑色ヲ利用セル也。五倍子粉末ハ收斂性撒布劑トシ、或注射液・洗滌料等トシ、又軟膏トス。

[備考] 昔百虫倉。文蛤ト称シ、又材ヲ焚ク = 爆音ヲ發スル故手借ハ護摩木ト称シ、又正月初 = 露水ト称シ使用セリ。秋ノ紅葉中最美黒ナルモノノ一 = 秋曰山間夕陽 = 映ス。日本産ハ歌産 = 優ル故年々歌水 = 輸出ス。

[藥理](1)鞣酸ハ一般 = 蛋白質ヲ沈澱スル性アリ、故 = 血清溶

液又卵蛋白質溶液ト作用セシムレハ沈澱凝集ヲ起リ、哺乳動物腸切片 = 之ヲ作用セシムレハ收斂的 = 作用シ其上皮 = 被膜ヲ收ル。(2)尚動物ノ皮膚ヨリ出血セシメ之 = 鞣酸ヲ與フレバ止血セシメ、(3)又動物ノ胃内 = 鞣酸ヲ與ハ後直 = Alkaloidヲ與ル = 解毒的ノ效果ヲ示スモノ也、即組織 = 接シテ蛋白質ヲ沈澱凝固セシメ、小血管ヲ圧搾又收縮スル爲 = 血液凝固シ其爲止血作用ヲ望シ、分泌細胞 = 對シテモ同一作用ヲ望スルヲ以テ分泌ヲ抑制シ、粘膜ハ乾燥スルニ至ル。(4)尚神経末梢部ノ蛋白質ヲ沈澱セシムル故弱キ局所麻醉ノ效アリ。

(6)うるし(うるしのき、漆樹)(214回) *R. vernicifera*

Stokes (分生)支那原産(亞細亞原産ト云ハ?也)ノ落葉莖。日本各地栽培。[生薬]生漆^{キツルシ} *Lacca japonica*ハ樹幹 = 切傷ヲ附シ滲出スル汁液ヲ採集セルモノ也、暗褐色濃稠液ニテ固有、有臭氣、空氣 = 触バ酸化シ黒変ス。乾燥ハ生漆ヲ乾燥セシモノ也。黑色蜂蟻糞塊狀ヲ成ス。東北地方(陸奥・秋田・山形・福島)新海・下野ヲ主産地トシ日向次之。[成分]生漆ハ *Urushiol* $C_{21}H_{32}O_2$ ・*Laccase*(酸化酵素)・護膜質等ヨリ成リ、少量ノ *Mannit* $C_6H_{14}O_6$ ヲ含有ス。*Urushiol*ハ $210 \sim 222^\circ$ = 蒸溜スル液体 = 2種ノ成分ノ一、混合物也、又 *Laccase*ノ作用 = 依リ空氣ノ酸素ヲ取り黑色樹脂狀 = 変ス。生漆中 *Urushiol* 含量ハ 80%内外也。*Hydrourushiol*ハ少量 = 含有ス。果實中蠟ハ 20%内外、主 = *Parmitinsäure*・*Oleinsäure*。日本産 *japansäure* $C_{20}H_{40}(COOH)_2$ (蠟中 6%) 等、*Glycerid*

ヨリ成ル。(一説=Palmitinヲ主成分トスル所謂japantsalg
 124.2%ヲ含ムト云)。(藥效)漢:乾漆ハ通經・驅虫(蛔虫)・鎮咳
 藥トス,用時搗碎シ炒熱シ1回1~3g(粉末)服用。但シ人=
 後リ猛烈=漆疹ヲ發スル故該試質者不可用。扁桃腺炎=ハ
 乾漆ヲ火=燻ハ烟ヲ吸引セシム。漆液人膚=蝕レバ^{シラシカシ}漆疹
 此漆性皮膚炎ハ全クUrushiol=起因ス而テ其0.001%ハ敏感
 者=発疹セシム,Hydrourushiolハ毒性弱ク同程度発疹ハ
 0.1%ヲ要ス。其豫防又治療法ハ患者ヲ苛性加里7%酒精30
 部,グリセリン10部水60部ノ溶液=テ清洗シ既=炎症ヲ認ハ
 鉛糖溶液ヲ以テ冷感法ヲ施スベシ。又漆疹=つめくさノ葉
 ノ揉汁ヲ塗布スルカ,桑ノ木皮ノ煎汁=テ洗フカ,或鉛葉ノ煎
 汁=テ洗フカ,又ひよどりじょうニノ葉或ハハカニ漬汁ヲ塗
 布シ有效。但シ以上ハ試質=成テ選定スベシ。

[備考]生漆ハ防腐性塗料=テ空中酸化黒変ヲ利用シ漆器製
 造=供ス。漆汁着色ハ繪具^{ニフツ}ヲ桂油=テ煉リ混和ス。漆汁百
 匁=付次ノ割合トス。(1)蠟色--鉄屑2匁(但漆汁7匁目)
 (2)朱色--朱9匁 (3)赤色-- 辨柄4匁 (4)黄色--藤黄40
 匁 (5)茶色--藤黄及辨柄 (6)青色--藍 (7)花漆--少量鉄屑
 但使用時吉野紙=テ濾過スベシ。漆汁ハ無湿気ノ空中=テ
 ハ酸素ヲ不吸收從永不凝固之=グリセリンヲ加バ2時間豆
 煮汁ヲ加バ4時間=テ凝固ス。果実ヨリハはせ蠟ノ如ク蠟
 ヲ搾取シ日本蠟燭ヲ製ス。其残渣=テ馬ヲ飼養セハ馬肥大
 シ毛色極テ美濃也。材ハ黄色,寄木細工・浮木(魚網)・器具用

建築用トス。山民嫩芽ヲ蒸食スルモかぶれ易者ハ不可食
 [處方例] 乾漆丸(瘰癧ヲ治ス,皮膚病・瘡瘍=モ有效)…乾漆
 桃仁及鼻霜各1.0 大黃2.0…以上端細末混和蜂蜜及水糊ヲ以
 テ丸トシ3回分服。

(7) はせのき (はせのき), 野葛, 葛漆 *R. Toxicoden-*
dron L. v. radicans Torr. [分生] 華南・北本・四・九・
 山野=散生スル気根性^{ツボク}花初夏。[成分] 樹皮渗出液汁ハLaccol
 $C_{23}H_{36}O_2$ 及酸化酵素Laccaseヲ含有ス。LaccolハUrushiol
 ノ同族体也,而テ之ヨリ毒性弱シ。Laccolハ台湾^{ツボク}たいとうら
 る^{ツボク} *Semecarpus vernicifera Hay. et Kawak.* 中=
 モ含有ス。果皮中蠟分(Heneicosandicarbonsäure)
 68%・蠟中日本酸(はせのき核照)63%ヲ含有ス。[中毒] 白
 液汁=蝕レバ漆同様漆疹ヲ発ス。かぶれ易キ人ハ直クベカ
 シズ。有毒植物也。

(8) はせのき (はせのき, はせのき, 櫛, 黄櫛) *R. succe-*
danea L. [分生] 本(中南部)・四・九・朝鮮・琉・台ノ山野生豆, 小葉3
 ~7対, 鋭光頭, 花五月末, 成実十月。[成分] 果実ハ20~30%ノ蠟
 ヲ含ム, 其主成分ハPalmitinsäure 34%・Oleinsäure・
 日本酸 japansäure 5~6%。第1 Glycerid (Glyce-
 rinester) ヨリ成ル。其他 Pelargonsäure・Stearin-
 säure 等ノ Glycerid ヲ含有ス。最近研究=依レバ日本
 酸ハ單一物=非ズ, 主= ^{ヘンアイコガンヂカ} Heneicosandicarbonsäure
 $C_{21}H_{42}(COOH)_2$ ヨリ成リ傍ヲ ^{アイコガンヂカ} Eicosandicarbonsäure

$C_{20}H_{30}(COOH)_2$ ヲ混ス。〔效用〕九州=多種×(西豊・西筑・薩摩等) 採集ヲ採^{ハレ}採^マシ蠟燭ヲ製ス之ヲ生蠟(水蠟)ト称シ日光=晒白トシテ固燭ト称ス。古來日本蠟燭ヲ製ス、又木具及織物ノ製出料トシテ多量ニ需用ス。外國=モ多量輸出ス、其他模製蠟燭(ホマード¹等(化粧品原料)ヲ製ス。藥用トシテハ軟膏ノ基礎劑トシテ良好也是ニハ十¹分晒白セルヲ用フ(かぶれヲ防グ爲)。生蠟ハ日本蠟燭原料トス。すくあり人蠟燭=比シ光力弱キモ煤煙ヲ不生、故提灯用トシテ需用多シ。木部ノ色素ヲ黄色染料トシテ黄蠟燭ノ代用トス。黄蠟燭ハ蠟木及蘇枋ヲ用ヒ着色(黄紅)ヲ呈シ暹日界天色ヲ模ス、嵯峨帝ノ弘仁十一年勅令ヲ以テ天皇御衣色ト制定シ庶民用ヲ禁ジ明治帝ニ至リ、黄蠟燭御袍ヲ御式服ト制定セラル。材ハ黄色似漆樹、效用同、葉=蠟ニ漆膏ヲ不生、樹皮汁ハうるしヨリかぶれ弱シ、生漆ヲ不生。秋天紫紅葉セバ實ニ四月ノ花ヨリモ紅也。

(9)やま-はせ(やぶうるし、はせうるし、山蠟) *R. sylvestris* S. et Z. [分生]本(中南部)・四・九・朝ノ山野生ノ木、はせ=比シ全株褐色ヲ布キ小葉ハ4~7對面有毛、核果ハ斜形無毛。〔成分〕はせト全株ヲシテ。〔效用〕樹液ハ漆膏ヲ生シ易キコト、蠟ノ製造原料トスルコト其他凡テ蠟ト同一也。材ヲ器具用トス。吉野ノ山民之ヲ弓木ト云フ古昔=黄蠟燭土波白波茸波茸等ト書シ染料ヲ材トシテモノ悉クハ此種ヲシテ、今日ハせト称スルモノハ後也。外國ヨリ傳來セルモノニテ古ニアルベキ型ナシ(白井博士説)。

(10)やま-うるし(山漆) *R. trichocarpa* Miq. [分生]南千北・本・四・九・朝ノ山地生、核果ハ有毛也。〔成分〕うるし=近似シテ食毒。〔效用〕うるしト畧同様、但シ樹液ハ漆疹發生頗弱シ。山民缺食ヲ煮食スルコトアリ。〔備考〕エトロフ島ハ分布此限也。

Fam. (V) せまご(もちのき、冬青)科 *Aquifoliaceae*
(215 圖) 参照。

形質——互ニ互、極常緑。葉ハ有柄、花葉ハ小形又無、葉無裂、全縁~波縁~鋸牙縁、大針鋸齒縁、革質。花器ハ♀♂、小形不美、雄~族出、雌聚繖、葉末聚繖又單生、花序凡腋出シテ、樹生、非頂生。花ハ中、4~6 r. 7~8 数性; ♀ = $K_{4-6} r_3 C_{4-6}; A_{4-6} G_{(4-6)}$; ♂ = $K_{4-6} r_3 C_{4-6}; A_{4-6} G_{(4-6)} r. (7-8)$ 。 雌♀♂ = $K_{4-6} C_{(4-6)}; A_{4-6} G_{(4-6)}$; Kハ要宿存性、Cハ互列、子室ハ4~6 稀7~8 室、各心皮ハ1~2ヶノ樹生ノ卵膜卵子ヲ生ズ、花柱ハ短小又無、無花盤、果實ハ核果、1~8 稀0 核性; 種子ハ有胚乳、肉乳ハ細胞狀。

成分及效用——化学成分ハ *Ilex* 属ノミ知ラレ、Kaffein, 鞣酸-Glycosid. 脂肪・蠟・Pentosan・Kautschuk 等知ラレ。藥用ノ外、茶代用、烏糞料、或觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及属種数——世界ニ凡ソ5 属 28~300 種ヲ産シ、主ニ温熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡 7 属 62 種ヲ下ラズ。



215 圖

(215圖)もちのきノ花及そよニツ果実
 1. もちのきノ花 式 = $K_4 C_4 A_4 G_{14}$
 2. そよニツ 漿果

本料ノ藥用植物:—

(1) たらえふ (のこぎりば、日向方言) *Ilex latifolia* Th.
 [分生]本(中南部)・四・九ノ山地生 葉大厚・花四・五月、成果十一月
 [生薬]たらえふヲ藥用トス。[藥效]葉ヲ乾シ細刻シ茶代用ニ
 飲用ス、利尿劑トス、又樹皮ヨリ^{トリモチ}高糖ヲ製ス、白色上品也。[備考]
 材ヲ挽物細工トシ、庭木トシテ觀賞ス。

(2) もちのき (獨木) (215圖) *I. integra* Th. [分生]本(中南部)
 ・四・九・嶺・小笠原・琉台ノ山野生 花四・五月、成果翌年一月
 [生薬]本糖(高糖) 樹皮ヨリ高糖ヲ製ス、其法夏時樹皮ヲ剝取
 リ久(2~3月間)ク水浸ス、組織ヲ腐朽セシメ後白ニテ搗碎シ
 雜物ヲ除キ粘性ニ含性物質トス。又水浸後弱火ニ蒸後白着
 キテ製練シ製ス。白灰色系粘塊ニテ空觸面赤褐色化ス、鏡
 檢セバ石細胞・韌皮纖維・液腔・石灰單晶ヲ含有ス。茶良縣多産
 ス(檢録) 高糖=3種アリ、(1)本糖(もちのき)・茶良・三重
 和歌山縣。(2)山車糖(やまぐるま)・九州(特種子島)。

(3) 膏糖 (いぬつけ・たらえふ)・高知縣、[成分]本糖ハ水分 38
 %・ニモ(Kautschuk)質6%、粘質物(主成分)ヨリ成ル。
 粘質物ハ ^{トリチルアルコール} *Glicylalkohol* $C_{22}H_{38}O$ 及 ^{モチルアルコール} *Mochylalkohol* $C_{26}H_{46}O$ / *Palmitinsäureester* ヨリ成ル。又一説ニ高
 糖成分ハ *Trichol* $C_{26}H_{44}O_2$ ・*Trachosterin* $C_{26}H_{44}O$ 。

Trachosäure $C_{31}H_{50}O_5$ 等ヲ含有スト云。[藥效]高糖ハ絆
 創膏基硬劑(加用セバ粘着力著ク強大ス)トシ、又癰ノ初期
 由虫蟻ニ貼布ス、又癰ノ急ニテ石溶液ニころかうむヲ加ハ長
 年漏液ヲ得。其他小島ヲ捕獲シ、又紙ニ塗布シ漏捕紙ヲ造
 ル。糖ヲパインと(ハムネ)ニ混用セバ乾燥ニヨリ龜裂ヲ生
 スルヲ防グ故此方面ノ需用多シ。其他染料及 Gummi 製造
 ノ原料トス。[備考]材ヲ挽物細工・醫具用・印刷用トシ又觀賞用
 トシ普通ノ庭木(もちのきのこぐいぬつけヲ3庭木トス)トス。

(3) いぬつけ (お心つけ、木曾方言ひんか) 及其近變種 *I.*
crenata Th. v. *typica* Loes [分生]樺・南千・北・本・四・九・嶺・北
 ノ山地生多放 花六月、成果十月。[生薬]青糖ハ樹皮ヨリ製セ
 ル高糖也。[藥效]青糖ハ消方等ナルが其效前種本糖ニ準用ス。
 [備考]庭木トシ觀賞用トシ、又竈産ニ長直ス。材ヲ版木・薪・印材
 醫具用トス。変種多ク(1)まめいぬつけ(まめつけ) v. *Con-*
vexa Max. (2) ははきいぬつけ v. *fastigiata* Mak.
 (3) きっかふつけ v. *nummularia* Yatabe (4) ひろは
 いぬつけ (5) きみいぬつけ (6) つくしいぬつけ (7) はちか
 ゃういぬつけ等アリ。別ニはひいぬつけ *I. radicans*
Nakai (樺・北・信州) アリテ區別ス。

(4) あさはだ (まるばうめもどき) *I. macrospoda* Miq.
 [分生]北・本・四・九・嶺ノ山地生、散生稀群生、五~七、花五月、成
 果十月赤熟。[生薬]葉ヲ採乾シ茶代用トス。[備考]日光ニテ
^{コモツナ}胡椒類ト歎スルハ実胡椒ノ如ク材ハ樹ニ似タル意也、熊野ニ

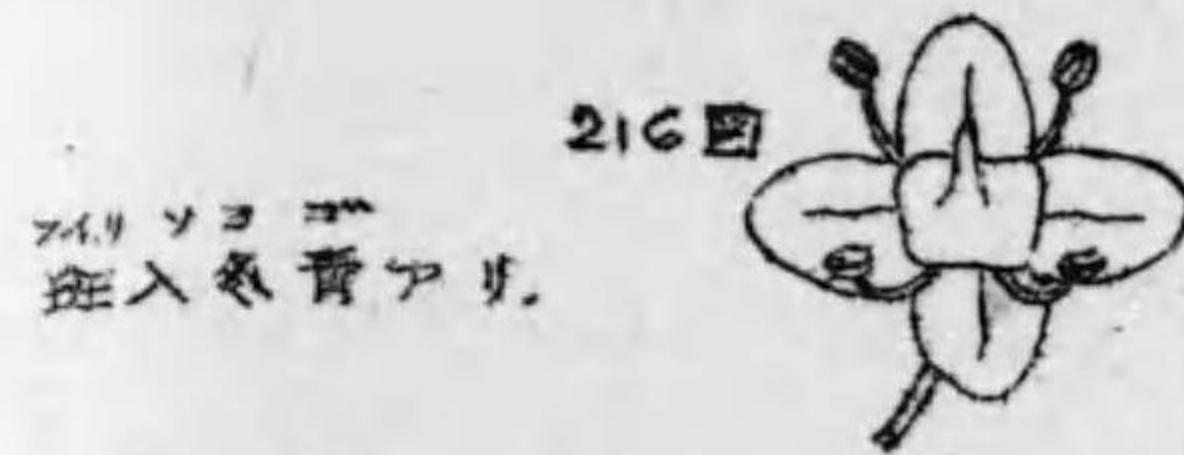
コウハツ科
ニテ弘法茶ト稱スルハ葉ヲ茶割トスルニ因ル。嫩葉ハ煮食
スバク、材ハ挽物細工（日光多用ス名物也、こつぷノ玉及三
不板ヲ造ル）トシ、器具用トス。

(5) うめもどき (むめもどき落着紅) *I. serrata* Th. (いぬ
うめもどき, 四, 九.) *V. Sieboldi* Loes. 北. 本. 四. 九. ノ山地
生互, 落葉性花五・六月細小淡紫色, 成葉十一月。しろ-うめもどき
f. leucocarpa Mak. ハ花及果ハ白色。〔效用〕庭木トシ観
賞ス, 果熟チ紅色, 落葉後一層ノ添美観取充瓶花。

(6) まてちや (マテ茶, パラグアイ茶) *I. Paraguaiensis*
St. Hil. [分布] 南米ハラグアイ, ブラジル産ノ常緑互, 葉ハ草質
長卵形, 小形白色。〔生薬〕まて葉ハ葉ヲ採乾セルモノ也。〔成
分〕葉 = Theine 一名 Kaffein (塩基) 1~1.5% 及 鞣酸ヲ含
有ス。〔薬效〕葉ヲ採乾シ茶ノ如ク Mate 又 Yerba-mate ト
稱シ南米諸國ニテ広ク嗜好飲用トス, 利尿劑トナル。

(7) ななめのき (ななみのき) *I. Oldhami* Miq. [分布]
本(中南部)四・九産ノ常緑互。〔效用〕樹皮ヨリ烏糞ヲ製ス。材ハ
器具用。觀賞用。

(8) そよご (ふくらもち, 冬青) (215回) *I. pedunculosa* Miq.
[分布] 本(中南部)四・九・台ノ山地生互, 花五月, 成葉十一月。〔生薬〕葉
ヲ採乾藥用(茶用)トス。〔薬效〕生葉ノ煮汁(濃褐色)染料ト
ス, ふくら葉又さやご葉ト云。〔備考〕觀賞用(庭木)トス。材ハ
白色緻密ノ堅材, 器具用薪炭料トス, 又旧時公卿ノ枅ヲ造ルニ
一位木ト共ニ此木ヲ用ヒタリ。きみ-そよご(頁突冬青)。



216回
ツリソコ
斑入冬青アリ。

〔(216回) まてきノ花器(香同)〕
K₄C₄A₄G(4)

Fam. (四) にしきき (衛矛科) *Celastraceae*

(216回) 参照

形質——互~互, 稀^ナ落葉性。葉ハ楕円形, 有柄, 花葉有
(早落性)又無, 單葉無裂, 嫩葉芽又鋸齒縁。花器ハ雄子稀^ナ小形,
稀^ナ不美, 綠黄色系, 腋生或頂生, 聚繖花序系稀繖狀又複繖
狀(再繖)花序。花ハ弁, 4~5数性, 花盤ハ繖盤狀無齒~鈍
齒縁又稀無; K_{4~5}C_{4~5}A_{4~5}G(2~5), 稀^ナK₄
C₄A₄G(2~4), 又 K_{4~5}C_{4~5}A_{4~5}G(2~5); Kハ稀^ナ有^ナ性, C
ハ互列稀回旋又銀合列各心皮ハ ∞ ~1ヶノ副生卵子ヲ生ズ
2~5子室稀1室(遠北), 花柱ハ短太。器^ハ果^ハ葉^ハ果也;
種子ハ假種皮(子衣)ヲ被ル, 胚乳有又無。

成分及效用——本科ニハ塩基有機酸糖類鞣酸等ヲ含ムモ
ノアリ, 其他醣類・揮発油・石炭素ヲ含ムモノアリト云モ不確
定。即極基 (Cathin, Cathidin, Cathinin 等), 其他物質
(Evonymol, Evonysterol, Homoevonytherol,
Dulcitol, Inositol, Mannitol, Quercitrin, Asparagin,
鞣酸, 酒石酸, 枸橼酸, 蘋果酸等)等ヲ含有ス。薬用ノ外, 茶煙草等
ノ代用ニ供スル葉ヲ生ズルモノアリ, 又木材用器具用觀賞用
葉ニ供スルモノアリ。

分布及属数——世界ニ約40属450種ヲ産シ, 主ニ温~熱
帯ニ産ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡ク属70種ヲ下ラ

大、緯、南千、台、ノ、間、=、廣、布、ス。

木科ノ藥用植物:-

(1)まさき(しにわれ,和杜仲)及其變種(216四) *Euonymus japonica* Th. [寄生]本(中南部)・四・九・朝・琉・小笠原ノ瀕海地生 1 互,花七月初, 成果十月。[生藥]和杜仲 *Cortex Euonymi* ハ樹皮ヲ剝離乾燥セシモノ也, 外面黒色多白点, 多細裂, 多流起, 内面白色。[成分] *Chlorophyllan*・*Xanthophyllin* 等ヲ含有ス。[藥效] 葉ヲ專ヲ強壯藥トシ又利尿劑トシテ唐杜仲ニ代用ス, 又腰痛ヲ治シ, 利尿(淋痛)劑トシ, 強壯(精氣ヲ増ス)劑トシテイリーヲ治ス。1日4~12g.煎服ス。[備考]觀賞用(庭木)トシ又生花ニ多用ス。生垣ヲ造ルニ適セリ。變種多ク(1)ふいりまさき *V. aureovariegatus* Lowe (2)なかはまさき *V. longifolius* Nakai (3)おほはまさき *V. macrophyllus* Andre (4)にほまさき *V. microphyllus* Sieb. (5)うちだしまさき *V. rugosus* Nakai (6)おほつるまさき *V. radiciper* Nakai 等アリ。

(附)とちゅう(杜仲,唐杜中) *Eucommia ulmoides* Oliv. (*Eucommiaceae*) [分布]支那(四川湖北首等)産, 莖葉互, 互合, 葉ハ有柄, 革質長楕円形鋸齒縁鋭尖頭・花淡綠色・漿果ハ長楕円形黄熟ス。[生藥]杜仲(唐杜仲) *Cortex Eucommiae* ハ樹皮ヲ剝離乾燥セシモノ也, 外面灰又暗灰色・皮目及縦皺有・内面暗紫色, 厚皮者ヲ厚仲・薄皮者ヲ薄仲ト歎ス。四川

湖北・浙江・甘肅省産。[成分]皮部=ぐつたべるかヲ含ミ, くるろぼるむ可成分ハ約6.5%也。之ヲ精製シ良質ぐつたべるかヲ得, $(C_5H_8)_n$ = 適ス。[藥效] 漢: 專ヲ強壯藥トシ, 又關節ノ疼痛・脊柱彎曲・筋ノ軟弱ヲ治ス。1日4~12g.煎服ス。

(2)にしきぎ(欒子)又其變種ト諸變種。(1)こまゆみ *Euonymus striata* Loes. [寄生]南千・北本・四・九・朝ノ山地生 互。(2)にしきぎ *E. striata* v. *alatus* Mak. [寄生]南千・北本・四・九・朝ノ山地生 互。(3)けにしきぎ(けこまゆみ) v. *pubescens* Mak. [寄生]樺・北・本(北中部)ノ山地生 互, 枝有翼又無翼。(4)おほこまゆみ v. *rotundatus* Mak. [寄生]本(中南部)・四・九ノ山地生 互, 枝低稍四角, 葉大広。(5)こまゆみ v. *microphylla* Nakai [寄生]朝ノ山地生 互。

[生藥]樹皮・葉・果実ヲ初夏~初秋間ニ採斫シテ藥用トス。[成分]不詳 [藥效]樹皮(外皮共)ヲ煎服シテ婦人病(閉經・腰痛等)藥トス。枝・幹・樹皮等ヲ黒焼トシ其粉末ヲ飯粒ト練リ混セ(果ニ柿葉・梨葉粉末ヲ混和スルモ可)紙又布ニ延ハ局所ニ貼用シ刺拔(刺針等)キニ使用ス, 即1~2時間後腫痛ス, 此時刺藥紙ハ局所白化シ刺浮上ス, 直拔取シ得。朝鮮ニテハ枝翼ヲ剪剪羽(キチヨウウ)ト歎シ風疾・痰嗽ニ内用煎服ス, 小毒アリト云。枝・葉・皮ヲ黒焼粉トシ1回3g.服用セバ(酒ト共ニ服用更可也)解熱劑トナリ感冒等ヲ治ス。種実ヲ黒焼トシ, 香油ヲ加ハ氣取除ニ有效。こまゆみノ葉ヲ採斫シ梗ノ種実ト共ニ粉末トシ1食匙ヲ白湯ニテ飲ハ刺・針等ノ刺拔キニ妙效アリ,

其他ハ準前首。〔備考〕材ハ白色緻密、韌強也、^{ツエ}木釘等ヲ造ル、又小細工用トス。内皮ヲ製紙原料トス。大高麗紙是也、和紙中ノ上品也。嫩葉ハ煮食シ得、風味有。庭木トシ觀賞用トス、秋季ノ紅葉ハ特ニ美麗且風佳也、^{ニナナ}錦木ノ名出、是。

(3) つるまさき (まさきかから、扶芳藤) *E. radicans* Sieb. [寄生] 本(中南部)・四・九・朝ノ山地生、花六七月、成実十月。〔效用〕(1)まさきト畧同一也ト云フ。其條參照。

(4) まゆみ (やまにしきぎ、桃葉衛矛) *E. Sieboldianus* Blume [寄生] 樺・北・本・四・九・朝ノ山地生五〜五、花五六月、果十月。〔生薬〕根葉果実種子ヲ夏季〜秋季ニ採乾シ藥用トス。〔成分〕種子 = Evonymin (配糖体)ヲ含有ス、果ハ $\frac{1}{15} \sim \frac{1}{10}$ 糖 = テ桂心臓ヲ收縮期ニ制止セシム。〔藥效〕葉珠 = 種子ヲ煎服セハ婦人病藥(閉経、腹痛等)トナル。果実ヲ搗碎シ水油類混シ塗布シテ瘰癧ヲ取除ス。樹皮ノ煎汁 = テ疥癬ヲ洗ヒ有效。葉ヲ食セハ下痢ヲ起ス、故下痢 = 用フマキ。〔備考〕材ハ白質緻密也、櫛、印材、墨子、杖、木釘、器具用トス、又庭木トシ觀賞用トス。

(5) にっくわうまゆみ (日光まゆみ) 及 ほそはまゆみ *E. nipponicus* Max. et E. Meackii Rupr. [寄生] (甲)ハ日光及日本中部、(乙)ハ本(中南部)・九・朝ノ山地生。〔藥效其他〕同前種トスベシ。

(6) つるもどき (つるまゆみ) 及其諸变种 *Celastrus*

articulatus 根。〔寄生〕樺・北・本・四・九・朝・琉ノ山野生ノ中、花五月、 $K_5 C_7 A_5 G_{(2)}$ 。〔效用〕秋冬落葉後黄果破綻漏紅子夜、櫻枝ヲ用概右。樹内皮 = 有細絲、頗強韌、製絲用裁縫。

Fam. (四) かへで (槭樹) 科 *Aceraceae*

(217 ~ 219 図參照)。

形質一五〜五。葉ハ Ψ 、有柄無托葉、單葉・無裂又掌狀3〜13深〜深裂而缺刻裂又掌狀全裂、又複葉3出又奇数羽狀複葉、花冠ハ傘形、又雜性傘(♀♂)、(♂♀)小形・概不美、簇生又粗生、頂生又側生、穗狀總狀繖房繖形又四維花序 = 排列。花ハ中、花盤ハ円盤狀又四杯状而無、 \odot 繖房、5〜4 数花(♀♂) ♀傘; $K_5 \sim 4 r. 6 C_{5 \sim 4} r. 6 r. 0 A_{5+3} v. 4 \sim 10 r. 12 G_{(2)}$ 、本式ヲ分解スレバ(♀♂)傘 = $K_4 C_4 A_4 G_{(2)}$ 又♀ = $K_4 C_4 A \div 4 G_{(2)}$ 、♂ = $K_4 C_4 A_4 G_{(2)}$ (あさのは-かへで、みつで-かへで等); (♀♂) ♀傘 = $K_5 C_5 A_{5+3} G_{(2)}$ 又♀ = $K_5 C_5 A_{5+3} G_{(2)}$ 、♂ = $K_5 C_5 A_{5+3} G_{(2)}$ (からこぎ-かへで、かじ-かへで、くろが-いたや、やま-もみち、いろは-もみち、いたや-かへで、うりは-かへで、ほかき-かへで等); ♀傘 = $K_5 C_5 A_{5+5 \sim 5+5} + 2 G_{(2)}$ (おほ-みつでかへで); (♂傘) = $K_{5 \sim 6} C_{5 \sim 6} A_{5+3} G_{(2)}$ (おほ-みつでかへで); (♂傘) = $K_{5 \sim 6} C_{5 \sim 6} A_{5+3} G_{(2)}$ (はらち-かへで等); 上式 = 於テ凡テ♀ハA \div 、♂ハG \div シ居ルモ數的關係ハ不變化也; Cハ瓦列、 $A_{4 \sim 12}$ = 概 A_8 ナルハ内輪上下2ヶ消失 = 因ル各心皮2ヶ宛ノ直生〜側生ノ卵

子ヲ察ル、2子室、花柱2ヶ±結合稀ハ離ス。果実ハ双翅果(堅果ノ一種)ニテ翅ハ概長大、煮熟、2分果ス; 種子各室ニ概1ヶ、稀2ヶ宛、無胚乳、非啣孔受管。

成分及效用——主要成分ハ砂糖也、其他有酸、醣類、脂肪等ヲ含有ス。薬用ノ外、製糖用、木材科、器具用、觀賞用ニ供ス。

分布及属種数——世界ニ2属凡130~150種ヲ産シ、北半球ノ温〜熱帯ニ分布ス、就中東亞地方ニ多産ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡1属50種ヲ下ラザルバシ、樺・南千・台・間ニ廣布シ、單葉掌状裂者多シ。

217 圖

本科ノ薬用植物:—



(217圖)かべこ科ノ花式圖(原圖)
♀=K₅C₅A₅₊₃G₍₂₎

(1)おほのみつてかへて (めがすりのき、こてふのき) *Acer nikosense* Max. [分生]本(中南部)・四・九ノ山地生シ、葉3出大形有長毛、

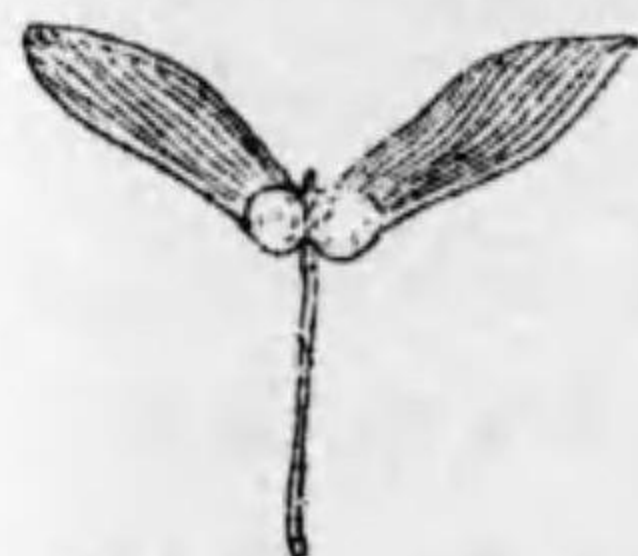
218 圖



(218圖)やま-もみち-金花(原圖) 1. ♀=K₅C₅A₅₊₃G₍₂₎
2. 全上ノ縦断面(花萼及子室中ノ卵子ヲ見ル)。

花五月果十月、(生薬)樹皮及葉ヲ採乾シテ薬用トス。[薬效]樹皮ノ煎汁又葉ノ煎汁ニテ洗眼シ眼病ヲ治スト云。日光山

219 圖



(219圖)やま-もみちノ果実(双翅果)(原圖)

氏ハ樹皮煎汁ヲ内服シテ黃疸ヲ治ス。

(2)さたら-かへて (砂糖槭樹) *A. saccharinum* Wangerh. [分生]北米合衆國産ノ落葉木。[薬效]樹皮ヨリ砂糖ヲ製造シ食用及薬用又調味料トス。

[備考]材ヲ器具用トス。

(3)いたや-かへて (つた-もみち、ときは-かへて)及其諸変種 *A. mono* Max. *v. eupictum* Nakai [分生]樺・南千・北・本・四・九朝ノ山地生シ。[薬效]樹液ヨリ砂糖ヲ製スベシ。[備考]葉ヲ不紅炭故名ク。材ハ白質堅牢建築材器具材トシ木目美薪炭材トシテ無比最上。

(4)あさのは-かへて (みやま-もみち) *A. argutum* Max. [分生]本(中南部)・四ノ山地生シ。[薬效]樹液ヨリ砂糖ヲ製スベシ。

(5)ひとつは-かへて (まるは-かへて) *A. distylum* S. et Z. [分生]本(中南部)・九ノ山地生シ。[薬效]樹液ヨリ砂糖ヲ製スベシ。

(6)からこき-かへて (かのニき、やち-いたや) *A. aquense* Nakai [分生]北・本・四・九朝ノ山地生シ。[成分]葉ニ結晶性ノもみち-たんニン *Acertannin* C₂₀H₂₀O₁₃ 約8%ヲ含有ス、是ハ水ノ如ク加水分解ス---C₂₀H₂₀O₁₃+2H₂O=2C₇H₆O₅ (Gallussäure)+C₆H₁₂O₅ (Aceritol) [薬效]樹葉ヲ採乾シ茶ノ

トシ飲用ス、之ヲまいら茶ト云フ。材ノ器具用、薪炭用トス。又朝鮮ニテ本種ヲシナムトシテ漆用トス、支那ニテモ染料ニ供ス。

(7)ラリカヘデ(しらはしのき、めうりのき) *A. Crataegifolium* S. et Z. [寄生]本・四・九ノ山地生也。[效用]材ハ白質淡褐色、肌理ハ櫻材ニ似テ稍粗硬也、器具用トシ、箸ヲ造リ、細輪ハ櫛櫛ヲ造リ、粘取也。熊野山民ハ此材ヲ劈キ薄片トナシ高野笠ヲ造ル也ニ檢貨ト云フモ実ハ櫛ヲ不用。木皮ニ粘液多含ス、駿河ニテ抄紙用ニ供ス、方言ヲのりのきト云フ。

Fam. (VIII). とちのき (七葉樹) 科 *Hippocastana ceae* (220 図参照)。

形質—— 互ニ互。葉ハ、有柄、無托葉、掌状複葉 5~7~9 (外國)小葉、齒牙縁。花器ハ 5 又 (5 8), 又 (5 8), 中形、白又淡色、美、複繖狀 (圓錐) 花序ニ排列。花ハ 5 (斜左右相稱), 5 = $K_5 C_4 \sim 5 A_5 \sim 8 G_{(3)}$, 5 = $K_5 C_4 \sim 5 A_5 \sim 7 \sim 8 G_{(3)}$, 5 = $K_5 C_4 \sim 5 A_5 \sim 7 \sim 8 G_{(3)}$; CハΦ, 互列、花絲ハ直生ハ下曲又屈曲、各心皮ハ 2ヶ室ノ卵子 (方向種々・2 卵膜)ヲ生ズ。3 子室、花^柱細長・合生、花盤ハ Aノ外位ニアリ。蒴果ハ革質、櫛 1室 2室、櫛 1種子、無胚乳、胚ハ大形子葉ハ多肉。

成分及效用—— 化學成分ハ *Glycosid. Saponin* (石鹼系)。脂肪油等ヲ含ムモ塩基ヲ不含、種子ハ *Saponin* 質ニ富ム。詳細如次。配糖体 (*Aesculin. Fraxin. Quercit-*

rin. Saponin. Argyrescin 等), 其他ノ物質 (*Aesculetin. Quercetin. Allantoin. Asparagin. Leucin. Mannan* 鞣酸等) 等也。藥用ノ外、食用 (種子ノ苦味質ヲ除キ)・木材料・觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及属種數—— 世界ニ 2 属 18 種ヲ産シ、主ニ温帯ニ属

220 図



帯ニ 全布ス、亞細亞米及北亞細亞ニ自生 (220 図) とちのき科ノ花式圖 $K_5 C_4 A_5 G_{(3)}$ ス。日本ニ自生又栽培スルモノ 1 属 5 種アリ。

本科ノ藥用植物:—

(1) とちのき (とち、七葉樹、楸、栲、楸樹) *Aesculus turbinata* Blume [寄生]北・本・四ノ山地生、葉大、花五月、果十月。[注意]樹皮・葉及果ヲ乾燥シテ藥用トス。[成分]果實ニ苦味質ヲ有シ外ニ澱粉 42.7%・蛋白質 4.5% 及鞣酸ヲ含有ス。樹皮ニ *Aesculin* 及其分解成生物タル *Aesculetin* ヲ含有ス。[藥效]七葉樹皮ノ煎汁ニテ凍傷ヲ洗滌シ善效アリ、又打撲傷等ニ同様有效、内服セバ咳止解熱 (マラリヤ病)・婦人病 (白帶下、粘液漏泄・子宮出血等)・痔血・下痢等ニ有效、又煎汁ニテ洗滌 (帶時)ニバセバかす (雀斑)ヲ治ス、又樹皮科トス、又規那皮ノ代用トナス。葉ノ煎汁ハ小兒ノ鎮咳藥トシ、葉粉末ヲ 1 食匙湯ニテ飲用セバ痢病ヲ治シ胃腸ヲ整フ (民)。果實ハ苦味性故煎服シテ健胃苦味藥トシ又祛痰藥トス。樹皮ノ粉末 (炒リ粉碎)ハ咖啡代用トシ嗜好飲用トス、又澱粉ヲ製取シ或酒精製造原

料= 炭ス。樹皮、成分 *Aesculetin* (*Äsculetin*) 7 10~20% 濃液トシ、其1滴ヲ点眼トハ角膜= 缺损ノ有無ヲ検出シ得ル故眼科= 於テ使用ス。〔備考〕材ハ喬大徑2m、= 莖シ水目美キ故ト種々ノ空欲(一寸十節ミ等)アル= 炭リ鋪板・鏡板トシ机案・茶舞台・鏡台・盆・碗・漆器・木地・家具材= 賞用ス、又建築材トシ棟梁トシ良材也。果実中含1~2子、如栗実、山民種子ヲ粉= シ晒シテ拔苦味餅(栝餅)トシテ食ス。

(2) ろまぐり(むまぐり、馬栗) *A. Hippocastanum* L. [分布] トルコ古原産、日本栽培ノ大也。〔生薬〕樹皮ヲ藥用トス。〔成分〕樹皮= *Aesculin*・*Quercitrin*・*Fraxin*・鞣酸等ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ヲ煎服シテ苦味健胃藥(消化不良・下痢等)又解熱藥(間歇熱等)トス。

Fam. (IX) むくろじ(無患子)科 *Sapindaceae*

形質一互~互、莖節①(外國); 每分泌細胞有。葉ハ $\frac{1}{2}$ 無托葉、複葉(奇數又偶數羽狀、葉3出掌狀) 稀單葉、H以外皆無裂全緣鋸齒牙緣。花唇ハ傘又鈴、又雄蕊小形、簇出・腋生又頂生ノ螺旋狀又雁木狀緊緻花序、稀總狀又兩性花序= 配列。花ハ萼中稀傘、5數性; 傘 $\frac{1}{2}$ 、♀♂; = $K_5 \sim 4$ $\overline{n.6}$; $C_{5 \sim 4}$ $\overline{v.0}$ $\overline{n.3}$ $A_{5 \sim 4}$ $\overline{v.6 \sim 8 \sim 10}$ $\overline{n.00}$ $G_{(2 \sim 3)}$ $\overline{n.4}$; 萼 $K_{5 \sim 4}$ $C_{5 \sim 4}$ $A_{5 \sim 4}$ $\overline{v.6 \sim 10}$ $G_{(2 \sim 3)}$; K_5 ノ中(2)トナリ K_4 ノ觀アリ、Cハ互列、各心皮ハ概1ヶ室2ヶ又數ヶノ倒生卵子ヲ生ズ、2~4子室、花柱ハ單体、花盤ハ肉質・A外位= 在リ。果実ハ種々(蒴果・堅果・核果・介殼果

蒴等)、種子ハ無胚乳、厚甘キ大形子衣(假種皮)= 包ル、胚ハ弯曲。

成分及效用——本科ノ成分トシテ主= 果実= 脂肪油・石鹼・鞣酸等ヲ含ム、又莖基有鞣酸・揮發油等モ亦= 含ムモノアリ。藥ノ外、油料・木材用・觀賞用= 供シ、或ハ食用種子又食用果実ヲ生ズルモノアリ、又石鹼代用トスルモノアリ、有毒者亦不鮮。

分布及屬種數——世界ニ凡200屬、100種ヲ産シ、主= 暖帯~熱帯= 廣布シ、溫帯= 少シ。日本= 自生又栽培スルモノ9屬12種= 在ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) むくろじ(つば無患子) *Sapindus Mukurossi* Gaertn. [分布] 本(中南部)・四・九・朔・琉・台・ノ山地生、莖葉互、偶數羽狀複葉、 K_5 C_5 $A_{2 \sim 10}$ $G_{(2)}$ 、花大耳、果十月、1~3核果ヲ結ブ。

〔生薬〕延命皮 *Cortex Mukurossi fructus* ハ果ヲ採集シ種子ヲ除去乾燥セルモノ也、球形2cm. 中空、質褐又暗褐色、多皺、有特異臭氣。花モ藥用トス。〔成分〕果皮主成分ハ配糖体無患子石鹼素 *Sapindussaponin* $C_{41}H_{64}O_{13}$ 4%也。是ハ無晶形=

テ加水分解セバ結晶性、*Sapindussapogenin* $C_{31}H_{48}O_5$ ヲ生ズ、即 $C_{41}H_{64}O_{13} + 2H_2O = C_{31}H_{48}O_5 + 2C_5H_{10}O_5$ (Arabinose)

(Jacobs氏= 據 *V. V. Sapindussaponin*、*Hederagenin* $C_{31}H_{50}O_4$ ト同一物ナラン。ミッタノ標本照)。〔藥效〕延命皮ハ *Saponin*ヲ多含スル故煎汁又水浸液= 古書画・布帛類絹布頭髮等ノ洗淨劑トシテ最良、損傷ノ恐無シ、又石鹼代用トシ

諸水ノ洗濯ニ適シ能去垢。又煎汁ヲ扁桃腺炎ニ含嗽シ快癒ス、又陰毛虱ヲ洗滌殺虫ニ奏效ス、浴湯中布片ニ包ミ投入シ諸皮膚病ヲ治ス。本品ハ南米智利・秘魯産ノキヨウ皮(ばら科)ト同成分アル故之ニ代用シ祛痰藥トシテセネガ根ニ優ルトニバると氏ハ説ケリ、又痲痺・リウマチス¹ノ鎮痛藥トシ1回1~2g煎服ス。其他齒齦炎・頭髮洗滌・惡臭分泌物・濕疹等ヲ洗滌治癒ス、又煎汁ハ可取毒ヲ解スト云。花ノ煎汁ハ眼病ノ洗滌料トシ、眼痛ヲ治シ、眼瞼浮腫ノ涙流出ヲ防グ效有。〔備考〕林檎具用・捲捲等トシ、種子ノ大者ハ種子ノ玉トシ正月英、小者ヲ念珠トス。果皮煎汁又水浸液ヲ管ニテ吹ケハ泡張起ス之ヲ空中ニ飛シ子女戲トス。

〔藥理〕無患子ニハ0.75%食塩水ニテ精製セル牛血液ニテ38000倍・同血清ヲ除去セルモノニテハ10万倍水溶液ニテ完全ニ溶血現象ヲ呈ス。靜脈内注射ニヨル家兎ノ致死量ハ体重1kgニ付0.03~0.04gニテ死因ハ呼吸麻痺也。死後心臟内ノ血液ヲ檢スルニ溶血現象ヲ認ム、鯉・金魚等ノ魚類ハ50万倍溶液中ニテ数日間中ニ死ス。

(2) リウガン (リウガン、リウガンじゆ、龍眼・龍眼樹) *Euphoria longana Lam.* [分布] 南支原産・台・琉・海植スル常緑木、花三・四月果七・八月、雌性花、K(5~6) C₅A_{6~10}G(2~3)、奇・羽・複葉。〔生藥〕龍眼肉(福肉)ハ外面ノ円殼狀果皮ヲ剝離セルモノニテ假種皮ヲ被ル種子也、暗褐色軟粘着性甘味強ク特異臭有。台湾(嘉義・台南・南投・台中等)多産ス。根葉・花葉用トス。〔成

分) 龍眼肉ハ水0.85、可溶性物質79.77%、不溶性物質19.39、灰分3.36%、可溶物中葡萄糖26.91・蔗糖0.22・酸類(酒石酸)1.26・含N物6.309%也。生鮮果肉ハ水分77.15・灰分0.61、脂肪0.13、蛋白質1.47、可溶性N化合物29.55・蔗糖12.25%也。〔藥效〕漢：龍眼肉(假種皮)ハ生ヲ食用トシ滋養・強壯劑トシ、又乾肉ヲ食シ又煎出シ滋養強壯劑トシ健忘症・神經性心悸亢進・神經衰弱及不眠症ヲ治シ、又心臟・脾臟病ヲ治ス、1回2~8g煎服ス、用法ハ肉ヲ磨リ又少ク炒リ煎劑トス。根ヲ煎服シ淋病及糖尿病ヲ治ス。葉ハ番薯ト共ニ燒キ局部ニ貼付シ外傷ヲ治ス。花ヲ煎服シ腎臟病及婦人赤帶病ヲ治ス。

(3) れいし (荔枝) *Litchi Chinensis Sonn.* [分布] 印度及南支原産ノ常緑小豆、葉ハ偶・羽・複葉、K4~5 C_{6~10} A_{6~10} G(2) 果ハ小鱗片ニ被レ稍密球狀内部ノ種子ハ甘キ假種皮ヲ被ルコト如龍眼。〔生藥〕荔枝ハ假種皮ヲ乾燥セルモノ也、甘味強シ、〔成分〕假種皮ニ多量ノ糖類轉化糖 Invertzucker 及 Fruchtssäure Citronensäure 等ノ有機酸ヲ含有ス。〔藥效〕假種皮(荔枝)ヲ滋養・強壯劑トシテ生食ス、龍眼ト共ニ支那人ノ嗜好品ニテ美味也、但葉多食。又瘰癧ヲ治シ、胃潰瘍・痲癩ニ有效、1回2~5g食又煎服。

(4) はらちのはのき (しまあはなき) *Dodonaea viscosa L.* [分布] 小笠原・琉台ノ山野生ノ常緑木、單葉、果ハ單室狀、花厥。〔藥效〕葉ヲ煎服シテ解熱劑トシ感冒等ニ用ス。

(5) グアラナちや (くわらな茶) *Paullina Cupana H. B.*

et K. (分布)南米ブラジル産、攀援樹、奇麗な葉、小葉ハ楕円、尖頭、粗鋸齒縁、黄花、卵形蒴、種子如粟。〔生薬〕Guaranaハ種子(一説ニ葉也ト云)ヲ炒熟シ搗碎セル粉末也。〔成分〕種子(一説ニ葉)ニ Kaffein (Coffein) 5%内外及 Paulliniatanninヲ含有ス。〔薬效〕醫藥トシ興奮性飲料トシ又嗜好料トス。

(6)ほうせんかつら (風船葛) *Cardiospermum Halicacabum* L. (分布)熱帯北米原産、①葉、2~3回3出掌状、花萼性中、 $K_4C_4A_4+G_{(2)}$ 。〔薬效〕葉ヲ搗ト混シ塗物ニ貼布治瘡ス。又觀賞用トス。

Fam. (X) ほうせんくわ (鳳仙花) 科 *Balsaminaceae*

形質——葉質①、莖葉ハ蓋〜半透明、節部著太。葉ハ有柄、楕円形又半(外側)、單葉、無鋸齒、鋸齒縁。花萼ハ傘、中形、黄・白・赤・紫色等美麗、腋生、稀科上生、腋生、單立〜粗族生、稀頂生、單生又總狀花序ニ非列。花ハ中、 $F.f. = K_5V_3C_{(2)}$ 、 $A_{(5)}G_{(2)}$; K_2 ハ前方2片ノ不發育、後 K_1 片有大距・C狀(蜜槽)、Cハ瓦列、左右2ヶ宛合ニ成3瓣、藥筒A、瓜心皮ハ2〜3ヶ又∞例生卵子ヲ生ズ、5子室、花柱ハ單体、短、柱頭ハ單体5裂、無花盤。果實ハ蒴果、概強性果皮ヲ有シ、烈ク裂開シ飛散種子、無胚乳種子。

成分及效用——脂肪油・糖酸・糖介・Pentose・Galactose・Cholin等ヲ含ムモノアリ。藥用ノ外、油用・染用・觀賞用トス。分布及属種數——脂肪油・糖酸・糖介・Pentose・Galactose。

Cholin等ヲ含ムモノアリ。藥用ノ外、油用・染用・觀賞用トス。

分布及属種數——世界ニ2属、400餘種ヲ産シ、主ニ熱帯及亞細亞産、少数ハ北半球ニ分布シ、濠洲及南米ニ不自生。日本ニ自生又栽培スルモノ1属ヲ産アリ。

本科ノ藥用植物：—

(1)ほうせんくわ (のまくれない、つまべに、ほねぬき、鳳仙花) *Impatiens Balsamina* L. (分布)印度原産、日本栽培。〔生薬〕鳳仙花子又海狗ハ種子ヲ採集セルモノ也。花及葉モ藥能藥用トス。〔成分〕種子ニ 凝集・Saponin・脂肪油等ヲ含有ス。有毒ナリトモ稱ス。〔薬效〕種子ヲ押潰シ火ニテ煎取シ、婦人病(月經不順・閉止等)トシ、又種産・産生及骨硬ヲ下スト云、又血毒ニ有效。種子粉末ヲ白湯ニテ飲ハ、魚骨又刺ノ咽喉ニ立チタルヲ除去ス。種子煎汁ヲ服シ、魚介類ノ解毒藥トシ、中毒ヲ解シ、魚ヲ煮レバ骨ハ軟化又融解ス故ニ付ク、又咽喉ノ刺骨利等ヲ扱クニ煎服ス故ニ骨拔ニ名有、1回5~10g、煎服。生花採汁ヲ毒虫・毒蛇咬傷ニ塗布ス、又花・葉乾物ヲ浴湯ニ煎入シ入浴セバ冷症ヲ治ス(婦人病・疝氣等)ト云。〔備考〕民間補忘帳ニ曰ク、葉ヲ採テ水ヲ 換ハ受スコト一夜ニノ塩又味噌・醬油ニ調ハ可食ト、物損損感感ニ曰ク、亞ヲ論シテ、毒油ニテ淺物トシ可食ト、葉ニシテ觀賞用トス。

(2)シリネネラ (ましまつりふね野鳳仙花・産草) 及其交連 *J. Textari* Miq. (分布)北本四九朝ノ山野ニ群生又散生ス。〔薬用〕塊根ヲ煎服シテ、筋骨ヲ強壯ニシ(強壯劑)、又打

標本ヲ浴ス。(麻者)有毒植物也。

第十八目 ^{クローヌメトキ} 鼠李目 Rhamnales

特徴—互~互,又稀。葉ハ γ 稀 γ , 概單葉稀掌狀複葉。花ハ
 李輪 ρ , \odot , \ominus , \oplus , 5~4 数性, F. f. = $K_{5-4}C_{5-4}r.oA_{5-4}G_{(2-5-8)}$,
 及心皮ハ斜上生1~2 嚢ヲ生ズ, 概2 卵膜, 花粉ハ2 核
 性。次ノ2 科アリ。

獨生稀消要性無甚強, $K_{4-5}C_{4-5}$ 非早落性, 核果又蒴果-----
 -----Fam. (I) ^{クローヌメトキ} 鼠李科 Rhamnaceae
 藤本或蔓草, K_5C_5 , C 早落性, 蒴果 -----Fam. (II) ^{フダグツ} 葡萄科 Vitaceae

Fam. (I) クローヌメトキ (鼠李) 科 Rhamnaceae

(221~226 図参照)。

形質—互~互, 稀消要性, 極稀H (外國), 屢有刺針又利 = γ 葉
 緣厚有粘液細胞。葉ハ γ 稀 γ , 有柄。概有小花葉, 單葉無裂。屢3
 行脈全緣~齒牙緣。花冠ハ ρ 稀 ρ , 小形。概白又帶綠色, 腋
 生又頂生, 單生又聚繖花序系。花ハ \oplus ; 花托ハ杯狀又土凹形
 子房ト介離又1部~全部結合, 花盤ハG 基部 = 土隆 γ A 内
 方 = 在, 5~4 数性, F. f. = $K_{5-4}C_{5-4}r.oA_{5-4}G_{(5-2)}$; C
 ハ概小形土塊A 内向縁合列, 及心皮ハ1~2ヶノ倒生卵ヲ
 生ズ, 5~2室。稀因退化1室, 花柱ハ單体又介裂又缺如。果實
 ハ核果又蒴果 (蒴果), 種子ハ概有胚乳, 胚ハ直生。

次ノ及放用—化学的 = ハ Rhamnus. Hovenia 属知テ

ニ糖體体時 = Anthrachinonglycosid γ 含ムニ /
 多ク, 落下葉ニ利用セラル, 其他石炭素・尿酸・有機酸・脂肪・色素
 標ヲ含有ス。根シ遊基及揮發油ハ未知也。詳細ハ配體体 (

221 圖



Xanthochamnium. Rhamnagin-
glykosid. Flanquin. Oxyme-

(221 圖) クローヌメトキノ早落性花・果
 葉 (白次瓦) 1. $\rho = K_{4-5}C_{4-5}A_{4-4}G_{(2-5-8)}$
 2. $K = K_5C_5A_5G_{(3)}$ 3. 花冠内面
 4. 花冠外面 5. 核果 (葉ト核果) (原圖)

thylanthrachinonglykosid.

222 圖



Kaempferolglykosid 等, 配體

(222 圖) ノニノ花及花冠 (白次瓦)
 1. $\rho = K_5C_5A_5G_{(3)}$ 2. 花冠内面
 3. 花冠外面

葉ト花冠 (Rhamnetin. Querce-

tin. Kaempferol. Rhamnagin-

Emodin. Chrysophansäure 等),

223 圖



(223 圖) 什んぼ-ぼしノ花・果 (原圖)
 1. $\rho = K_5C_5A_5G_{(3)}$ 2. 核果及
 花托ト花冠ノ膨大肉質部

其他ノ物質 (琥珀酸・林糖酸・Cayto-

terin. Saponin. Emulsin-

224 圖



Rhamniace. Oxylase. Rhamnose 葡萄

(224 圖) クローヌメトキノ核果 (原圖)

糖) 等也。藥用ノ外, 染料・木材用・觀賞用 = 供シ又食用果實ヲ生
 ズルモノアリ。

分布及属数——世界=凡46属550種ヲ産シ、主=温ハ
熱帯=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ11属凡35種アリ。

本科ノ藥用植物：—

△(1) くろらめもどき (鼠李) (221圖) 及其諸変種 *Rhamnus japonica* Max. [分生] 北・本ノ山地生落葉互花五、六月、果八、九月。ニバノくろらめもどき var. *decipiens* Max. [分布] 本・四・九ノ山地=散生 [生薬] 鼠李子 *Fructus Rhamni japonicae* ハ果実ヲ採乾貯蔵1年餘ヲ経タルモノ也、球形5mm、内外黒褐色、2核2子着穢7子、味甘ク微苛烈也。[成分] 果実ハ黄色結晶性物質 ^{γ-フェニロール} *Kämpferol C₁₇H₁₆O₆* (1,3,4-Tri-Oxyflavonol) 及加水分解=ヨリ *Kämpferol* ヲ生ズル配糖体 (8%) 及 *Chrysophansäure* ヲ含有ス (椎名氏が掌テ *Japarchamnin* ト命名セル物質ハ *Kämpferol* = 不純)。採集古キ果 = *Emodin* 等ヲ含ムハ酸化作用ガ *Enzym* 作用ナルカ尚不明也。[薬效] 漢：鼠李子ハ果ヲ緩下劑トシ、又利尿劑トス (但シ新果ハおんとらノ一石体ヲ含ミ吐吐ヲ催ス故シテ1年餘貯蔵者ヲ用フベシ)、1回0.2~0.4g. 煎服。[薬理] (1) 鼠李子配糖体ハ小腸下部至大腸=作用シ、其作用点ハ腸管自己=存シ、恐ク副交感神経末端ヲ興奮セシメ、又腸粘膜ヲ刺激シテ反射的=腸運動ヲ亢進セシムル如シ。0.08~0.1gヲ人=内服セシムレバ4~6時間後腸鳴・腹部膨滿ト共ニ下ス。又猫及甘日鼠=テハ皮下注射=依ルモ奏效ス。(2) 本物質ハ利尿作用アリ。 *Kämpferol* モ亦本配糖体=類ス

ル利尿 (緩下及利尿作用) アルモ弱キモノノ如シ。(3) *Quercetin*・*Myricetin* 等ノ *Oxyflavonol* 及夫等ノ配糖体モ亦利尿作用ヲ有ス。(4) 鼠李子有效成分ノ一ナル *Japarchamnin* 配糖体ハ顯著ナル利尿作用アリ、之ヲ精製セル= *Flavon* 化合物タル *Kämpferol* ト同ノ物ナルヲ認メタリ。而テ今日迄有效成分ノ不明ナリシ或種ノ植物生薬利尿劑ノ主要有效成分ハ *Flavon* 化合物ナルベシ (福田河野氏)。[備考] 材ヲ薪炭用トス、又觀賞用トシ葉態樹容ヲ賞ス。

(2) くろつばら (おほくろらめもどき、なつかうじ、なべのみ、うしろじ) *R. dahuricapall.* v. *nipponica* Mak. [分生] 本朝ノ山野生。枝ハ有刺針。[生薬] 鼠李子ト同様 [成分] 綠效凡テ前種ト同様也、葉ハ味淡苦小毒アリ。材ハ燒キテ火薬用ノ水浸ヲ製ス。[備考] 西洋=テハくろらめもどき属ノ果実ヨリ藍色又黄色染料ヲ取ルコトアリト云フ。

(3) がきい (いそのき) (下劑-いそのき) *R. Cathartica* L. [分布] 歐洲及中亞産落葉互花。葉ハ有刺針、葉ハ卵形・不整、始齒縁、早分、核果ハ球形・黒色。[生薬] 果ヲらむぬす果 *Fructus Rhamni* ト称シ熟果ヲ採乾セルモノ也。 [成分] 果 = *Rhamnoxanthin C₂₂H₂₄O₁₂* *Emodin*・*Quercetin*。黄色素 *Rhamnetin* 等ヲ含有。一説=果ハ配糖質 *Xanthoxanthin C₂₂H₂₄O₁₂* ヲ含ミ其分解=由リ *Rhamnetin* ヲ生ズ。[薬效] らむぬす果ハ泻下藥 (含利別劑) トシ、亦熟果ヨリ綠色染料ヲ採取ス。 *Rhamnetin* (黄色素) ハ

薬用トシテ應用ス。

△(4) ふらんぐら (ふらんぐら樹) *R. Frangula* L.
 [分布] 歐洲及中亞及北亞産ノ落葉五葉ハ楕圓形・殆全縁、全ハ腋生小形淡綠色核果ハ黒熟ス。〔生薬〕ふらんぐら皮 *Cortex Frangulae* ハ枝幹ノ樹皮ニテ巻曲シ長 30 cm, 厚 2 mm, 外面黒褐色、炭皮孔アリ、味苦澁微苦シ。〔成分〕樹皮ニ有テ成分 (落下) 配糖質 *Frangulin* 及其分解物タル *Emodin* ニテ 4.5~5% アリ。其半ハ配糖体トシテ存在ス。其他 *Frangulasäure*・*Chrysophansäure* 及以上 (*Frangulin*・*Emodin*)、*Anthrachinonglycosid* ヲ含有ス。〔薬效〕生薬ヲ煎服シ藥效確實ナル瀉下劑トシテ大黃ノ代用トス。但一年以上経過貯藏セシモノヲ用フ (根ヲサレバ嘔吐ヲ誘起ス)。一説ニ 2 日間 100°Cニ蒸セバ催吐成分消失スト云フ。皮 10% 煎劑トナシ毎 2 時 1 食匙宛。〔薬理〕フロング酸ヲ皮ニ 4~10% ヲ内服セシムルニテ下劑ヲ發ス、又哺乳類ノ介離小腸標本ニ之ヲ作用セシムルモ運動亢進スルヲ不認、此該皮ハ小腸ニ直接ニ作用セザルヲ證ス、即大腸ニ作用シ下劑ヲ發スルモノ也。

○(5) かすからさくらだ *R. Purshiana* Decandolle
 [分布] 北米 (カリホルニヤ、オレゴン、ワシントン諸州) 産ノ 5~15 寸。〔生薬〕かすからさくらだ *Cortex Rhamni Purshianae*, *Cascara Sagrada* ハ幹枝ノ樹皮ヲ剥離セルモノ也、平版又巻曲シ長 3~10 cm, 厚 2 mm, 外面灰褐色、莖ニ横

炭孔アリ、味苦。〔成分〕有效成分ハ前種同様 *Oxymethylanthrachinon* 類化合物也、而テ其一部ハ配糖体トシテ存ス。即皮ニ *Anthrachinonglycosid* 即 *Cascarin* 又ハ *Purshianin* ト称スルモノアリ、之ハ分解ニ依テ生ズル *Emodin* ニハ *Frangula-Emodin*、外 2 種ノ異性体アリ。Christofolletti 氏ニ據レバ *Oxymethylanthrachinon*、總量ハ 1.4~2% ニテ其 1/2 ハ *Glycosid* ヲナシ、其他ノ部ハ *Rhamnol* 脂肪苦味質・揮發油類・*Gerbsäure* 等ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ヲ煎服シテ瀉下劑トシ便秘ヲ重シ、又肝臓病藥トス。本生薬ハふらんぐら皮同様一年以上貯藏シ苦味質ヲ除去セシテ用フ (催吐作用アル故) 概流動賦鐵斯 (20~30 滴) 又瀉劑 (3~10g) 又糖衣錠 (新藥かすからさくらだ糖衣錠...黒田) トシ瀉回便秘ヲ下シ、又胃腸消化力増進劑トシ或肝臓病ヲ治ス。処方かすからさくらだハふらんぐら皮ヨリ緩和ナル下劑也。処方かすからさくらだ流動賦鐵斯ノ少量 (6~15 滴) ハ健胃藥トナル、主ニ常習 (慢性) 便秘ノ瀉下劑トシ 1 日半~1 食匙ヲ 2~3 回又 3~4 回ヲ單味又合劑トシテ用フ。〔新藥〕(1) 芳香性カスカラ *Cascara Aromatic* (Robins), (2) *Cascarin* (Parke Davis: 三共), (3) *Raxsan* (日本製薬), (4) カスカラ糖衣錠 (三共: Parke Davis); カスカラ寒天劑 = (5) *Regal* (東京製薬), (6) *Ponos* (大日本製薬) (7) *Regulin* 等アリ。〔処方例〕瀉下藥 (慢性便秘ニ用フ) ... カスカラサクラダ流動エキス 2.0 糖皮シロップ 10.0

湯水 90.0 --- 以上 1日分 2回分服。

(6) 甘んぼ (板根) 及其諸変種 (223 頁) *Hovenia dulcis* Th. v. *glabra* Mak. [分生] 本・四・九・朝ノ山 野生豆, 花大, 七月果十月。[生薬] 果実 (花梗共) ヲ米麩ニ藥用トス。[成分] 果 = 多量, Glukose 及 Äpfelsäurem Kalium 等ヲ含有シ利尿作用ヲ起サシム。[藥效] 果及果梗一部ハ利尿 (水腫・淋病) 劑・又酒中發酵劑即醱酵藥トシ又止嘔止瀉劑トス。1回 2~5g, 煎服ス。[備考] 本草綱目ノ菓餌 = 能ク酒味ヲ敗ル, 若其木ヲ以テ柱ト爲サバ別種中ノ酒皆醇シ, 誤テ一葉ヲ葉ニ酒釀中 = 入レバ酒化シテ水トナルト。酒造家ハ甚ク本種ヲ喜ム。果形天刑病者ノ手指 = 似タリ故 = 名ク, 小兒好食之, 材ハ金類・火鉢・文房具・櫛等器具用トス。

(7) はなつめ (果) (225 頁) *Zizyphus vulgaris* Lam. var. *inermis* Bunge [分生] 西伯亞・原産, 支・滿・日本 栽培ノ豆ニ至, 花長小楕円形秋十月紅熟ス。[生薬] 大葉 Fructus *Zizyphi inermis* ハ秋期熟果ヲ採乾セルニシテ, (一説 = 或栽培中 = 濃シ日光 = 充分乾燥ス。) 長 2~3 cm 米 赤色, 皺縮, 味緩和甘シ, 新鮮多肉性ヲ上屈トス。関西多産ス。

225 頁 [成分] 糖質及粘液質ヲ含ム。屬成分ハ糖



(225 頁) はなつめノ花, 果, 葉 (原圖)
1. 花, 葉 = 3 K₂C₅A₅G₆ 2. 核果
3 葉 (改)

酸・Saponin 等也。[藥效] 漢: 緩和・利尿・強壯劑トシ藥方 =

系ヲ各種ノ藥方 = 藥用セヨル。1日 10g, 煎服。大葉ハ緩和 強壯劑トス, 又根・枝・葉 (引付, 莖葉)・核 (全身寒・胸腹痛) 處切レ, 不眠・頭痛等ヲ治シ動悸ヲ緩和スル妙藥也。1回 2~4g 煎服又解熱強壯劑・瀉下劑トシテ大效アリ, 又各部筋骨ノ痠痛ヲ治シ (量全上), 醬油ニハ 1回 10g = 少量, 甘草ヲ加ハ 湯火 = 煎シ食前 30 分服用ス, 又胃ヲ理シ, 血ヲ和シ, 或ハ解 熱・解瀉・咽喉腫痛ノ諸症ヲ治シ蒸餾ノ中葉ヲ解ス, 又下痢・利 尿劑トス。[備考] 果ヲ食用トス。[漢方例] (1) 緩下強壯藥 --- 大葉 80 甘草 2.0 水 100.0 --- 以上 1日量煎劑分服。(2) 強壯藥 --- 大葉 50 人參 吳茱萸 各 2.0 生薑 1.0 水 200.0 --- 以上 1日量煎服分 服。

(8) さねふと-はなつめ (酸漿) *Z. vulgaris* Lam. v. *spinosa* Bunge [分生] 南欧原産, 日獨支露均ニ又多岐有リ。[生 薬] 酸漿仁 Semen *Zizyphi spinosi* ハ種子ヲ採乾セルニシテ, 扁用又楕円形, 長 8m.m. 滑澤赤褐色, 質稍柔軟, 味油膩稍 甘ク。支・滿ヨリ多輸入ス。[藥效] 漢: 種子ヲ煎服シテ神經強 壯藥トシ神經衰弱不眠症心悸亢進 = 大效アリ, 又便胃腸諸症 健胃滋養藥トス, 1日 15g, 煎服ス。又炒ニ細末トシ之ヲ 6g 煎劑トシ強服ス。[漢方例] (1) 酸漿仁湯 (不眠症・神經衰弱・ヒス テリ一症 = 用フ) --- 酸漿仁 30.0 甘草 1.5 知母 茯苓 川芎 各 2.5 --- 以上煎劑 200 1日 3回分服。(2) 益 --- 酸漿仁 4.0 當歸 薑 各 3.0 甘草 2.0 水 200.0 --- 以上 1日量煎劑 3回分服。

(9) はま-はなつめ (さるかき-いはら, 漢藥 226 頁) *Paliurus*

ramosissimus Poir. (木生) 木四五輪台、海濱生小枝。

226 図

(葉效) 葉ヲ煎ジ小泥、遺物ヲ洗滌シ又嫩芽ヲ搗碎貼付ス。



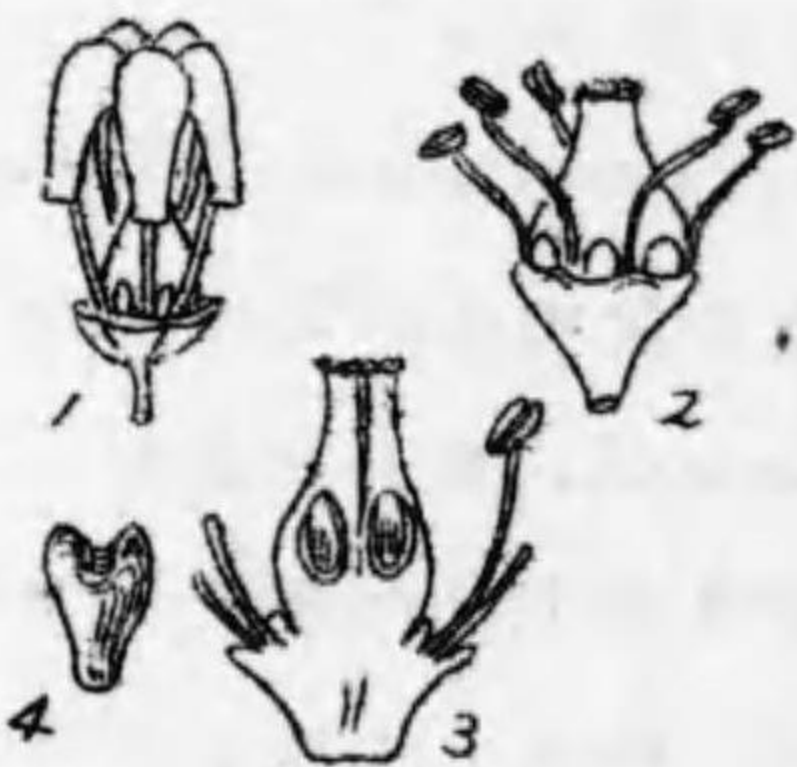
(226 図) はまなのみ、花、葉 (原圖)
1. 花弁 = 2K₅C₅A₅G(3) 2. 核果

Fam. (II) ぶどう (葡萄) 科 Vitaceae (227~230 図参照)

形質——多年性 { ~ } 藤 = 實生又蔓 (外圍), 葉ト對生スル卷鬚ヲ有シ、花序亦對生ス。葉ハト有節有托葉、單葉披針狀淺へ深裂又複葉、掌狀或鳥趾

227 図

狀淺へ深裂又複葉、掌狀或鳥趾



(227 図) ぶどう、花及解剖 (原圖)
1. 花 = K(5)C₅A₅G(2) 2. 萼瓣
後ノ葉、花盤即蜜腺 5ヲ見ル
3. 花 (全)ノ縱斷面……K, C, A, 花盤
(蜜腺) 及 G (中ニ卵子アリ)ヲ見ル
4. 種子 1ヶ

狀羽狀複葉 (うど-かづら... 南日本)。花序ハ傘又房合或(房合)

228 図 蔓性 (ぶどう科、みづは-かづら科)*



(228 図) ぶどう科兩性花ノ花式圖 (Eichler 氏ヨリ採寫ス) 花式全上

* みづは-かづら科ノ一部、

小形、靑白又淡色、粗又密生、葉ト對生ノ葉脈又可維 (複維管) 花

229 図



序繖總狀花序。花ハ中、5 数性; F. 花 =
y. 房合 = K(5~7 r. 3~7) C₅n₄r. 3~7 A
r₂4 r. 3~7 G (2~6~8). 核 K(5~4)

(229 図)

C₅n₄A₅n₄G(2~6), みづは-かづら科 *Vitis* =
K(5)C₅A₅G(2), おぼろ-かづら *Lecan* =
K(5)C₅A(5)G(3~6), みづは-かづら *Cissus* K(5)C₅A₄G(2); Kハ各片燕
合杯狀深裂へ殆全縁Cハ縁合列上
縁結合シノ体トシテ脱離Aハ花盤基
脚 = 着生; 2~8 子室、各室 2~1ヶ

230 図



1 副生卵子ヲ含ム; 花柱ハ單体、花盤ハK上ニ發達シ繖狀其
上方ハ梳 5~4 深裂シ成蜜腺。果實ハ漿果多汁; 種子ハ被
破皮中ニ合賦管脈胚乳胚乳ハ3裂基部ニ短小胚生付ス。

成分及效用——本料ノ成分ハ主ニ *Vitis* 屬調査セラ出即
有糖酸及糖類 = 糖、尚色素ヲ含ムモノアルモ、塩基石炭素既
糖体揮發油ハ未檢出也。本料ハ藥用ノ外、食用及醸造用ニ適
セル果實ヲ生ズルモノアリ、又製ヲ工業用油工用ニ供シ、又觀
賞用ニ供スルモノ (紅葉科 = 葉)アリ。

分布及属種数——世界ニ凡 12 種 600 種ヲ産シ、主ニ温
熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡 6 属 30 種アリ
テ北ハ察-南千ヨリ南ハ台湾ニ及ブ。成分續……
其詳細如次。有機酸 (木糖酸・酒石酸・枸橼酸・葡糖酸・琥珀酸・

^{プロトカテヒウ酸}
 蟻酸・鞣酸・没食子酸・サリチール酸・Protocatechusäure
^{グリオキニール酸} ^{マリール酸}
 Glyoxylsäure・Glykolsäure等), 其他ノ物質 (蔗糖
^{イノジツト}
 轉化糖・Galaktan・Pentosan・Inosit・Cumarin・Quercetin・Aemin・Cholin・Lecithin・Tyrosin等) 等ヲ含有ス。

本料ノ藥用植物：一

〇(1)ぶどう (葡萄) *Vitis vinifera* L. [生]西部亞・原産世界各地栽培。[生藥]果実ヲ藥用及食用トス。[成分]果汁(%)ハ轉化糖(最多24), 酒石酸Ca及酒石酸加里(0.5)・林檎酸(0.2~0.8)・枸橼酸(0.3)・葡萄糖・單糖・Pentosan(0.4%)・其他Pectin・護膜質・Inosit・ロイチン・Tyrosin・Lecithin・Quercetin等ヲ含有ス。無機成分ハ硝石硫酸Ca, 硫酸加里・磷酸加里・微量ノ硼酸ヲ抽出ス。果皮(%)ハ單糖0.4~4・Pentosan 1.33・脂肪0.1・蠟質1~2%等ヲ含有ス。果皮中ノ色素ハAnthocyaninノ一種Aemin $C_{23}H_{25}O_{12}Cl$ (Aemidinglycosid)也, $2E=2^1$ ハ加水分解ニ依リ如次式ニ分解ス

$$---C_{23}H_{25}O_{12}Cl + H_2O = C_{17}H_{15}O_7Cl + C_6H_{12}O_6 \dots Aemidin \text{ (即 Dimethyl-delfinidin) } \text{ヲ生ズ}$$
 赤葡萄酒ノ紅色ハ主ニAemin及Aemidinニ基因シ, 色素ノ大部分ハ更ニ分解セルモノノ如シ。種子ハ脂肪油15~20%ヲ含有シ主ニLinolsäure-Glycerid・Stearin・Palmitin等ヨリ成ル。[藥用]果実ヲ葡萄酒醸造ノ原料トス。適量生食ハ食欲ヲ進メ(食慾増進劑), 補血, 強壯劑トナリ, 止渴, 利尿, 強心(劑)ノ效アリ。又清血劑

トナル。果実ノ果汁ハ腦充血・癩血病・萎黃病・貧血症ニ有效。葡萄酒ハ滋養強壯清血強心補氣補精劑トナル, 又之レニ種々ノ藥品ヲ配合シ滋養強壯劑トス, 例ハ規那鉄葡萄酒等ノ如ク。烏方葡萄酒ハ甘味ヲキ生葡萄酒ニテ興奮劑又強壯劑トシ食血平中・氣逆等ニ用フ, 1日10~20gヲ冷水ニ衝飲シテ飲用ス。赤葡萄酒(有甘味)ハ興奮性飲料トシテ諸般ノ衰弱病後及虛脱症ニ用フ。白葡萄酒及セリ酒ハ製劑原料ニ供ス。葡萄酒ノ他ノ酒精飲料ニ比シ優秀ナル點ハ有害ナルメーセロ油ヲ含有セザルニアリ。

[葡萄酒製造法] 熟果ヲ採リ除果梗, ころらニテ圧碎シ果膠ト除ク, 赤葡萄酒ハ此後醱酵セシメ白葡萄酒ハ果皮及種子ヲ除去シ果汁ヲ醱酵セシム。是ハ果皮附着 Saccharomyces ellipsoideus 其他ノ菌ニ依テ行ハレ15~20°ヲ適温トシ, 数週間ニテ終ル其後低温ニテ貯藏シ醱酵ヲ行ハシメ, 尚數年間醱成セシメ良好葡萄酒トナス。残滓(果皮・果汁滓等)ハ「ブロンデー」製造原料トス。[備考] 山梨(静岡附近最良)・新垣・長野山形(赤湯附近最多) 諸縣ニ多産シ, 葡萄酒ヲ造ル外邦産ハ生食シ美味也, 又乾葡萄(主ニ米國産さんめーどハ種無乾葡萄)トシ, 菓子(例バ月ノ華等)トス。品種甚多クみるす(黒色最良大粒), かるぺるすあーりー(全), まくばいく(全, 肉如球上品), 烏んばいあーすくと(白微黃・優良), すゐーとうおーたー(青白甘多上品), のるとん(大形種), はいんど(黒色), べーニン(大円形), とらいあんぶ(白黒色皮薄透明)

ニンニク (黒色糖漿), ちんちん (小粒早生), ないやがら大丹糖粒, 筑摩 (紫黒甘酸晩生), 信濃 (大粒晩生上粒).

(2) やまぶどう (くろぶどう, おほえびつる, 山葡萄, 紫葡萄) *V. amurensis* Rupr, var. *Caigneti* Nakai [分生] 樺南千北・本・四・九・朝ノ山地 = 散生 ~ 群生. てうせん・やまぶどう *V. amurensis* (*V. shiragai* Mak. しらがーぶどう) 本 (中国地方) 朝ノ山地生. [生薬] 果実ヲ山葡萄実ト称シ薬用トス. [成分] 果目前産. [薬效] 果ヲ生食シ滋養強壯劑又補血強壯劑トシ又葡萄酒ヲ醸造スルコト如前産. [備考] 漢ハ酸漿 = シテ糖ヲ搾トシ煎造 = 用ヒ, 又補腎糖漿ヲ造ル, 又薪炭ヲ拵ル = 用フ.

(3) えびつる (えびかづら, 白ぶどう, 蓼稔) *V. Thunbergii* S. et Z. v. *typica* Mak. [分生] 北・本・四・九・朝・琉・台ノ山野生. ちくばーえびつる *V. sinuata* Rehd. [分生] 本・九ノ山野生, 奥羽地方多産. [生薬] 根・莖・葉・果実ヲ採乾シ薬用トス. [薬效] 根ヲ煎服シ利尿 (淋病ノ解熱・腫毒・膿毒・脚気・水腫) 劑トス. 莖ヲ搗碎シ腫物 = 貼付ス. 果ハ食用トシ, 又釀酒ノ原料トス. 乾葉ヲ揉ミ粉末トシ煎服 (藥もぐさ) トシ瘡 = 灸シ之ヲ治シ, 瘡 = 灸セバ必愈ツト云, 是 = ハ疣ヲ灸 = テ或ク拵樽シ炭灰スベシ. [備考] 果ハ小兒採食フ. 藤葉中ニ虫アリ, 東京近郊ニマカまえびのむしト云ヒ取り煮食ス.

(4) みつばつる *V. shifunensis* Hayata [分生] 台ノ山地生. [薬效] 葉ヲ搗碎シ酢ト共ニ煎服シ瘰癧ヲ治ス, 又皮膚病・リウマチス¹ = 用フ.

(5) さんかくづる (きよらじやのみづ, 行者水) *V. flexuosa* Sieb. [分生] 本・四・九・朝・琉・台ノ山地生. [薬效] 莖又葉柄中ニ多量ノ水含ヲ貯フ, 夏日登山者・行者等ノ止渴劑トシテ古來用ヒタリ.

(6) のぶどう (うまぶどう, 地葡萄) 及其諸変種 *Ampelopsis heterophylla* S. et Z. [分生] 樺南千北・本・四・九・朝・琉・台ノ山野 = 散生又群生, 花夏. [生薬] 根及ビ果実ヲ採乾シ薬用トス. [成分] 未詳ナルモ同属他種ノ米周産ハ有機酸・糖類・Glycosid. 赤色マ素, *Oenin* 等ヲ含ム. [薬效] 根ヲ洗眼劑トシ又癩瘡ト混和シ煎服セバ耳疾 = 有效, 又刀傷 = 有效ト云. 果ヲ搗碎シ酢トシどん粉 = テ練リ官嚙炎患部ニ貼付セバ大效アリ, 全治スト云フ.

(7) かがみぐさ (かやくれん白飲) *A. japonica* Mak. [分生] 支那及朝鮮原産, 日本栽培. [薬效] 根ヲ古來鎮痛解熱藥トシ煎服シテ利尿・收斂・毒毒・諸毒・瘰癧・切創・打撲症ヲ治シ又鎮痛藥又中風トス. 1回 2-4g. 煎服.

(8) やぶがらし (びんぼうかづら, 烏莓, 烏藜苳) *Cissus japonica* Willd. [分生] 北・本・四・九・朝・琉・台ノ山野 = 散生又群生スル. [生薬] 根及莖葉ヲ秋期ニ採乾シ薬用トス. [成分] 根 = 硝石ヲ含有ス. [薬效] 根ヲ搗碎シ生液汁ヲ其汁又粉末ヲ蜜ト練合セ紙 = 延マ乳房腫シ (乳房炎) 及其他ノ腫物・癰疔・痛風・リウマチス等 = 貼付シ鎮痛劑トス, 又煎服シテ毒毒・虫毒 (蝮刺)・河豚毒ノ解毒劑 (毒下シ) トス, 利尿 (水腫) 劑トス.

莖葉ヲ煎湯=入レ攪拌シ得タル液汁ヲ患部ノ洗滌藥ト
ス、又煎服セバ糖尿病ヲ治スト云フ。

(9) ツタ (なつ-つた, こらえふ-つた, 高花錯) *Parthenocissus*
Thunbergii Nakai (寄生) 北本・西九・南琉台ノ山野生ノ、果
~3 出掌複葉, 柄小葉^葉秋紅葉最美麗。〔藥效〕莖葉液汁ヲ皮膚
洗滌劑トス。莖葉汁ヨリ砂糖ヲ製シ甘味料トセシリ、之ヲ甘
葛煎ト稱シ砂糖液水以前ハ菓子其他調理皆之ヲ用ヒタリ、
喜式其他古書ニ記載アリト云フ。〔備考〕金盞トシ觀賞用トシ、
或ハ石門壁樹等ニ纏付セシメ日陰ケ風致用トス。秋ノ
紅葉ハやまふだろト共ニ賞スルニ堪ハタリ。

第十九目 ^{ゼニアフト} 錦葵目 *Malvales*

特徴——概互~互, 稀①又②。概單葉無裂又掌狀5~9 淺
~深裂稀羽裂, 稀掌狀複葉, 全緣~鋸牙緣。花ハ全稀⁹5, ②(A
群=異例有), ②, 稀①, 概母稀^①。概 F.f = K₅; C₅; A₅₊₅ v(∞); G
(2~∞); K.C.ハ概5數性, Kハ銀合列; Aハ2輪又∞,
内輪者分裂・成多條, 各心皮ハ2卵膜ヲ有スル側生胚子1~∞
ヲ生ズ。花糸2稜性, 内胚乳ハ淡狀。次ノ5科ニ分類ス。

- { D, 無粘液腔, 葯ハ2室=テ小孔ヨリ花粉ヲ吐ク-----
- ^{ホルトノキ}-----
-----^{糖ハ樹科} *Elaeocarpaceae*
- { D又H, 有粘液腔, 葯ハ1~2稀多室, 概細長裂孔(稀小孔)
ヨリ花粉ヲ吐ク-----

- { Aハ單葉(一室) A也-----2
- { Aハ相互分離又5~10体(束)ヲナシ, 葯ハ2室・細長裂孔或小
孔ヨリ花粉ヲ吐ク, 胚直-----^{シナノキ} Fam. (I) 田麻科 *Tiliaceae*
- { 葯ハ1室, 花糸ハ大形有刺狀突起, 葉ハ單葉也-----
-----^{ゼニアフト} Fam. (II) 錦葵科 *Malvaceae*
- { 葯ハ1~2又多室, 花糸ハ無刺狀突起, 葉ハ概掌狀複葉也,
-----^{キフダ} Fam. (III) 木綿科 *Bombacaceae*
- { 葯ハ2室, 花糸ハ微細平滑・無有刺狀突起, 葉ハ概單葉也-----
-----^{アヲキリ} Fam. (IV) 梧桐科 *Sterculiaceae*

Fam. (I) しなのき (田麻科) *Malvaceae*
(231~233 図参照)

形態——互~互又①, 腹及皮部ニ粘液(細胞)腔ヲ有ス。
葉ハ有柄, ②着, 有托葉, 單葉無裂稀淺裂, 概3行脈, 齒牙稀缺刻
緣。花冠ハ概5輪⁵=ヨリ⁹8, 小形, 族生~密族生, 白又帶黃,
聚繖又圓錐花序ニ配列, *Tilia* 屬花序ニハ1ヶ1特異苞葉
アリ。花ハ中, 5數性, 稀4數性(外國); F.f = K₅C₅r.0 A_{5~10}
v. ∞ v. +5+∞ G(2~5~∞), しなのき屬 *Tilia* = K₅C₅A_∞v.
+5+∞ G(5); 稀副萼(外國産)アリ, Kハ銀合列; Gハ瓦
列其他, 稀四頭基部, 要有蜜腺, 外輪Aハ要退化無葯又細長齒瓣
狀, 内輪Aハ要分裂[∞]ト成リ5~10束(体)ヲ成ス, 元系 A₅₊₅又
A₅₊₅₊₅ノ内1~2輪Aノ各が多分裂未ヲ成セルモノナラン;
葯ハ2室・細長裂孔又小孔ヨリ花粉ヲ吐ク; 各心皮ハ1~∞ノ

231 圖



樹生又半樹生卵子ヲ生ズ、子房ハ2~5~∞室、花柱ハ癒合・單本ヲナス。果実ハ蒴果或

〔(231 圖)つなそノ葉(原圖) 3 行脈及剛毛状突起アリ。〕

全面果又離果也、2~5~∞室稀退化シ1室、種子ハ概有胚乳、胚ハ概葉状子葉ヲ具ス。

成分及效用——本料成分トシテ Vanil-

lin 及 2,3,1 配糖体 (樹ハハ有毒ノ Coch-

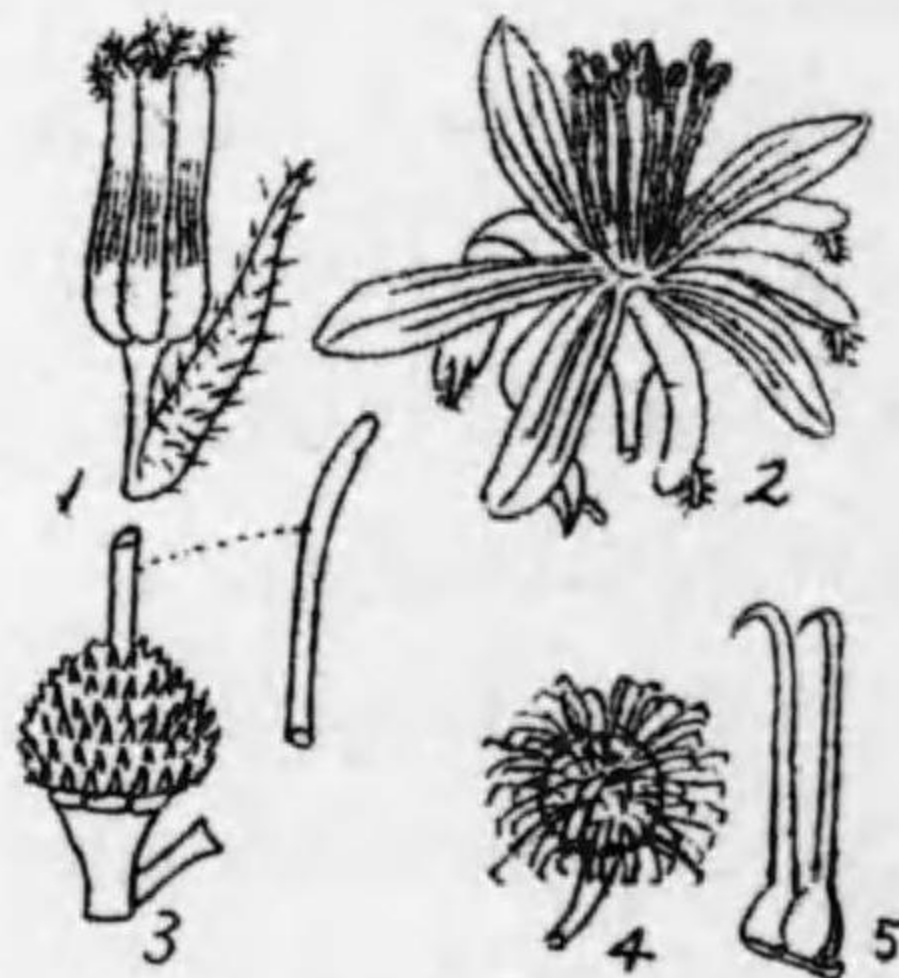
232 圖



〔(232 圖)つなそノ花・果(原圖) 1. 花球 $K_2C_7A_6G(∞)$, 2. 蒴果 $G(∞)$ 〕

等ヲ不含。藥用ノ外、本材料纖維用工業用・採用・觀賞用等ニ供スルモノアリ。

233 圖



分布及屬種數——世界ニ凡 35 屬 400 種ヲ産シ、主ニ温帯~熱帯(多)ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ 5 屬 21 種ヲ下シズ、北・台・間ニ分布シ南方ニ多産ス。

(233 圖)らせんさうノ花果及其解剖(牧野氏) 1. 蕾及苞, 2. 花球ノ前側面 $K_2C_5A_5+5G(5)$, 3. $G(5)$ 及花柱, 4. 果実, 5. 果実ノ剛毛

本利ノ藥用植物:—

(1) せいやう-ほたていじゆ(西洋菩提樹) *Tilia cordata* Miller (分布) 歐洲各地及小亞産ス。 *T. platyphyllos* Scopoli (分布) 東南歐産、現今

地栽培。甲ハ下面側脈以外無毛、聚繖花序ハ5~13花。蒴果ノ縁再不明; 乙ハ両面有毛、花序ハ2~5花、蒴果稜角明白。(生藥) 菩提樹花 *Flos Tiliae* ハ花ヲ乾燥セルモノ也。(成分) 精油ノ痕跡 (*Farnesol* $C_{15}H_{26}O$) ナリ、其他精油・蠟 (*wachs*)、砂糖・糖酸等也。(藥效) 民: 寒胃症ノ緩和ナル發汗劑、痰・痙攣トシ又合飲料及藥湯用トス、1日 5g. 1日 15g (3回分) 煎服。

(2) ほたていじゆ (菩提樹、樹) *T. Miqueliana* Max. (分布) 尤産ノ大島、古來支那ヨリ日本各地 (特ニ寺境内ニ) 移植セリ。(生藥) 花ヲ藥用トス。(成分) 前同ナリ。(藥效) 菩提樹花ヲ煎用シテ同種同類合飲用藥湯用及感冒ノ發汗解熱鎮痙藥トス、(備考) 樹皮纖維ヲ繩線ヲ採リ實用ニ供ス。此似實シタノ味、肉皮纖維ニシテ最能ク水浸ニ堪エ、繊維トシテ耐久力大也、又壁紙ノ原料トス、又織ヲ布トシ、香油等ノ洗滌液、硬質、染料ヲ造ル。南部、東北方言ニ本種ヲまじゆト云ヒ其布ヲまじゆト云ス。粗皮ハシタ皮又ニ皮ト云フ、葉ノ裏及腹ニ樹ノ幼虫ヲ防グ又葉、葉等ヲ依ル。

(3) つなそ (かなひき草、黃麻) *Corchorus Capsularis* L. (分布) 印度原産ノ①、日本栽培。(生藥) 種子ニ毒性苦味質ヲ含ム。(成分) 種子ニ強苦味性ノ有毒配糖体 *Corchorin* ヲ含ミ、其 40 万倍稀液ニ尚苦味ヲ有シ、其中毒症狀ハ *Andromedotoxin* ニ類似シ、少量ハ中枢神経系ヲ刺激シ、大量ハ麻痺ス、其致死量ハ皮下注射ニテ犬ハ 0.2g. Pro Kg. 犬ハ 0.5g. Pro Kg. 猫 1.2g. Pro Kg. 馬ハ 0.3g. Pro Kg. 也。(藥效) 未詳。(備考) 肉皮纖維ヲ絲

トシ産線即置表ノ経線ニ専用ス。又ゴックト球ヌル布ハ本機ニテ織リシモノニテ織布トシ荷物包装袋又敷物等トス。

Fam. (II) せに-あふひ (綿莢) 科 Malvaceae (234 四参照)。

形質—H(⊙)又b(5~5), 髓皮皮管=粘液(細胞)腔ヲ有ス。葉ハト, 有柄有托葉, 單葉無裂~掌狀3~9淺~深裂, 全縁~缺刻~齒牙縁。花器ハ概全稱ヲ含中~大形美麗美色, 萼具外(圓)萼(Calyculus --- Cl), 腋生又梢枝頭單立又卷繖雁木狀聚繖花序=配列。花ハ中, 概5數性, F. f. = K:5; C:5; r. 0 A(∞) v. (+5+∞) r. G(3~5~∞); Kハ環合列, Cハ回旋列; 總單体(一束)A, 花絲土合一, 藥ハ1室, 花粉ハ大形有刺突起, 各心皮ハ1~∞ノ個生卵子ヲ生ズ; 子房ハ無柄, 3~5~8子室ヲ有ス; 花柱ハ心皮ト同數又其2倍數, 稀單体也。果實ハ蒴

234 四.



果又蒴(分)果ニテ小坚果ニ分裂ス;

- (234 四) せに-あふひノ果及解剖(原圖)
1. 全ノ前上面 Cl, r, K, C, A, G
2. 全上背面 Cl (圓K)ヲ見ル
3. 全ノ縱斷面(G, 卵子, 單体A等ヲ見ル)

種子ハ有胚乳, 胚ハ褶疊セル葉狀子葉ヲ具フ。

成分及效用—成分トシテ根莖

葉等=多量ノ粘液質ヲ有ス, 又種子=脂肪油ヲ含ムモノ多ク, 花ニハ配糖体・色素等ヲ含ムモノアリ, 根トモ塩基・樹脂・石炭

素・糖等ヲ含ムモノ多ク, 精油ヲ含ムモノ殆無シ。詳細如次。配糖体及其分解物(Gossypitrin, Gossypetin, Isoquercitrin, Quercimeritrin, Quercetin, Hibiscetin等), 其他ノ物質(Asparagin, Cholin, Betain, Lecithin, Cholesterin, Raffinose, Pentosan, 珪石酸・脂肪・粘液等)等也。藥用植物甚多, 其他纖維用・油料・香油料・糊料・食用・觀賞用等=供スルモノ不尠。

分布及屬種數—世用=約40萬900餘種ヲ産シ, 熱帯~溫帯=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ12屬約50種ヲ産ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) せに-あふひ (綿莢) Malva sylvestris L. v. mauritiana Mill. [分布] 歐洲原産ノ②, シ毛, 大莖葉裂片鈍頭, 花五月, 白色紫線。[生藥] 葉及花ヲ初夏採花シ藥用トス。[成分] 根・葉及花=多量ノ粘液ヲ含ミ, 花=Malvin (色素C29H45O17Cl)ヲ含ム。[藥效] 綿莢花(陰干)ヲ取出シ緩和包摂藥トシ咽喉炎ノ利便緩和ノ目的ニテ咽喉炎・受道加答兒=含嗽料トス, 10%煎劑トス。根又葉ヲ用フルコトアリ。[備考] 觀賞用トシ庭植ス。標準種トルラすバに-あふひ M. sylvestris L. [分布] 全大低葉裂片鈍頭, 花淡紫色。[生藥藥效] 同前品。

(2) ふに-あふひ (かん-あふひ, 冬莢, 莢) M. verticillata L. [分布] 歐洲原産ノ②, 日本栽培, 花白色紫線・冬~春開花。[生藥] 各系子 Semen Malvae ハ種子ヲ採乾セルモノ也, 用腎形暗褐

種子、徑2 m.m. 氣味微和油膩、朝鮮多産。(藥效) 瀉子ヲ利尿藥(水腫、脚氣)トシ又緩下劑ノ效アリ、1日20g. 煎用。又小便困難、妊婦ノ水腫、淋病、胎毒、脫離困難等= 1回1~3g. 煎服ス。根ハ便秘、淋病=有效ノ外、山椒中毒ヲ治スル解毒劑トス。葉ヲ煎服シ亂雑婦ハ沈痼佳劑トス。(備考) 觀賞用トシ庭植ス。又嫩莖葉ヲ煮食スベシ、又生葉ヲ取り焙テ粉末トシ食用トス。乾海苔= ヌユマシ。(處方例) 瀉子散(利尿劑トス)--- 瀉子20.0 茯苓12.0---以上細末トシ4g. 宛1日3回分服。

(3) はな-あふひ (はな-あふひ、から-あふひ、おほ-あふひ、蜀葵)

Althea rosea Cav. (分布) 歐洲原産、日本栽培、高2m. (2) (生藥) 莖葉根ハ秋期割根ヲ採乾セルモ、根管及鬚根ヲ除去ス。(成分) 根= 澱粉、粘液質、及配糖体 *Altheasin*、花= 色素 *Vegetalin*ヲ含ム。(藥效) 蜀葵根ハあるてあ根= 代用シ氣管枝加答児及腸加答児= 粘滑包膜藥トシテ7回2~5g. 煎服ス。嘗テ第二局方藥タリシカ粘液含量少キト味辛辣性ナル故腐止セリ。又花ハ(1) 同様粘滑包膜藥トシ呼吸器諸病= 7回2~5g. 煎服シ又緩和合液料トシテ有效。葉モ蜀葵葉トシテ淋病、赤痢等= 有效、1日2~5g. 煎服ス。(備考) 花ハ大形美ナル故庭植シ女ク觀賞用トス。莖ヲ水ニ浸シ皮ヲ剥取シ繩トシ又又布トスバシ、粘葉ヲ灰トシ火ヲ收メ久ク不絶。歐洲ノ造酒家ハ此花= テ酒類ニ着色スト云。

△(4) うすべに-はな-あふひ (アルテア、びらうど-あふひ、亞馬答兒) *A. officinalis* L. (分布) 歐洲(中歐、南歐)原産、各地

栽培、高1~1.5m. 全株柔毛密布、花淡紅色、夏。(生藥) アルテア根 *Radix Altheae* ハ枝根ヲ採果ニ粘層ヲ除去シ乾燥セルモ、也、類白色、長20cm. 太1.5cm. 味微和粘液性也。アルテア葉 *Folium Altheae* ハ葉ヲ採乾セルモ、也。東京、神奈川、堺産、要點^{タチアツヒ} 根ヲ備市致ス、要注意。(成分) 根ハ粘液35%、澱粉37%、Pectin 11%、蔗糖 *Betain* 4%、水溶性 *Asparagin* 2%、脂肪油 1.7%ヲ含有ス。(藥效) 根及葉ハ共= 粘滑藥トス。即煎劑又あるてあ合和別トシ胃腸ノ刺激緩和(粘滑藥效)ヲ目的トシテ胃腸加答児、鎮咳藥= 10% 冷浸液トシテ用フ。又丸劑、錠劑ノ賦形藥トス。外用= ハ口腔及咽喉炎= 合液劑トシ、又刺激ヲ緩和スル目的= テ完腸料トシ、又瀉布劑トス。又澤西、あるてあ-シロツフ *Sicupus Altheae* 作ル原料トス。あるてあ根ハ常= 冷水ヲ以テ製ス。是澱粉含有量大ナル爲也。(備考) 屢花ノ美ナルヲ以テ觀賞用トス。(處方例) (1) 胃腸加答児藥---アルテア根煎(50.0) 100.0 塩酸モルネ木0.01、礫砂1.0---以上調和1日6回分服。(2) 直腸加答児藥---アルテア根煎150.0 阿片丁幾0.5---以上調和灌腸料ノ1回分。(3) 慢性腸加答児藥---アルテアシロツフ18.0 コロシホ根煎(8.0) 100.0---以上調和毎2時小兒匙宛。

(4) 全上---アルテアシロツフ20.0 コロシホ根煎(2.0) 100.0 阿片丁幾、2滴---以上調和毎2時小兒匙宛。

○(5) とろろ-あふひ (とろろ、ねり、黃蜀葵) *Abelmoschus Manihot* Medic. (*Hibiscus Manihot* L.) (分布) 支那

原産又熱帯原産、日本栽培、①、葉掌状5~7深裂、花黄、夏。〔生薬〕黄蜀葵根 *Radix Abelmoschi* ハ秋期主根ヲ採取、除花器水洗乾燥セルモノ也、紡錘形、長10cm、太0.5~0.1cm、灰白色、味ハ緩和粘凍性稍苦シ。製紙用ニハ其根乾燥ス。其他花及子実ニ藥用トス。広島・神奈川・静岡多産。〔成分〕根ハ粘質物約16%ヲ含ム、其大部分ハ *Araban*、*Galactan*、*Rhamnosan* 等也。其他是2% *Asperagin* ヲ含有スト云。〔藥效〕あるくあ根ニ代用シ得、局方、黄蜀葵根 *Radix Hibisci* 煎液緩和藥トシテ5~10g。ヲ煎劑、冷浸劑、茶劑、又錠劑トシ粘質藥トシテ胃腸加答兒ニ用ヒ、其粉末ヲス丸藥、錠劑等ノ賦形藥トス。局方、黄蜀葵シロップ (合劑別) *Sirupus Hibisci* 製造原料トス。是モ粘質藥トシ胃腸加答兒及鎮咳藥トス、1日3~6g。用。根ヲ煎服セバ催乳劑トナル。根ノ10:100ノ冷浸劑トセルモノ、又根・花・子実其根又粉末ヲ煎服セバ利尿・下毒作用アリテ淋病・水腫・脚氣等ニ有效。又花及種実粉末ハ湯火傷・惡瘡ニ外用撒布シ有效。根煎汁ハ漱口 (口腔炎、口臭等) 劑、合劑 (咽喉炎、喉頭炎等)、瀉腸劑、透布 (濃煎) 劑トシテ外用ス。慢性的胃腸加答兒ヲ緩和セシムル目的ニハ根ヲ7回2~2.5g。ヲ用フルニ醫師ノ指揮ニ従フベシ、工業上ニハ根ヲ白ニテ搗碎シ水浸シ採取セル粘汁ニテ和紙製造 (紙ヲ漉クトワル) 糊料 (纖維ヲ結合セシムル爲) ニ多量消費セラル、平素ハ根・莖・葉ヲ亦ハ根ヲ用フ。〔備考〕若ヲ取り煮食ス。庭植シ觀賞用トス。〔處方別〕①黄蜀葵シロップ (合劑別) (腸加

答兒、気管枝加答兒ニ用フ) 黄蜀葵根 2.0 = 酒精 1.0 糖水 50.0
ヲ注キ3時間其杯冷浸シ、絨布ニテ濾過シ、濾液 37.0 = 白糖 63.0
ヲ添シテ製ス。1日 5.0~10.0 ヲ水劑ニ配伍シテ内用ス。(2) 胃腸加答兒藥 黄蜀葵根 6.0 水 60.0 以上7日量冷浸劑トシ分服。(3) 全黄蜀葵根 6.0 シロップ 60.0 以上調和1日3回分服。

(6) あめりかねり (おくら、をくら、秋葵) *A. esculentus* Moench (分布) 熱帯原産、①、日本栽培。花ハ黄色、果ハ長円錐形有稜條。〔生薬〕あめりかねり *Okra* (*Gonbo*) ハ未熟果ヲ採乾セルモノ也、又種子ニ藥用トス。〔成分〕果ニハ多量ノ *Pectin*、粘液、澱粉等ヲ含有シ、種子ニ約15%ノ脂肪油ヲ含ミ *Olein*、*Linolein*、*Palmitin*、*Stearin*、*Arachin* 等ヨリ成ル。〔藥效〕未熟果ヲ食用ニ供スル外、採乾煎服シ粘質藥、包摂藥トシ、又糖尿病ニ有效。種子ヲ炒リ粉トシ咖啡代用トシ飲料ニ供ス。

(7) たかきこいぢび (をかきはら-いちぢ) *Abutilon indicum* G. Don. (分布) 小笠原・琉球・台ノ山野生ノ①。〔生薬〕葉及莖ヲ採乾シ藥用トス。〔藥用〕葉ヲ飯ニ加ハ、練リ、患部ニ貼布セバ腫毒ヲ治シ、莖ヲ煎服セバ神経痛、耳聾、風邪、眩暈ヲ治スル外、金瘡ヲ治シ止血、止痛、頭痛ヲ治シ、難産ニ有效也。〔成分〕莖皮ヲ剝キ纖維ヲ採リ、純トシ麻絲代用トス、甚強軟

ナルニ麻織ヨリ弱シ炭繩荷繩トシ又畳表ノ縫織トス。莖ヲ日干シ、1)ちびからト救ニ火ヲ点ジ火繩トス。1里1寸ト放シクク保テ消糶ニ、松明トス。

0(9)わた(き-わた、なんきんわた、草綿、綿)属諸種 *Gossypium* 属ニ次ノ数種アリ、形態效用大同小異也。葉ハ(1)ノ外3~5深裂也、G(3)。1) きだちわた *G. albotum* L. [分生] 印度・亞弗原産ノ莖、葉ハ5~7深裂カハ心状、花紫紅色、印度・アラビヤ、埃及ニ栽培種子油用ニ至ス。2) わた (くさ-わた、しろはな-わた) *G. herbaceum* L. (= ? *G. indicum* Lam.) [分生] 印度・アラビヤ産①、高1m以下、葉いたや-カハ心状、黄花(又白花?) 蒴果、亞利比亞・印度ニ栽培。3) なんきんわた (わた) *G. Nanking* Meyer [分生] 印度原産、①、高1m以下、秋黄花、葉3~5中裂、支那・日本・滿洲ニ栽培。あかはな-わた *var. rubicunda* watt, [分生] 亞灌木、葉5~7中裂、花紫稀白色(恐ク種トラン)。4) べにはな-わた *G. barbadense* L. [分生] 熱帯原産、南北西米栽培、花黄色濃紅心、あめりか-わた *var. maritima* watt. 亞米利加栽培、①、黄花紫心。

(5) はちはち-わた (はちな-わた) *G. hirsutum* L. *v. religiosum* watt. 高地ニ栽培、全株有毛、種子毛短小、葉心形3浅裂。

(6) へる-わた (腎臟綿、Kidney Cotton) *G. peruvianum* [分生] 南米ニ栽培。

[生薬] 綿 *Gossypium* ハ種子毛ニテ蒴果(G(3))分取シ白綿ヲ現ス、種皮上ノ單細胞毛ニテ麻・亞麻等ト異リ非皮纖維物ナルニ鞏固且柔脆性アリ、長3~4cm. 扁長・空槽僅ズ。其他根・種子・仁油等ヲ藥用トス。[成分] 綿ハ殆ど純粋ノ Cellulose (植物纖維素)ヨリ成リ、灰分1%以上。莖及根ノ水浸液ヨリ子宮緊縮性ノ結晶性物質ヲ得之ヲ ^{エキボリン} Ekbolin ト命名セリ。種子ハ脂肪油約20%ヲ含ミ、主ニ *Parmitin* ヨリ成リ少量ノ Olein 等ヲ混ス; 其他 ^{ゴッソポール} Gossypol $C_{30}H_{50}O_9$ ナル Phenol 性有毒物質(黄色結晶)約0.6%ヲ含ム。又一説ニ本脂肪油ハ Olein *säure*・Stearin*säure* / Glycerid ヨリ成ルト。Gossypol ハ脂肪油ニ可溶性ニテ粗製綿実油中ニ約1.5%ヲ含有スル故食用ニ使シ得ハキ精製綿実油トスルニハ攪あるカリニテ處理ス。

[藥效] 綿ハ脱脂セル脱脂綿ハ外科又全手術(コロジウム・止血綿等)トナル。又藥品ヲ浸飽シ局部ニ當テ又局部所患法用トス、又精製シころちう止血綿ヲ依ル。新鮮根(米・津西)ハ月経困難又通経藥並陣痛促進藥ニ煎用ス、用量2g. 種子ハ母乳ノ分泌ヲ促進ス。煎劑(5:100)トス、但シ毒成分ニシほ-るヲ含ム故要注意。[新藥] 本属植物ノ種子ヲ原料トセル催乳藥ニ次ノ製劑アリ。(1) *Mamain* (三共)、(2) *Lactagol* (英・Person & Co)、(3) ^{ネオミルヒン} *Neomilchin* (大阪塩野) (4) *Lactomil* (東京内外新藥)。[藥理] Ekbolin ハ神経中樞ヲ中毒性ニ汎ク麻痺ス(呼吸運動等)。湿血動物

=對シ呼吸作用ハ少量ナレバ著変ナシ、大量ナレバ初頻數後全ク停止シテ死ス。(中起麻痺)、血管系ニテハ小量ノ靜脈注入ニヨリ血圧昇騰シ大量ハ下降ス、是中起麻痺ノ結果也。

〔備考〕 桓武帝ノ時天竺人祇園ニ深着シ始傳種子、官之ヲ紙内、西海諸國ニ頒テ蕃衍セシモ中古絶種、足利氏末年再傳播セリ。

種子毛茸ハ絹織織物染ノ原料トス、即衣服着布面ニ入ル、綿トシ、又絲ヲ績キ布ヲ織ル。種子ヨリ压榨シ得タル油ヲ白油又綿実油又草実油ト称シ、黄金色濃液狀乾性油ニテ好味アリ。橄欖油、芸苔油ニ混入使用シ、石鹼製造原料トシ又割蒸、塗用、滑劑、燻用等ニ供シ、光明他油ニ類ス、大豆油ト共ニ安價ナル植物油ニテ食用、燻用工業用等用途廣シ。其油槽ハ綿実粕、又綿実油粕ト称シ、田畑ノ肥料トシ、百分中有糖物82.2、窒素9.2、磷酸3.1、加里1.9、水分11.2ヲ含有ス。又ハ鉄器ヲ琢クバタ、又菓子製造ノ料ニ供ス。灰汁ハ布帛ヲ洗晒スバシ。纖維工業用ニハ纖維細長、強カ強、有光沢、米國、印度及埃及産ヲ用ヒ、支那産ハ太絲紡績ニ適シ、日本産ハ纖維太ク中綿ニ適ス。

〔處方例〕(1)催乳藥---草綿子 5.0 水 100.0 --- 以上ノ日量煎劑分服。(2)通經藥---草綿根 2.0 --- 以上煎劑、頓服。(3)催乳藥---草綿子 4.0 甘草 0.5 水 100.0 以上ノ日量、煎劑分服。

(1) ^{モクキ}むくげ (キ-はちす、はちす、もくげ、木槿) *Hibiscus*

lyriacus L. (分生)小豆、アルメニア原産、日本栽培ノ多ク又、花夏秋里瓣色ニ紫青、淡紫、白等アリ、蒴果。〔生藥〕木槿花 *Flos Hibiscis* ハ夏期白花品ヲ採乾セルモノ也。淡黄色、皺縮、K有毛、味粘滑性、甚虫害ヲ受易故要ニ注意、紫花・根皮・嫩葉ニ採乾藥用トス。〔藥效〕漢：木槿花ハ專乾瀉藥トシ、胃腸加感、腸出血ニ煎服ス、又止瀉兼止血藥トシテ赤痢症狀直腸加感、腸出血ニ煎服ス等ニ1回2~3g、ヲ煎服、或カキ餅類ト煮藏シ1日3回服用セバ收斂性ニヨリ奏效ス。又口渴ヲ醫スル止渴劑トナル、又利尿劑トシ止血藥トシ吐瀉ヲ止ムル效アリ。又味嚼汁トシテ煮食スレバ下痢止、下血、痔下(帶下)、痔瘻ノ解熱劑、利尿劑トナル、不眠症ニ有效。以上ノ目的ニハ根皮(赤紫時垣株)、樹皮、根皮(共ニ夏土用ニ採取)ヲ用フルニ同效アリ。樹内皮ヲ煎服セバ滋病ニ有效。花部ヲ煎燒トシ、其汁ニ水ニ添ケ火湯部ニ塗布シ有效(臣)、(以上ハ白木槿花ヲ用フ)。〔備考〕樹皮ハ極テ酸軟、糞ヲ依リ、又紙ヲ漉キ和紙トス、又絲ヲ製スベシ。樹ヲ觀賞用トシ、生垣(莖籬)トスルニ枝葉繁密、殊ニ花并見花。〔處方例〕胃腸加感、腸出血藥---白木槿花 3.0 水 100.0 --- 以上ノ日量煎劑分服。

(1) まゝあさ (おぼ-はまぼろ、はま-いぢび) *H. tiliaceus* L.

(分生)丸小笠原、琉球ノ海濱生豆花周年。〔生藥〕葉及花ヲ採乾藥用トス。〔藥效〕葉煎汁ニテ腫物ヲ洗滌シ、耳痛ニハ花ヲ乳ト煎シ其汁ヲ耳中ニ注入又花乳混物ヲ挿入ス。

(2) まら (もく-ふら、木芙蓉) *H. mutabilis* L. (分生)丸

流・台・嶺ノ山野生互、高1m.内外花夏、淡紫又白、朝開夕萎。〔生薬〕根ヲ掘採乾薬用トス。〔薬效〕根ヲ煎服シテ解熱・神経痛・風邪ヲ治シ又癩ヲ治スト云、1回1~3g.煎服。〔備考〕観賞用トス、特鮮紅色花ヲ醉芙蓉ト称シ詩人墨客殊愛玩不措。樹皮ヨリ纖維・依蓑。

(13) びつさうげ (リウキウ-むくげ、扶桑花、佛桑花) *H. Rosasinensis* L. (余生) 印度原産、日本栽培ノ落葉互、葉ハ無裂・鉄刻齒縁・紅花長梗、夏秋咲。〔生薬〕花ヲ採乾薬用トス。〔薬效〕花ヲ砂糖ト共ニ練リ腫物ニ貼付シテ有效特ニ小兒ノ頭部腫物ニ有效。

(14) はまぼろ (はまぼ、黄蘗) *H. Hamabo* S. et Z. (余生) 本(中南部)・四・九・朝・疏ノ海濱地生互、花黄色素心。〔药用〕樹皮ノ纖維ヲ紙トシ種々ノ用ニ供ス。又材ハ器具用トシ、観賞用トス。

(15) きんごじくわ *Sida rhombifolia* L. (余生) 九(種子)小笠原・琉・台ノ原野生◎花黄瑠白、周年。〔薬效〕莖葉ヲ煎服シ胎毒ヲ治ス。

(16) はさきんごじくわ *S. acuta* Burm. f. (生・生) 台ノ原野生◎黄花 $G(5\sim 2)$ 。〔薬效〕莖葉ヲ煎服シ感冒ヲ治ス。

(17) まるばきんごじくわ (しろばな-ごじくわ) *S. Cardifolia* L. (余生) 台ノ原野生◎黄花 $G(10)$ 、有芒。〔薬效〕葉ヲ敲キ貼用セハ瘡血ヲ治メ、腫物ヲ治ス。

(18) き-ほんてんくわ *Urena lobata* L. v. *scabriuscula*

Mast. (余布) 琉・産互。おほは-ほんてんくわ(あまみ-ほんてんくわ) *U. tomentosa* Mig. (余生) 九・琉・台・産、原野生互。〔薬效〕根ヲ煎服シまらりせ病ヲ治シ又毒蛇咬傷ヲ治スト云フ。

Fam. (四) きわた (木綿) 科 *Bombacaceae*

形質——互、有粘液(細道)腔又体中道々有粘液道、屢有毛茸(星若状又有柄即推形鱗毛)。葉ハト、有柄、具脱落性托葉、單葉或掌状複葉、全縁。花器ハ屢大形、傘、單生又円錐花序ニ排列。花ハ中稀中、雄5数性、屢具外 $K(2)$ 、概 $F.f. = K_5 C_5 A_5 G_{5\sim 10}$; $r. (5+10) G(2\sim 5)$, K ハ銀合列, C ハ回旋列; 花絲ハ離葯ハ1~2室又∞室、花絲ハ平滑無刺、各心皮ハ2~∞直立性倒生卵子ヲ生ズ、2~5子室、花柱ハ單体。果実ハ乾果又肉果ニテ裂開又不裂開; 種子ハ無毛ナルモ果皮綿毛ニ被ル(種子有毛トモ云ハル)、屢具假種皮(子衣)、胚乳ハ薄小、疊又無。

成分及效用——未精査ニテ脂肪及有機酸等知ラルルノミ。薬用ノ外纖維用・木材用・食用果実ヲ生スルモノ、実用種子毛ヲ生スルモノアリ。

分布及属種数——世界ニ又20属140種ヲ産シ、主ニ熱帯ニ分布ス。日本ニ自生(1種)又栽培(1種)ナルモノ2属2種アリ。

本科ノ薬用及有用植物:—

(1) きわた (はんしじゆ、わたのみ、木綿) *Bombax malabaricum* DC. (余生) 台・其他熱帯産大互、小葉5~7、黄花 $K(5) C_5 A_5 G_{10}$

徑 10 cm, K2 裂ハ楕円形, 長 12 cm. 餘。種子有毛・白毛。(生藥) 樹脂・護膜及幼根ヲ採乾・粉末トシ藥用トス。(成分) 樹皮及幼根 = Gummi. 脂肪油等ヲ含ム。(藥效) 生藥粉末ヲ催經藥收斂藥, 強壯藥・保溫藥・止血藥トシ又下痢及赤痢 = 用フ。又粉末ヲ牛乳 = 和シテ緩和劑トス, 又骨折・月經過多 = 有效。(備考) 種子ニ生ル白綿毛ヲ採集シ蒲團又褥等ノ心綿トス, 織トニ織ニ紡ゲニ不適。

(2) パンヤ (しろ-さわた, いん-ど-わたのき, 白木綿) *Eriodendron anfractuosum* DC. (カ生) 印度・熱帯原産ノ大木, 葉花有毛, $K_{(5)} C_5 A_5 G_{(5)}$, 果ハ大形 10~15 cm. 長円形。(效用) 種子毛ヲ蔴團又褥ノ心トス, 紡績不適。材ハ甚輕ク, 丸木船(土人用)ヲ作ル = 適ス。根ヲ石炭水 = 浸シタル液 = 用レバ風雨 = 曝サルルニ数年間変化スルコトナシ。

(3) バオバブ (ばおはぶのき, Baobab) *Adansonia digitata* L. (カ生) 熱帯原産ノ大木, 常緑, 高 20 m. 徑 1 m. 葉ハ掌狀複葉, 花白色大形, 腋生單出, 果ハ大形長々楕円形・長 50 cm 10~15 cm. (藥效) 樹皮・葉・果実ヲ藥用(滋養強壯劑, 又利尿劑)トス。(效用) 熱帯土人ノ最有用植物ノ一 = シテ果皮ハヘラタンノ如ク水酒等ノ容器トシ, 髓ヲ食用トシ酸甘美味也, 蜜のばルト軟ス。木材ハ極テ輕ク且柔ク土人ハ置換車ヲ作ル。樹皮ノ纖維ニテ紙及織物ヲ製シ, 若葉ヲ食用トス。樹木中ノ最長壽者 = テ五千年ヲ経過セシモノ不尠。

Fam. (IV) あまきり(梧桐)科 *Sterculiaceae*

形質 — D(5~5)又H(①筋②), 組織中 = 粘液(細胞)腔ヲ有ス。葉ハ ψ , 有柄, 脱落性托葉有, 單葉, 無裂又掌狀 3~5 浅~深裂, 屢 3 行脈稀 3~9 の行脈(しろきり), 全縁又齒牙縁。花器ハ概 5 輪又 ψ = 由リ ψ 8, 小形~中形, 頂生又腋生粗~密族, 聚繖總狀・圓錐花序等 = 排列。花ハ中稀 ϕ , 概 5 数性; F. f. = $K_{(5)} C_5 r. 0$ $v. + A_{(5+5)} v. (0+00) G_{(5)}$, 雄 $K_{(5)} C_5 A_{(5+5)} G_{(5)}$; Kハ假合列, Cハ回旋列, 花盤ハ土結合屢筒狀; 蒴ハ 2 室, 極細長長裂孔ヨリ稀小孔ヨリ吐花粉, 花粉粒ハ概小形・筋大形有刺; Gハ假土結合 $\psi G_{(5)}$ 稀介離心皮(あまきり, 然レドニ花柱合一), 各心皮ハ 2~ ∞ 個生卵子ヲ生ズ, 子房ハ無柄又柄有, 或Aト共 = 合シテ両藥柱ヲ提出ス; 花柱ハ 5, 概合一單本, 柱頭ハ屢 5 裂ス。果実ハ概 ψ 果肉聚, 甲ノ場合ハ 1 花由果実ハ合果皮ノ單果(之ハ蒴果)ナルカ或稀離果皮ノ數個ノ單果(之ハ骨突又堅果)トナル。種子ハ有胚乳(概豐饒), 胚ハ扁平・褶曲・煤炭狀等。

成分及效用 — 成分ハ *Cola* 及 *Theobroma* 両属ノミ如ク ψ 塩基(Kaffein・Theobromin)ヲ含ム。此他脂肪油ヲ含ムモノアルモ, 樹脂石炭系精油等ヲ含ムモノ殆無シ。本科ニハ藥用ノ外油料飲料食料等トナスベキ種子ヲ生ズルモノアリ, 又木材用・纖維用・觀賞用 = 供スルモノアリ。

分布及属種數 — 世界 = 凡 48 属 680 種ヲ産シ熱帯 = 分布シ少数ハ熱帯外 = 産ス。日本産及栽培ハ 71 属 16 種也。

本科ノ藥用植物：一

(1) あまかり (梧桐・青桐) *Firmiana platanifolia* Schott. et Endl. (カ生) 台・= 自生スル者、日本内地生ハ支那ヨリ輸入花大・七月、果十月、(♀♂) = K(5) C5 A(∞) G(5)。〔生藥〕樹皮及葉及種子(梧桐子)ヲハ九月頃採乾シ藥用トス。〔成分〕不詳シ樹皮=多量ノ含粘液。〔藥用〕樹皮ヲ傷ケテ縛ル(又搗碎水浸採取)粘液ハ製紙ノ糊料トスルコト前記如ネリ、又旧時美若葉ト共=油代用トシ理髮(塗用)=用ヒタリ。梧桐子ヲ炒食シ鎮咳藥トス。葉ヲ煎服シリウマチス⁷(又煎汁温浴)及咳嗽藥トス、又頭髮塗料トス。種子ヲ炒リ粉末トシ咖啡代用飲料(嗜好)トス。〔備考〕樹内皮纖維ヨリ絲ヲ採リ傘ノ代用トシ、又布ヲ織ル。果ハ煎シテ5分果トナリ線=綴種子、炒食シ或煮食ス、味苺実ヲ似ル。材ハ下駄ヲ作リ、又燈具用=烘ス。庭木トシ風致樹又日陰樹トシ觀賞ス。

(2) せんはるごま (なつめやし) *Helicteres angustifolia* L. (カ生) 琉台ノ山地生者、花四・五月。〔生藥〕根ヲ採乾シ藥用トス。〔藥效〕根ヲ煎服シさらりや病ヲ治スト云フ。

(3) ふうせんあひめがし *Keiskevia Haspitata* L. (カ生) 台ノ海岸林ヲナス者。〔藥效〕葉ノ煎汁=テ疥癬ヲ洗滌ス。

(4) コレラのき (コラ子、コラ茶、こらし樹) *Sterculia acuminata* Pal. (*Cola acuminata* Schott et Endlicher) (カ生) 西亞弗・原産、南米・西印度等=産植、葉ハ広披針形全縁、暗緑色、花鈴、赤彩、膜生果族、果ハ5ヶノ筒夾、藏4~8子、種子ハ胡桃

大自~紅色。〔生藥〕コラ子 *Semen Kolae* ハ種子ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕種子=塩基 *Coffein*、*Theobromin* 及脂肪、*Colarot* 等ヲ含有ス。〔藥效〕種子ヲ鎮痛藥・心臟強壯藥・興奮(疲勞・航空病等ノ)劑トシ又嗜好飲料トス。

○(5) ココアのき (ちよこれーとのき、かかも、ココア樹) *Theobroma Cacao* L. (カ生) 南米熱帯地方原産也、現今ハ南北緯20度以内ノ熱帯各地=栽培スル常緑草、葉ハ大形楕円~長楕円形、尖頭全縁、幹枝=眠(潛伏)芽ヲ發育スル花ヲ所々=簇生、花ハ淡紅 K(5) C(5) A(5+5) G(5)、箱果ハ黄~紫紅色。巨大長10cm。尖錐卵形有十溝、多疣起、初肉質後乾固ス、50~α種子ヲ容ル。〔生藥〕カカオ子 *Semen Cacao* ハ種子ヲ採乾セルモノ也、扁球形有液、外種皮ハ菲薄、内夾ハ1部子核(仁)中=摺入重葎ス、胚ハ波弯曲、かかお豆ハ桂快油・糖・微苦味ト芳香ヲ有ス。〔成分〕種子ノ有效成分ハ塩基 *Theobromin* $C_7H_8N_4O_2$ (4%) 及 *Coffein* (少量) = 之也=脂肪ハ50%ナリ、藥用ノかかお脂ハ其脂肪ヲ圧出製造セシムルモノ也。〔藥效〕種子ハ *Cocoa*、*Chocolate*、かかお脂、*Theobromin* 等ノ製造原料トス。*Cocoa* (*Cacao*)---ハ種子全部又仁ノミヲ炙リ粉末トセシモノニテ...ココア(かかお)飲料トハ以上ノココア粉=砂糖・牛乳又澱粉等ヲ加ハ湯=添セシ滋養強壯性又興奮酸心性飲料也。*Chocolate*---トハ種子ヲ炙リ種皮ヲ除去シ、仁ヲ粉末トシ、之ニ同量ノ砂糖ト少量ノ *Vanilla* 及黄色々素ヲ加ハシモノヲ云フ、滋養強壯劑又興奮劑トナル、之ヲ諸菓子=用ヒ又單独販

狀菓子(板ちよこ)=製シ、或ハ湯=溶シ、飲用トス。以上ハ嗜好飲料又嗜好品也。局方カカオ脂(*Oleum Cacao*又*Cacao-butter*)ハ種仁ヲ压榨シ得タル脂ニテ(又種子ヲ炒熟シ、種皮、後压榨シテ製ス)体温ニテ溶融シ且変敗シ難キ特性アル故坐藥及軟膏ノ基礎劑(又賦形劑)又被覆劑=應用ス。種皮ヨリ *Theobromin* (極基)ヲ採集シ中風濕防禦及利尿強心藥用トス。局方カカオレチン *Diuretinum*ハ化学上 *Theobromin-natriumsalicylat* = 利尿藥トシ1日3回、1回0.25~1.0gヲ散劑又錠劑トシテ用フ。特ニ *Digitalis* 劑ニ和シ或之ト交互ニ用フ。又慢性腎臟炎、浮腫等ニ用フ。其他間歇性跛行、脈管硬化、頭痛眩暈等ノ腦血管前驅症、狀血圧昇進等ニ用ヒテ、5%液ヲ注射スルコトアリ、1回極量1.0g、1日全3.0g也。

[新藥] *Theobromin* 製劑ハ如次。利尿強心藥トス。(1) *Agurin* (Bayer), (2) 酢酸普差ヲオプロミン (A), (3) *Theobromin* (小島), (4) *Ordin* (武田), (5) *Calcium Diuretin* (三共), (6) *Cacadin* (中村) (7) *Theocalcin* (田辺)等。

[處方例] (1) 淋病藥... 塩酸モルヒネ0.03 カカオ脂適宜... 以上混和膏坐藥3箇、1日2箇肛門挿入。(2) 全... ロート軟膏0.03 カカオ脂適宜... 以上膏坐藥3箇、1日2箇、肛門挿入。(3) 膀胱加答兒藥... 塩酸コカイソ0.1 カカオ脂適宜... 以上坐藥4箇、直腸挿入。(4) 痔核藥... イヒチオール0.1 ヨードフォル4.02

カカオ脂 2.0... 以上膏坐藥3箇、1日1箇(肛門挿入) (5) 陰萎藥... 草率酸 1.0 カカオ脂適宜... 以上長2cmノ坐藥10箇トシ、毎日半~1箇ヲ挿入。(6) 膽石症藥... 阿片碱、錫斯、ハ、フ、ト、ナ、越、幾、斯、各0.02 カカオ脂適宜... 以上膏坐藥6箇、1日3箇。(7) 皮膚病藥... 甘膏、桃油 1.0 カカオ脂 15.0... 以上研和膏軟膏、外用ス。

第二十目 側膜胎座目 *Parietales*

特徵— 互~互、又①~④。葉ハ托葉有又無。概シ嬰シ、莖葉、葉片狀複葉。花ハ概シ輪(♀♂)、③又④、♀又⑤、♂、F、f=K(5); V. 2~3~4 V. 6~7~8~15 C(5); 3~4 V. 6~7~8~9~15 T. 0 A 5 V. (5~∞); V. 0+5 V. 5+5 V. (5~∞) V. 0+3 V. 2~4~8~10 T. ∞ G(3~5) V. (1~2) V. (2~3~6~7); V. (4~6~7~8~10~15) T. (∞); 概 K(5); V. 3~7 C(5); V. 3~9 A 3~5~10 V. (5~∞); G(1~3~5), 子房ハ概シ側膜胎座、中軸胎座、卵子ノ方向ハ極々、稀ニ立性卵子。果實ハ蒴果又漿果、稀ニ核果、管果、全面乾果也。藥用關係ハ次ノ11科也。

- 1 { G(2~6), (♀♂), 葉ハ④、⑤又⑥... Fam. (X1) 秋海棠科 *Begoniaceae*
- 1 { G(2), 全輪 A-G 柯レカ、退行シテ♀♂葉ハΦ、H又D... 1
- 1 { 葉ハ小鱗片狀、密着ス、... Fam. (V) 檉柳科 *Tamaricaceae*
- 1 { 葉ハ非鱗片狀、非密着... 2
- 2 { 中軸胎座、子房ハ真正兩膜ニテ2~∞室ヲ成ス... 3
- 2 { 側膜胎座、子房ハ1室、或概兩膜ニテ數室ヲ成ス... 5

- 3 { 葉ハ ψ 又 ψ 無托葉, 黒又明点有; $A_{\infty} = \tau 3 \sim 5$ 体(束)ヲ成ス.
稀A3~5 ----- Fam. (III) ^{オトギソウ}第切草 (金縷桃) 科 (Guttiferae) ^{ヒヨウヤナギ}
Hypericaceae
- 葉ハ ψ ----- 4
- 4 { 葉ハ托葉有又無; 概葉果 ∞ 卵子ヲ含ム, 種子ハ有假種皮(子衣) ----- Fam. (I) ^{マダガビ(サルナン)} 猕猴桃科 Actinidiaceae
- 葉ハ無托葉; 蒴果又全面果, 1~ ∞ 種子ヲ含ム, 種子=假種皮(子衣)ナシ ----- Fam. (II) ^{ツバキ} 山茶科 Theaceae
- 葉ハ有托葉; 全縁; 蒴果又堅果, 1~2 種子ヲ含ミ成長セル宿K=固ル ----- Fam. (IV) ^{リクノク} 龍腦香(眞狀果)科 ^{ツクハオキ} Dipterocarpaceae
- 5 { 花ハ ϕ , 有距; 葉ハ ψ , 有托葉 ----- Fam. (VI) ^{スミレ} 堇菜科 Violaceae
- 花ハ ϕ , 但唇巴咲 ----- 6
- 6 { 葉ハ ψ 又 ψ , 單葉全縁, 黒又明点ヲ有ス -----
----- ^{オトギソウ} 第切草 (金縷桃) 科 (Guttiferae) ^{ヒヨウヤナギ} Hypericaceae
- 葉ハ ψ , 黒点又明点ナシ, 大本, 無卷縁, $A_8 \sim \infty$ ----- 7
- 7 { 花ハ $C_0 A_{\infty} G_{(2 \sim 10)}$ ----- Fam. (IV) ^{イイカリ} 荷科 Flacourtiaceae
- 花ハ有C ----- 8
- 8 { 葉ハ掌状分裂, 無托葉, 早 ϕ , A_{10} ----- Fam. (X) ^{バンクワジ} 薔瓜樹科 Caricaceae
- 葉ハ單葉無裂, 有托葉 ----- 9
- 9 { $K_4 C_4 A_8 G_{(4)}$ ----- Fam. (IX) ^{キツシ} 旋節花科 Stachyuraceae
- $A_{\infty} G_{(2)}$ v. $(2 \sim 10)$ ----- 10

- 10 { $K_5 C_5 A_{\infty} G_{(2)}$, Cハ大形美麗 ----- Fam. (VII) ^{ベニキ} 紅木科 Bixaceae
- $C_2 \sim 15 G_{(3 \sim 4)}$, CハK状 ----- ^{イイカリ} 荷科 Flacourtiaceae

Fam. (I) さるなし(またたび) 猕猴桃科 Actinidiaceae

形質——概 ψ 稀 ψ ~ ψ , 極稀 ϕ (外國)。葉ハ ψ , 極稀 ψ (外國), 有柄托葉有又無, 單葉無裂齒牙~鉤齒缺刻縁。花 ϕ ハ早稀 ψ 花=ヨリ早 ϕ (さるなし)又(早 ϕ)(またたび), 白色~黄色中小形; 概聚 ϕ 花序, 又屢單生花序。花ハ ϕ ①稀②中, 稀 ϕ , 稀 ϕ 数性, F.f. = $K_5 C_5 A_{\infty} G_{(2)}$; さるなし早 ϕ = $K_5 C_5 A_{\infty} G_{(2)}$. ϕ = $K_5 C_5 A_{\infty} G_{(2)}$; Kハ瓦列 ϕ 列, 屢宿存又生長, Cハ瓦列; 各心皮ハ1~ ∞ ノ側生卵子ヲ生ス, 1卵膜; 花柱ハ心皮ト同数; 離生稀 ψ 合着ス。果突ハ漿果又蒴果; 種子各子室中 = 1~ ∞ アリ, 胚乳多量・粉質, 胚ハ直生。

成分及效用——成分ハ未詳, 唯揮發油・またたび酸等知ラルルノミ。藥用ノ外木材用器具用觀賞用等 = 供 ψ 或ハ食用果実ヲ生 ψ 或木材ヲ磨 ψ = 適スル葉ヲ生スルモノアリ。

分布及屬種數——世界 = 凡13屬320種ヲ産 ψ , 主 = 熱帯~温帯(4) = 分布ス。日本産3屬凡15種アリテ南方 = 多産ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) さるなし(しらくち-づる, こくは, やぶ-なし, 猕猴桃) *Actinidia arguta* Planch. [分生] 樺北・本・四・九・朝ノ山地生 ϕ , 散生・稀群生。葉ハ急遽銳尖頭・刺尖齒縁, 下面脉上有毛, 早 ϕ , 緑白花, K有毛, 花五・六月・果十月, 果ハ球

形へ白球形黄緑熟。〔生薬〕果実ヲ薬用トス。彌猴桃果ハ果実ヲ採乾或果皮ト核ヲ除キ乾燥セシモノ也。〔薬用〕乾果ヲ煎取テ収斂性強壯薬トシ又解熱劑・強壯劑トス。生食シテ滋養強壯薬トス。但多食セハ並上スト云フ。〔備考〕果実ハ生食スバク美味也、樹皮ハ繩ニ編ヒ又袋ヲ繫グニ用フ、皮中ノ纖維ハ頑強致、晒シテ麻ノ如クシ、線トシ脚半・頭巾等ヲ製ス、又製紙原料トス。老蔓莖ハ徑20~30cm、横截セバ細孔無數雅致アル故茶瓶敷トシ、筆立ヲ造ル（日光細工）、此蔓類酸ク藤蓆ヲ造リ、袋ヲ編ミ、蛇籠ヲ依ル、又皮ヲ剝キ磨杉ノ如ク磨キ床柱トス、極清雅也、数奇屋造ニ用フ。蔓ノ基部ヲ切レバ甘味液汁ヲ浸出ス、故水蔓ト云、樵夫山中ニ渴シ水無時此蔓ヲ切り滴出汁液ヲ飲ミ醫スルコト如行香水。

(2) またたび (なつらめ、木天蓼) *A. polygama* Max.
 〔余生〕樺・北本・四・九・朝ノ山地生、葉ハ鋭尖頭微突尖齒縁而面脈上有毛、花候梢葉土白化、花白色、(4・5)六・七月、漿果ハ九月長卵形。〔生薬〕木天蓼 *Fructus Actinidiae* ハ虫瘻ニ罹ル果ヲ立秋ノ候ニ採集シ煎湯ヲ灌注・晒日・乾燥セシモノ也、長卵楕円形・長2cm、太1cm、赤黄色、麻酔性香氣有、味酸味有稍辛、(其他果実・葉・枝等ニ薬用トス、長野・宮城縣多産。〔成分〕果中ニ揮發性ノまたたび酸 *Matatabisäure* $C_{28}H_{40}O_8$ ヲ含有ス、本品ハ沸点(21mmHg) 25~97°ノ液体ニテ特異ノ香氣アリ、其他 $C_{25}H_{40}O_2$ ナル結晶性物質ヲ含ムト云。其他果肉中ニ滅精・葡萄糖ノ外辛辣味ノ起因ヲナス針晶体ヲ多含ス。〔薬效〕薬:

木天蓼ハ身体ヲ温ル效アリ、搗末トシ内服ス、又天蓼酒(木天蓼1斤去皮細切シ、絹布ニ包ミ酒3升ニ浸ワシテ10日間浸漬ス)ヲ苴リ蓋ニテ1回2~3杯飲下シ尿温・強壯薬トス。1回3~5g(4~6粒)ヲ3合ノ水ニテ約1.5時間煎詰メ服用セバ痲氣・腰痛・痛風・リウマチス・淋病・消渴・月經不順・腹痛ニ有効、葉ヲ煎取セバ痲氣ニ因ル腹痛ヲ治ス。莖・葉20g内外ヲ2升ノ水ニ煎出シ浴湯料トセバ痲氣痛・月經不順・月經痛・腹痛・冷性・淋病・腰痛・リウマチス、寸白等ニ有効、又尿温ノ效大也。果実及樹皮・枝等ハ猫ノ病的嗜好物ニテ之等ヲ與フレバ殆皆目的ニ稱付キ体ヲ摩リ或鞭撻玩弄不止、然嗜喰ヲ猫ノ万病ヲ治スト云。人間多食セバ肛門搔痒甚ト云フ、原因不明。〔新薬〕*Polygamol* (東京・有馬)ハ果ノ結晶成分0.03%、溶液ニテ強心性利尿注射薬トス。〔備考〕夏月梢葉粉白、遠望之如花。花5出似梅花、去、葉浪花トス、故夏梅ト云。半熟果ヲ採束シ塩漬トシ酒搗トシ茶受トス、味辛辣似山葵、嫩葉ヲ採リ調理シ(茹トシ)可食、味辛辣也。果ハ生食シ又乾貯シ、或塩漬シ可食、樹皮・莖・材ノ構造・效用等凡テ同前種・故有異。〔薬理〕またたび酸ハ動物ニ麻酔作用ヲ呈シ、初大脳次脊髄最後ニ延髄ヲ麻酔セシム。薬理学上くろろはるむ及酒精屬ノ麻酔劑ニ編入スバキモノ也。此麻酔用量ハ温血動物ニ於テ心臟及血圧ニ殆無影響、又呼吸麻痺ヲ不生、大量ヲ與フル時ハ呼吸麻痺ニ依テ死ス。〔處方例〕(1) 尿温・鎮痛藥---木天蓼末 5.0---以上1日量分服。(2) 天蓼酒(利尿・強心・強壯薬)---刻ミ木天蓼 100.0---以

上ヲ日本酒 200cc. = 冷浸數日放置。

(3) みゆま-またたび (深山木天蓼) *A. Kolomista* Max. (糸生) 種・南干・北・本(北中部)・四・朝ノ山地生ナ。葉ハ心形・両面有毛, 花亭纖細, 花七月・葉果ハ楕圓形・褐黃載。[生薬・藥效] 葉凡テ同前種。

Fam. (II) つばき(山茶)科 *Theaceae* { *Ternstroemiaceae* }
{ *Camelliaceae* }
(235 図参照)。

形質——互~互, 概常綠。葉ハ有柄 Ψ , 無托葉, 單葉無裂。全緣~鋸齒緣, 概革質滑沢。花序小~大形概美, 腋生又頂生, 單立又歧繖 2~數花・聚繖・繖總狀又同維花序=排列。花ハ中, ◎又◎ 概 $F. f. = K(5\sim7); C(5\sim7\sim9); A(\infty\sim5); G(2\sim3\sim5\sim\infty)$
詳細花式 $B_{2\sim3} K(5\sim7); r. 5\sim10 v. \infty C(5\sim7\sim9); A(\infty\sim5); r. 5+(\infty) G(3\sim5) v. (2\sim\infty)$; ひさかき (*Eurya*) 屬 ♀・♂, ♀ = $K(5); r. 4\sim6 C(5); A_0 G(3)$, ♂ = $K(5); r. 4\sim6 C(5); A_{7\sim8\sim9\sim10\sim15} r. \infty G_0$; ひめつばき (*Schima*) 屬 $K(5); C(5); A(\infty) G(5)$; ちや (*Thea*) 屬 $B_{2\sim3} v. 0 K_{5\sim3} C_{5\sim3} v. 5\sim7\sim9 A(\infty); G(3)$; Kハ互列・宿存, Cハ互列, 各心皮ハ $\infty\sim1$ ヶ(又 $2 v. 4\sim\infty r. 1$ ヶ) / 2 卵膜性ノ到生・旁生或半倒生卵子ヲ生ズ; 子室ハ 2・3・5~10 子室, 花柱ハ心皮ト同數・余離又結合シ單体。果實ハ蒴果(變裂性又房裂性)又漿果(全蒴果, 不裂開), 種子ハ小~大形, 胚乳有又無, 内乳ハ細胞狀。

成分及效用——化學的ニハ *Thea* 及 *Camellia* 2 屬ノミ知レ *Kaffein* (*Thein*)・*Theophyllin*・*Theobromin* 等ノ

235 四



Purinbase, Teeöl / 如キ揮發油,

Tubakiöl 等ノ如キ脂肪油ヲ含ムモノ

[235 四) つばきの花及解剖圖(原四)]

1. 花器 = $K_{\infty} C_{5\sim7} A(\infty) G(3)$

2. $G(3)$ 及單体(-束) A / 縱斷面

アリ, 即チ塩基 (*Kaffein*・*Theophyllin*・

Theobromin・*Xanthin*・*Hypoxan-*

thin・*Adenin*・*Monomethylxanthin*

等, (*Camellin*・*Thubaki-saponin*・*Thea-saponin*・*Sasangua-saponin*・*Quercitrin* 等), 其他 (*Quercetin*・*Tannin*・*Lecithin* 等) 等也。藥用ノ外油料嗜好飲用・木材用器具用觀賞用等=供ス。

分布及屬種數——世界=凡 17 屬 400 餘種ヲ産シ主=熱~亞熱帯=多産シ温帯=少シ。日本=自生又栽培スルモノ凡 11 屬 65 種ヲ下ラズ, 本台國=分布シ南産産増シ台最多。

本科ノ藥用植物:—

0(1) つばき (山茶・樺) *Camellia japonica* L. v. *kor-tensis* Mak. (糸生) 日本栽培。 やま-つばき (やぶ-つばき, 山樺曼陀羅・千葉紅) v. *spontanea* Mak. (糸生) 本・四・九・朝ノ山地=散生~群生ノ互~互, 花五月, 成果翌年春, $K_{\infty} C_{5\sim7} A(\infty) G(3)$, 蒴果 3 裂。[生薬] 果ノ種子ヲ剥キ種皮ヲ除去シ冷圧シ得タル脂肪油ヲ樺油(局方)ト称シ藥用トシ其他枝葉灰・葉・花ヲ藥用

トス。伊豆・伊豆諸島・八丈島・四國・九州・多産。〔成分〕種本中 = 脂肪油 68% (山椿ハ 66%) を含有シ、其主成分ハ脂肪油 *Olein* (*Oleinsäureglycerid*) = 其他 *Camellin* $C_{18}H_{34}O_7$ (配糖体)、結晶性 *Tubakisaponin* $C_{57}H_{94}O_{30}$ を含有ス。Camellin ハ強心作用ヲ有ス。Tubakisaponin ハ酸ノ作用ニ依リ如次分解ス --- $C_{57}H_{94}O_{30} + 3H_2O \xrightarrow{\text{Tubaki-Sapogenin Glucose}} C_{29}H_{44}O_5 + 3C_6H_{12}O_5 + 2C_5H_{10}O_5$, 本 Saponin ノ溶血指数ハ 1:1000 也。〔藥效〕局方蒸油 *Oleum Camelliae* ハおれふ油 = 代用シばすた剤及軟膏ノ基礎剤トシ被覆薬トシ又食用油・頭髮油 = 賞用ス。又火傷 = 塗布ス。葉ハ細切シ、便所 = 投入シ蛆ノ發生ヲ防グ。〔備考〕觀賞用 (庭木又盆栽) トス變種品種甚多ク花 = 大小紅白斑單瓣・重瓣ノ別アリ。日本特産ノ名花ナル故以米 = 輸出シ盛名アリ、材ハ花物細工料及農工具ノ柄トス。椿油ハ木実油ト称シ、沢髪料・防銹用・燈用・食用又赤肉用トス。枝葉及ハ苛性加里 = 富ム故漆物・燒物等 = 賞用ス。葉ヲ陰干シ夏ノ蚊障リ = 用テ尤妙也。葉ヲ煙草代用トス。花ヲ採乾シ瀉茶トシ食セバ驅虫ノ效アリト云フ。

(2) きびんくわ (茶梅・油茶) 及其諸變種, *C. sasangua* Thunb. 〔分布〕四・九・自生ノ五〜五, 花十一, 十二月, 果翌年十月。〔生藥〕種仁ヨリ油ヲ採リ油滓ト共 = 藥用トス。〔成分〕種仁 = 脂肪油 37~50% を含ム, 主成分ハ *Olein* 75%・*Stearin* 25% (*Stearin-Oleinsäureglycerid*) を含有ス。其他 *Sasangua-Saponin* を含ム。〔藥效〕種子油ハ椿油代用

トシ效用同一也、油滓ハ稻田ノ驅虫剤トス。〔備考〕觀賞用 (庭木・盆栽等) トシ栽培ス、花 = 淡紅・白・斑單瓣ノ別アリ、木材效用其他ツバキニ準ズ。

(3) もくこく (厚皮香) *Ternstroemia japonica* Th. 〔分布〕本 (中南部) 四・九・朝・琉・台・自生ノ五〜五, 花七月, 果十月。〔藥效〕葉ヲ採乾シ助膜炎 = 煎服ス。樹皮ヲ黄色〜茶褐色染料トシ伊豆諸島 = テハ綿布ヲ染色ス。〔備考〕觀賞用 (庭木) トス、材ハ堅硬緻密・難割性 = ヨリ精・文房具・床柱等トシ又挽物細工料 = 供ス。

(4) ちや (ちやのき・めがまし・かき茶茗) *Thea sinensis* L. v. *bohea* Szeeg. 〔分布〕九・朝・台・華 = 自生スル五, 花十一, 十二月, $K_5C_5A(∞)G(3)$ 。ほそばちや (アサム茶) *V. assamica* Pic. 〔分布〕北印度原産、日本栽培。〔生藥〕茶葉 *Folium Theae* ハ春葉若葉ヲ採集シ、蒸籠中 = 蒸熟セシ後之ヲ撿採乾燥セシモノ也。採期及調製法 = ヨリ品位ヲ區別ス。味收斂性稍苦シ。茨城・千葉・京都・静岡・滋賀・埼玉縣多産。〔成分〕茶葉ハ茶素 *Thein* = 名咖啡素 *Caffein* $C_8H_{10}N_4O_2$ (1821年茶葉ヨリ抽出ス), *Xanthin* $CH_4N_4O_2$ ・*Theophyllin* $C_7H_8N_4O_2$ 等ノプリン族塩基及單寧約 12%・脂肪等ヲ含有ス。市販茶葉中茶素含量ハ平均 1.7% 最高 3% 内外也。茶單寧 *Thea tannin* $C_{22}H_{18}O_{10}$ ハ恐ク茶かき *Thea Catechin* ノ没食子酸添すてゐる也。茶ノ香気成分ハ β - γ -Hexenal 及 α - β -Hexenal 也 (武居氏)。茶珠珠茶 = ハ多量ノ *Vitamin C* を含有ス (三浦。

辻村阿氏。種子ハCaffein・脂肪油18%・茶石鹼素^{サボニン} Theasaponin C₅₂H₈₂O₂₇ 1.4%ヲ含有ス、茶さほにんハ如次式加水分解ス...

〔藥效〕茶素製造原料(日本ニテハ肩茶ヲ用フ)利尿強心興奮劑ノ效アリ。茶葉ヲ摘取シ緑茶及紅茶ヲ製シ、興奮性嗜好飲料トス。粉茶ヲ嬰兒ノ加答兒・水虫等ニ附着ス。茶素ハ神経興奮藥也、又利尿強心藥トシテ重要ス、極量1回0.5 1日1.5トス。番茶ニ食塩少量ヲ混シ洗眼料トシ洗眼後胡麻油1滴ヲ点眼ス、結膜炎・星眼・眼に眼等ニ有效也。茶実ハ椿さざんくわ実同族種ニヨリ茶油ヲ製シ同效アリ。〔藥理〕(1)Caffeinヲ多量(0.5以上)服用セル場合ニ於ル人ノ急性中毒症状ハ眩暈不安耳鳴不眠心悸亢進嘔吐諸語・瀉瀉等ニシテ重キ場合ハ心臟麻痺ニ陥リ死ノ障礙ヲ取ル事アリ。サレド世人ハ茶ヲ濫用スルモ急性中毒ヲ起スコトナシ、之Caffein含量ノ少キ爲ナラン。但日常之ヲ多用セバ慢性中毒・心悸亢進・愛顧不眠・神經過敏等ヲ起ス。又茶含有ノ鞣酸ノ爲食慾不振便秘等ヲ惹スコトアリ。(2)局方ニテおひりん Theophyllium ハ1888年 Kassel氏始テ茶葉中ヨリ發見シ、E. Fischer氏精造式ヲ明ニシ、Traube氏之ヲ合成シ Theocin ト称シ利尿劑トセリ、利尿ノ效ハ Theobromin ノ約3倍ニ當リ、且利尿ノ效力ハ迅速ナル利益アルモ、持續セザルノミナラズ毒性ハ約8倍強シ1回極量0.5g. 1日1.5g.也。

〔備考〕茶種ハ唐宋時代日本ニ傳ハル如ク嵯峨天皇弘仁年中

既ニ記事アリ。現今ハ日本輸出品ノ大宗也。茶葉ハ治ク故用トシテ愛用スル外、茶ノ出殻ヲ乾燥シ貯置キ夏蚊蠅ニシ妙也。又便所ニ撒布シ臭氣ヲ止ム。〔茶ノ種類〕次ノ7種アリ。

- (1)緑茶ハ概ハ十ハ夜前後ニ新芽嫩葉4枚中下3枚ヲ、5枚ハ3枚ヲ摘ム法ニテ其期節及製法ニ依リ品質及收穫量ニ相異ヲ生ズ。(2)玉露(茶)ハ緑茶ノ最良者ニテ發芽一ヶ月間茶園ニ竹柵ヲ設ケ、發芽2週間前ニ之ニ糞ヲ撒ケ茶樹ヲ陰覆シ、1週間前ニ糞ノ上ニ葉ヲ撒ケ日光ヲ全遮ス、之ヲ覆下園ト云、如斯ク發芽セルヲ2回ニ摘取製茶セルモノ也。(3)碾茶ハ(2)ト同法ヲ行フモ唯採採及乾燥法ヲ異ニス。(4)番茶ハ緑茶摘取後六月下旬頃2番摘八月頃3番摘葉ヲ煎釜中ニ萎凋セシメ日光ニ乾燥又焙爐ニ乾シタルモノ、上等ハ煎後少ク揉ミ乾燥ス。(5)紅茶ハ茶葉(上等)ヲ萎凋採採醱酵乾燥ノ4操作ニテ製セルモノ也。(6)烏龍茶ハ(5)ニ似ルノ如ク煎ク龍ノ如ク曲ルニ依リ此名アリ、又地名ニ依ルト云、萎凋煎炒乾燥ノ3操作ニテ製ス。台湾産也。(7)磚茶ハ紅茶製造ノ際ノ粉茶下等紅茶又綠茶ヲ細碎シ蒸機ニカケ高熱時ニ型ニ入リ澁正シ固メテ煉瓦狀ニ製セルモノニテ茶中ノ最下等品也。之ヲ飲用スルニハ磚キテ煎出ス(西比利亞露人多使用)。〔世界ノ茶〕1)咖啡(熱帶各地・アカネ科) 2)茶(印度・支日等東洋産也、つばき科) 3)まて茶(ブラジル、バラグワイ、もちのみ科)。4)ぐわらな茶(ブラジル、むくろじ科)。5)こら茶(亞非利加、あまがり科)等總テCaffein(Thein)ヲ含有スル興奮性嗜好飲

用也。(以上各藤下ヲ参照セヨ)。花枝ヲ生花トシ又瓶花トシ可愛、材ハ堅密、彫刻=蓋シ、根付^{ネツケマシメ}細占等ヲ造ル、又観賞用トス。

(5) 巨ちや (にかちや, 唐茶) *J. macrophylla* Mak. [分生] 尤産= 自生(日向・肥後ノ山中)又栽培スル互葉潤大厚質長10cm. 側脈ハ殆直角花亦大。[生薬] 春雑葉ヲ摘取シ茶ヲ製ス。[成分] Caffein含量2.15%。其他灰色・越幾斯・鞣酸等茶葉ト大差ナシ。[效用] 前種ト同様嗜好飲用=用ヒラル。[備考] 東京府下浅川村=移植シ楡茶ト稱シ販賣セシコトアリ。

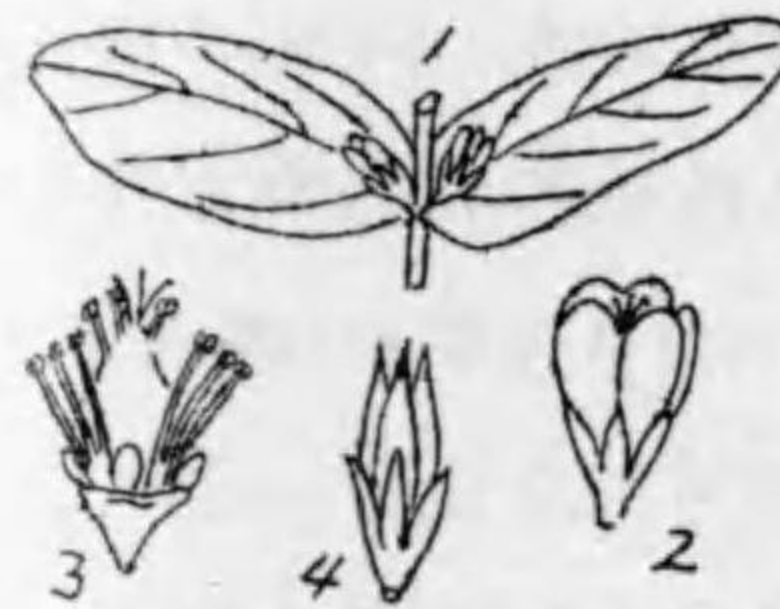
(6) ひさかき (かしやこ, 枳) *Eurya japonica* Th. 及其諸変種。[分生] 本(中南部)・山・丸・箱・琉・台ノ山地生互。[薬用] 九州=テ灰汁茶ト稱シ、枝葉ヲ焼キ灰汁=出シ媒薬劑トス。[備考] 庭植観賞用又生垣用トス。岳種多シ。枝ハ神代用トシ材ヲ小細工用トス。

Fam. (四) おとぎりさう (第切草・金線桃) 科 *Hypericaceae* (*Guttiferae*) (236~241 四参照)。

形質—H①~④, 又屢常緑ノD(互~毛), Hハ概土地下莖(根莖)發達・概有吸枝, 全株(莖・葉・花・果等)=離生分泌孔道, 樹脂道(油道)又油線(油室)(黒~明点)ヲ有ス。葉ハ丫稀半, 極稀丫(外圍)無柄又有柄無托葉稀有, 單葉無裂・全緣。花器ハ概全稀半。又雜性, 小~中形稀大形, 概黄色屢白文紅色, 腋生又頂生, 單立又簇生, 單生・總狀・聚繖(多), 二出聚繖花序=排列。花ハ③又④, K-Cハ5数性, 花托ハ屢稍大形土凹体

圓錐形, Aハ3~5体(束)性, G₃~5多シ; F.f.=K; 2~5~6r. ∞; C₂~5~6r. ∞ A: 4~∞; G(3~5)r. (1~15) Kハ概瓦列, Cハ瓦列・回旋列・又十字様配列, Aハ概3~5体(束), 各心皮

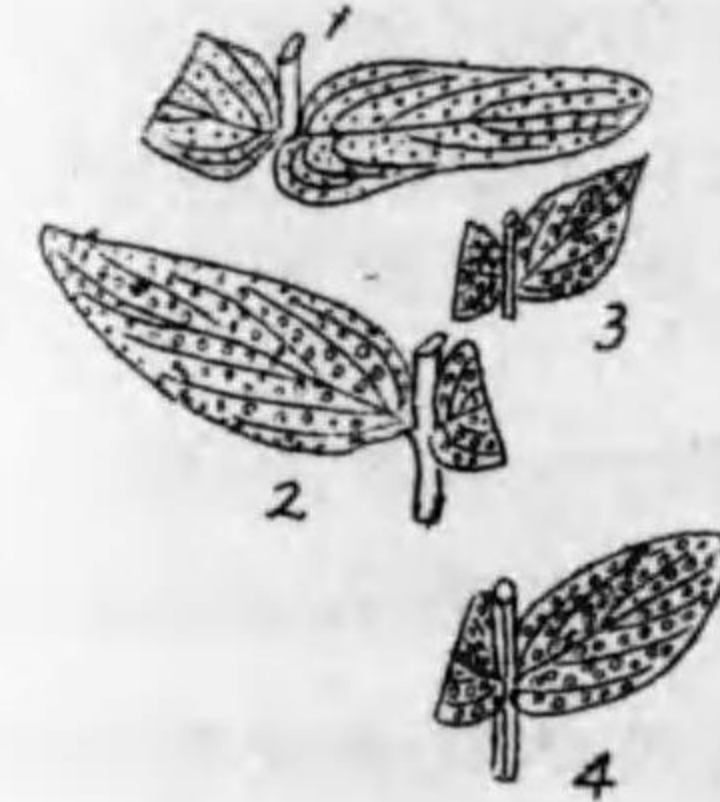
236 四



(236四) みぐおとぎりノ花・果・葉及解剖(原四) 1. 花ヲ着ケル莖ノ一部(葉ハ丫, 花單腋生) 2. 花器 K₅ C₅ A₃ G₃ (3体A) 3. 圓錐形四花托・A(3体A), G₃ 及蜜腺(3ヶ) 4. 蒴果(3裂)

ハ2卵膜ノ∞~1ヶノ倒生卵子ヲ生ズ, 子房ハ1~3~5~15室, 枕中軸又側膜胎坐稀基底又頂生, 花柱ハ心皮ト同数稀無・概離生屢合生, 柱頭ハ棒狀

237 四



(237四) おとぎりさう屬諸種ノ葉莖(原四) 1. おとぎりさう(黒腺点) 2. みやま-おとぎり明腺点(但縁腺点) 3. ひめ-おとぎり(明腺点) 4. あらかは-おとぎり(明点黒点混文但縁ハ黒腺点列生)。

238 四



~頭狀又凹形・潤大等種々。果実ハ(238四) おとぎりさうノ花序ノ一部及花ノ縦断(原四) 1. 苞・花梗・萼・花, K₅ C₅ A_∞ G₃ (3体A) 2. 花ノ縦断四(中軸胎坐及卵子)

蒴果(胞間又胞裂開稀胞背)・核果・漿果等也, 種子ハ無胚乳,

239 図



(239 図) おとぎりさうノ蒴果及其横断面 (原四) 1. 蒴果 (K.G.A. 宿存ス、柱頭亦宿存) 2. 全横断面 G(3) = シテ内角(中軸)胎坐也。

蒴 = 子葉極小又無、内乳ハ核狀基底處有。(本科ハ元來外輪 A 有リシ

240 図



(240 図) おとぎりさう属ノ 3 体 A 模型 四 (原四) G(3)

ヲ消失シ内輪 A = 分裂變化地レリト云フ説 = 據レバ --- K₅C₅A₀₊₃U₀₊₅G(3~5) トナル。

241 図



(241 図) きんしばいノ花序(聚繖花序)、苞、花軸、花梗、萼、花 (原四)

成分及效用——本科成分トシテ 脂肪油・精油・ゴム樹脂 Gummiharz 及脂肪ヲ含有シ、苦味質・鞣酸類 Gerbstoff. ハツク、塩基・配糖体・石鹼素等

ハ未だ見也、其他 2, 3 ノ色素ヲ含ム。薬用ノ外、木材用ニ觀賞用ニ供シ、又美味果実ヲ生ジ、或有用樹脂ヲ供スルモノアリ。

分布及属種数——世界 = 凡 45 属 850~900 種ヲ産シ、主 = 熱帯~温帯 = 分布シ寒帯 = シ。日本 = 自生又栽培スルモノ凡 6 属 150 種ヲ下ラス、樺・千・台・間 = 分布シ九州以北ハ *Elo-des*, *Hypericum* / 2 属 = 限テ分布ス、他ノ 4 属ハ熱~亞

熱帯産也。

本科ノ薬用植物: 一本科ハ次ノ 3 亚科 = 分類ス。

Subfam. (i) おとぎりさう亚科 *Hypericoideae* 概 ①~②, 蒴 5, ~ 5, 全株又花・葉・花或果 = 油腺 (油室) ヲ有ス。葉ハ Y 形。花ハ傘形巴咲, F.f. = K₅C₅A₀G(3~5), 最多ク K.C. ハ畸形又偶發的 = K_{4~6}C_{4~6} トナル, A. ハ元來ノ A₀₊₃ 又 A₀₊₅ ハ各 A 多分裂 ヲ 2~5 蒴 6~8 (外國産 = 集合シ A₀ ト成ル, 蒴 = 總計 10 ヲリ少数 (*Eleodes* 属及近似外國産属), 花柱ハ概離生稀多少~全合生胚ノ子葉ハ胚軸ヨリ肥厚セズ。果実ハ概蒴果 (側膜~中軸胎座)・屢漿果又核果。種子ハ概細小、概楕圓~長々楕圓形、黃褐~黑褐色、微細格子狀隆起滿布。 *Hypericum* (C 片ハ斜形, 400 種・熱~寒帯), *Eleodes* (C 片ハ正形)。

(i) おとぎりさう (弟切草・小蓮翹) 及其諸变种 *Hypericum erectum* Th. [寄生] 陸・南・北・本・四・九・朝・ノ山野 = 丛生~散生稀群生ノ ②, 直立蒴双生。[生薬] 弟切草 (小蓮翹) *Herba Hyperici* ハ花時又成果時 = 全草ヲ採乾セルモノ也。[成分] 不明ナルモ、全草 = 單寧・配糖体 (有效成分) 及精油ヲ多含スルハ明也。[薬效] 漢: 民: 全草ヲ收斂・止血薬及利尿劑・洗滌及合嗽劑又鎮痛劑トシテ出血・疼痛・腫脹等 = 内・外用ス。全草ヲ煎服 (1 回 3~5g.) シテ主效收斂止血薬 (金創・打撲傷・吐血・咯血・血子宮出血・切創) トシ、鎮痛薬 (リウマチ・神経痛・腰痛・痲痛) トシ、利尿劑 (寸白・痲痺・黃疸等) トス。外用トシテ全

草煎汁(又生葉ノ搾汁ヲ)ニテ切創・打撲傷腫物瘡毒・リウマチス・皮膚病等ニ塗布或沈澱又蒸法(温湿布)ス。含嗽劑トシテ煎汁ヲ醫暖ニ用フ。鳥類ノ病氣或創傷ニ生葉搾汁ヲ内用又塗布ス。莖葉ヲ油漬セル汁ヲ塗抹セバ耳病ヲ治ス。花及葉ヲ油漬セル汁ヲ塗布シ頭瘡ヲ治ス。蔭干セル葉ヲ煎服シ心臟病ニ用フ。煎汁ヲ内服シ淋病消渴ニ有效又外用塗布シテ耳漏・火傷・濕疹ニ有效特ニ創面ニ癢痕ヲ不止治癒ス此目的ニハ概テ癩劑(全草酒精浸漬液)トシ、使用時ニ茶種油ト半々ニ混和シテ塗布ス、特ニ頭瘡等ニ有效。或家傳藥ニ黃色花ヲ生ノ依麻油中ニ浸漬シ直宜壺等ニ入レ1週間屋根上ニ安置シ、天日ニ晒シテ得タル血紅色液ヲ切創・金創・火傷・頭瘡・耳漏等ノ妙藥トシテ販賣ス。最近中風症ニ1日5g煎服シ奏效セリト云。

〔新藥〕Otoginin(岐阜・斐太化學工場)ハ本種ノ莖葉ヨリ製出セル單寧製劑(一説ニ有效成分Glycosid也ト)ニテ神經痛・リウマチス性疾患・關節炎・腰痛等ノ注射藥トス。
〔處方例〕止血・鎮痛藥…弟切草6.0 甘草2.0 水100.0 …以上1日量煎劑分服。

〔備考〕弟切草名之起因。和漢三才圖繪曰相傳花山院朝有、鷹飼、名、晴類、糖、其葉也入神有鷹被傷投、草傳、之則癒、人乞、問、草名秘之不言、然、有家弟密取、之、晴類大怒、及傷之、自此知鷹之良藥、各、弟切草(註一説ニ和歌窪人藤原高親ハ隣家人藏人經忠ト和歌ノ事ヨリ不和ヲ生ス、爲類ノ末弟爲房(一説類房)ト經忠ノ娘ト相思ノ仲、時ニ經忠ノ名鷹初

鷹罹病ス、娘ノ願ニ依テ元ノ秘藥方ヲ進見娘ニ告グ、鷹病全治ス、經忠不堪喜、詭從來罪此、爲房ノ一件露見シ觸兄激怒、切殺弟ノ下、娘聞之自及シテ死、悲戀ノ物語也、從之該草ヲ稱弟切草。

(2)ヒペリクム-さう *H. perforatum* L. **〔分布〕**歐洲産ノ
 ③ **〔生藥〕**全草ヲ採乾シテ藥用トス。 **〔成分〕**全草ニ精油・鞣酸 *Hypericumcot*ヲ含有ス。 **〔藥效〕**全草ヲ煎取シテ收斂止血藥トス。

(3)ヒメ-おとぎり(姫弟切草)及其諸變種, *H. japonicum* Fr. **〔分布〕**北・本・四・九・南・琉・台ノ原野半湿地ニ散生〜群生スル
 ④ **〔生藥〕**莖葉ヲ採乾シテ藥用トス。 **〔藥效〕**莖葉ヲ煎服シ瘰癧及腫瘍ヲ治シ、又解熱劑トシ、胃腸ノ虛弱ヲ治ス。

(4)ヒヨウヤナギ(金絲桃、朱史柳) *H. Chinense* L. **〔分布〕**支那原産、日本栽培、5、柱頭5分シ、5体A各線細長。 **〔藥效〕**葉ヲ煎服シ惡阻ヲ治ス。 **〔備考〕**觀賞用トス。

Subfam. (ii)テリハボク亞科 *Calophylloideae* 常緑互〜莖。葉ハ、大形肥厚質。花ハ概白色、全又給。 $F. f. = K_4 C_4 A_{\infty} G_{(1 \sim 2 \sim 4)}$ 、各心皮ハ2〜1卵子ヲ生ジ、子房ハ1〜數子室。果ハ概不裂開、子葉ハ極肥厚、胚軸ハ小形。

(5)テリハボク(マラボ、マラボ、ひいたまな、阿喇吉) *Calophyllum Inophyllum* L. **〔分布〕**小笠原・琉・台ノ海岸生立、核果黃熟、徑3cm。花ハ總狀花序、子房ハ1室1卵子ヲ含ム。
〔生藥〕樹皮・葉・種子ヲ採乾シテ藥用トス。 **〔成分〕**幹及樹皮ニハ鞣

酸ヲ含有シ、種子ニハ脂肪油ヲ含ミ其主成分ハ *Triolein*、
Tristearin、*Tripalmitin* 等也。〔藥效〕葉ヲ煮沸シ表面ニ浮ビシ油ヲ眼病藥トシ、種子ヨリ得タル油ハ、癩癬藥トシ、樹皮ヲ粉末トシ畢丸炎ニ用フ。〔備考〕材ヲ建築用器具用ニ供シ、種子ヨリ油ヲ搾取シ藥用其他用ニ供ス。

(6) てつざいのき (たがやさん、鉄材木、鉄刀木), *Mesua ferrea* L. (分布) 印度原産、日本(台)栽培ノ多。花ハ大形白色、子房2室、4卵子ヲ含ム。〔藥用〕花ヨリ精油ヲ搾取シ香料ニ供ス。〔效用〕材ハ堅牢無比、美膚、飾材、器具材、鋸屑木細工ニ賞用ス。

Subfam. (iii) ふくき (福木) 亞科 *Clusiaceae* 常緑 5~8。葉ハ ψ 、花ハ σ 又 ρ 稀雜性 [マソコスタン(全. 6)], $K_4r.2C_4A_{100}; r.4G(3\sim4\sim6)$, Aハ σ 又合生擬群衆 (例 ふくき ハ5束)ヲナス、果ハ種々 (擬漿果)、胚ハ極肥厚胚軸ト極小子葉ヲ有ス。

(7) ふくき (福木) *Garcinia spicata* (分布) 九(大島) 疏産也、花ハ σ , $K_4C_4A_{100}G(3\sim4)$, Aハ5体、漿果ハ球形。〔生藥〕樹皮ヲ藥(漆)用ニ供ス。〔成分〕幹・樹皮ニ黄色々素 *Fukuketin* $C_{28}H_{20}O_{12}$ 、*Isofukuketin*、外 *Garcinin* $C_{16}H_{12}O_6$ ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮又其越幾斯ヲ黄色又黄褐色染料ニ供ス、樹皮百斤ヨリ越幾斯八斤ヲ得。

(8) まんごすたん (まんごすたん、まんごすてんのき) *G. Mangostana* L. (分布) 馬來原産ノ小豆、日(台)栽培、花暗紫紅色漿果ハ球形徑 9~10cm. 〔成分〕果皮ニ黄色々素

Mangostin ヲ含有ス、元來無色ナルモ溶液ノ空気ニ触ルヤ直ニ濃黄色ニ變化ス、其程度ハ *Flavon* 及 *Xanthon* ヲリ過ニ濃厚也。〔藥效〕漿果ハ橙大・暗紫色・中容大子果、子衣ハ芳香酸類・美味無類ヲ以テ若頭、果實中ノ主ト称ス、酸ニ一モ有害成分無キ故如何ナル病者ニ與フルモ可也。又觀賞用トス。

(9) しわら (藤黃海藤) *G. morella* Desr. (*G. Hanburyi* Hook. f.) (分布) 印度・シヤム・カンボヂヤ地方メコン河三角州産ノ多。〔生藥〕藤黃 *Gummi Gutti* ハ樹皮ヲ傷ケ浸出スル黄色ノ樹脂ニテ σ 状ヲ呈ス。〔成分〕樹脂ハ約 70%ノ かんぼうじ 酸 *Gambogisäure* ヲ含ムト云フ、酸レドモ *Tschirch* 氏ニ據レバ 3種ノ酸 α - β - γ -*Gulcinolsäure* 及黄色々素 *Gummiguttigelb*、 σ 状質 *Gummi-substanz* 25% 等ヲ含有スト云フ。〔藥效〕藤黃ハ かんぼうじ ト称シ專ラ黄色顔料トシ 繪画料トス。又峻下劑 (1回 0.02~0.3g. 丸藥トシテ内服) トシ藥用ニ供スルモ劇藥故要注意又食品着色不可也。工業上ニハ黄色假漆・黄色染料ニ使用ス。〔藥理〕藤黃ハ腸ニ達シ胆汁ニ依テ変化セテ、刺激性ヲ發揮スルニ至ル故ニ少量ニテ數回液状便ヲ排シ、大量ハ骨盤内臓器ノ充血腸炎ヲ發シ其際腹痛ヲ伴フ。〔處方〕(1) 峻下劑... 藤黃 4.0 アラビアゴム末適宜水 100.0 ... 以上調和 1日3回 2日分服。(2) 全(モリッ、ソソ氏丸)... 藤黃・コロシントエキス各 1.0、大黃末・蘆薈末・ヤラッパ 脂各 1.0 ミルク 2.0 ... 以上調和 50丸毎

日1~4粒宛。

Fam. (17) ふたば-がき(りうのう, 翼状果, 龍腦,

龍腦香)科 Dipterocarpaceae

形質——常緑5~7葉, 常有樹脂道。葉ハ γ , 有柄, 有托葉, 單葉。全縁無裂。花序ハ傘, 小~中形, 簇生, 頂生或腋生ノ總狀又偏側總狀又穗狀或円錐花序ニ排列。花ハ5, 5数性, $K_5 C_{15} A_{10}$; $15 \times 10 \times 5 G(3 \sim 1)$; Kハ從成熟2~3又5翼ニ増大成育シ, 絞果, Cハ回旋列, 概3子室中軸胎座各室ニ概2ヶノ側生卵子ヲ含ム, 花柱ハ單体, 果實ハ概全面果(閉果)ニテ, 1ヶノ無胚乳種子ヲ藏ス。

成分及效用——本科ノ成分ハ脂肪・Harz・balsam・揮發油・Kampfer・Borneol等ヲ含有ス。但シ塩基・配糖体・石鹼素ヲ不含。本科ニハ龍腦ヲ含ム外, 有用樹脂油種子, 或澱粉種子等生ズルモノ, 或良材ヲ産スルモノアリ。

分布及屬種數——世界ニ凡17屬330種ヲ産シ, 主ニ亞細亞ノ熱帯ニ少數ハ亞弗加熱帯ニ分布ス。日本ニ不産。

本科ノ藥用植物:—

(1) りうのう (りゆうなう, りうのうじゆ, 龍腦, 龍腦樹), *Dryobalanops Camphora* Coleb. (*D. aromatica* Gaertn. f.) (分布) 印度・スマトラ・ボルネオ島産ノ大木, 頂生複總花序。[生藥] 龍腦又梅花龍腦 (*Borneo Camphor*, *Sumatra Camphor*) ハ本樹ヨリ採リシ樹脂又腦ニ結晶概木心ヲ含ム, 結晶

物ヲ採集精製セシモノニシテ藥用ニ供ス, 支那ニ於テ甚貴重ス。[成分] 龍腦(梅花龍腦) 即 *Borneocampher* (*d*-*Borneol* $C_{10}H_{18}O$) ヲ含有ス。[藥效] 龍腦ヲ興奮防腐藥又薰香劑トシ, 又食傷霍亂中毒・胸腹痛合敵劑トシ, 或古來感冒ノ痰咳ヲ祛(鎮咳祛痰藥) リ且視力ヲ強(強壯劑)メ, 催陰(催淫劑)ノ效アリトシ, 1回0.05~0.1(1日0.2~0.6)gヲ服用ス。[藥理] *Borneol*ノ藥物學的效用ハ *Kampfer* (樟腦)ト同ナレドモ, 其強度ヲ異ニス, 即 *Kampfer*ニ比シ其局所作用及中樞神經興奮作用ハ弱ク, 痙攣作用ハ強シ, 一般神經過敏症ニ用フルコトヲ得ルモ多クハ其目的ニハ其^{エステル}*Ester*ヲ用フ。工業的ニハ *Kampfer*ト同様ニ用ヒラル。

(2) さらまろじゆ (しやらまろじゆ, ダンマル脂, 沙羅雙樹, 沙羅樹) *Shorea robusta* Roxb. & *S. Ulesneri* Stapf; *S. sericea* Dyer (分布) 甲乙ハ印度, スマトラ産, 丙ハ馬來地方及印度・セイロン・ボルネオ島等ニ産スル也。[生藥] だんまる脂又だんまる護膜 *Resina Dammar* ハ以上ノ樹ヨリ採集セシ樹脂ニテ, 白又微黃色ノ透映類円形ノ塊片又顆粒ニテ, 無臭, 百度ニ不軟化, 蒸一てるとくろろほるむべんつおーる, 硫化炭素等ニハ若干, 酒精・水・醋酸・石油蒸一てると等ニ一部ニ溶解ス。[成分] 主ニ樹脂及樹脂酸ヨリ成リ, 其 *Dammarharz*ノ主成分ハ α -*Dammarresin* ($C_{13}H_{22}O$) \times 36%・ β -*Dammarresin* 10~16% 及揮發油 1%・少量ノ苦味質・灰分 0.1~3.5%ヲ含有ス。[藥效] だんまる脂ハ硬膏殊ニ絆創膏ノ原料トシ,

又皮膚刺戟薬トス。工業的ニハ^{ワニス}假漆製造原料トシテ多用ニ消費セラル。又樹脂ヲ^{チヤン}瀝青ノ代用トス。〔備考〕木材ヲ建築及器具用ニ烘シ、印度ニ於テチーク樹ニ次ギ重要材也。〔備考〕上記ノ外本樹脂ヲ本科ノ *Hopea, vateria* (共ニ印度地方)ノ諸種ヨリ採取ス、此外松柏類ノ *Agathis, Dammar* 等屬ヨリ採ル。

(3)ふたばがき(二羽梳双翼楠) *Dipterocarpus alatus Roxb.* 及同属諸種 (分布)印度、ジャワ産也。〔生薬〕さるゆんばるさむ (*Gurjunbalsam*) *Balsamum Dipterocarpi* ハ樹皮ヲ切傷シ烘熟シテ滲出セシム。本品ハ濃厚性ハるさむニテ透光ニテ赤褐色、反射光ニテ緑灰色ノ螢石彩ヲ現シ、くろろほるむ、硫化炭素・揮発油類ニ溶解シ酒精及蒸アテるニ不燃。味ハこは^いは^はるさむヨリ苦キモ不苛辣、臭気ハ類似ス。〔成分〕本はるさむハ精油 (*l-Sesquiterpen*) 約 50%、及結晶性 *Gurjunsäure* $C_{22}H_{34}O_4$ (少量) ト樹脂約 50%ヲ含有ス。〔藥效〕本はるさむハこは^いは^はるさむノ^{ワニス}價造ニ使用スルコト甚多ク、又假漆製造原料ニ使用最多シ、又皮膚病藥ニ用フルコトアリ。

Fam. (V) きよりう(檉柳)科 *Tamaricaceae*

形質——概 5~7 稀 8。葉ハ、有柄無托葉、小鱗狀單葉、全縁無裂。花器ハ傘、小形、總狀又複總狀花序ニ排列。花ハ 4~5 稀 6 数性; $K: 4 \sim 5; C: 4 \sim 5; A: 4+0 \sim 5+0; \psi: 4+4 \sim 5+5; \omega$

$G(5 \sim 2)$; Cハ瓦列, A_{∞} ノ場合ハ群束ヲナス、土花盤上ニアリ、蒴ハ外向種ニ内向丁字狀、子房 1 室、5~2ヶノ側膜胎座、又中軸胎座、2卵膜ノ ∞ ノ倒生卵子ヲ含ム、花柱ハ心皮(胎座)ト同数ニ分離、花盤ハG下ニ有。果ハ蒴果、種子ハ全面又上端有長毛、胚乳有又無、内乳ハ核狀。

成分及效用——本科ニハ多量ノ鞣酸及 *Gummi* ヲ含ム。藥用ノ外染料・觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及属種數——世界ニ凡 5 属 100 種ヲ産シ、主ニ温〜亜熱帯ニ分布ス。日本ニ 1 属 1 種 (きよりう) ヲ栽培ス。

(1)きよりう(さつぎきよりう檉柳), (分布)支那原産ノ木、花淡紅密族、 $K_5C_5A_5G(2)$ 。〔藥效〕枝葉ヲ煎服シテ瘡ヲ消シ酒毒ヲ解キ又解熱劑トナル。〔備考〕北支滿洲ニ自生ス、庭木トシ觀賞ス。

Fam. (VI) ベにのき(紅木)科 *Bixaceae*

形質—— 5~7。葉ハ、 \odot 着、有托葉、有柄、單葉無裂、稀瓣裂、全縁。花器ハ傘、帶紅色、円錐花序。花ハ \oplus , $F: K_5C_5A_{\infty}G(2)$, Cハ瓦列又回旋列、子房ハ 1 室、2ヶノ側膜胎座、各心皮ハ ∞ ノ 2 卵膜性ノ倒生卵子ヲ生ズ、花柱ハ單体。果實ハ蒴果、樹紅色、革質ニテ自ラ剝離スル内果皮ト ∞ 種子ヲ有ス、種子ハ赤色多肉 ∞ 乳頭突起アル外皮ヲ有ス、有胚乳。

成分及效用——*Bixin* ナル紅色色素ヲ含有ス。染料(種皮)及纖維用(樹皮)又觀賞用ニ供ス。

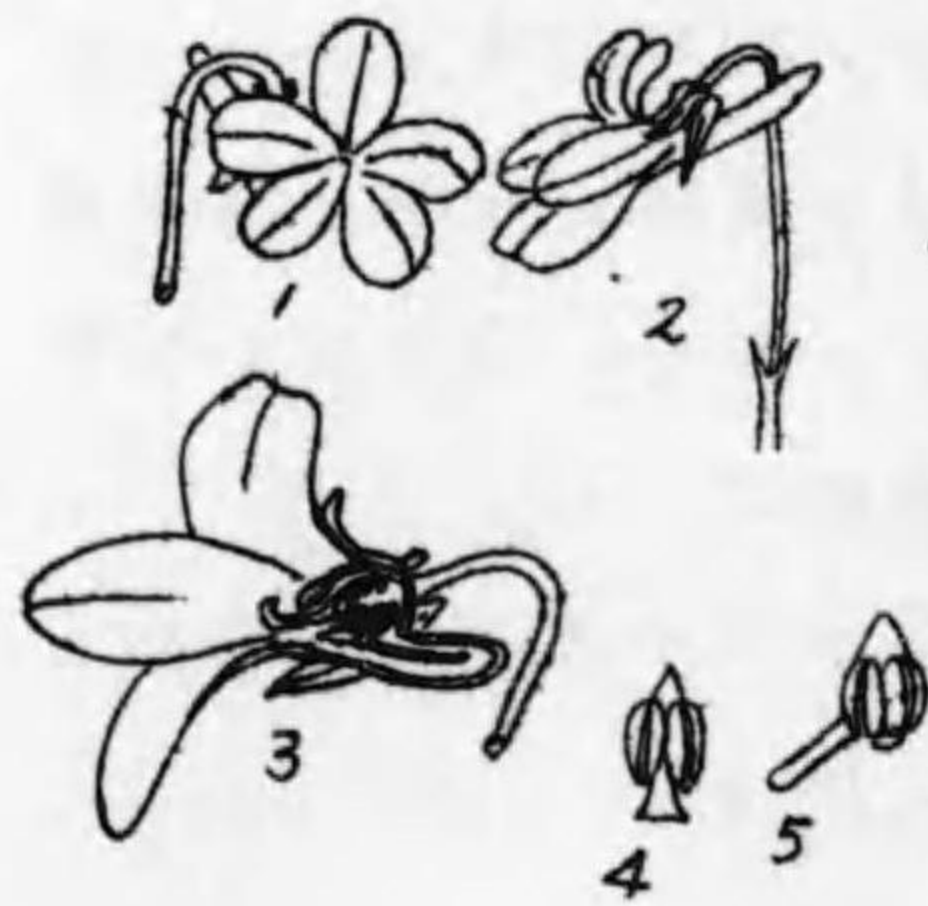
分布及属種數——世界=一属2種ヲ産シ、亞米利加ノ熱帯ニ分布ス。日本=ハ1属1種ヲ台ニ栽培ス。

(1) ベにのき (あけのき、紅木) *Bixa orellana* L. (分布) 南米熱帯地産ノ木。(成分) 種皮 = ^{ビクシン} Bixin $C_{23}H_{26}COOH$ + $COOCH_3$ ナル紅色々素又橙黄色素ヲ含有ス。(效用) 種子ヲ被ハル肉質紅色ノ *orecan* 又 *Annatto* ト称スル外皮(假種皮狀)ヨリ紅色又赤黄色染料ヲ採リ食品、化粧品、假漆、漆蠟等ヲ着色(紅)ス。樹皮ノ纖維ヲ種々ノ用ニ供ス。又觀賞用トシ栽培ス。

Fam. (VII) すみれ (堇々菜) 科 *Violaceae*
(242 ~ 246 図参照)。

形質——概①稀5~5~5 (外國、南米)。葉ハ少葉、有托葉、概有長柄、單葉、概無裂、稀羽裂又掌狀淺~全裂、極稀掌狀複葉、銳~鈍鋸齒緣~缺刻緣、托葉ハ微小~潤大、稀葉狀、全緣~鋸齒~齒緣、獨生~沿著。花冠ハ傘形、稀5、又總性(外國)、小~中形、紫、青、黃、白、赤、斑色、極美麗、概腋生、單立、稀双生、或總狀、複總狀

242 図



聚繖花序(外國)、花梗ハ極細長。

(242 図) すみれノ花及其解剖(原四)
1. 花ノ正面、2. 花ノ側面 $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ 、3. 花ノ縱斷面(蜜腺A、側膜胎座等) 4. 普通A、5. 蜜腺A (約隔ト蜜腺アリ)。

花軸トノ間=關節ト2小苞アリ。
花ハ①、稀②(外國)、5数性；

243 図



(243 図) すみれ属ノ花式圖(原四)
 $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ ---- ♀

F. f. = $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ ナ公式トスルモ日本産ハ $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ 也 Kハ概附屬突起物ヲ有シ、不對者1ヶ有後方、瓦列、宿存性、稀脱落(外國)；Cハ下向瓦列(除 *Leonis* 属)、前方者大形有距、相集テ成

244 野



(244 図) すみれノ果実・種子・葉(原四)
1. 葉(有翼柄、托葉沿著) 2. 蒴果ノ裂開(種子及側膜胎座ヲ見ル)。
3. 種子ノ縱斷面(胚及胚乳アリ)。

鐘形花冠； A_5 ハGヲ包圍シテ筒狀、花冠ハ概短廣又殆無、稀全合着、前方ニヶ有(距)蜜腺、稀無、萼ハ内向、約隔ハ發達；子房ハ無柄、1室、有3側膜胎座、概①稀1~∞(外國)ノ側生卵子ヲ含ム；花柱ハ單株形態

245 図



(245 図) ひごすみれノ掌狀5全裂葉(原四)
長柄及沿著托葉アリ。

多變化、柱頭亦同様多變化。果実ハ3稜角~円形ノ房裂性蒴果、稀漿果(外國)、内果皮ハ彈力ヲ以テ外果皮ヨリ離間シ種子ヲ散布ス、又腰小、脐隆有テ蠟燭ト亦

布上ノ關係有、有胚乳、内乳核狀。

成分及效用——化學的ニハすみれ *viola* 属ノミ知ラレ

246 四



(246四)あまひすみれノG(2) 及有毛蒴果(原四) 1G(2) 子房及柱頭ト花柱 2.蒴果(有密毛).

サリチル酸
屢 *Salicylsäure* (配糖体ノ分解ニ依ル) ヲ含有ス, 其他芳香揮発油ヲ含ムモノ多ク, 又 *Rutin* (*Violaquercetin*)・*Viloinin* (*Farbstoffglycosid*) 等 2.3ノ配糖体ヲ

含ムモノ, 塩基 *Alkaloid* ヲ不含。本科ハ藥用植物少キモ觀賞用多ク, 又香水料或食用ニ供スルモノアリ。

分布及屬種數— 世界ニ15屬凡800~900種ヲ産シ, 中 *Viola* 屬ハ占過半, 主ニ温~熱帯ニ分布シ, 温帯最多 (就中東亞) ヲ寒帯ニ少シ, 又 *Viola* 以外ノ諸屬ハ主ニ南米ニ産ス。日本ニ自生又栽培スルモノ1屬110種アリ。

本科ノ藥用植物:—

(1) すみれ (すもとりばな, かぎとりばな, 堇々菜, 紫花地丁)
Viola mandshurica W. Beck. *V. ciliata* Nakai
〔分布〕南千・北水・四・九・朝・台ノ原野路傍ニ点生~群生。けなし
すみれ *V. glabra* Nakai 〔分布〕北(南部)・本・四・九・朝ニ分布。
〔生藥〕根及莖葉ヲ秋彼岸採乾藥用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕根ヲ煎服シテ瀉痢止 (止瀉劑) 又催吐劑トシ又催眠藥トス, 1回1~3g 煎又浸劑トシ服用。生根ノ粉末又煎汁ヲ用ヒ腫物ヲ吸收セシムルニ有效, 1回3~4g。朝鮮ニテハ莖葉ヲ瘡癤ヲ治スルニ内用ス。

(2) にほひすみれ (香堇) 〔分布〕*V. odorata* L. 〔分布〕欧

洲原産, 日本栽培。〔生藥〕花ヨリ香油ヲ採集シ或ハ採乾シテ藥用香料トス。〔成分〕精油 (香油ニテ *Iron* 及 *Ionon* 等ヲ含有ス。又塩基 *Violin* ヲ含ムト云)。サリチル酸・*Cyanin* 等ヲ含有ス。〔藥效〕花ヲ煎服シ催吐劑・小兒祛痰藥トシ, 蒸餾シテ香料及望油製造 (佛伊ニ多シ) 原料トシ, 芳香ヲ發スル故香水 (重香水)・石鹼其他化粧水等總テノ化粧品ニ堇香ヲ附スルニ用フ。又花ノ浸出液ヨリとます液代用ニ供ス。 *Violin* ハ嘔吐瀉下ノ效アル故吐根ニ代用シ其2~4g (花)ヲ浸劑トシ頓服セシムルコトアリ。〔備考〕觀賞用トス。堇香油ハ含量少ク價貴キ故真正堇香水誠ニ少ク市販ハ概混合成或贗造也。

(3) さんしきすみれ (三色堇ニテふすみれ, 胡蝶堇) *V. tricolor* L. 〔分布〕歐洲原産, 日本栽培。〔生藥〕全草ヲ花後採乾シテ藥用トス。〔成分〕莖葉花ニ *Violaquercitrin* ナル黄色々素ヲ含ミ, 花ニハ他ニ *Rutin* 及藍色結晶性色素 *Violanin*, 種子ニ *Myrosin* 及一種不明ノ *Glycosid* ヲ含ミ, 根ニ *Viola-Emetin* ナル塩基ヲ含ム。又全草ニサリチル酸及粘液ヲ含ム。〔藥效〕全草又根ヲ發汗利尿瀉下藥トシ, 又淨血藥トシ小兒腺病性皮膚病ニ内用ス, 1回2~5g。ヲ煎劑・浸劑又丸劑トシテ内服ス, (小兒用量0.5~1.0g)。

Fam. (VIII) いい-きり (荷) 科 *Flacourtiaceae*

形質— 互~互。葉ハ有柄概シ又片, 單葉無裂全緣又鋸齒狀, 有托葉。花冠ハ全又半合, 小形概密族, 總狀円錐繖房聚繖花

序 = 排列。花ハ ⊕, ⊙ 又 ⊚ F.f. = K₂~15 C₂~15 v. 10~0 v. 0 A_∞ G(2~10); Cハ 概互列, 子房ハ 1子室, 側膜胎座, 2卵膜のノ 樹生卵子ヲ 藏ス, 花柱ハ 心皮ト 同数, 分離又 結合又 無。果実ハ 漿果又 蒴果, 種子ハ 有胚乳, 具假種子(子衣)。

成分及效用——種子 = 脂肪油ヲ 含ムモノ 多ク, 又青酸及青酸分解配糖体即 *Blaussäure* ヲ 分離スル *Gynocardin* ナル *Glycosid* ヲ 含ムモノ アリ。藥用ノ 外, 木材材料, 觀賞用, 食用ノ 果実, 種子, 花ヲ 生ズルアリ, 又油料種子ヲ 生ズルモノアリ。

分布及屬種數——世界 = 凡ソ 70屬 800種ヲ 産シ, 主ニ 熱帯ニ 分布ス。日本産 5屬 5種アリ, 南日本産也, 台 = 多シ。

本科ノ 藥用植物:—

(1) *パンキウム* *Pangium edule* L. (分布) 馬來半島産。[成分] 葉及種子ノ 新鮮者ニハ 青酸ヲ 含ミ 毒性アリ。[藥效] 未詳。

○(2) たいふうしじゆ (たいふうし, 大風子樹) 類。1) たいふうし (大風子) *Hydnocarpus anthelmintica* Pierre (分布) ヒルマ。2) *H. Kurgii* King. (分布) ヒルマ。3) *H. Wightiana* Blume (分布) 印度 4) *Taractogenos Kurgii* King. (分布) ヒルマ・アッサム地方。(大風子旧名 *Gynocardia odorata* R. Br.) 以上皆 葉楕圓形, 日本ニハ 1) 輸入ス。[生藥] 大風子 *Semen Hydnocarpi* ハ 大風子樹ノ 果実中ノ 種子(即大風子)ヲ 採乾セルモノ也。果実ハ 大球形, 徑 6~8 c.m., 中ニ 種子ヲ 藏ス, 種子ハ 稜卵形, 長 2~3 cm., 巾 1~2 cm. 果殼ハ 木質, 外面ハ 灰褐~暗赤褐色ヲ 呈シ

子殼中ニ 仁ハ 遊離シ 漿糊薄膜ニ 被リ, 胚乳ハ 富脂肪, 中央ノ 胚ヲ 包ム, 子葉ハ 大形, 葉狀。[成分] 種仁ハ 脂肪油 58, 蛋白質 14, 灰分 3%ヲ 含ミ, 之ヲ 压榨シ 得タル 大風子油 (*Aleum Chaulmoograe* 又 *O. Chaulmoograe*) = *Chaulmoogra-säure* ^{シヤウルム グヲ油} $C_{18}H_{32}O_2$ ・*Hydnocarpussäure* ^{ヒドノカルプ} $C_{16}H_{28}O_2$ 及 比較的多量ノ *Parmitinsäure* 等ノ *グリセリンエステル* ヲ 含ル (慶松氏)。

又 *Gynocardin* (→ *NCN*) アリ。[藥效] 種子ヨリ 大風子油ヲ 採リテ 用ヒ, 或皮下注射藥ヲ 造リ 瘰癧ヲ 治療ス, 又皮膚病ニ 用フ。古來 印度及支那ニ 唯一ノ 治療特效藥ト セリ (因ニ 瘰癧方ニ 瘰癧ヲ 大風ト云)。局方 大風子油ハ 瘰癧病藥ト シ 又 結核, リウマチス, 梅毒等ニ 内外用ス, 内取量 1日 2~3回, 2g. ヲ 始メ 漸増量ス。おれ一 油ヲ 以テ 瘰癧ニ 塗布ス。[生藥]

(1) *Hydnocarin* (日本新藥) ハ *Chaulmoogra-säure* 及 *Hydnocarpussäure*ノ *Äthylester* = 瘰癧・神經痛・疥癬・癩・神經痛等 = 1週 2回 0.5 c.c. 宛 又 1週 1回 1.0 c.c. 宛 ヲ 注射シ 漸増量ス。又 1日 3回 0.6g. ヲ 膠囊劑トシ 漸増量ス。

(2) *Hydnol* (大日本) ハ *Hydnocarpussäure-ätherester* ト *jod* ヲ 結合セルモノニ 前劑同様 治療藥トシテ 筋肉内注射ヲ 行フ。吸收迅速故 漸増量ノ 必要ナシ。(3) *Hydnol B* ハ *jod* ヲ 結合セザル 製劑ニ 前劑同様ニ 用ス。

(4) *Gynocarin* (白井松) 同上。[備考] 昔時ハ 種子ヲ 1日 1~2g. ヲ 服用セシモ 現今ハ 注射ヲ 行フ。

[處方例] --- 大風子末 5.0 --- 以上 1日 量, 分服。

Fam. (四) きぶし (旌節花) 科 *Stachyuraceae*

形質— 5~8。全株無毛葉ハ、有柄、有托葉早落性、單葉、無裂鋸齒緣。花器ハ傘或(字合)又傘♀♂、小形、帶黃色、簇生、總狀花序= 排列、莖葉芽= 先テ開花。花ハ傘、4 數花、F. f. = $K_4 C_4 A_4 + 4 G_{(4)}$; Cハ互列、子房1室、4側膜胎座アリテ ∞ /2列着生、側生卵子(2 卵膜)ヲ含ム。花柱ハ單體。果實ハ漿果様、4室、藏 ∞ 種子、種子ハ小形、具假種皮、有胚乳。

成分及效用——成分未詳。藥用ノ外觀賞用、薪炭用トス。

分布及屬種數——世界ニ凡1屬5種ヲ産シ東亞ノ特産也。就中最多ハ日本領内ニ分布ス。日本ニ1屬5種ヲ産シ北台間ニ分布ス。

(1) きぶし (きぶち、まめぶし、まめ-やなき、旌節花) *Stachyurus praecox* S. et Z. (分生) 北本・四・九・琉・山地ニ点生又散生稀稍群生スル5~8、花三月末~四、成果翌年春。(注藥) 果實ヲ豆ぶしト称シ藥用トス、心材ヲ藥用トス。(藥效) 倉津(きぶし)伊豆大島・八丈島共ニ(はちぢやう-きぶし)ノ住民ハ果實ヲ五倍子ニ代用シ、齒ヲ染ムルニ用フ(おはぐろ代用)。心材ヲ煎服シテ水腫ヲ治ス。(備考) 材ヲ薪炭用トシ、又庭植シ觀賞用トス。

Fam. (五) はんくわじゆ (蕃瓜樹) 科 *Caricaceae*

形質——小5、蔓性、頂葉冠、全株多汁且乳汁多含。葉ハ、無托葉、有柄、單葉無裂又掌狀裂、或掌狀複葉。花器ハ♀♂、腋

生、四維又ニ出聚繖花序= 排列。花ハ傘、5 數花、F. f. = $K_5 C_5 A_5 \nu. 5 + 5 G_{(3 \sim 5)}$, Cハ回旋列、子房ハ1又5室、側膜胎座= 2 卵膜ノ ∞ 側生卵子ヲ着生。花柱ハ分離。漿果有胚乳種子、種子ハ ∞ 、5核性胚囊、内乳ハ核狀。

成分及效用——全株中特幼果含有ノ乳液ハ *Papain* ナル消化酵素ヲ含シ、蛋白質ヲ *Peptone* 化スル作用著甚也、此他 *Carpain* (塩基) 及 *Sinigrin* 様ノ *Glycosid* ヲ含有ス。本科ニハ美味ノ食用果實ヲ生ズルアリ、又藥用ノ外ニ又有毒植物モアリ。

分布及屬種數——世界ニ凡3屬45種ヲ産シ主ニ熱帶亜米ニ分布シ、少数ハ亞弗ニ生ズ。日本ニ栽培スルニ1屬1種アリ、台ニ移植ス。

(1) はんくわじゆ (ちぢりのみ、パパヤ、Papaya Melon tree, 蕃瓜樹、木瓜乳瓜樹、萬壽果) *Carica Papaya* L. (分布) 熱米原産、日本栽培、台ニ多キ落葉5、♀♂葉ハ掌狀深裂、果ハまくわ瓜狀、大形、長15~25cm、黃熟多汁。(生藥) 葉ヲ採乾シ、果ハ生食シ又其乳液ヲ藥用トス。(成分) 葉= *Carpain* (塩基) $C_{14}H_{25}NO_2$ 及 *Carposid* (配糖体) ヲ含ム、種子= *Sinigrin* 様ノ配糖体及脂肪油25%ヲ含有ス、其主成分ハ *Olein*・*Palmitin* 也。本植物ノ乳汁特ニ未熟果ノ乳汁ニハ多量ノ蛋白質分解酵素 *Papain* (*Papayotin*) ヲ含有ス。(藥效) 葉ハ緩下劑・解熱劑・脚氣治療藥等ニ煎服ス、外用ニハ局所鎮痛藥トシ又無力性乃至癰疽性潰瘍ニ用フ。其他葉ハ強心藥トナ

リ、塩酸かるばいん製造原料トナリ、果実ハ蛋白質及脂肪消化劑（生食）トナリ、はばいん製造原料トナル。其他葉及果実ハ肉類軟化劑（80°C煮最適）ニ應用ス。果実汁液ヲ蛋白質消化藥驅虫（縊虫・蛔虫）藥及防腐藥トス。Papainハ消化劑ニハ0.3~0.5gヲ内服ス、又腸内寄生虫驅除劑トシテハ1g内用ス。又ちふてりあ養膜ヲ溶解セシムル爲メニ之ヲ塗布ス。果実液汁ハ蛋白質ヲ分解スル故食後用レバ蛋白質及脂肪ノ消化ヲ助ケ、消化不良慢性胃腸加答兒ニ有效。又果汁ハ防腐ノ效アル故麥酒・酒醬油ノ清澄防腐劑ニ採用シ得。是蓋シ夫等ノ蛋白性沈澱物ヲ溶解スル作用ニ依ル。熱帯土人ハ獸肉料理前ニ此葉ニ包藏シテ先軟化セシメ然後果汁ヲ加テ煮食ス。其適温ハ一般酵素ノ30~40°Cナルニ是ハ80~85°Cヲ適温トスル故肉類ノ燻焼等ニ際シ少量ノPapain又果汁ヲ加レバ堅肉ニ軟化シ直食用。果汁ハ新鮮肉ヲ盛ニ軟化スルノミナラズ又新鮮牛乳ヲ直ニ凝固セシムル性能ヲ有ス。塩酸かるばいんハ強心藥トシテちぎたりす製劑ニ代用ス、1日用量0.01~0.025g也。

〔藥理〕(1) Papainヲ以テ腸内寄生虫ヲ驅除シ得ルハ、是等寄生虫ハPapainニ對スル抵抗力ヲ有セザル故其外皮ヲ犯サルル故軟化シ腸内停留ヲ不許ニ依ル。(2) Papainハ亦脂肪分解作用ヲ有スル故肉類ノ強カナル消化劑トシテ奏效ス。(3) Carpainハ中枢神經系ニ對シ主ニ麻酔的ニ作用シ、家兔ノ最小致死量ハ体重1gニ付0.005g也。死因ハ主ニ呼吸中

毒ノ麻痹及心臟直接障害ニ基ク如シ。摘出家兔心臟ニ對シテハ興奮期ヲ経過セズシテ初メヨリ心臟全体ノ機能ヲ微弱トシメ遂ニ弛緩期ニ於テ完全麻痺ヲ起ス。此氏ニ據レバ本物質ハ毫モちぎたりす類似ノ強心作用ヲ不認。

〔Papainノ製法〕未熟果ノ表面ニ依體ヲ以テ浅ク切傷ヲ付テ流出スル乳液ヲ陶器又硝子器ニ受ケ、或ルハ夕露ニ日乾セシメ、尚最後ニ塩化カルシウム上ニ乾燥スルヲ最良トス。1日ヨリ1年間ニPapainニ封ヲ得。

〔新藥〕(1) Papain (峴岷山)ハ消化劑及ちふてりあ養膜溶解劑トス。(2) Papayostase (マルホ)ハ木瓜ノ消化酵素ニ聯聯酵素ヲ配セシ消化劑也。(3) Papainin (東京ハバイシン合會)乳汁中ノ消化酵素ニテ消化不良症ニ用フ。

Fam. (XI) しうかいだう (秋海棠) 科 Begoniaceae

形質——②, 稀互ニ反 (外國産又原産), 稀有塊莖, 莖葉徒々多葉質, 全株含酸味液汁。葉ハ ψ , ②屢ニ有柄, 有托葉 (稀無) 葉斜歪形無裂稀淺中裂, 全緣~鋸齒~缺刻緣, 掌狀又掌羽狀脈稀羽狀又放射脈, 稀掌狀複葉 (外國) 有毛又無毛。花器ハ(♀♂), 腋生又頂生, 聚繖又ニ出聚繖花序。花ハ概シ稀母, Ffハ概シ $P_{5-2} v. 3+3 v. 8 G(3) r(4-5) r. (2-4-5-6)$, ♂ $= K_2 r. 5 C_{2-6} r. 5 r. 0 A_{(\infty)} r. 4$, 屢♀ $= P_{2-5} G(3)$, ♂ $= K_2 C_{2-4-6} A_{(\infty)}$, ♀ハ稀 K·C) 區別アリ, 子房ハ概シ3室稀2又4~6室又1室, ∞ノ2卵膜ノ倒生卵子ヲ含ム, 側膜胎座又中軸 (内曲

馬中央ヨリ背反曲)胎座, 花柱ハ概3稀2或4~6ヶアリ.
果実ハ概蒴果稀漿果種子ハ小形無胚乳, 内乳ハ核状.

成分及效用——成分未詳. 本科ニハ觀賞用最多ク, 又藥用
食用等ニ供スルモノアリ.

分布及属種數——世界ニ凡4属820種ヲ産シ就中 *Bego-*
nia 属ハ800種ヲ産ス, 主ニ熱〜亞熱帯ニ産シ濠洲以外ニ広
布ス, 温帯ニ少シ. 日本ニ自生又栽培スルモノ1属15種ヲ下
ラズ, 皆台湾産也.

(1) しゅうかいだう (しょうらくさう, 秋海棠) *Begonia Evans-*
siana Andr. (自生) 馬來地方原産ノ^④, $\text{♀} = \text{K}_2\text{C}_2\text{G}_3$, $\text{♂} =$
 $\text{K}_2\text{C}_2\text{A}(\infty)$. (生藥) 全草又葉ヲ揉碎シ藥用ニ供ス. (成分) 開花時
全草ニ有機酸約1%, 又含シ灰色0.31%ニテCa-Mg-K-Na塩ヲ
主成分トス. 新鮮葉ノ平均重量20~30g.ニテ有機酸含量ハ0.2
~0.3g.アル故小兒食, 之中毒ノ恐アリ. (藥效) 葉ヲ解熱劑又
酸性健胃劑トシテ有效, 但 *Oxalsäure* 多故スル故中毒ノ
恐アリ, 1回0.5g. 生葉ハ1日1.5g. 以下. (備考) 觀賞用
ニ産植ス. 小兒莖葉ヲ食シ中毒スルコトアリ.

第廿一目 仙人掌目 Opuntiales

本目ニ次ノ一科アリ.

Fam. (1) さぼてん (仙人掌) 科 *Opuntiaceae*
(*Cactaceae*)

形質——多年性多肉・多漿植物, 立〜蔓状; 幹莖ハ概帶線概
缺常葉形態種々如次. 幹ハ高槽凹形支節ノ聯接合 (*Opuntia*
ニシテハ属 *Nopalea* ニシテハ^①ニイチカク属), 円球形多鈍肋
(*Echinocactus*, 立ニシテハ属 *Melocactus* 属等), 柱
状有縱稜 (*Cereus*, 立ニシテハ属 *Rhipsalis* 属等), 蛇
紐状分枝 (*Cereus* 属ニシテハ^②), 扁平細状 (*Epi-*
phyllum 属ニシテハ^③) 等幹莖ノ形態ニ依テ種属ヲ分
類ス. 葉ハ概針状又鱗片状早期脱落性, 極稀扁平常形 (立
ニシテハ属 *Peireskia*) 又円筒形葉及腋芽ハ概叢生針ニテ代
表ス, 葉枕ハ莖面ニ直刺状又瘤状ニ突出, 屢被腺毛, 且刺針 (腋芽
ノ變形等) ヲ有ス. 花器ハ立, 概葉枕腋ニ單立・有梗又無梗單生
又双生稀聚繖 (数花) 種稀F進花序. 花ハ中, 環中, ④, ⑤, 花托
ハ概細長屢管状, F.f. $\rightarrow \text{K}\infty\text{C}\infty\text{A}\infty\text{G}(4\sim8)$; KトCハ ∞ ⑥ニ
管状花托ニ着生, 相互ニ漸移変ス, $\text{A}\infty$ 亦^⑦着, 子房概1室, 花柱
ハ單合, 側膜胎座ニ2卵膜性^⑧の倒生卵子ヲ着生. 假果ハ ∞
種子ヲ含ム漿果也, 胚乳少量又無.

成分及效用——本科ニハ *Anhaloniumalkaloide* ヲ
含ムモノアリ, 其他 *Glycosid*, *Saponin* 等ヲ含有ス, 詳細
ハ如次. 塩基 (*Anhalin*, ^{アナリン} *Anhalonin*, ^{アナロニン} *Anhaloni-*
din, *Anhalamin*, *Pectenin*, ^{ピロツエリン} *Pilocereïn*, *Pel-*
lotin = *Lophophorin*, *Muscalin* 等). 其他ノ物質 (*Sapo-*
nin, ^{セレイン} *Cereinsäure*, *Araban*, *Galaktan* 等) 等ヲ含
有ス. 本科ニハ立來觀賞用種甚多ク況ク盆養ヲ見ル. 其他

薬用トナリ、或芳香多汁美味ノ食用果実ヲ生シ又牛馬飼料(トゲなし-さぼてん類)トナル。Opuntia 及 Nephalea 属寄生ノ^{エンシムシ}燕脂虫ヲ^{カニン}採乾粉末トシ紅色染料トス。

分布及属種数—世界=凡20属 1500種ヲ産シ主=南北亞米利加洲ノ温・熱帯=分布シ、少数ハ亞弗利加及マダガスカル島=産ス。日本=栽培スルモノ凡11属 30種以上アリ。

本科ノ薬用植物:—

(1) さぼてん (仙人掌) *Opuntia montachaucha* Haw. [分布] メキシコ、南米産。〔生薬〕全草体ヲ仙人掌ト稱シ薬用トス。〔成分〕全草= Vitamin. 及中枢神経ヲ麻痺スル成分其他粘液様炭化水素ヲ含有ス。〔薬效〕全草体ヲ煎服シテ利尿(脚気水腫)薬トス。葉搾汁ハ脚気・肺結核・肋膜炎・百日咳等=有效、用法ハ摺卸シ小盃一杯宛1日3回服用ス。葉ハ多量ノ Vitaminヲ含有ス、かに-さぼてん、ひらうちハヲ代用シ得。

(2) じくわさぼてん (食果仙人掌) *O. Ficus-indica* Mill. [分布] 南米原産、各地栽培。〔成分〕果実=ハ糖類・蛋白質等ヲ含ミ、種子=脂肪油ヲ含有ス。〔薬效〕果実ハ多肉=シテ甘味アリ、滋養劑トシ生食ス、殊=家畜ノ滋養劑トシテ汎用ス。

(3) ひらうち (平團扇) *O. vulgaris* Mill. [分布] 北米原産、各地栽培〔生薬〕莖枝ヲ採乾薬用トス。〔成分〕莖汁液= *Arabin-Galactan* 等ヨリ成ル Schleim (粘液)ヲ含有シ、果実=ハ *Caetin* ナル赤色色素ヲ含有ス。〔薬效〕莖汁液ハ脚気

肺結核及百日咳等=内用ス。

(4) アヤハロニツム *Anhalonium Lewinii* Heung. [分布] 北米。〔生薬〕 Mescal buttons 又 Dry Whisky ナル名稱ニテ販賣ス。〔成分〕本生薬=ハ *Anhaloniumalkaloide*ヲ含有シ、其中= *Anhalonin* *Pelletin*・*Lophophorin* 等ノ塩基アリ。〔薬效〕本生薬 (Dry Whisky)ヲ麻醉薬トシテ嗜好セヨル嗜好品也。塩基中 *Anhalonin*ハ心臟性神経痛・喘息・呼吸困難等=用ヒ、*Pelletin*ハ 0.04~0.06 g.ヲ麻醉薬トシ、*Lophophorin*ハ 運脈及血圧亢進等=用フ。

第廿二目 桃金娘目 Myrtiflorae

特徴—H, 又 D, 屢有面割立維管束。葉ハ有柄 又 無柄, ψ 又 ψ 稀 ψ , 單葉無裂・稀羽中~全裂・極稀掌狀裂, 全縁~齒牙縁。花ハ单又 半, ②, 概③, ④, 概⑤, ⑥, 花托ハ土 四形, F. f. = $K_n C_n$ $v:0 A_n v: n + n G(2 \sim \infty)$, $n=4, 5, 6$ 多シ, Aハ往々全裂シ群束ヲ成ス。心皮ハ合一・成複子房, 子房ハ概下位柱々半下位稀上位也, 概花托ト合一シ $G(m)$ ナルモ稀=遊離シ, 或遊離セル1心皮ヨリ成ル。薬用關係ハ次ノ10科也。

- { 水生①草本ナリ-----Fam. (IX) ^{ヒシ} 蓴科 Trapaeeae
- { 水草=非ス-----1
- { 花ハ C0 (無花冠)-----2
- { 花ハ Cn (有花冠)-----5

- 2 { 子房ハ下位, 左〜右, $A_{4\sim\infty}$, 子房ハ1室2~6 卵子ヲ藏ス
 Fam. (IV) 使君子科 *Combretaceae*
- 3 { 子房ハ上位又ハ基部=下位 3
 H, 子房上位各子室= ∞ ~2ヶノ卵子ヲ藏ス
 Fam. (III) 千屈菜科 *Lythraceae*
- 4 { D, 子房ハ上位又周位, 1子室中=1卵子ヲ藏ス 4
 葉ハ綠色, 卵子ハ懸垂性 Fam. (I) 瑞香科 *Thymelacaceae*.
- 4 { 葉ハ銀又褐鱗毛ヲ有シ, 卵子ハ基底生
 Fam. (II) 胡頹子科 *Elaeagnaceae*
- 5 { 子房ハ上位, 花托ト不合着 4屈菜科 *Lythraceae*
 子房ハ下位~半下位也 6
- 6 { 胎生果実ヲ有シ, 種子ハ果内=發芽シ突出長根葉ヲ有托葉
 (脱落性) Fam. (V) 紅樹科 *Rhizophoraceae*
- 7 { 胎生果実不有, 蒴ハ孔開セズ, 子房ハ全ク花托ト合着ス 7
 子房室ハ上下=重リ, 胎座ハ後生長ヲナス, ∞ 種子=肉質
 多汁ノ外種皮アリ Fam. (VII) 安石榴科 *Punicaceae*
- 8 { 子房室ハ上下不重, 胎座ハ後生長ヲナス 8
 葉若莖, 花器及葉実ハ ∞ ノ円キ破生ノ揮発油腺ヲ有ス
 Fam. (VIII) 桃金娘科 *Myrtaceae*
- 9 { 上記ノ如キ油腺ヲ有セズ, 花柱ハ單体 9
 草本 (H) ナリ Fam. (X) 柳葉菜科 *Oenotheraceae*
- 9 { 木本 (D) ナリ, 子房ハ各室=2~ ∞ ノ卵子ヲ藏ス 10

- 10 { 子房ハ1室, 2~6 卵子ヲ藏ス 使君子科 *Combretaceae*
 子室ハ2~4室ヲ有ス 11
- 11 { 子房2~4室, 各室2~8 卵子, A_{∞} Fam. (VI) 玉蕊科 *Lecythidaceae*
 子房4室, 各室 ∞ 卵子, A_8 柃葉菜科 *Oenotheraceae*

Fam. (I) ちんちやうげ (瑞香) 科 *Daphnaceae*
(Thymelacaceae) (247 四) 参照。

形質——概シ稀シ, 極稀①又② (外國, 稀鮮滿), 有強韌皮, 及
 兩側立維管束 (髓中維管束)。葉ハト又 Ψ , 有短柄, 無托葉, 單葉全
 緣無齒。花器ハ柱々2~3形花, 傘又♀♂或(♀♂)稀雜性, 小
 形, 頂生又腋生, 概簇生, 黃白・紫・紅色, 頭狀・總狀・繖狀・繖單生花
 序。花ハ中, 稀①又②, 花托ハ概杯狀~壺狀又管又筒狀, 花後
 土硬化, 4~5數性, $F.f. = K_{(4)}CoA_{4+4}r.5+5v.4\sim5$
 $G_{1r.2}$, 日本産ハ概 $K_{(4)}CoA_{4+4}G_{(1)}$; Kハ概C狀概有色,
 Cハ概無稀薄小 (外國), Aハ概花托上緣~下緣 (K筒ト

247 四



見做モ可)=着生, 1稀2心皮合
 生, 概1子室ノ卵子稀1子房2子

(247 四)ニせうのきノ花ノ解剖(改野氏)
 1. 花ヲ開展シテ内部ヲ示ス... $K_{(4)}CoA_{4+4}G_1$ 2. G_1 ノ縦断面(1卵子)

室2卵子, 卵子ハ懸垂倒生, 花柱ハ單
 体, 極短~長, 柱頭不分裂, 花托ハ子房
 基=テ屢不定數隆起又杯狀或環狀

ヲ成ス。果實ハ核果・堅果漿果 = テ不裂開・稀胞背裂開性漿果也；種子ハ胚乳小量又無、胚直生子葉肉質。

成分及效用——成分ハ配糖体 *Daphnin*、*Apigenin*、*Genkwanin* ナル色素、*Appelsäure*・脂肪油等ヲ含有ス、而テ塩基石鹼素・揮發油等ハ未檢出也。本科植物ハ概有毒 = テ藥用ノ外、製紙用・木材用・器具用・觀賞用等ニ供セラル。

分布及屬種數——世界 = 凡28~30 屬 460~500 種ヲ産シ、主 = 温〜熱帯 = 分布ス。日本 = 自生又栽培スルモノ凡3 屬 25~30 種アリ、樺台間 = 分布スルモノ南進漸増ス。

本科ノ藥用植物——

(1) きやら (ちんこう、ちんかう、伽羅、沈香、蜜香) *Aquilaria Agallocha* Roxb. [分布] 後印度 (メルグイ)、スマトラ、バンカ瓊州島産ノ常緑木。[生薬] 材ヲ沈香又伽羅 *Lignum Aloës* ト稱シ藥用トス。[成分] 材ヲ蒸溜セバ 0.75~2.5% ノ半固体及固体ノ *Agaröl* ヲ得、佳香アル樹脂ヲ主成分トス。[藥效] 材ハ煉香料トシテ著明也、芳香成分ハ不明。古來支那 = 於テ最貴重ナル煉香料 = テ香爐 = 焚キ又衣服 = 薫セリ、下山博士 = 依レバ沈香伽羅共 = 同一種屬ナリト云。

(2) ちんちやうけ (ちやうじ-がさ、はな-ごせう、瑞香) 及其諸変種 *Daphne odora* Thunb. [分布] 台・自生ノ常緑木、花三四月、内地栽培。昔支那ヨリ輸入ス。[生薬] 樹皮・根皮・葉ヲ藥用トス。[成分] 樹皮 = 配糖体 *Daphnin* ヲ含有ス、花 =

芳香成分アリ。[藥效] 樹皮及根皮ヲ嫩毒癩病・リウマチ藥トシ又癩癩ヲ治スルニ煎服ス。葉ノ液汁ハ癰腫ヲ治ス、又瑞香軟膏ヲ製シ引赤發泡劑又發泡刺戟藥トシ皮膚病其他 = 外用シ、又葉汁ヲ醋酸 = 溶シ紙 = 伸ハ患部 = 貼付セバ瘰癧 = 如キモノ半月 = テ治ス。[備考] 花有芳香・聞數十歩外專櫃庭觀賞ス。变种 *marginata* Mak. 紫綠白輪アリ、*leucantha* Mak. ハ白花、*rosacea* Mak. ハ白紅花也。

(3) おに-しばり (なつ-ばうず、鬼縛) *D. pseudo-mezereum* A. Gray [分布] 本・四・九ノ山地自生木。淡綠白花、冬〜春開花シ夏落葉。[生薬] 樹皮・根皮ヲ花後採乾シ藥用トス。[成分] 未詳ナルモ有毒成分ヲ含ム。[藥效] 樹皮ヲ次記白瑞香皮 = 代用シ、之ガ煎汁ヨリ越嶺斯ヲ製シ刺戟性發泡劑トシ皮膚病・リウマチス、痛風等 = 外用ス、又患部ヲ懸法ス、又腫物 = 塗付シ膿ヲ吸出シ治疼痛。[備考] 樹皮纖維ハ製紙原料 (雁皮紙) トシテ良好 (天城地方さくらがんヒト致シ雁皮紙料トス)、又觀賞用 = 供ス。有毒植物也。

(4) せいや-おにしばり (西洋鬼縛) *D. Mezerium* L. [分布] 歐洲原産、日本栽培ノ落葉木、花美青紫色。[生薬] 白瑞香皮 *Cortex Mezerii* ハ樹皮ヲ採乾セルモノ也、外面淡褐・内面帶黄色、皮癢、味奇烈如灼。[成分] 刺戟性物質ハ *Mezereinsäure* ノ無水物 (*Mezereinsäureanhydrid*) ヲリ成ル樹脂也、外 = 結晶性配糖体 *Daphnin* $C_{15}H_{16}O_9$ アリ。之ヲ加水分解

セバ *Daphnetin* 及 *Dextrose* トナル。其他 *Umbelliferon* 等ヲ含ム。〔藥效〕樹皮ヨリ越發斯ヲ製シ刺激性發泡劑トシ、痛風・リウマチス・神經痛・皮膚病等ニ外用ス。又濃厚煎汁ヲ懸法料トス（上記疾病）。〔備考〕觀賞用トス、有毒植物也。

〔藥理〕(1)果実又葉ヲ食セバ人畜共ニ口唇・舌・口腔ハ腫脹・充血・痒癢・流涎・灼痛ヲ起シ、又胃粘膜腐蝕・痲痛・出血性下痢・虚脱等ヲ惹起シ、刺激性劇烈ナレバ蛋白尿・血尿・尿淋瀝等ヲ見ル。(2)樹脂酸ヲ皮膚ニ塗布セバ充血・水泡・膿泡・痲皮等ヲ生ズ。乾燥樹皮末ノ致死量ハ食道ヲ縛リシ犬ニテ 12g. 馬ニテ 30g. 也。(3)生葉ヲ醋又水漬シ之ヲ皮膚ニ貼付シ繻帶セバ 2-3 時間後發泡ス。

(5) さつまふじ (ふか-もどき, ちやうじ-さくら) *D. Genkwa* S. et Z. (寄生) 自生ノ落葉互, 花春, 淡紫色美, 古來支那ヨリ輸入ス, (生藥) 芫花 *Flos Genkwa* ハ花蕾ヲ採乾セルモノ也, 3~7 花短枝ニ簇生, 長 3~7 mm, 絹毛密生, 氣味緩和稍苦シ, 專支那ヨリ輸入ス。〔成分〕花ハ *Sitosterol* $C_{27}H_{46}O$ ・*Genkwamin* (黃色結晶)・*Apigenin* $C_{15}H_{10}O_5$ ・安息香酸 (*Benzoesäure*)・刺激性油狀物質等ヲ含有ス。〔藥效〕漢: 花蕾ヲ煎服シ利尿藥及祛痰藥トシ、又痲痛ヲ治ス。古來慢性便秘ニ與ハシ強烈下痢劑ニシテ甘遂・大戟等ノ配合ナク單味ニテ能ク便通ノ目的ヲ達ス, 1 回 1.5~2 g. 煎服又粉末服用ス。〔備考〕觀賞用トシ美花ヲ賞ス, 有毒植物也。花・葉・皮皆有毒葉ヲ採ミ汁共ニ投水中ハ魚類皆死ス, 依テ魚覆用トス, 故魚毒ノ名アリ。

(6) こせうのき (からす-しきみ, はな-ちやうじ, やま-5"んちやう, 白瑞香) *D. Kiusiana* Miq. (寄生) 本・四・九・朝・琉ノ山地性常緑互, 花白~淡黄色ニ~四月, 成果五・六月。〔效用〕觀賞用トシ栽植ス。〔備考〕赤紫果ハ味辛シ, 故胡椒ノ木ト云, 食之味辛辣・刺激咽喉煩悶ス, 半日ニテ解ス。其甚キ者ハ死スト云。藥效未詳。

(7) き-かんび (き-こかんび, あかじく-きこかんび, ^{セツクワ} 莢花) *Mikstrœmia trichotoma* Mak. (寄生) 本(中南部)・四・九ノ山地性互, 葉ハ ψ , 花序亦 ψ , 花軸ニ紅線(あまじく-きこかんび) 2 型有。中ハ ψ 數花乙ハ ∞ 花, 總狀花十月。〔生藥〕花蕾ヲ採乾藥用トス。〔藥效〕蕾ヲ利尿(水腫・脚氣)劑又祛痰藥トシ 1 回 0.5~1 g. 煎服ス。〔備考〕觀賞用トシ、又樹皮ヲ製紙料トス。

(8) かんび (かみのき, 雁皮) *W. sikokiana* F. et S. (寄生) 本(中南部)・四・九ノ山野性落葉互, 葉有毛 ψ , 花黄色・四月。〔效用〕莖内皮ヲ製紙(上等雁皮紙・薄葉紙等)原料トス, 土佐・美濃國・古來有名也。〔備考〕此他和紙製造ニ供スルモノニ こかんび *W. Gampii* Max. 本(中南部)・四・九・さくら-かんび(きだち-こかんび, いぬ-かんび) *W. Franchetii* Koidz. (*W. pauciflora* Max) 等アリ。

(9) みつまた (結香, 黃瑞香, 三椰) *Edgeworthia papyrifera* S. et Z. (寄生) 九・朝・自生ノ落葉互。中國・土佐・甲州・駿州其他南日本各地栽培。〔效用〕2・3 年ニテ刈取り、蒸シ刺

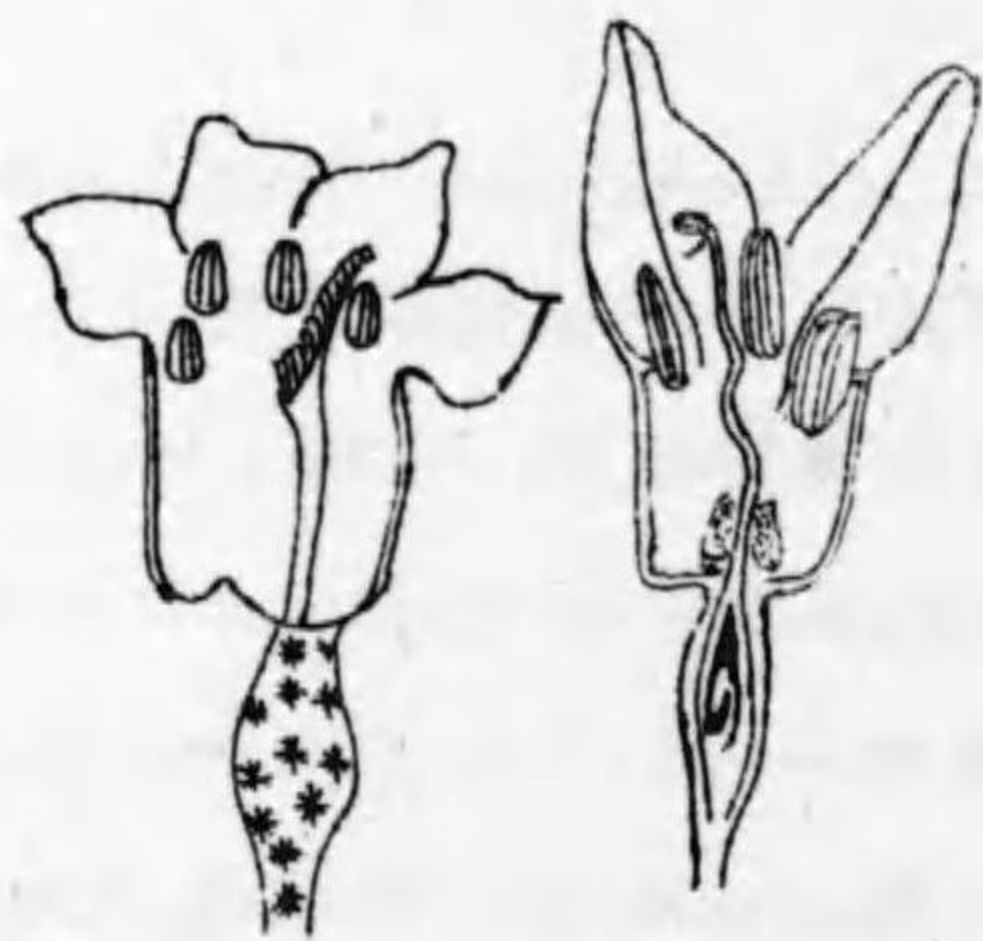
及シ製紙(和紙紙幣紙)原料トス。紙質頗良好壁紙等ニ近時
賞用ス。

Fam. (II) くみ(胡頹子)科 *Elaeagnaceae*
(248~249 図参照)

形質——落葉常緑性立~五葉花果若枝等ニ銀色又赤褐
色星形~楕形鱗毛粗~密布。葉ハ ψ 又 χ , 有柄無托葉單葉無
裂全緣稀波緣又 齒牙緣。花冠ハ \cup 又 σ , 又雜性, 小形淡白
~帶黃色腋生單立又散花簇出繖狀稀總狀又穗狀花序。花ハ
 \oplus, \odot , 概4 数性, F. f. = $K_{(4)} r. (5 \sim 8) Co A_4 r. 5 \sim 8 r. 4 + 4 \sim 5 + 5$
---- G_1 -, 日本産ハ概 $K_{(4)} Co A_4 G_1$ -, Kハ銀合列, Aハ第

248 四 K片ノ倍数單心皮周位子房, 1子室,

1ヶノ2 卵膜ノ基立性倒生



(248 四) くみノ花ノ解剖圖
1. くみノ花冠ノ縱斷面(下山・安田氏)
萼着生A, 蜜腺花盤, 基立性倒生卵子,
筒狀花托, 周位子房等ヲ見ル。
2. くみノ萼筒(ニ說ニ花托ノ上部)ヲ
開展シテ内部ノK着生A, 花柱,
柱頭ヲ見ル, 周位子房。(中井氏)。

卵子ヲ藏ス, 花柱ハ單体母細長; 花托ハ筒狀~壺狀初遊離後
肥大肉質ニ成長シ子房即眞果ニ密着成假果其上緣ニ環狀ノ
蜜腺花盤有。果實ハ堅果(有核ナレドモ梅櫻ト異リ非眞果
也, 即非核果), 被肉質花托; 種子ハ胚乳小量又無, 胚ハ直生, 子

249 四 葉ハ多肉; 大形胚軸短小。



(249 四) くみ屬ノ果實ノ縱斷面(Wettstein氏)肉質花托
(被子房即眞果)・核・種子(胚及胚乳)。

成分及效用——成分ハ殆末詳唯檢酸・

Mannit-Quercetin 等知ラルルノミ。藥用

ノ外食用果實ヲ生ズルモノ多シ又觀賞用トシテ植栽ス。

分布及屬種數——世界ニ凡3種50種ヲ産シ主ニ温~熱帶
ニ分布シ時ニくみ屬ハ東亞就中日本ニ多産ス。日本ニ自生
スルモノ凡1屬35~40 種ヲ下ラザルベシ。北・台間ニ分布
シ本・最多産ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) ははしろくみ(はるくみ, たはらくみ) *Elaeagnus pun-*
gens Th. (分生)本(中南部)・四・九・朝ノ山野生常緑性立花
夏・秋・冬・成果翌年五・六月葉厚質・綠光澤裏褐色, 波又齒緣。(生藥)
胡頹子 *Fructus Elaegnii* ハ果ヲ搥乾セルモノ也。此他
根・胡頹子葉・葉ヲ搥乾シ藥用トス。〔成分〕果 = Tanninヲ
含有ス, 未熟果, 特多含ス, 糖分不尠。〔藥效〕胡頹子果ハ收斂・
止瀉・鎮咳藥ニ煎服ス。胡頹子皮(樹皮)ハ根皮ト共ニ收斂
藥トシ止瀉劑ニ用フ, 又吐血ニ煎服治癒ス, 7回 1~2g. 其煎
汁ハ諸瘡疥癬等ニ洗滌料トス, 又其煎汁ニテ絲虫蛔虫等ノ驅
虫劑トスル説アリ, 胡頹子葉ハ煎服シテ鎮咳藥又利尿藥トス。
果實ヲ砂糖漬トシ文火ニ煎服セバ喘息藥トナリ, 又下痢止ト
ス。〔備考〕果實ヲ食用(小兒好食スルモノ未熟果ヲ多食セバ重

キ便秘=罹ル故少量ハ止瀉劑トナル。又觀賞用=植栽ス。
〔療方例〕 收斂性止瀉藥…胡蘆子3.0 水100.0…以上1日量
煎劑分服。

(2) あきぐみ及其變種 *E. crispa* Th. (*E. umbellata* Th.)
〔分生〕北本・四・九・朔ノ山野生ノ落葉互。花2~數ヶ繖形。五月。果ハ
小形丸シ。成果十月。〔生藥〕同前種。〔藥效〕幹・根皮ヲ砂糖漬ト
シ食セバ滋養強壯劑トナリ。文火ニ煎取セバ喘息劑。下痢止劑
トナル。特黃蘆種ヲ賣用ス。其他同前種。〔備考〕同前種。

(3) なつぐみ (やまぐみ) 及其諸變種 *E. multiflora* Th.
(*E. longipes*) 〔分生〕北本・四・九ノ山野生落葉互。花唇。果夏
大形1筋2出長梗。〔生藥〕前同。〔藥效〕同前種。〔備考〕同前
種。此外々み屬諸種同效アルベシ。

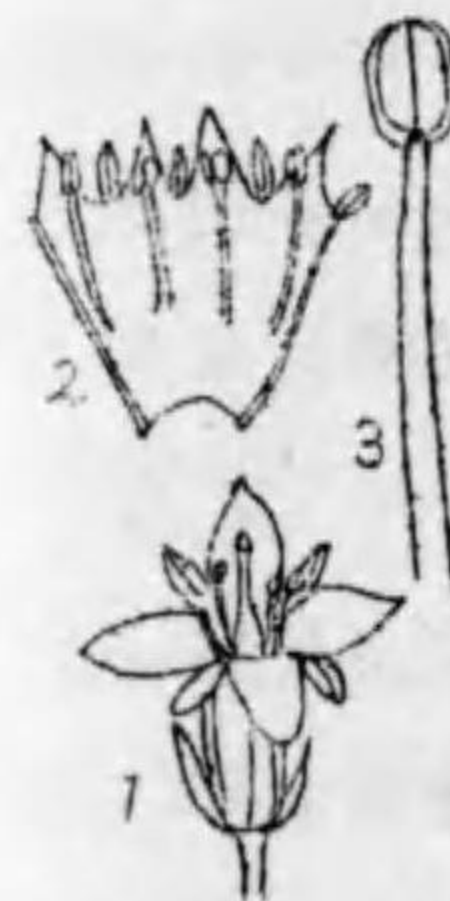
Fam. (四) みぞはぎ (みぞはぎハ訛誤, 4屈菜) 科

Lythraceae (250~252 図参照).

形質——H(①~④)又D(5~5), 兩側立維管束(髓中有篩部)。葉ハ有柄又無柄, 有小托葉, ψ 稀 ψ 又 ψ , 單葉無裂全緣, 長卵形~披針形。花唇ハ全, 微小~小形, 紫紅・白色・霜黃色, 腋生1~數花族生, 或穗狀・總狀・圓錐又聚繖花序。花ハ中稀中, ④稀①, 4~6 數花 ③ 3~16 數花, F. f. = $K_{(4\sim 6) r. 3\sim 16} C_{4\sim 6} r. 3-16$
 $r. 0 A_{4+4\sim 6+6} v. 4+0\sim 6+0 r. 1\sim \infty G_{(2\sim 6)}$, 概 $K_{(4\sim 6)}$
 $C_{4\sim 6} r. 0 A_{4+4\sim 6+6} v. 4+0\sim 6+0 G_{(2\sim 6)}$; 又 $K_{(6)} C_6 A_{6+6} v. 6+0 G_{(2\sim 6)}$ 不劃; Kハ鱗合狀, Cハ瓦列, Aハ屢2~3形, 概

Cヨリ土 低位, 各心皮ハ④~2ヶノ副生卵子ヲ生ズ, 2~6室筋
1子室, 花柱ハ單体, 果実ハ蒴果概密着等(又苞毛)葉ヲ伴フ; 種子
ハ無胚乳。

250 圖



成分及效用——本科ニハ配糖体 *Salicarin*・*Hennotannin*, 外, 鞣酸・脂肪油等

(250 圖) きかしぐさノ花及解剖(牧野氏) 1. 花唇
 $B_2 K_{(4)} C_4 A_{4+0} G_{(4)}$ 2. $K_{(4)}$ 筒ヲ開展シ
内部ヲ見ル, AハK着生, 3. A 1ヶ

檢出サルルモ塩基ハ殆稀也。藥用ノ外, 漆
用・木材用觀賞用=供スルモノアリ。

分布及屬種數——世界=凡2属450
~500種ヲ産シ, 主=亞米利加ニ分布ス。

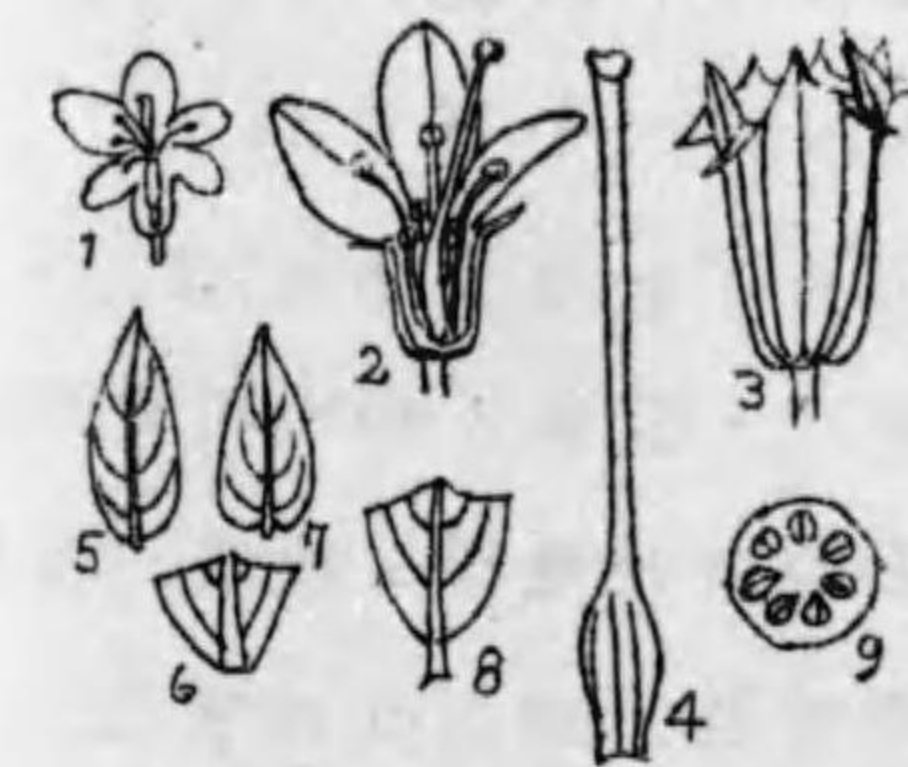
(251 圖) きかしぐさノ $G_{(4)}$ 及果実ト種子(A)
1. $G_{(4)}$ ノ側面, 2. 蒴果ノ側面(密着K及苞毛ヲ
伴フ) 3. 種子。

251 圖



日本=自生又栽培スルモノ凡8属25種

252 圖



(252 圖) みぞはぎ及原々みぞはぎノ花・
果・葉及其解剖トさるすべリノGノ斷
面圖(原圖).
1. みぞはぎノ花唇 = $K_{(5\sim 6)} C_{5\sim 6} A_{5+5} v. 6+6 G_{(2)}$ 2. 全縱斷面
(内部ヲ示ス) 3. $K_{(5\sim 6)}$ K筒及K
裂片 4. $G_{(2)}$ 5. みぞはぎノ苞葉
6. 全ノ尋常葉脚 7. 原々みぞはぎ
ノ苞葉 8. 全尋常葉脚
9. さるすべリ(百日紅) $G_{(6)}$ ノ
橫斷面

アリ、樺南千台・間 = 分布スルモ南進漸流増ス。

本科ノ藥用植物：—

(1) みぞはぎ (みぞはぎ, さうはぎ, 千屈菜) (252 四 1~6) *Lythrum ancepus* Mak. (分生) 北・本・四・九・朝ノ清・濱・畦畔生, ②, 散生~群生, 花夏~秋. (生藥) 莖葉及花ヲ採乾藥用トス. (藥效) 全草(莖葉)ヲ煎服(又ハ粉末トシ)シ收斂劑トシテ止痢(腸カタル)藥トス, 1回 0.8~1g. (備考) 觀賞用 = 栽培シ又掃帚 = 用フ.

(2) えぞみぞはぎ (蝦夷千屈菜) (252 四. 7. 8.) *L. Salicaria* L. (分生) 樺南千・北・本・九・朝ノ原野稍湿地生 ②. 稍全株有毛. (生藥) 千屈菜 *Herba Salicariae* ハ全草ヲ刈取り乾燥セシモノ也. (成分) 全草 = 配糖体 *Salicarin* 0.87~1.92%. 單寧(鞣酸) 1.5%ヲ含ミ, 灰分中 = 酸化鉄 2%. 及 *Calciumoxyd* 32%ヲ含有ス. 又 *Cholin* 及糖分ヲ含ム. (藥效) 全草ヲ收斂藥トシ止瀉(下痢止) = 煎服シテ殊 = 細菌性赤痢 = 他藥 = 配伍シ用レバ卓效アリト云. 藥用 = ハ前種 = 優レリ. (藥理) *Salicarin* ヲ單寧及酸化鉄ト配伍シテ使用セバ激甚ナル收斂作用及止血作用ヲ現ハシ, 細菌性赤痢 = 對シ特效ヲ有スト云. (備考) 觀賞用 = 栽培シ又おいぬ土人ハ煤ヲ食用トス.

(3) しかるくわ (指甲花, 散沫花, つまくれなりのき) *Lawsonia inermis* L. (分布) エジプト原産ノ(西比利亞原産トモ云)ノ落葉互, 白花有香, 14 数花・台. 其他熱帯 = 栽培. (生藥) 葉ヲ採乾シ藥用トス. (成分) 葉 = 橙黄色ノ結晶性物質 *Law-*

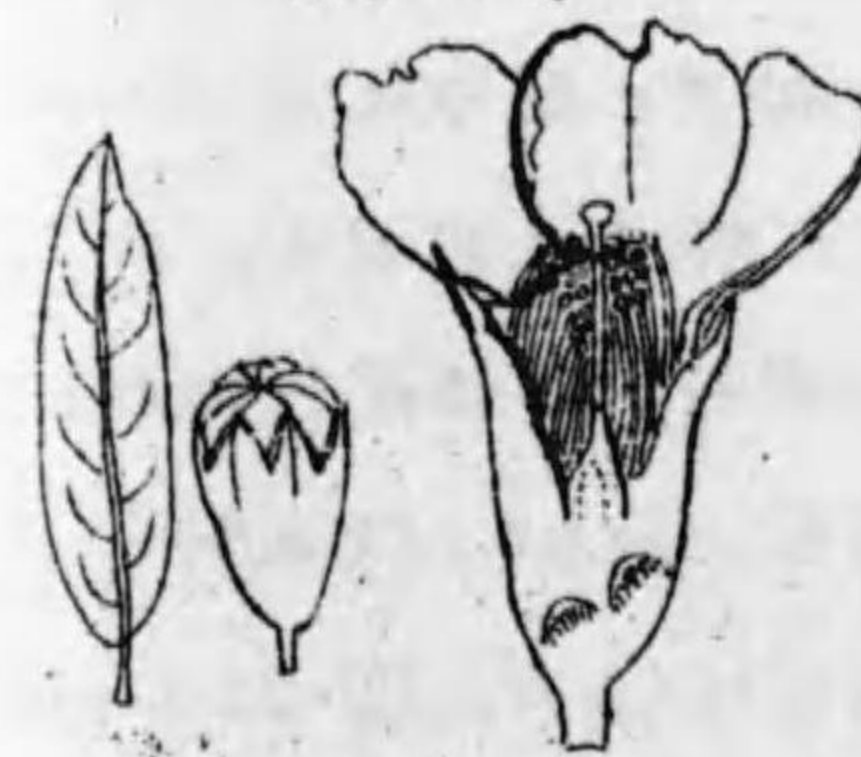
son $C_{10}H_6O_2$ (恐ク 2-Hydroxy-4-1-naphthochinon ナリン) ヲ含ム. 葉 = *Lawsonin* (色素), *Hennatanin* 等ヲ含有ス. 其他 *Mannit* ヲ含ミ, 花 = 揮發油, 種子 = 脂肪油ヲ含有ス. (藥效) 花有芳香. 葉ヲ赤褐色染料トシ又染髮料トス, 即藥 = 石灰ヲ混ゼシモノハ爪又頭髮ヲ紅色ニ染セス. 葉ノ粉末ハ *Henna* ト称シ波斯其他東洋各地 = テ古來染髮料 = 供セリ. 之ハ無害ナルモ色沢稍藍黑色ヲ呈ス. (用法) 石鹼 = 頭髮ヲ洗ヒ, 次 = *Henna* 末ヲ水 = 椀木頭髪 = 塗布シ, 約 1 時間後洗落ス (此時橙紅色), 次 = 藍葉末ヲ水 = 椀木同様塗布シ, 約 1 時間後水洗セバ黑色(稍藍黑)トナル無害也.

(4) ほぎき-さかしぐさ (まるはぎかしぐさ) *Rotala rotundifolia* Koehne (分生) 九・台ノ原野湿地生 ①. (藥效) 莖葉ヲ揉ミ湯火湯 = 貼用ス, 熱ヲ退クル效アリ.

Fam. (IV) さくろ(柘榴)科 *Punicaceae* (2-3 四参照)

形質—— 5~5. 葉ハヤ, 有柄, 無托葉, 單葉無裂, 全縁. 花器

2.53 四.



ハ傘, 中~稍大形, 美, 紅赤白・斑色, 希黄色精放頭 = 頂生頭立~5ヶ族生, 聚繖花序. 花ハ中, 5~7 輪 8 数性, F. f. = $K(5\sim6\sim8) K_{5\sim6\sim8}$ (2.53 四) さくろ・葉・蕾・花 (1.2 原四 3 Eng. let) 1. 葉, 2. 蕾, 3. 花 1 縱斷面 $K(5) C_5 A_{\infty} G(9)$

$A_{\infty}G(6+3)$, 概 $K(6)C_6A_{\infty}G(6+3)$; Cハ互列; Aハ数層=排列, 元素 A_{∞} ハ少数者ノ多分裂=起因ス, 子房ハ筒又垂狀花托=包マレ之ト密着シ(下生子房) 数心皮ヨリ成リ内外2輪=配列シ上下2層=重ル, 即外輪(上層) 6房室内輪(下層) 3房室ヲ常トス, 即 $G(6+3)$ 也, 故計9結合心皮也, 各室=∞ノ側生卵子ヲ含ム, 花柱ハ單体, 果實ハ蒴果様假果或漿果様果ト稱ス, 不規則=裂開ス; 種子ハ∞, 大形有硬肉質多汁ノ外種皮ヲ有シ, 胚乳ヲ缺ク。

成分及效用——成分トシテ根皮及樹皮=Granatalkaloidヲ含有シ, 果=林糖酸及枸橼酸ヲ含有ス。葉用ノ外, 種外皮ヲ食用=供シ得ルモノアリ。觀賞用=植栽ス。

分布及屬種數——世用=1屬2種 (*Punica granatum* L. ざくろ, *P. protopunica*)ヲ産シ, ざくろハ欧亞ノ南部後者ハシコトヲ島(亞弗利加)=分布ス。日本産無ク凡テ栽培也。

○(1)ざくろ(柘榴) *Punica granatum* L. [分生] 地中海沿岸ヨリ印度=至ル地帯(カウカサス¹、パルシヤ¹等=モ)=自生ス, 現今ハ熱~温帯各地=栽培又野生狀。〔生藥〕石榴皮 *Cortex Granati* ハ樹幹枝及根ノ樹皮ヲ剝取乾燥セシモノ=テ, 昔ハ特=石榴根皮ヲ費用セリ。管狀又槓狀, 長1粉, 及褐色^(根皮) 地衣不着又上層剝皮スルモ非綠色, 折面類黃色, 味收斂性也。〔成分〕樹皮及根皮ハ石榴塩基 *Granatalkaloid* 思1%ヲ含ム, 其主成分ハ ^{ペレチエリン} *Pelletierin* $C_8H_{15}NO$ 、*Isopelle-*

tierin $C_8H_{15}NO$ 、^{メチルペレチエリン} *Methylpelletierin* $C_9H_{17}NO$ 、^{アソ} *Pseudopelletierin* 等也, 其他單寧約20% (主=石榴鞣酸 *Granatgerbsäure*)、*Mannit* 等ヲ含有ス。果皮果汁中ニハ鞣酸¹ 粘液 *Ellagsäure*、遊離酸0.5%、轉化糖10~12%ヲ含有ス。〔藥效〕局方石榴皮(安石榴皮)ノ煎汁ハ古來有名ナル各種ノ¹ 瘧虫驅除藥(裂頭有鈎無鈎¹ 瘧虫其他)也, 大人1日30~60gヲ煎劑トシ1時間内=2~3回ニ分取シ, 後下劑(但しひまし油ヲ不與)ヲ與フ。六年未滿小兒=ハ10.0ヲ6~10年者=ハ20.0gヲ投與ス。米局方單寧酸¹ *ペレチエリン*モ同様目的=用フ, 用量0.4g也。朝鮮ニテハ煎汁ヲ痢疾=内用シ, 又眼疾(結膜炎)ヲ洗フ。局方石榴越幾斯ヲ瘧虫驅除劑トス, 但大量ヲ用レバ耳鳴、眩暈、四肢痠疼等ヲ發スルコトアリ, 用法ハ0.3~0.5g越幾斯ヲ綿馬越幾斯1gト和シ丸藥トシ用フル候トス。又煎用ハハーゲル¹ 氏法=依リ石榴皮末60分=溜水400分、酒精300分ヲ温浸1日間, 後圧漉シ, 其液ヲ蒸發シ400分トシ, 之ニ¹ 蓖麻子油30分、あらびあごむ末15分ヲ加ヘ直宜服用ス(但服用前少クモ20時間以前ヨリ要絶食)。民: 石榴皮ヲ煎燒シ水虫、田虫、頑癬、いんぎん、田虫=塗抹シ有效ト云。扁桃腺炎又咽喉加答兒=ハ石榴實1箇ヲ1~2合ノ水ニ煎出シ煎汁ニ¹ 含嗽治癒ス, 又口臭ヲ除ク效アリ。根皮ノ濃煎汁ヲ毛髮=塗擦シ黑色染料トス。花ヲ蔭干シ煎服止瀉劑トシ、花ヲ粉末トシ米飯=練リ合セ乳房炎(乳腫)=貼用治癒ス。果皮ヲ煎出シ收斂藥トシ止瀉劑トス。

[藥理] (1) *Pelletierin* ハ温血動物ニ對スル中毒ハ初齊體興奮性(反射興奮性)ヲ亢進シ痙攣ヲ來シ、次ニ呼吸反運動麻痺ニ陥ル(大量ハ運動神經末梢ヲ麻痺シ、呼吸中枢ノ麻痺ニ依テ死ス)、家兎體重1グラム靜脈内注射ニ依ル致死量ハ0.3g也(家兎及モウモウトニ對スル靜脈内注射ニ依ル最少致死量ハ0.2~0.3g. Pro Kg. 也)。 (2) *Pseudopelletierin* ハ其生理作用 *Pelletierin* ト同様ナルモ作用著シク弱シ。 (3) 塩酸パレチエリンハ0.002%溶液ニテ蠶虫ノ興奮作用者キニ、塩酸アセロイドパレチエリンニテハ0.02%溶液ニテ初テ自發運動明也。 (4) *Pelletierin* ニテ蠶虫試験ヲナスニ其体温弱アルカリ性食塩水ノ1:10000溶液中ニ蠶虫ヲ入レバ5~10分ニテ運動ヲ停止シテ死ス。

[備考] 觀賞用トシ庭植又盆栽トス。 変品不勤、(1) 白柘榴^{シロザクロ}ハ白花品、(2) 黄花柘榴^{キバナザクロ}ハ花黄色、(3) 綿柘榴^{ニシキザクロ}ハ白ニ赤條ヲ交ス、以上皆單瓣重瓣ノ別有、(4) 花柘榴^{ハナザクロ}ハ重瓣品、(5) 実柘榴^{ミザクロ}ハ單瓣品也、(6) 甘柘榴^{アマザクロ}ハ核小メ甘シ。 (7) 姫(朝鮮)柘榴^{ヒメチンセン} *nana pers.* (南欧原産)ハ小灌木ニテ各部皆小形也。以上果実(種子ノ殼皮)ヲ可食、甘酸味アリ、小児ノ好食スルトコロ也。

Fam. (V) さがりばな(玉藥)科 *Lecythidaceae*

形質——莖、分泌細胞、分泌腔、内篩管部等無。葉ハ有柄、 ψ 無托葉、單葉全緣~殆全緣。花冠ハ傘、小~中形、單生又無限(主

ニ總狀)花序。花ハ傘、稀 \odot 、花托ハ盃狀、各部異數、F.f. = $K_{4\sim6} r. 2\sim3 C_{4\sim6} r. \infty v. 0 A_{\infty} G_{(2\sim6)} r. (\infty)$ 、概 $K_{4\sim6} C_{4\sim6} A_{\infty} G_{(2\sim6)}$; Cハ瓦列、 A_{∞} ハ多輪列嬰1部ニ(不完全)、蕾中偏屈曲、子房ハ花托ニ密着、各心皮ハ $\infty\sim1$ ヶノ倒生卵子ヲ生ス; 2~6子室、花柱ハ單條、花盤ハ子房上ニ位ス。果実ハ肉質又木質ノ假果無胚乳種子。

成分及效用——本科成分ハ *Saponin*、*Gerbstoff* 及脂肪油也。本科ニハ藥用ノ外木材料又食子種子及葉(さがりばな)ヲ有スルモノアリ。

分布及属種數——世界ニハ18属130~140餘種ヲ産シ、主ニ熱帯ニ少数ハ亜熱帯ニ分布ス。日本産2属3種(内栽培1属1種)ニテ琉球ニ分布ス。

(1) こぼんのあし (こぼんのあし) *Barringtonia asiatica* Kurz. (*B. speciosa* Forst.) [寄生] 琉球、海岸生立、花周年。[生藥] 有毒果実ヲ藥用トス。[成分] 種子ニ脂肪油約2.9%ヲ含ミ其主成分ハ *Olein*、*Palmitin*、*Stearin* 等也、其他 *Gallasäure* (没食子酸)、*Barringtonin* $C_{15}H_{21}(OH)_3$ 及 *Saponin* 様 *Glycosid* ナル *Barringtonin* $C_{18}H_{25}(OH)_3$ ヲ含有ス。[備考] 有毒果実ヲ搗碎シ河水ニ投入、魚類ヲ捕獲スルニ用フ。葉ヨリ一種ノ假漆^{ワニス}ヲ採リ塗料トス。若キ莖葉ヨリ一種ノ藥粥ヲ製ス、是ハ麻酔毒ナル故捕魚料(河中投入)ニ供ス。嫩芽ハ鱈魚ノ餌ニ供ス。

Fam. (VI) ひるぎ(紅樹, 蛭木)科 Rhizophoraceae

形質——常緑5, ~ 7, 概熱帯海岸 = 成紅樹林。葉ハ有柄, Y 稀 Y, 脱落性托葉有又無, 單葉無裂全緣。花器ハ概全, 小形, 單生又聚繖花序 = 排列。花ハ中, 概 ⊙ 稀 ⊙。F. f. = K: 4~8 r. 3~16; C 4~8 r. 3~16 v. 0 A 8-∞ G(2~5)-r. (6); 概 K: 4~8; C 4~8 G(2~5)-; Kハ宿存性銀合列, Cハ内向銀合又回旋列, Aハ皆完全, 子房ハ概盃狀花托ト結合, 各心皮ハ概2稀4~∞又1ヶノ下垂性倒生卵子ヲ内角(中軸)胎座 = 生ズ, 子房ハ2~5稀6室又1室, 花柱ハ概單体稀3~4個, 柱頭ハ概2~4裂ス。果實ハ假果, 概漿果 = テ有革質果皮不裂開, 或稀蒴果・核果・又閉果也, 種子ハ概有胚乳; 海岸種ハ胎生果實ヲ有ス, 即胚ハ屢強勢ナル胚軸ヲ有シ於果中幼根ハ延長發育シ貫通種皮・果外 = 突出後落下泥中發育ス。

成分及效用——本料 = ハ鞣酸類ヲ含ムモノ多ク, 其他ハ不明藥用又鞣質樹皮ヲ産シ, 材ヲ器具用トス。

分布及属種數——世界 = 凡 15 属 60 餘種ヲ産シ, 主 = 熱帯 = 分布シ, 生海岸。日本産凡 4 属 4 種ヲ産シ, 尤台・間 = 分布ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) おほば-ひるぎ (ヤハヤマ-ひるぎ, しのはな-ひるぎ, マングローブ) *Rhizophora mucronata* Lam. (寄生) 尤琉・台ノ海岸生也。(生藥) 樹皮ヲ紅樹皮又拷皮・丹柄ト称シ, *Cortex Rhizophorae* 採乾藥用トス。(成分) 樹皮 = 鞣酸 Gerbstoff 約 48% 含有。(藥效) 樹皮ヲ煎服シテ止瀉

劑トシ又かつち(次記)ト共 = 鞣草用トシ, 赤褐色ノ染料トシ網・緞・布等ノ染色 = 供ス。材ハ諸器具用 = 供ス。〔備考〕海岸干満潮線外 = 群生シ尤 ~ 南洋間 = 分布シ所謂成紅樹林 Mangrove 満潮時・成海中林。蛭木ノ名ノ起因ハ胎生果ノ根ノ形状水蛭ノ如キ = 因ル。紅樹林ヲ形成スル種族ハ本科諸種ノ外シクハシ科・ゆまぶし科・せんたん科等ノ諸種也。

(2) おほ-ひるぎ (め-ひるぎ, たかつち, ひるぎ, りうき-からがい) *Kandella Candell* Merr. (K. *Rheedii* Wight. et Bur.) (寄生) 尤琉・台ノ海岸生小也, 花五・六月。(生藥) 樹皮ヲ藥用及染料トス。かつち *Cutak* ハひるぎ類(前種毛)ノ樹皮ヨリ製セル水製越幾斯 = テ稍透映ナル暗紅褐色ノ破碎シ易キ粗塊也。かつち及紅樹皮ハボルネオ¹島ヨリ多産ス。

(成分) 樹皮 = 12~27%ノ鞣酸ヲ含有ス。(藥效) 樹皮ヲ煎服シ止瀉劑トシ, かつちト共 = 鞣皮料トシ, 又褐赤色染料(煎汁ヲ)トス, 兼民・里必本煎汁 = テ網・緞・布等ヲ染ム・能ク腐敗ヲ防ギ久ク変色セズ。大隅大島々民ハひる木ト称シ幹皮ヲ剝取リ褐赤煎汁 = テ布類ヲ染ム, 又久米島細布・尤島赤緞ノ上布染料ハ皆此樹皮也。材ハ堅緻 = メ紅褐色・はまもくこく又櫻桃材 = 似タリ, 具器具用トス。

(3) め-ひるぎ (あかはな-ひるぎ, えとこ-ひるぎ, 紅樹) *Bruguiera conjugata* Merr. = あかはな-ひるぎ *Cylindrica* Blume (B. *gymnorhiza* Lam.) (寄生) 尤琉・台ノ海岸生也, 花七・八月。(生藥) 紅樹皮 *Cortex Bur-*

guiercaeハ樹皮ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕樹皮中ニ鞣酸
14.8~28.2%ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ノ效用ハ以テ2種ト全
ク全一也。〔備考〕果形稍ゆへひるキニ似テ稍短小也。材葉ノ效
用亦同前種。

Fam. (四) しくんし (使君子) 科 Combretaceae

形質——互又互或 γ 、有内篩管部即兩側立維管束。葉ハ
有柄無托葉、 γ 稀 γ 、單葉全緣無裂。花器ハ全又 γ 、非單生兼
族性有梗又無梗、頭狀穗狀總狀再錐花序ニ排列。花ハ \oplus 、 \odot 又
 \ominus 、卵形又管狀花托アリ、 γ 稀 γ 數花、F. f. = K(4~5) γ (6~8)C
4~5 γ . 6~8 γ . 0 A4~5~8~10 γ . ∞ G(4~5), 概 K(4~5)C
4~5 γ . 0 A4~5~10 γ . ∞ G(4~5), Kハ屢宿存銀合列稀互列
Cハ銀合又互列・回旋列、子房ハ概有稜角合生・1子室、2~6側
生卵子ヲ藏ス、卵子ハ有長柄(卵梗)、花柱ハ單體。花盤ハ種
々形合K或雜又有密毛。假果ハ臍1種子、革質果皮アル2~
5稜角~翼果、裂開又不开、或核果; 種子ハ無胚乳、胚軸ハ
細小。

成分及效用——全株ニ多量ノ鞣酸類ヲ含有ス。本科ハ藥
用・藥皮用・染料・木材用・觀賞用又食用種子ヲ生ズルモノアリ。

分布及屬種數——世界ニ凡15屬 450~500種ヲ産シ、
主ニ熱帶~亞熱帶ニ分布ス。日本産又栽培スルモノ凡3屬
3~4種(自生2屬2種、小笠原・琉・台産)アリ。

本種ノ藥用植物——

(1) しんじ (しんじ, 印度使君子, 留求子, 使君子)
Quisqualis indica L. (分布) 印度原産, 台其他栽培ノ常
綠蔓性也。〔生藥〕使君子 *Fructus Quisqualis* ハ果實ヲ採乾
セルモノ也。核 5稜角 4~9稜, 長 3~4.5cm. 徑 1~2cm.
角質黑色, 種子亦黑色, 氣味酸和淡稍甘シ。市岳ハ支那ヨリ輸
入ス。葉ニ採乾藥用トス。〔成分〕ニハ脂肪油約 25%ヲ含ミ
主ニ *Palmitinsäure* 及 *Oelsäure* (油酸) *glycerid* ヨ
リ成ル尚少量ノ結晶質ヲ含ム如キモ不明, 又驅虫作用ノ本体
モ不明。〔藥效〕葉: 蛔虫驅除藥トス。用量 2g. 準局・使君子
ハ蛔虫驅除藥トシ、除果皮ニシテ 1回 4~6g. ヲ煎服ス、但
作用比較的弱ク海人草・*Santonin*ニ劣リ。主ニ小兒ニ
用ス。即ちマクリ湯ニ加味シテ使用シ、其他腸加筋兒・膀胱加筋兒
ニ因ル尿蛋白(白濁)症ニ内服セシム。1回 1~3g. 粉末ヲ
服用ス。葉モ亦煎服シテ驅虫ノ效アリ。〔藥理〕生藥ノ水製
越幾斯ヨリ廿日鼠ノ皮下ニ注射スルニ、數分ニシテ疲勞状態
ヲ呈シ靜止シ漸次呼吸不規則且緩慢トナリ、1~2時間後全
身ニ痙攣ノ痙攣來リ、呼吸停止ス。心臓ノミハ呼吸停止後數
分間搏動ヲ保持ス。最少致死量ハ廿日鼠ノ体重1瓦ニ付越幾
斯約 0.02g. 也。〔備考〕觀賞用ニ栽培ス。〔處方例〕蛔虫驅除藥
…… 使君子 5.0 水 100.0……以上煎劑頓服。

(2) しんじ (からくちなし, しんじ 使君子, 支那使君
子) *Q. indica* L. var. *villosa* Clarke (分布) 印度及南